



Business Intelligence Suite エラーメッセージの説明

■ SAP BusinessObjects Business Intelligence Suite 4.0 Feature Pack 3

2012-07-04

著作権

© 2012 SAP AG. All rights reserved. SAP、R/3、SAP NetWeaver、Duet、PartnerEdge、ByDesign、SAP BusinessObjects Explorer、StreamWork、SAP HANA、および本文書に記載されたその他の SAP 製品、サービス、ならびにそれぞれのロゴは、ドイツおよびその他の国々における SAP AG の商標または登録商標です。Business Objects および Business Objects ロゴ、BusinessObjects、Crystal Reports、Crystal Decisions、Web Intelligence、Xcelsius、および本書で引用されているその他の Business Objects 製品およびサービス、ならびにそれぞれのロゴも含めて、Business Objects Software Ltd. の商標または登録商標です。Business Objects は SAP の子会社です。Sybase および Adaptive Server、iAnywhere、Sybase 365、SQL Anywhere、および本書で引用されている Sybase 製品およびサービス、ならびにそれぞれのロゴも含めて、Sybase, Inc. の商標または登録商標です。Sybase は SAP の子会社です。Crossgate、m@gic EDDY、B2B 360°、B2B 360° Services は、ドイツおよびその他の国々における Crossgate AG の登録商標です。Crossgate は SAP の子会社です。本書に記載されたその他すべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。本書に記載されたデータは情報提供のみを目的として提供されています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。これらの文書の内容は、予告なしに変更されることがあります。これらの文書は SAP AG およびその関連会社（「SAP グループ」）が情報提供のためにのみ提供するもので、いかなる種類の表明および保証を伴うものではなく、SAP グループは文書に関する誤記・脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP グループの製品およびサービスに対する唯一の保証は、当該製品およびサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。

2012-07-04

目次

第 1 章	アドミニストレーションおよびセキュリティエラーメッセージ.....	47
1.1	アドミニストレーション (ADM) エラー.....	47
1.2	アドミニストレーションウィザード (ADW) エラーメッセージ.....	47
1.3	BIP フレームワークミドルウェア (FWM) エラーメッセージ.....	48
1.3.1	FWM 00001 ~ FWM 00009.....	48
1.3.2	FWM 01001 ~ FWM 01014.....	51
1.3.3	FWM 02001 ~ FWM 02124.....	54
1.3.4	FWM 04002 ~ FWM 04038.....	65
1.3.5	FWM 08001 ~ FWM 08006.....	69
1.3.6	FWM 10001 ~ FWM 10007.....	71
1.3.7	FWM 12001 ~ FWM 12013.....	72
1.3.8	FWM 14001 ~ FWM 14009.....	74
1.3.9	FWM 16001 ~ FWM 16005.....	76
1.3.10	FWM 17001 ~ FWM 17003.....	77
1.4	BI プラットフォームサーバ (FWB) に関するエラーメッセージ.....	78
1.4.1	FWB 00001 - FWB 00999.....	78
1.4.2	FWB 01000 - FWB 01999.....	97
1.4.3	FWB 02000 - FWB 02999.....	98
1.5	セキュリティ (USR) エラー.....	99
1.5.1	Designer を使用する権限がありません。(USR0006).....	99
第 2 章	Analysis edition for OLAP のエラー.....	101
2.1	AOC 00000 - 09999.....	101
2.1.1	元のワークスペースを置き換える際に問題が発生しました。もう一度実行するか、[名前を付けて保存] を使用してください。(AOC00001).....	101
2.1.2	ワークスペースの保存中に不明なエラーが発生しました。ワークスペースを保存できませんでした。(AOC00002).....	101
2.1.3	セッションが切断されたため、リクエストの処理が完了しませんでした。もう一度ログオンして再実行してください。(AOC00003).....	102
2.1.4	SAP BusinessObjects Analysis, edition for OLAP がワークスペースを開けませんでした。ワークスペースが破損しています。管理者に連絡してください。(AOC00005).....	102
2.1.5	SAP BusinessObjects Analysis, edition for OLAP が要求されたワークスペースを見つけられませんでした削除された可能性があります。(AOC00006).....	102
2.1.6	ワークスペースの復元中にエラーが発生しました。管理者に連絡してください。(AOC00007).....	102

2.1.7	SAP BusinessObjects Analysis, edition for OLAP がワークスペースを保存できませんでした。名前がありません。有効な名前を入力してから再試行してください。(AOC00008).....	103
2.1.8	SAP BusinessObjects Analysis, edition for OLAP がワークスペースを保存できませんでした。ワークスペースフォルダがありません。有効なフォルダを選択してから再試行してください。(AOC00009).....	103
2.1.9	このフォルダを保存する権限がありません。この権限を有効にする必要がある場合は、管理者に連絡してください。(AOC00011).....	103
2.1.10	Enterprise サーバから接続を取得しようとして、エラーが発生しました。サーバが実行中であることを管理者に確認してください。(AOC00012).....	103
2.1.11	接続を取得しようとして、エラーが発生しました。すべての接続は使用できませんでした。問題が解決しない場合は、管理者に連絡してください。(AOC00013).....	104
2.1.12	要求された操作を実行する権限がありません。サポートが必要な場合は、システム管理者に連絡してください。(AOC00018).....	104
2.1.13	セントラル管理コンソールで接続が定義されていないか、既存の接続を表示する権限がありません。詳細は管理者に問い合わせてください。(AOC00020).....	104
2.1.14	SAP BusinessObjects Analysis, edition for OLAP が最後のアクションを完了できませんでしたPlease try again.問題が解決しない場合は、管理者に連絡してください。(AOC00021).....	104
2.1.15	SAP BusinessObjects Analysis, edition for OLAP は “[0]” を削除できませんでした。分析は接続を失いました。(AOC00022).....	105
2.1.16	レポートパラメータの取得中にエラーが発生しました。この操作をもう一度実行してください。問題が解決しない場合は、管理者に連絡してください。(AOC00023).....	105
2.1.17	MDAS サービスが利用できないため、要求された操作は正常に完了しませんでした。この操作をもう一度実行してください。問題が解決しない場合は、管理者に連絡してください。(AOC00040).....	105
2.1.18	MDAS サービスでエラーが発生しました。(AOC00041).....	105
2.1.19	SAP BusinessObjects Analysis, edition for OLAP が接続を開けませんでした。(AOC00044).....	106
2.1.20	要求された操作は、クエリを無効な状態にするため、完了できませんでした。(AOC00045).....	106
2.1.21	要求された操作は、階層の競合により完了できませんでした。(AOC00046).....	106
2.1.22	クエリのサイズが大きすぎるため、要求された操作を正常に完了できませんでした。(AOC00047).....	106
	1	

第 4 章	整合性のチェックメッセージ (CIM).....	111
4.1	テーブル {0} にはプライマリキーがありません。(CIM 01100).....	111
4.2	テーブル {0} はどのテーブルにもリンクしていません。(CIM 01101).....	111
4.3	データファンデーション {1} で参照されているテーブル {0} は接続内にありません。(CIM 01102).....	112
4.4	新しい列 {0} が、接続からテーブル {1} で検出されました。(CIM 01103).....	112
4.5	テーブル {1} の列 {0} は接続内に存在しません。(CIM 01104).....	112
4.6	テーブル {1} の列 {0} に未決定のデータ型があります。(CIM 01105).....	112
4.7	テーブル {1} で参照されている列 {0} には接続と同じデータ型がありません。(CIM 01106).....	112
4.8	テーブル {1} で参照される計算列 {0} には、無効な SQL が含まれています。(CIM 01107).....	113
4.9	データファンデーション {1} のチェック済みテーブル {0} の接続が無効です。(CIM 01108).....	113
4.10	データファンデーション {1} の派生テーブル {0} の接続が無効です。(CIM 01109).....	113
4.11	データファンデーション {1} で取得されたテーブル {0} には空の式があります。(CIM 01110).....	113
4.12	データファンデーション {1} の派生テーブル {0} に無効な SQL 式があります。(CIM 01111).....	114
4.13	データファンデーション {1} のエイリアステーブル {0} の接続が無効です。(CIM 01112).....	114
4.14	データファンデーション {1} のエイリアステーブル {0} はどのテーブルも参照しません。(CIM 01113).....	114
4.15	エイリアステーブル {1} に参照されているテーブル {0} はデータファンデーション {2} に存在しません。(CIM 01114).....	114
4.16	テーブル {1} の計算列 {0} の接続が無効です。(CIM 01115).....	115
4.17	テーブル {1} の計算列 {0} の式が空です。(CIM 01116).....	115
4.18	テーブル {1} の計算列 {0} の式が無効です。(CIM 01117).....	115
4.19	接続 {0} は無効です: {1}。(CIM 01200).....	115
4.20	データファンデーション {1} の結合 {0} のテーブルには有効なリンクがありません。(CIM 01300).....	115
4.21	結合に含まれるテーブル {0} がデータファンデーション {1} に見つかりませんでした。(CIM 01301).....	116
4.22	結合に含まれる列 {0} がデータファンデーション {1} に見つかりませんでした。(CIM 01302).....	116
4.23	データファンデーション {1} の結合 {0} の接続が無効です。(CIM 01303).....	116
4.24	データファンデーション {1} の結合 {0} のカーディナリティが未決定です。(CIM 01304).....	116
4.25	データファンデーション {1} の結合 {0} には検出されたカーディナリティと異なるカーディナリティがあります。(CIM 01305).....	117
4.26	データファンデーション {1} のチェック済み結合 {0} の式が空です。(CIM 01306).....	117
4.27	データファンデーション {1} のチェック済み結合 {0} の式が正しく解析できません。(CIM 01307).....	117
4.28	ビジネスオブジェクト '{0}' をユニバースは所有していません。(CIM 01400).....	117
4.29	ビジネスオブジェクト '{0}' のバインディングは無効です。(CIM 01401).....	117
4.30	ビジネスオブジェクト '{0}' を実行できませんでした。オブジェクトのプロパティを確認してください。(CIM 01403).....	118
4.31	ビジネスオブジェクト '{0}' が無効です。(CIM 01405).....	118
4.32	解決順序の値は数字にする必要があります (CIM 01406).....	118
4.33	このメジャー名はビジネスレイヤですすでに使用されています。(CIM 01407).....	118
4.34	MDX 式はディメンション [MEASURES] を参照していません。(CIM 01409).....	119
4.35	階層を指定する必要があります。(CIM 01410).....	119
4.36	この名前は同じ階層内で計算メンバーがすでに使用しています。(CIM 01411).....	119

4.37	MDX 式は計算メンバーに割り当てられている階層を参照していません。(CIM 01412).....	119
4.38	階層を指定する必要があります。(CIM 01413).....	119
4.39	この名前は他の名前付きセットがすでに使用しています。(CIM 01414).....	120
4.40	MDX 式には "crossjoin" 演算子が含まれます。名前付きセットはクエリ時に予期しない動作をする場合があります。(CIM 01415).....	120
4.41	MDX 式は名前付きセットに割り当てられている階層を参照していません。(CIM 01416).....	120
4.42	言語の値は数字にする必要があります。(CIM 01417).....	120
4.43	@Variable 式が正しくありません。(CIM 01418).....	121
4.44	@Select 式が正しくありません。(CIM 01419).....	121
4.45	この名前は OLAP サーバで定義済みのメジャーがすでに使用しています (OLAP カタログで文字列 [Measures].[0] を検索)。(CIM 01420).....	121
4.46	この名前は OLAP サーバで定義済みの名前付きセットがすでに使用しています。(CIM 01421).....	121
4.47	データファンデーション "{1}" のチェック済みコンテキスト "{0}" にはループが含まれます。(CIM 01501).....	121
4.48	データファンデーション "{1}" のチェック済みコンテキスト "{0}" には、デカルト積を生成する除外結合が含まれます。(CIM 01502).....	122
4.49	値の一覧 "{0}" にはデータテーブルに少なくとも列が 1 つ必要です。(CIM 01601).....	122
4.50	値の一覧 "{0}" で、[使用前にフィルタを適用] オプションを False に設定する必要があります。(CIM 01602).....	122
4.51	値の一覧 "{0}" で、[自動更新] オプションを True に設定する必要があります。(CIM 01603).....	122
4.52	値の一覧 "{0}" で、[ユーザにデータベースの値の検索を許可する] オプションを False に設定する必要があります。(CIM 01604).....	123
4.53	値の一覧 "{0}" で、[クエリ実行のタイムアウト] オプションを無効にする必要があります。(CIM 01605).....	123
4.54	値の一覧 "{0}" で、[最大行数] オプションを無効にする必要があります。(CIM 01606).....	123
4.55	SQL 式が空ではないことをチェックします。(CIM 01607).....	123
4.56	値の一覧接続が使用できることを確認します。(CIM 01608).....	124
4.57	値の一覧データ構造が使用できることを確認します。(CIM 01609).....	124
4.58	値の一覧 "{0}" で、[ユーザにデータベースの値の検索を許可する] オプションを False に設定する必要があります。(CIM 01610).....	124
4.59	プロンプトには名前が必要です。(CIM 01611).....	124
4.60	プロンプト {0} には正しく設定されていないデータ型があります (文字列、数値、日付など)。(CIM 01612).....	125
4.61	プロンプト "{0}" にはプロンプト文が必要です。(CIM 01613).....	125
4.62	[キー値をリストから使用する] が有効になっている場合、[一覧から選択] オプションも有効にしておく必要があります。(CIM 01614).....	125
4.63	デフォルト値が空です。(CIM 01615).....	125
4.64	値の一覧が空です。(CIM 01616).....	126
4.65	"{0}" に空のクエリ定義があります。(CIM 01700).....	126
4.66	"{0}" のクエリ定義が解析できません。(CIM 01701).....	126
4.67	クエリ "{0}" にはクエリがありません。(CIM 01702).....	126
4.68	クエリ "{0}" がユニバースから見つからないオブジェクト ({1}) を参照しています。(CIM 01703).....	126
4.69	クエリ "{0}" には結果オブジェクトがありません。(CIM 01704).....	127

4.70	クエリ “[0]” が結果オブジェクト数が一致しないクエリを結合しました。(CIM 01705).....	127
4.71	“[0]” が見つかりませんでした (CIM 01800).....	127
4.72	“[0]” に破損した依存関係があります。(CIM 01801).....	127
4.73	未知の問題です。(CIM 02000).....	128
第 5 章	Crystal Reports Server (CRS) エラーメッセージ.....	129
5.1	CRS 200001 ~ CRS 200005.....	129
5.1.1	内部エラーが発生しました。システム管理者にお問い合わせください。(CRS 200001).....	129
5.1.2	メモリ不足エラー。システム管理者にお問い合わせください。(CRS 200002).....	129
5.1.3	ユーザに次の動作を実行する権限がないため、リクエストに失敗しました: [0]。(CRS 200003).....	130
5.1.4	サポートされていないランタイムの更新が検出されました。ユーザ固有のコンテンツをランタイムで追加することはできません。(CRS 200004).....	130
5.1.5	ドリルダウンできません。(CRS 200004) (CRS 200005).....	130
5.2	CRS 300001 ~ CRS 300024.....	130
5.2.1	内部エラーが発生しました。システム管理者にお問い合わせください。(CRS 300001).....	130
5.2.2	[0] (CRS 300002).....	131
5.2.3	[0] (CRS 300003).....	131
5.2.4	ディスクへエクスポートされたレポートの書き込み中にエラーが発生しました。(CRS 300004).....	131
5.2.5	BOE との通信中にエラーが発生しました: [0] (CRS 300005).....	131
5.2.6	バッチジョブの処理が失敗しました。(CRS 300006).....	131
5.2.7	グローバル配信ルールアラートの処理が失敗しました。(CRS 300007).....	132
5.2.8	ドキュメントを出力先に配信できません。(CRS 300008).....	132
5.2.9	パーソナライゼーションターゲットフィールド: [0] がレポートで見つかりません。(CRS 300009).....	132
5.2.10	BOE プロファイル値を非文字列パラメータフィールド: [0] にマッピングできません (CRS 300010).....	132
5.2.11	プロファイル式を非文字列パラメータフィールド: [0] にマッピングできません (CRS 300011).....	133
5.2.12	パラメータフィールド: [0] はオプションではありません。値の設定は必須です。(CRS 300012).....	133
5.2.13	パラメータフィールド: [0] には複数の値を入力できません。(CRS 300013).....	133
5.2.14	パラメータフィールド: [0] は使用されており、値が必要です。(CRS 300014).....	133
5.2.15	パラメータフィールド: [0] には NULL 値を入力できません。(CRS 300015).....	133
5.2.16	パブリケーションソースドキュメントに保存データがありませんが、保存データは必須です。(CRS 300016).....	134
5.2.17	プロファイル値タイプをフィールド: [0] のレポートフィールドタイプに変換できません (CRS 300017).....	134
5.2.18	データパラメータ: [0] でパーソナライズを行うと、潜在的にパフォーマンスが低下して、受信者ごとに 1 データベースが最新表示されます。(CRS 300018).....	134
5.2.19	論理値グループパラメータ: [0] をパーソナライズできません。論理値グループのパラメータのパーソナライズはサポートされていません。(CRS 300019).....	134
5.2.20	ユーザにドキュメントの印刷権限がありません。(CRS 300020).....	135
5.2.21	ユーザにはドキュメントのダウンロード権限がなく、デフォルトの Enterprise の場所と受信ボックス出力先に対するスケジュール権限しかありません。(CRS 300021).....	135
5.2.22	多言語レポートをスケジュールできませんでした。(CRS 300022).....	135
5.2.23	レポート内のアラートを生成できませんでした。(CRS 300023).....	135

5.2.24	ドキュメントが、ユーザ固有のセキュリティを持つセマンティックレイヤに基づいているため、パブリケーションを実行できません。また、パブリケーションは受信者ごとのバーストモードを使用していません。(CRS 300024).....	136
第 6 章	チェックセキュリティマッピング (CSM) のエラーメッセージ.....	137
6.1	チェック済みデータセキュリティプロファイル “[0]” には、無効なデータファンデーションが含まれています。データファンデーションが存在するか、少なくともテーブルが 1 つ含まれていることを確認してください。(CSM 00001).....	137
6.2	チェック済みデータセキュリティプロファイル “[0]” の行制限には、データファンデーションで定義されていない制限付きテーブルが含まれています。行制限の定義を修正してください。(CSM 00002).....	137
6.3	チェック済みデータセキュリティプロファイル “[0]” の行制限には、未定義の制限付きテーブルが含まれています。新しい制限付きテーブルを定義してください。(CSM 00003).....	138
6.4	チェック済みデータセキュリティプロファイル “[0]” のテーブルマッピングには、データファンデーションで定義されていない元のテーブル “[1]” が含まれています。元のテーブルの定義を確認してください。(CSM 00004).....	138
6.5	チェック済みデータセキュリティプロファイル “[0]” のテーブルマッピングには、未定義の置換テーブルが含まれています。元のテーブル “[1]” に対する新しい有効な置換テーブルを定義してください。(CSM 00005).....	138
6.6	チェック済みデータセキュリティプロファイル “[0]” のテーブルマッピングには、エイリアスである置換テーブル “[1]” が含まれています。エイリアステーブルは、置換テーブルとしてサポートされていません。(CSM 00006).....	138
6.7	チェック済みデータセキュリティプロファイル “[0]” のテーブルマッピングには、派生テーブルである置換テーブル “[1]” が含まれています。派生テーブルは、置換テーブルとしてサポートされていません。(CSM 00007).....	139
6.8	チェック済みデータセキュリティプロファイル “[0]” の接続マッピングには、データファンデーションでデータソースとして定義されていない元の接続が含まれています。元の接続の定義を確認してください。(CSM 00008).....	139
6.9	チェック済みデータセキュリティプロファイル “[0]” の接続マッピングには、未定義の元の接続が含まれています。元の接続を再定義してください。(CSM 00009).....	139
6.10	チェック済みデータセキュリティプロファイル “[0]” の接続マッピングには、未定義の置換接続が含まれています。元の接続 “[1]” に対する新しい有効な置換接続を定義してください。(CSM 00010).....	140
6.11	データセキュリティプロファイル “[0]” の行制限の SQL の WHERE 句が不完全です。行を制限する有効な SQL 文を入力してください。(CSM 00011).....	140
6.12	データセキュリティプロファイル “[0]” の行制限条件の SQL の WHERE 句が有効ではありません。有効な SQL 文を入力してください。(CSM 00012).....	140
6.13	ビジネスセキュリティプロファイル “[0]” には、無効なユニバース参照が含まれています。新しいユニバースにビジネスセキュリティプロファイル “[0]” を再定義してください。(CSM 00101).....	140
6.14	ビジネスセキュリティプロファイル “[0]” は、ユニバース “[1]” から削除されている拒否されたオブジェクトを参照しています。ビジネスセキュリティプロファイルを編集して、[クエリの作成] パネルからオブジェクトを削除してください。(CSM 00102).....	141
6.15	ビジネスセキュリティプロファイル “[0]” は、ユニバース “[1]” から削除されている許可されたオブジェクトを参照しています。ビジネスセキュリティプロファイルを編集して、[データの表示] パネルからオブジェクトを削除してください。(CSM 00103).....	141
6.16	ビジネスセキュリティプロファイル “[0]” は、ユニバース “[1]” から削除されている拒否されたビューを参照しています。ビジネスセキュリティプロファイルを編集して、[クエリの作成] パネルからビューを削除してください。(CSM 00104).....	141

6.17	ビジネスセキュリティプロファイル “[0]” は、ユニバース “[1]” から削除されている許可されたビューを参照しています。ビジネスセキュリティプロファイルを編集して、[クエリの作成] パネルからビューを削除してください。(CSM 00105).....	141
6.18	ビジネスセキュリティプロファイル “[0]” は、ユニバース “[1]” から削除されている拒否されたオブジェクトを参照しています。ビジネスセキュリティプロファイルを編集して、[データの表示] 設定からオブジェクトを削除してください。(CSM 00106).....	142
6.19	ビジネスセキュリティプロファイル “[0]” は、ユニバース “[1]” から削除されている許可されたオブジェクトを参照しています。ビジネスセキュリティプロファイルを編集して、[データの表示] パネルからオブジェクトを削除してください。(CSM 00107).....	142
6.20	ビジネスセキュリティプロファイル “[0]” は、ユニバース “[1]” から削除されているフィルタを参照しています。ビジネスセキュリティプロファイルを編集して、[フィルタ] パネルからフィルタを削除してください。(CSM 00108).....	142
6.21	ビジネスセキュリティプロファイル “[0]” には、無効なクエリ定義のフィルタ “[1]” が含まれています。ビジネスセキュリティプロファイルで正しいクエリ定義のフィルタを再定義してください。(CSM 00109).....	143
6.22	ビジネスセキュリティプロファイル “[0]” は、ユニバース “[1]” から削除されている名前付きセットを参照しています。ビジネスセキュリティプロファイルを編集して、[フィルタ] パネルから名前付きセットを削除してください。(CSM 00110).....	143
6.23	ビジネスセキュリティプロファイル “[0]” には、階層の割り当てがない名前付きセット “[1]” が含まれています。ビジネスセキュリティプロファイルで正しい階層の名前付きセットを再定義してください。(CSM 00111).....	143
6.24	ビジネスセキュリティプロファイル “[0]” には、ユニバース “[2]” から削除された階層の名前付きセット “[1]” が含まれています。ビジネスセキュリティプロファイルで正しい階層の名前付きセットを再定義してください。(CSM 00112).....	143
第 7 章	データアクセスエラーメッセージ	145
7.1	データベース (DA) エラーメッセージ.....	145
7.1.1	接続エラーまたは SQL 文エラー: (DA0005).....	145
7.1.2	BLOB 列は 1 行以上フェッチできません。(DA0009).....	146
7.1.3	ユニバースのオブジェクトがいくつか存在しないか、または曖昧です。このユニバースにクエリは実行できません。(DA0010).....	146
7.2	データプロバイダ (DMA) エラーメッセージ.....	146
7.2.1	階層構造名が不正です (DMA0002).....	147
7.2.2	エクスポート失敗 (DMA0005).....	147
7.2.3	このデータプロバイダの編集には、BusinessObjects のインストールされていないコンポーネントが必要です。システム管理者に連絡してください (DMA0006).....	148
7.2.4	次のデータプロバイダを最新表示できませんでした: (DMA0007).....	148
7.2.5	変数が原因で、データプロバイダを最新表示できませんでした。(DMA0008).....	149
7.3	ファイル (DPP) に関するエラーメッセージ.....	149
7.3.1	ファイルを開くことができません。(DPP0001).....	149
7.3.2	ストアドプロシージャを使用する権限がありません。(DPP0002).....	150
7.4	接続 (DPQ) に関するエラーメッセージ.....	150
7.4.1	接続が定義されていません。(DPQ0001).....	150
7.4.2	サーバが応答しません。(DPQ0003).....	151
7.4.3	接続の問題: (DPQ0005).....	151

7.4.4	が存在しません。(DPQ0006).....	151
7.5	ストアドプロシージャ(DPS)エラーメッセージ.....	152
7.5.1	このストアドプロシージャは削除されました。(DPS0001).....	152
7.5.2	ストアドプロシージャを使用する権限がありません。(DPS0002).....	152
7.6	SQL (QPF)エラーメッセージ.....	153
7.6.1	承認されている SQL コマンドは「選択」のみです。(QPF0001).....	153
7.7	SQL クエリ(QP)に関するエラーメッセージ.....	153
7.7.1	SQL 文生成中にエラーが発生しました。(QP0001).....	154
7.7.2	SQL 文生成中に内部メモリエラーが発生しました。(QP0002).....	154
7.7.3	SQL 文の生成中にメモリエラーが発生しました。(QP0003).....	154
7.7.4	オブジェクトのこの組み合わせは成立しません。(QP0004).....	154
7.7.5	外部結合に整合性がありません。(QP0005).....	155
7.7.6	デカルト積は使用できません。(QP0006).....	155
7.7.7	クエリがテーブルを参照していません。(QP0007).....	155
7.7.8	削除されたテーブルへの参照があります。(QP0008).....	155
7.7.9	クエリ内に無効なオブジェクトがあります。(QP0009).....	156
7.7.10	クエリ内に無効なプロパティがあります。(QP0010).....	156
7.7.11	.PRM ファイルが見つかりません。(QP0011).....	156
7.7.12	複合条件によりデカルト積が作成されました。(QP0013).....	156
7.7.13	複合条件内にループがあります。(QP0014).....	157
7.7.14	クエリが複雑すぎます。互換性のないオブジェクトを含んだサブクエリがあります。(QP0015).....	157
7.7.15	サーバが応答しません。(QP0016).....	157
7.7.16	SELECT 句の列が結果オブジェクトと一致しません。(QP0017).....	158
7.7.17	変数に構文エラーがあります。(QP0018).....	158
7.7.18	オブジェクトを使う権限がありません。(QP0019).....	159
7.7.19	アグリゲート認識の解決に失敗しました。(QP0020).....	159
7.7.20	メジャーの条件が曖昧です。削除するか分析範囲を取り消してください。(QP0021).....	160
7.7.21	結果オブジェクトが少なくとも 1 つ含まれるまでは新規タブを作成できません。(QP0022).....	160
7.7.22	サブクエリ同士は組み合わせられません。(QP0023).....	160
7.7.23	このクエリは削除できません。まず条件を削除してください。(QP0025).....	160
7.7.24	使用されていないオブジェクトをクエリから削除しました。(QP0027).....	161
第 8 章	データフェデレーション (DFA) のエラーメッセージ.....	163
8.1	データフェデレーションドライバが見つかりません。(DFA 0003).....	163
8.2	カタログのメタデータの取得中に問題が発生しました。(DFA 00010).....	163
8.3	次の URL のドライバプロパティを取得できません: '{0}' (DFA 0030).....	163
8.4	内部エラーが発生しました。(DFA 20001).....	164
8.5	カタログのメタデータの取得中に問題が発生しました。(DFA 30001).....	164
8.6	データフェデレーションサービスをホストするサーバに接続できません。(DFA 40001).....	164
8.7	データフェデレーションドライバが見つかりません。(DFA 40002).....	164
8.8	次の URL のドライバプロパティを取得できません: '{0}' (DFA 40003).....	164

8.9	接続 ID の取得中にエラーが発生しました。(DFA 40004).....	165
8.10	データフェデレーションクエリエンジンでクエリの説明中にエラーが発生しました。(DFA 50001)....	165
8.11	データフェデレーションサービスから関数の一覧を取得できません。(DFA 50002).....	165
8.12	データフェデレーションクエリエンジンでクエリの実行中にエラーが発生しました。(DFA 50003)....	165
8.13	データフェデレーションサービスから返された XML 結果で XPath クエリを実行中にエラーが発生しました。(DFA 50004).....	166
8.14	データフェデレーションサービスから返された XML の解析中にエラーが発生しました。(DFA 50005).....	166
8.15	クエリの準備中にエラーが発生しました。(DFA 50006).....	166
8.16	システムプロパティを取得できません。(DFA 60001).....	166
8.17	クエリのキャンセル中にエラーが発生しました。(DFA 50007).....	167
8.18	表示する行が多すぎます。表示できる最大数は '999' です。(DFA 50008).....	167
8.19	コネクタ '{0}' の設定をリセットできません。(DFA 60002).....	167
8.20	コネクタ '{0}' の設定を取得できません。(DFA 60003).....	167
8.21	コネクタ '{0}' の設定を更新できません。(DFA 60004).....	168
8.22	コネクタ '{0}' を Ping できません。(DFA 60005).....	168
8.23	コネクタ '{0}' 機能を取得できません。(DFA 60006).....	168
8.24	データフェデレーションサービスから統計情報を取得できません。(DFA 70001).....	168
8.25	統計情報を更新できません。(DFA 70002).....	169
8.26	システムパラメータを取得できません。(DFA 80002).....	169
8.27	セッションパラメータを取得できません。(DFA 80003).....	169
8.28	スタートアップパラメータを取得できません。(DFA 80004).....	169
8.29	システムパラメータ '{0}' を更新できません。(DFA 80005).....	170
8.30	セッションパラメータ '{0}' を更新できません。(DFA 80006).....	170
8.31	システムパラメータのデフォルト値を復元できません。(DFA 80007).....	170
第 9 章	ドキュメントとユニバース交換エラーメッセージ	171
9.1	カテゴリ (CAT) に関するエラーメッセージ.....	171
9.1.1	カテゴリ名に無効な文字が含まれています。有効な文字は次のとおりです。(CAT0001).....	171
9.2	ドキュメント交換 (DX) エラーメッセージ.....	171
9.2.1	一時ファイルを作成できません。(DX0001).....	172
9.2.2	このワークステーションのファイルにはセキュリティ設定を適用できません。(DX0002).....	172
9.2.3	RSS ファイルにアクセスできません。(DX0003).....	172
9.2.4	不正な SQL 文が使用されました。(DX0004).....	173
9.2.5	インポート中にエラーが発生しました。(DX0005).....	173
9.2.6	インポート中にエラーが発生しました。(DX0007).....	173
9.2.7	<ドキュメント>のインポート中に不明なエラーが発生しました。インポートはキャンセルされました。<ドキュメント>をインポートできません。(DX0009).....	174
9.2.8	<ドキュメント>を閉じることができません。インポートはキャンセルされました。<ドキュメント>をインポートできません。(DX0010).....	174
9.2.9	<ドキュメント>に関連したファイルを作成できません。インポートはキャンセルされました。<ドキュメント>をインポートできません。(DX0011).....	175

9.2.10	以前のファイルを削除できません。インポートはキャンセルされました。〈ドキュメント〉をインポートできません。(DX0012).....	175
9.2.11	〈ドキュメント〉に書き込めません。インポートはキャンセルされました。〈ドキュメント〉をインポートできません。(DX0014).....	176
9.2.12	ファイルは削除できません。(DX0017).....	176
9.2.13	ファイル名はこのワークステーションでは使えないファイル名です。変更してください。(DX0018).....	176
9.2.14	セキュリティファイル〈ドキュメント〉のエクスポートが要求されましたが、この操作は許可されていません。〈ドキュメント〉のエクスポートは中止されました。(DX0022).....	176
9.2.15	〈ドキュメント〉のエクスポート中に不明なエラーが発生しました。処理を中止しました。〈ドキュメント〉はエクスポートされませんでした。(DX0024).....	177
9.2.16	〈ドキュメント〉のエクスポート中にデータベースエラーが発生しました。処理を中止しました。〈ドキュメント〉はエクスポートされませんでした。(DX0025).....	177
9.2.17	〈ドキュメント〉のエクスポート中にブレイクが発生しました。〈ドキュメント〉はエクスポートされませんでした。(DX0026).....	178
9.2.18	〈ドキュメント〉に関連付けられたファイルを開くことができません。〈ドキュメント〉はエクスポートされませんでした。(DX0027).....	178
9.2.19	dll をロードできません。Microsoft Exchange が正しくインストールされているかチェックしてください。(DX0037).....	178
9.2.20	〈ドキュメント〉に関連付けられたファイルを開くことができません。(DX0040).....	178
9.2.21	メッセージを送信できません。(DX0041).....	179
9.2.22	このドキュメントのプロパティを取得できませんでした。(DX0044).....	179
9.2.23	DB エラー (DX0045).....	179
9.2.24	ドキュメントドメインが応答しません。(DX0046).....	180
9.2.25	このドキュメントをインポートするには新しいバージョンの BusinessObjects が必要です。(DX0047).....	180
9.2.26	ドキュメントの削除に失敗しました。(DX 00050).....	180
9.3	ユニバース交換 (UX) エラーメッセージ.....	180
9.3.1	UX0001 - UX0019.....	181
9.3.2	UX0020 - UX0039.....	183
9.3.3	UX0040 - UX0049.....	186
9.3.4	UX0050 - UX0059.....	190
9.3.5	UX0060 - UX0071.....	193
第 10 章	Enterprise アプリケーションエラー.....	199
10.1	Enterprise アプリケーション - SAP (EAS) エラー.....	199
10.1.1	EAS 10001 - 10010.....	199
10.1.2	EAS 30001.....	202
第 11 章	公開 (FBE) エラー.....	203
11.1	FBE 40000 - 49999.....	203
11.1.1	メソッド {0} は NULL に設定されたパラメータ {1} で呼び出されました。このパラメータを初期化してください。(FBE42001).....	203

11.1.2	クラス {0} のポスト処理プラグインが見つかりませんでした。パブリケーションを適切に設定しましたか?(FBE42003).....	203
11.1.3	アーティファクトファイルをダウンロードできません。FRS がアクセス可能で、ファイルアクセス権限が適切に設定されていますか?(FBE42008).....	204
11.1.4	パブリケーションの OnPostProcessPersonalizedDocs プラグインがマージ形式 (CeMergedFormat) に対して定義されていません: {0}。パブリケーションを適切に設定しましたか?(FBE42009).....	204
11.1.5	アーティファクトを ZIP ファイル {0} にマージしようとして IO エラーが発生しました。ファイルアクセス権限が適切に設定されていますか?(FBE42014).....	204
11.1.6	ID {0} のパブリケーションインスタンスはすでに処理され、最初の実行が完了するまで再起動できません。(FBE42016).....	204
11.1.7	空のグローバル配信ルール式が指定されています。パブリケーションを正しく設定していますか?(FBE42017).....	205
11.1.8	CUID {0} のグローバル配信ルールドキュメントは無効です。パブリケーションを正しく設定していますか?(FBE42018).....	205
11.1.9	ID {0} のパブリケーションがソースドキュメントにアクセスできません。パブリケーションを適切に設定しましたか?(FBE42033).....	205
11.1.10	ID {0} のドキュメントは IPublicationInfo インタフェースを使用せず、このパブリケーションと共に処理できません。(FBE42034).....	205
11.1.11	BusinessObjects レポートエンジンは指定されたレポートタイプ {0} を処理できませんでした。(FBE42042).....	206
11.1.12	配布中に CUID {0} の静的ドキュメントが見つかりません。パブリケーションを適切に設定しましたか?(FBE42044).....	206
11.1.13	配布中に ID {0} のパブリケーション アーティファクトが見つかりません。(FBE42045).....	206
11.1.14	prog ID {0} の出力先プラグインが見つかりません。パブリケーションを適切に設定しましたか?(FBE42046).....	206
11.1.15	データプロバイダのデータに最後に処理された受信者 {0} が見つかりません。最後に実行されてからデータベースが変更された場合は、パブリケーションを再スケジュールしてください。(FBE42048).....	207
11.1.16	クラス {0} のポスト配布プラグインを実行できませんでした。プラグインを適切に設定しましたか?(FBE42049).....	207
11.1.17	MHTML ドキュメントをマージできません。(FBE42050).....	207
11.1.18	MHTML ドキュメントの HTML 部分が見つかりません。(FBE42051).....	207
11.1.19	ID {1} のプロファイルに対して ID {0} のプリンシパルから有効なプロファイル値を見つけることができませんでした。(FBE42052).....	208
11.1.20	グローバル配信ルールドキュメントのスケジューリングに失敗しました。(FBE42055).....	208
11.1.21	ソースドキュメントへのアクセス権限が不十分なため、ID {1} のパブリケーションの ID {0} のドキュメントをスケジュールできません。(FBE42056).....	208
11.1.22	ユーザまたはグループ ID {1} およびプロファイル ID {2} のドキュメントタイプ "{0}" のプロファイルフィルタ式が見つかりません。管理者がセントラル管理コンソールのプロファイルのドキュメントタイプ "{0}" のフィルタ式を設定していることを確認してください。(FBE42057).....	208
11.1.23	MHTML ドキュメントをダウンロードできません。管理者に連絡して、Central Management Server と Input/Output File Repository Server サーバが正しく実行されていることを確認してください。(FBE42058).....	209
11.1.24	CMS に管理ログをアップロードできませんでした: {0} (FBE42059).....	209
11.1.25	Enterprise ユーザ名 "{1}" が動的受信者 "{0}" に指定されていましたが、このユーザ名の Enterprise ユーザは存在しません。(FBE42060).....	209

11.1.26	ID “[0]” の動的受信者として複数の Enterprise ユーザ名が指定されていました。1 つの動的受信者に対しては、1 つの Enterprise ユーザ名しか指定できません。(FBE42061).....	209
11.1.27	ID {0} のパブリケーション処理の待機中に、予期せずタスクが中断されました。(FBE42062).....	210
11.1.28	ID “[0]”、名前 “[1]”、種類 “[2]” のドキュメントのプロセスに対するサービスインスタンスが見つかりませんでした。(FBE42063).....	210
11.1.29	ID “[2]” のサーバでホストされる ID “[0]”、名前 “[1]” のサービスで、maxJobs プロパティが指定されません。(FBE42064).....	210
11.1.30	ID “[0]”、名前 “[1]” のサービスのサービスホストが見つかりません。(FBE42066).....	210
11.1.31	ジョブステータスの StatusMonitor クエリは ID “[0]” のジョブの結果を返しません。オブジェクトは削除されていますか?(FBE42067).....	211
11.2	FBE 60000 – 69999.....	211
11.2.1	InfoStore サービスが見つかりません。CMS は実行され、正しく設定されていますか?(FBE 60002).....	211
11.2.2	SDKException がキャッチされました。CMS は実行され、正しく設定されていますか?(FBE 60003).....	211
11.2.3	パブリケーションインスタンス {0} のパブリケーション送信元 ID を決定できません (ID: {1}) – 処理を続行できません。パブリケーションを適切に設定しましたか?(FBE 60004).....	211
11.2.4	送信先 {0} への配布は失敗しました。受信者: {1}、ドキュメントスコープ: {2}。{3} (FBE 60013).....	212
11.2.5	ID {0} のスコープバッチ内で配布可能なドキュメントが見つかりません。パブリケーションの設定をチェックし、CMS が実行されているか確認してください。(FBE 60016).....	212
11.2.6	サポートされない出力先の種類: {0}。パブリケーションを正しく設定していますか?(FBE 60019).....	212
11.2.7	SI_ID {0} のスコープバッチでポスト配布イベントハンドラを完了できませんでした。パブリケーションを正しく設定していますか?(FBE 60022).....	212
11.2.8	SI_ID {1}、スコープ {2} のスコープバッチの ID {0} の静的ドキュメントが見つかりません。(FBE 60025).....	213
11.2.9	ID {2} で、スコープ {3} のスコープバッチでソースドキュメント SI_ID が {0}、フォーマットが {1} のパブリケーションドキュメントは見つかりません。(FBE 60026).....	213
11.2.10	プラグイン {0} のプラグイン設定が無効です。パブリケーションを正しく設定していますか?(FBE 60027).....	213
11.2.11	スコープバッチ {1} のポスト配布プラグイン {0} が実行できませんでした。[受信者 “[2]” ~ “[3]”]。(FBE 60029).....	213
11.2.12	ID {1} のスコープバッチオブジェクトの ID {0} のアーティファクトには、View/ViewInstance 権限を付与できません。すべて正しく設定されていますか?(FBE 60033).....	214
11.2.13	ID {0} で、スコープ {1} のスコープバッチ内で配布ドキュメントは見つかりません。(FBE 60034).....	214
11.2.14	Enterprise 受信者 “[0]” (ID {1}) にパブリケーションを購読する権限がないため、アーティファクトを配布できません。この権限が与えられるように、BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム管理者に問い合わせてください。(FBE 60036).....	214
11.2.15	配布ジョブの完了を待機しています。ジョブ ID: %1、名前: %2、種類: %4 の状態の %3 (FBE 60037).....	214
11.2.16	SMTP オプションの宛先アドレスと CC アドレスが指定されていません。アドレスを指定せずに電子メールを配信すると失敗します。宛先アドレスと CC アドレスには、電子メールアドレスまたは %SI_EMAIL_ADDRESS% プレースホルダのいずれかを含める必要があります。(FBE 60038).....	215
11.2.17	%SI_EMAIL_ADDRESS% プレースホルダを置き換えようとしたますが、ユーザ名が “[0]” の受信者の電子メールアドレスが空であるか見つかりません。(FBE 60039).....	215
11.2.18	監査が有効であるため、スコープバッチとアーティファクトのクリーンアップをスキップしています。(FBE 60040).....	215

11.2.19	MHTML ドキュメントをダウンロードできません。管理者に連絡して、Central Management Server と Input/Output File Repository Server サーバが正しく実行されていることを確認してください。(FBE 60041).....	216
11.2.20	ID {1} のグローバル配信ルールドキュメントに指定された式 {0} が無効です。グローバル配信ルールチェックを続行できません。パブリケーションは正しく設定されていますか?(FBE 60100).....	216
11.2.21	ID {0} のパブリケーショングローバル配信ルールドキュメントが無効です。パブリケーションは正しく設定されていますか?(FBE 60101).....	216
11.2.22	ID {0} のグローバル配信ルールドキュメントをスケジュールできませんでした: {1} (FBE 60105).....	216
11.2.23	ID {0} のグローバル配信ドキュメントをクエリできません。(FBE 60106).....	217
11.2.24	グローバル配信ルールジョブの完了を待機しています。ジョブ ID: %1、名前: %2、種類: %4 の状態の %3 (FBE 60107).....	217
11.2.25	ポスト処理プラグインでエラーが発生しました。プラグインクラス {0} をインスタンス化できません。(FBE 60208).....	217
11.2.26	公開サービスは開始されていないか、パブリケーションジョブの実行中に再開されています。(FBE 60211).....	217
11.2.27	WebI パブリケーションでは、“すべての受信者のデータベース フェッチ”および“受信者ごとのデータベース フェッチ”のバースト方法のみサポートされます。(FBE 60212).....	218
11.2.28	このパブリケーションは、システムにはもう存在しない ID {0} のプロファイルオブジェクトを参照します。(FBE 60213).....	218
11.2.29	ID {1}、スコープ {2} のスコープバッチの ID {0} の静的ドキュメントが見つかりません。(FBE 60216).....	218
11.2.30	ID {2} で、スコープ {3} のスコープバッチでソースドキュメント ID が {0}、フォーマットが {1} のパブリケーションドキュメントは見つかりません。(FBE 60217).....	218
11.2.31	ID {2} で、ID {1} のスコープバッチのプラグインアーティファクト {0} は、出力先を指定していません。(FBE 60218).....	219
11.2.32	ID {2} のスコープバッチに対する ID {1} のアーティファクト {0} には、配布するのに十分な情報が含まれていません。(FBE 60219).....	219
11.2.33	ID {0} のスコープバッチのドキュメントオブジェクトを取得中にエラーが発生しました。(FBE 60220).....	219
11.2.34	このパブリケーションでサポートされていないバーストモードが選択されました。(FBE 60224).....	219
11.2.35	{0} パブリケーションは、“すべての受信者のデータベースフェッチ” バースト方法をサポートしていません。(FBE 60225).....	220
11.2.36	{0} パブリケーションは、“受信者のバッチごとのデータベースフェッチ” バースト方法をサポートしていません。(FBE 60226).....	220
11.2.37	{0} パブリケーションは、“受信者ごとのデータベースフェッチ” バースト方法をサポートしていません。(FBE 60227).....	220
11.2.38	{0} パブリケーションは、選択したバースト方法をサポートしていません。(FBE 60228).....	220
11.2.39	プリンシパル {0} の再配布を実行できません。このプリンシパルは元のパブリケーション受信者ではありません。(FBE 60314).....	221
11.2.40	動的受信者 {0} の再配布を実行できません。これらの受信者は元のパブリケーション受信者ではありません。(FBE 60315).....	221
11.2.41	ユーザまたはグループ '{1}' (ID: {2}) とプロファイル '{3}' (ID: {4}) に対して、ドキュメントの種類 "{0}" のプロファイルフィルタ式が見つかりません。管理者がセントラル管理コンソールで、プロファイルのドキュメントの種類 "{0}" に対するフィルタ式を設定したか確認してください。(FBE 60317).....	221
11.2.42	パブリケーションをスケジュールしたユーザは、ID が {0} の Enterprise 受信者主体に対する表示権限がありません。(FBE 60318).....	221

11.2.43	パブリケーションをスケジュールしたユーザには、ID が {0} の除外された Enterprise 受信者主体に対する表示権限がありません。(FBE 60319).....	222
11.2.44	パブリケーションをスケジュールしたユーザには、ID が {0} のプロフィールに対する表示権限がありません。(FBE 60320).....	222
11.2.45	パブリケーションをスケジュールしたユーザには、主体 '{1}' (ID {2}) の親グループである、ID が {0} のグループに対する表示権限がありません。このグループおよびその親グループのプロファイル値は適用されません。(FBE 60321).....	222
11.2.46	パブリケーションごとの受信者制限 {0} に達しました。ID {2} のユーザ {1} は処理されませんでした。(FBE 60322).....	223
11.2.47	アーティファクトがデフォルトの Enterprise の場所に配布されなかったため、ID {0} のパブリケーションインスタンスを再配布できません。(FBE 60323).....	223
11.2.48	SI_ID {0} の正確なパブリケーションまたは SI_ID {1} の正確なスコープバッチ (あるいはその両方) が見つかりません。パブリケーションは正しく設定され、CMS は実行されていますか?(FBE 60400).....	223
11.2.49	ポスト処理中に例外がキャッチされました。(FBE 60401).....	223
11.2.50	ポスト処理パブリケーションイベントハンドラを取得できません。ポスト処理はスキップされます。(FBE 60402).....	224
11.2.51	SI_ID {0} のスコープバッチ内でスコープが見つかりません。すべて正しく設定されていますか?(FBE 60404).....	224
11.2.52	ポスト処理プラグインでエラーが発生しました。プラグインクラス {0} は例外をスローしました。(FBE 60405).....	224
11.2.53	ポスト処理プラグインクラス {0} は NULL またはゼロの info オブジェクトのセットを返しました。(FBE 60406).....	224
11.2.54	指定されたクラス名 {0} と一致するポスト処理プラグインが見つかりません。(FBE 60408).....	225
11.2.55	プラグイン生成のアーティファクトが作成されましたが、IPublicationInfo を実装していません。アーティファクトは適切に配布されない可能性があります: タイトル = '{0}'、種類 = '{1}' (FBE 60409).....	225
11.2.56	ポスト処理プラグインクラス {0} で作成されたプラグイン生成のアーティファクトをコミット中に例外がキャッチされました。(FBE 60410).....	225
11.2.57	ポスト処理プラグインクラス {1} の progID {0} のプラグインで生成したアーティファクトを作成中に例外がキャッチされました。(FBE 60411).....	225
11.2.58	次のコンテキストのアーティファクトと静的ドキュメントを取得中に例外が発生しました: ScopeBatch = {0}、送信先 = {1}、プラグインクラス = {2} (FBE 60412).....	226
11.2.59	次のコンテキストでアーティファクトと静的ドキュメントをソースドキュメントの順序に従って並べ替えているときに例外が発生しました: ScopeBatch = {0}、出力先 = {1}、プラグインクラス = {2} (FBE 60413).....	226
11.2.60	パブリケーションのソースドキュメントを取得しようとしたときに例外が発生しました。(FBE 60414).....	226
11.2.61	パブリケーションのソースドキュメントとしてリストされていない、SI_ID: {0} のスコープレベルのドキュメントをポスト処理はスキップしています。パブリケーションを正しく設定していますか?(FBE 60415).....	226
11.2.62	ドキュメントジョブ "{2}" (ID: {0}) のスケジュールに失敗しました: {1} (FBE 60502).....	227
11.2.63	パブリケーション内にはスケジュール可能なドキュメントがありません。(FBE 60503).....	227
11.2.64	パブリケーションのドキュメントの一覧には空の値が含まれています。すべて正しく設定されていますか?(FBE 60504).....	227
11.2.65	ドキュメント '{0}' は、無効なパブリケーションドキュメントなので公開できません。(FBE 60505).....	227
11.2.66	ドキュメントのフィールドマッピングをターゲットドキュメントに追加できません。すべて正しく設定されていますか?(FBE 60506).....	228

11.2.67	ドキュメント “[0]” には、状態情報を含む 1 つのインスタンスが含まれていません。インスタンスが 0 または 1 より大きい、インスタンスを取得できません。(FBE 60507).....	228
11.2.68	スケジューリングジョブの完了を待機しています。ジョブ ID: %1、名前: %2、種類: %4 の状態の %3 (FBE 60509).....	228
11.2.69	ドキュメントジョブ “[0]” (ID {1}) の実行中の警告: {2} (FBE 60510).....	228
11.2.70	ドキュメント “[0]” (ID {1}): {2} の処理中にエラーが発生しました (FBE 60512).....	229
11.2.71	ドキュメント処理中の警告 “[0]” (ID {1}): {2} (FBE 60513).....	229
11.2.72	パラメータが無効なため、ドキュメント処理を開始できませんでした (FBE 60600).....	229
11.2.73	プラグインの種類 [0] はパブリケーションの処理を実行できませんでした。(FBE 60601).....	229
11.2.74	{0} 例外、メッセージ: {1} (FBE 60602).....	229
第 12 章	GUI エラーメッセージ.....	231
12.1	GUI (GUI) に関するエラーメッセージ.....	231
12.1.1	ファイル名に使えない文字が含まれています。(GUI0003).....	231
12.1.2	ファイルが見つかりません。ファイル名が正しいかどうか確認してください。(GUI0005).....	231
12.1.3	<名前> パスが見つかりません。パス名が正しいかどうか確認してください。(GUI0006).....	232
第 13 章	インフォメーションデザインツール (IDT) のエラーメッセージ.....	233
13.1	00 メッセージ (セキュリティログイン、認証、CMS およびセッション).....	233
13.1.1	リポジトリのフォルダ {0} におけるリソースの公開または共有中に問題が発生しました。(IDT 00420).....	233
13.1.2	フォルダ {0} でユニバースファイルを作成できません。(IDT 00425).....	234
13.1.3	リポジトリのリソース {0} へのアクセス中にエラーが発生しました。(IDT 00630).....	234
13.1.4	リポジトリからユニバース {0} の取得中にエラーが発生しました。(IDT 00631).....	234
13.2	02 メッセージ (フレームワーク).....	235
13.2.1	リソース {0} へのアクセス中にエラーが発生しました。(IDT 02300).....	235
13.2.2	ユニバース {0} の取得中にエラーが発生しました。(IDT 02311).....	235
13.3	06 メッセージ (セキュリティプロファイル).....	235
13.3.1	データセキュリティプロファイル接続 {0} の保存中にエラーが発生しました。(IDT 06103).....	236
13.3.2	データセキュリティプロファイル {0} の作成中にエラーが発生しました。(IDT 06120).....	236
13.3.3	データセキュリティプロファイル集計オプション {0} の保存中にエラーが発生しました。(IDT 06130).....	236
13.3.4	セキュリティプロファイル {0} のユーザまたはグループへの割り当て中にエラーが発生しました。(IDT 06150).....	237
13.3.5	ユニバース {0} のセキュリティプロファイルの取得中にエラーが発生しました。(IDT 06200).....	237
13.3.6	ユニバース {0} のセキュリティの取得中にエラーが発生しました。(IDT 06201).....	237
13.3.7	データセキュリティプロファイル {0} へのアクセス中にエラーが発生しました。(IDT 06202).....	238
13.3.8	ユニバース {0} のビジネスセキュリティプロファイルの取得中にエラーが発生しました。(IDT 06203).....	238
13.3.9	ユニバース {0} のデータセキュリティプロファイル集計オプションの取得中にエラーが発生しました。(IDT 06204).....	238
13.3.10	ユニバース {0} のビジネスセキュリティプロファイル集計オプションの取得中にエラーが発生しました。(IDT 06205).....	239

13.3.11	セキュリティプロファイル {0} に割り当てられたユーザまたはグループの取得中にエラーが発生しました。(IDT 06210).....	239
13.4	095 メッセージ (変換).....	240
13.4.1	ユニバースファイルは、より新しい製品バージョンを使用して生成する必要があります。ユニバースファイルパス: {0}。(IDT 09501).....	240
13.4.2	ユニバースファイルを開くことができません。このファイルが破損していないことを確認してください。(IDT 09502).....	240
13.4.3	OLAP ユニバースの変換はサポートされていません。(IDT 09503).....	240
13.4.4	ストアドプロシージャを使用するユニバースの変換はサポートされていません。(IDT 09504).....	240
13.4.5	保護されているユニバースのファイルからの変換はサポートされていません。代わりに CMS オブジェクトからの変換を使用してください。(IDT 09505).....	241
13.4.6	ユニバースを変換できません。ユニバースにはユニバースデザインツールで接続が割り当てられている必要があります。(IDT 09506).....	241
13.4.7	Data Federator 接続を使用したユニバースの変換はサポートされていません。(IDT 09507).....	241
13.4.8	CMS からコアユニバース %s を読み取れません。(IDT 09508).....	241
13.4.9	CMS からユニバースを読み取れません。(IDT 09509).....	242
13.4.10	パスワードで保護されたユニバースの変換はサポートされていません。ユニバースデザインツールでパスワードを削除してください。(IDT 095010).....	242
13.4.11	このユーザのプロファイルではユニバースを変換できません。(IDT 095011).....	242
13.5	15 メッセージ (一般接続).....	242
13.5.1	CMS から接続を取得できません。CMS に接続が存在し、権限があるかどうかを確認してください。(IDT 15025).....	242
第 14 章	Information Engine Services (IES) のエラーメッセージ.....	243
14.1	Information Engine Services (IES) のエラーメッセージ.....	243
14.1.1	ユニバースで使用できなくなったオブジェクトがあります。(IES 00001).....	243
14.1.2	現在のユーザプロファイルでは利用できないオブジェクトがあるので、このドキュメントを最新表示できません。(IES 00002).....	243
14.1.3	ユニバースで使用できなくなった定義済みのフィルタがあります。(IES 00003).....	244
14.1.4	ユニバースで使用できなくなったデータベーステーブルがあります。(IES 00004).....	244
14.1.5	プロンプトの定義が無効です。(IES 00005).....	244
14.1.6	アグリゲート認識オブジェクトの定義が無効です。(IES 00006).....	244
14.1.7	フィルタに不正な値があるので、クエリを実行できません。(IES 00007).....	245
14.1.8	クエリに互換性のないオブジェクトが含まれているため、このクエリを実行することができません。(IES 00008).....	245
14.1.9	詳細フィルタに互換性のないオブジェクトが含まれているので、クエリを実行できません。(IES 00009).....	245
14.1.10	ユニバースの GROUP BY 文に複雑な表現式を使用することはできません。(IES 00010).....	245
14.1.11	オブジェクト {obj_list} に複数の属性が含まれています。この構文は、サポートされなくなりました。(IES 00011).....	246
14.1.12	このクエリはデカルト積を作成するため実行することができません。(IES 00012).....	246
14.1.13	SQL の生成に失敗しました。(IES 00013).....	246
14.1.14	アグリゲート認識の解決に失敗しました。(IES 00014).....	247

14.1.15	同じテキストにもかかわらず、プロンプトは、異なる値のオペランド、または値の数を使用しています。(IES 00015).....	247
14.1.16	クエリにサポートされない @script() 関数が含まれています。(IES 00016).....	247
14.1.17	次のオブジェクトを結果オブジェクトとして使用することはできません: {obj_list}。(IES 00017).....	247
14.1.18	次のオブジェクトはクエリフィルタとして使用できません: {obj_list}。(IES 00018).....	248
14.1.19	クエリフィルタに含まれている値が多すぎます。(IES 00019).....	248
14.1.20	クエリによって生成された SQL は無効です。(IES 00020).....	248
14.1.21	クエリの 1 つに互換性のないオブジェクトが含まれているため、この複合クエリを実行することができません。(IES 00021).....	248
14.1.22	クエリが WHERE 句でテーブルを参照していません。(IES 00022).....	248
14.1.23	無効なサブクエリです。(IES 00023).....	249
14.1.24	サブクエリ内のオブジェクトタイプに互換性がありません。(IES 00024).....	249
14.1.25	クエリは複雑すぎるため、サンプリング関数を適用できません。(IES 00025).....	249
14.1.26	オプションプロンプトの SQL を再生成できませんでした -- 1 つ以上の必須プロンプトがスキップされました。(IES 00026).....	249
14.1.27	クエリからオプションプロンプトを削除すると、新しいプロンプトが生成されます。これにより、サポートできない複雑さが生じます。(IES 00027).....	250
14.1.28	キー日付パラメータに値が指定されていません。(IES 00028).....	250
14.1.29	書き込み権のあるユーザーがすでにこのユニバースを開いています。(IES 00029).....	250
14.1.30	式 '%1%' (場所 '%2%') で構文エラーが発生しました。(IES 10001).....	250
14.1.31	関数辞書の初期化中にエラーが発生しました。(IES 10002).....	250
14.1.32	オブジェクト '%1%' (場所: '%2%') がレポート内で一意ではありません。(IES 10005).....	251
14.1.33	オブジェクト '%1%' (場所: '%2%') がレポートに存在しません。(IES 10006).....	251
14.1.34	整数 '%1%' (場所 '%2%') が長すぎます。(IES 10013).....	251
14.1.35	数 '%1%' (場所 '%2%') に、使用している地域設定と互換性のない形式が含まれています。(IES 10014).....	251
14.1.36	'%1%' (場所 '%2%') の後に引用符がありません。(IES 10016).....	252
14.1.37	入力または出力コンテキストでディメンションの一覧が空です。(IES 10032).....	252
14.1.38	変数 '%1%' は、依存式または '%2%' にリンクされている変数を持っているため、削除できません。(IES 10033).....	252
14.1.39	すでに存在する変数名を使用して、変数を作成、または変数名を更新しようとしました。(IES 10034).....	252
14.1.40	日付または時刻の形式 '%1%' (場所 '%2%') が有効ではありません。(IES 10035).....	252
14.1.41	式、または部分式 (場所 '%2%') が有効ではありません。(IES 10036).....	253
14.1.42	'%1%' 関数の式または部分式 (場所 '%2%') で、無効なデータ型が使用されています。(IES 10037).....	253
14.1.43	変数名に、無効な文字 '%1%' (場所: '%2%') が見つかりました。(IES 10038).....	253
14.1.44	変数 '%1%' の数式に、同じショート名を持つ変数への参照が含まれています。(IES 10040).....	253
14.1.45	場所 '%2%' に、誤った比較演算子 (<, >, <=>, >=, =) が複数使用されています。(IES 10041).....	254
14.1.46	式が '%1%' を参照している変数をその変数 '%1%' 自体の式が参照しているため、循環参照が発生しています。(IES 10042).....	254
14.1.47	関数 '%1%' には引数がないか、または場所 '%2%' で閉じる括弧がありません。(IES 10061).....	254
14.1.48	リスト '%1%' (場所 '%2%') に ';' または閉じる括弧がありません。(IES 10064).....	254
14.1.49	'%1%' (場所 '%2%') にオブジェクト識別子がありません。(IES 10069).....	254

14.1.50	場所 %2% のリセットコンテキストが正しくありません。(IES 10072).....	255
14.1.51	オブジェクト '%1%' (場所 %2%) に互換性がありません。(IES 10077).....	255
14.1.52	文字列 '%1%' (場所 %2%) が無効です。(IES 10082).....	255
14.1.53	変数 '%1%' の資格を変更できません。(IES 10083).....	255
14.1.54	定義の設定が無効です。(IES 10086).....	256
14.1.55	カスタム関数をロードできませんでした。(IES 10100).....	256
14.1.56	使用するデータベースサーバは Both および Except 演算子をサポートしていません。(IES 10701).....	256
14.1.57	フィルタが結果オブジェクトと互換性のないオブジェクトで定義されています。(IES 10702).....	256
14.1.58	'{object}' に基づくクエリフィルタの数値が無効です。(IES 10703).....	257
14.1.59	プロンプト '{prompt}' のデータが無効です。(IES 1070) (IES 10704).....	257
14.1.60	プロンプト '{prompt}' には無効な数値が含まれています。(IES 10705).....	257
14.1.61	プロンプト '{prompt}' のデータが無効です。(IES 10706).....	257
14.1.62	サーバがクエリの SQL を構築できません。(IES 10707).....	257
14.1.63	プロンプト '{PromptName}' のオブジェクト '{ObjName}' は値の一覧を表示できません。クエリをプロンプトから削除するか、管理者に連絡して、オブジェクトのプロパティタブの [一覧から選択] オプションをクリアしてください。(IES 10708).....	258
14.1.64	このドキュメントを最新表示する権限がありません。(IES 10801).....	258
14.1.65	クエリ SQL には {nbWanted} 列ではなく {nbHaving} 列があります。(IES 10810).....	258
14.1.66	クエリ内の列のデータ型が無効です。(IES 10811).....	258
14.1.67	カスタム SQL にオプションのプロンプトがありません。(IES 10812).....	259
14.1.68	互換性のないオブジェクトは複合クエリで使用できません。(IES 10820).....	259
14.1.69	'{dp_name}' データプロバイダ内のサブクエリに、見つからないオブジェクトがあります。(IES 10830).....	259
14.1.70	{dp_name}' データプロバイダ内の順位に、フィルタが適用されたオブジェクトが見つかりません。(IES 10831).....	259
14.1.71	'{dp_name}' データプロバイダ内の順位に、順位に基づくオブジェクトが見つかりません。(IES 10832).....	259
14.1.72	ドキュメントをロードできません。(IES 10833).....	260
14.1.73	追加のコンテキスト解決はオプションのプロンプトでサポートされません。(IES 10834).....	260
14.1.74	列 "{col_name}" に無効なデータがあります。(IES 10840).....	260
14.1.75	列 "{col_name}" に無効な UTF-8 文字列があります。(IES 10841).....	260
14.1.76	クエリの作成や更新に必要なファイルがファイルシステムにありません。ファイル "{filename}" が見つかりません。(IES 10850).....	261
14.1.77	個人用データプロバイダでエラーが発生しました: {message}。(IES 10853).....	261
14.1.78	Excel 個人用データプロバイダを作成したり、更新したりできません: ファイルパスが無効です。(IES 10870).....	261
14.1.79	Excel 個人用データプロバイダを作成したり、更新したりできません: 指定範囲を取得できません。(IES 10872) (IES 10871).....	261
14.1.80	Excel 個人用データプロバイダを作成したり、更新したりできません: ワークブックを開くことができません。(IES 10872).....	262
14.1.81	Excel 個人用データプロバイダを作成したり、更新したりできません: 指定範囲を取得できません。(IES 10873).....	262

14.1.82	Excel 個人用データプロバイダを作成したり、更新したりできません: ファイルからデータを取得できません。(IES 10874).....	262
14.1.83	Excel 個人用データプロバイダを作成したり、更新したりできません: ファイルからデータを取得できません。(IES 10875).....	262
14.1.84	Excel 個人用データプロバイダを作成したり、更新したりできません: データセットでの反復子を構築できません。(IES 10876).....	263
14.1.85	Excel 個人用データプロバイダを作成したり、更新したりできません: 利用できるワークシートがありません。(IES 10877).....	263
14.1.86	Excel 個人用データプロバイダを作成したり、更新したりできません: ワークシートのリストを取得できません。(IES 10878).....	263
14.1.87	Excel 個人用データプロバイダを作成したり、更新したりできません: 選択した範囲から無効なデータを取得しました。(IES 10879).....	263
14.1.88	Excel 個人用データプロバイダを作成したり、更新したりできません: 選択したワークシートが無効です。(IES 10880).....	264
14.1.89	Excel 個人用データプロバイダを作成したり、更新したりできません: データサンプリングの取得中にエラーが発生しました。(IES 10881).....	264
14.1.90	Excel 個人用データプロバイダを作成したり、更新したりできません: データ反復子の作成中にエラーが発生しました。(IES 10882).....	264
14.1.91	Excel 個人用データプロバイダを作成したり、更新したりできません: データの取得中にエラーが発生しました。(IES 10883).....	264
14.1.92	Excel 個人用データプロバイダを作成したり、更新したりできません: 内部エラーが発生しました。(IES 10884).....	265
14.1.93	Excel 個人用データプロバイダを作成したり、更新したりできません: 範囲選択が無効です。(IES 10885).....	265
14.1.94	Excel 個人用データプロバイダを作成したり、更新したりできません: 範囲選択がワークシートと一致していません。(IES 10886).....	265
14.1.95	異なる種類を持つ別のクエリのオブジェクトを参照するオブジェクトの条件。(IES 10887).....	265
14.1.96	存在しない別のクエリのオブジェクトを参照するオブジェクトの条件。(IES 10888).....	266
14.1.97	クエリに循環依存があります。(IES 10889).....	266
14.1.98	データベースエラー: {error_db}。(IES 10901).....	266
14.1.99	クエリが固定時間制限を超過: {error_db}。(IES 10902).....	266
14.1.100	無効なデータベースフィールドタイプ: {db_fieldname}。(IES 10903).....	266
第 15 章	インストール (INS) エラーメッセージ.....	269
15.1	INS 00000 ~ 00002.....	269
15.1.1	管理権限を持つユーザアカウントを使用してください。(INS00).....	269
15.1.2	管理権限を持つユーザアカウントを使用してください。(INS00001).....	269
15.1.3	Microsoft .NET Framework 2.0 以上をインストールしてください。(INS00002).....	270
15.2	INS 00286 ~ 00293.....	270
15.2.1	この製品を BI プラットフォームサービスと同じマシンにインストールすることはできません。INS000286 (INS00286).....	270
15.2.2	管理権限を持つユーザアカウントを使用してください。INS00287.....	270
15.2.3	この製品をルートユーザとしてインストールすることはできません。INS00288.....	270

15.2.4	再起動要求が抑制されています。インストールする前に現在のマシンを再起動してください。 INS00289.....	271
15.2.5	先に SAP Crystal Reports Server をアンインストールしてから、同じマシンに #product.boe64_name# をインストールしてください。INS00290.....	271
15.2.6	#product.boe64_name# はすでにこのマシンにインストールされています。INS00291.....	271
15.2.7	この製品は、64 ビットオペレーティングシステム (OS) にインストールする必要があります。使用して いる OS がこの要件を満たしていることを確認してください。INS00292.....	271
15.2.8	localhost (127.0.0.1) またはマシンのホスト名が PING に応答しません。INS00293.....	272
15.2.9	/tmp に十分な空き領域がありません。INS000295 (INS00295).....	272
15.2.10	UID および GID は 65536 以下である必要があります。INS000296 (INS00296).....	272
15.2.11	Microsoft .NET Framework 3.5 以上をインストールしてください。(INS00297).....	272
15.2.12	Microsoft .NET Framework 3.0 以上をインストールしてください。(INS00298).....	273
15.2.13	Microsoft Visual Studio 2005 Tools for Office Second Edition Runtime が検出されませんでした。イン ストールしてください。(INS00299).....	273
15.2.14	Microsoft Office 2003 以上をインストールしてください。(INS00300).....	273
15.3	INS 00301 ~ 00305.....	273
15.3.1	この更新は検出されなかった #productname# #product_version# #product_patch# をターゲットにし ています。(INS00301).....	273
15.3.2	#productname# #product_version# はこの更新より新しいバージョンのため適用できません。継続し ないことを推奨します。(INS00302).....	274
15.3.3	この更新は検出されなかった #productname# #product_version# をターゲットにしています。 (INS00303).....	274
15.3.4	Microsoft Office 2003 の更新 (KB907417) (INS00304).....	274
15.3.5	この製品をインストールする前に、Microsoft Visual Studio 2010 をインストールしてください。 (INS00305).....	274
第 16 章	ライフサイクルマネジメントコンソールのエラーメッセージ.....	275
16.1	ライフサイクルマネジメントのエラーメッセージ.....	275
16.1.1	LCM CMS が NULL か、ログインされていません (LMC 00001).....	275
16.1.2	CMS が NULL か、ログインされていません。CMS はソースと出力先のどちらかになります (LMC 00002).....	275
16.1.3	ユーザ名が NULL または空です (LMC 00003).....	276
16.1.4	パスワードが NULL または空です (LMC 00004).....	276
16.1.5	エクスポートするリソースがありません (LMC 00005).....	276
16.1.6	ソース CMS が NULL か、ログインされていません (LMC 00006).....	276
16.1.7	出力先 CMS が NULL か、ログインされていません (LMC 00007).....	277
16.1.8	出力先はソースと同じ場所にはできません。(LMC 00008).....	277
16.1.9	BusinessObjects LifeCycle Manager へのログインに失敗しました。(LMS 00001).....	277
16.1.10	SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームライフサイクルマネジメントコンソール からのログオフに失敗しました。(LMS 00002).....	277
16.1.11	ジョブにゼロより小さい親 ID が含まれています。このジョブは無効です。(LMS 00003).....	277
16.1.12	ジョブを作成できませんでした。スタックトレースを参照してください (LMS 00004).....	278
16.1.13	ジョブを保存できませんでした (LMS 00005).....	278

16.1.14	既存のジョブからジョブを作成できませんでした (LMS 00006).....	278
16.1.15	CMS (ソース/出力先) にログインできませんでした (LMS 00007).....	278
16.1.16	CMS (ソース/出力先) からログオフできませんでした (LMS 00008).....	279
16.1.17	ジョブが正常に進行しませんでした (LMS 00009).....	279
16.1.18	ジョブが実行できなかった理由を特定するため、スタックトレースをチェックしてください (LMS 00010).....	279
16.1.19	ジョブをスケジュールできませんでした (LMS 00011).....	279
16.1.20	ジョブを取得できません。有効な LCM ジョブを選択してください。 (LMS 00012).....	279
16.1.21	名前でジョブを取得できません (LMS 00013).....	280
16.1.22	ジョブ履歴を取得できませんでした。 (LMS 00014).....	280
16.1.23	指定された一連の依存関係から一意のリソースを取得できません。 (LMS 00015).....	280
16.1.24	CUID = {0} の InfoObject を取得できません。 (LMS 00016).....	280
16.1.25	クエリ {0} が失敗しました。 (VDS 00013) (LMS 00017).....	281
16.1.26	リソースの一覧をジョブから削除できません。 (LMS 00018).....	281
16.1.27	有効なイベントの設定中にエラーが発生しました。スタックトレースを参照してください。 (LMS 00019).....	281
16.1.28	サポートされている監査イベントを取得中にエラーが発生しました。スタックトレースを参照してください (LMS 00020).....	281
16.1.29	有効な監査イベントを取得中にエラーが発生しました。スタックトレースを参照してください (LMS 00021).....	281
16.1.30	LCM アプリケーションで一般的な例外が発生しました。詳細については、スタックトレースを参照してください。 (LMS 00022).....	282
16.1.31	管理者によってユーザアクセスが拒否されたため、ソース CMS にログインできませんでした。 (LMS 00023).....	282
16.1.32	ユーザが管理者によってアクセスを拒否されたため、出力先 CMS にログインできませんでした (LMS 00024).....	282
16.1.33	リソースをインポートするための LCMBIAR ファイルの場所が存在しないか無効です。 (LMS 00025).....	282
16.1.34	LCMBIAR ファイルへのリソースのエクスポート先が見つからないか無効です。 (LMS 00026).....	283
16.1.35	選択したジョブは NULL または無効です。有効な LCM ジョブを選択してください。 (LMS 00027).....	283
16.1.36	バージョン管理ツールにリソースを追加できませんでした (LMS 00101).....	283
16.1.37	リソースのチェックアウトに失敗しました。 (LMS 00103).....	283
16.1.38	改訂履歴を取得できませんでした。 (LMS 00104).....	283
16.1.39	バージョン管理から改訂を取得できませんでした。 (LMS 00105).....	284
16.1.40	最新の改訂を取得できませんでした (LMS 00106).....	284
16.1.41	ワークスペースの改訂を取得できませんでした。 (LMS 00107).....	284
16.1.42	バージョン管理システムを取得できませんでした。スタックトレースを参照してください。 (LMS 00108).....	284
16.1.43	リポトリバージョンを取得できませんでした (LMS 00109).....	285
16.1.44	有効な監査イベントをクリア中にエラーが発生しました。スタックトレースを参照してください。 (LMS 0022).....	285
16.2	Visual Difference のエラーメッセージ.....	285
16.2.1	SAP BusinessObjects Visual Difference Server にログインできませんでした。 (VDS 00001).....	285

16.2.2	BusinessObjects Visual Difference からログオフできませんでした。(VDS 00002).....	285
16.2.3	CMS の一覧の取得中にエラーが発生しました。(VDS 00003).....	286
16.2.4	CMS (ソースまたは出力先) にログインできませんでした。(VDS 00004).....	286
16.2.5	CMS (ソースまたは出力先) からログオフできませんでした。(VDS 00005).....	286
16.2.6	ジョブのスケジュール中にエラーが発生しました (VDS 00006).....	286
16.2.7	Visual Difference Server で一般的な例外が発生しました。詳細については、スタックトレースを参照してください。(VDS 00007).....	286
16.2.8	比較アクションに失敗しました。(VDS 00008).....	287
16.2.9	ファイル “ {0} ” の初期化に失敗しました。(VDS 00009).....	287
16.2.10	ファイル “ {0} ” へのオブジェクト一覧の設定に失敗しました。(VDS 00010).....	287
16.2.11	プログラム ID = {0} の Info オブジェクトの作成に失敗しました。(VDS 00012).....	287
16.2.12	CUID = {0} の InfoObject を取得できません。(VDS 00013).....	288
16.2.13	si_id = {0} の Info オブジェクトの作成に失敗しました。(VDS 00014).....	288
16.2.14	プロパティ {0} に値 {1} を設定できませんでした。(VDS 00015).....	288
16.2.15	プロパティ {0} の値を取得できませんでした。(VDS 00016).....	288
16.2.16	監査ハンドラを取得中にエラーが発生しました。スタックトレースを参照してください。(VDS 00017).....	288
16.2.17	監査イベントを追加中にエラーが発生しました。スタックトレースを参照してください。(VDS 00018).....	289
16.2.18	監査イベント詳細を追加中にエラーが発生しました。スタックトレースを参照してください。(VDS 00019).....	289
16.2.19	監査イベントのコミット中にエラーが発生しました。スタックトレースを参照してください。(VDS 00020).....	289
16.2.20	有効なイベントの設定中にエラーが発生しました。スタックトレースを参照してください。(VDS 00021).....	289
16.2.21	サポートされている監査イベントを取得中にエラーが発生しました。スタックトレースを参照してください。(VDS 00022).....	290
16.2.22	有効な監査イベントを取得中にエラーが発生しました。スタックトレースを参照してください。(VDS 00023).....	290
16.2.23	監視イベントの種類の確認中にエラーが発生しました。スタックトレースを参照してください (VDS 00024).....	290
16.2.24	イベントオブジェクトを取得中にエラーが発生しました。スタックトレースを参照してください。(VDS 00025).....	290
16.2.25	有効な監査イベントをクリア中にエラーが発生しました。スタックトレースを参照してください。(VDS 00026).....	291
16.2.26	ログオントークンの生成中にエラーが発生しました。スタックトレースを参照してください。(VDS 00027).....	291
16.2.27	管理者がユーザへのアクセスを拒否したため、ソース CMS にログインできませんでした。(VDS 00028).....	291
16.2.28	管理者がユーザへのアクセスを拒否したため、出力先 CMS にログインできませんでした。(VDS 00029).....	291
16.2.29	VisualDiff CMS が NULL か、ログインされていません。(VDC 00001).....	291
16.2.30	ユーザ名が NULL または空です。(VDC 00002).....	292
16.2.31	パスワードが NULL または空です。(VDC 00003).....	292
16.2.32	認証が NULL または空です。(VDC 00004).....	292
16.2.33	フォルダ名はすでに存在しています。(VDC 00005).....	292

16.2.34	CMS が NULL か、ログインされていません。CMS はソースと出力先のどちらかになります。(VDC 00007).....	293
16.2.35	ソース CMS が NULL か、ログインされていません。(VDC 00008).....	293
16.2.36	出力先 CMS が NULL か、ログインされていません。(VDC 00009).....	293
16.2.37	指定された形式ごとに日付を解析中にエラーが発生しました。(VDC 00010).....	293
第 17 章	値の一覧に関するエラーメッセージ	295
17.1	値の一覧(LOV)に関するエラーメッセージ.....	295
17.1.1	選択した値が多すぎます。(LOV0001).....	295
17.1.2	このユニバースを使用する権限がありません。(LOV0002).....	295
17.2	値の一覧(VAR)に関するエラーメッセージ.....	296
17.2.1	構文エラー(VAR0001).....	296
第 18 章	Live Office (LO) エラー	297
18.1	LO 01000 - LO 01999.....	297
18.1.1	アプリケーションの準備ができていません。後でもう一度実行してください。(LO 01001).....	297
18.1.2	最新表示時にエラーが発生しました。(LO 01003).....	297
18.1.3	このドキュメントをアップグレードできませんでした。(LO 01004).....	298
18.1.4	データの損失を防ぐために、Microsoft Excel ではワークシートからコンテンツを含むセルをシフトできません。(LO 01005).....	298
18.2	LO 02000 - LO 02999.....	298
18.2.1	セッションの作成に失敗しました。Web サービス接続を確認してください。(LO 02001).....	299
18.2.2	Web サービスに接続するときにエラーが発生しました。(LO 02002).....	299
18.2.3	Web サービスに接続するときにエラーが発生しました。(LO 02003).....	299
18.2.4	Web サービスに接続するときにエラーが発生しました。(LO 02004).....	299
18.2.5	Web サービスに接続するときにエラーが発生しました。(LO 02005).....	300
18.2.6	ファイルを開くときにエラーが発生しました。(LO 02006).....	300
18.2.7	ファイルを保存するときにエラーが発生しました。(LO 02007).....	300
18.2.8	Crystal レポートのプロパティを探すときにエラーが発生しました。(LO 02008).....	301
18.2.9	サーバが使用できません。ネットワーク接続とサーバのステータスを確認してください。(LO 02009).....	301
18.2.10	レポートを開いているときにエラーが発生しました。このレポートは存在していないか、ユーザがレポートを開くための十分な権限を持っていないか、または BusinessObjects Web サービスに接続できません。(LO 02010).....	301
18.2.11	レポートを保存中にエラーが発生しました。レポートは存在しないか、BusinessObjects Web サービスに接続できません。(LO 02011).....	302
18.2.12	レポートの最新表示中にエラーが発生しました。(LO 02012).....	302
18.2.13	行セットデータを挿入したときにエラーが発生しました。(LO 02013).....	302
18.2.14	レポートパーツを挿入したときにエラーが発生しました。(LO 02014).....	303
18.2.15	ページセグメントを挿入したときにエラーが発生しました。(LO 02015).....	303
18.2.16	クロスタブを挿入したときにエラーが発生しました。(LO 02016).....	303
18.2.17	Microsoft Office ドキュメントでエラーが発生しました。(LO 02017).....	304

18.2.18	BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームのクエリでエラーが発生しました。(LO 02018).....	304
18.2.19	Web サービスに接続するときにエラーが発生しました。(LO 02019).....	304
18.2.20	Web サービスに接続するときにエラーが発生しました。(LO 02020).....	304
18.2.21	データソースが見つかりませんでした。(LO 02021).....	305
18.2.22	データソースが見つかりませんでした。(LO 02022).....	305
18.2.23	データソースが見つかりませんでした。(LO 02023).....	305
18.2.24	レポートの最新のインスタンスが見つかりませんでした。(LO 02024).....	305
18.2.25	レポートパーツビューアを初期化したときにエラーが発生しました。(LO 02025).....	306
18.2.26	レポートパーツビューアでオブジェクトを選択したときにエラーが発生しました。(LO 02026).....	306
18.2.27	レポートパーツを選択してください。(LO 02027).....	306
18.2.28	リポジトリエクスプローラを初期化したときにエラーが発生しました。(LO 02028).....	306
18.2.29	ビューアコントロールでエラーが発生しました。(LO 02029).....	307
18.2.30	パラメータコントロールでエラーが発生しました。(LO 02030).....	307
18.2.31	プロンプトダイアログからエラーが発生しました。(LO 02031).....	307
18.2.32	クエリパネルの指定でエラーが発生しました。(LO 02032).....	308
18.2.33	フィールドの値を参照するときにエラーが発生しました。(LO 02035).....	308
18.2.34	現在のドキュメントにオブジェクトがないため、Live Office オブジェクトのプロパティダイアログボックスを表示できません。(LO 02038).....	308
18.2.35	Web Intelligence ドキュメントのクエリの指定が無効です。(LO 02039).....	308
18.2.36	ログオン中にエラーが発生しました。(LO 02040).....	309
18.2.37	Live Office が正しくインストールされていません。AssemblyInfo.xml で {0} の定義が見つかりません。(LO 02041).....	309
18.2.38	Live Office が正しくインストールされていません。{0} のデフォルトコンストラクタの反映中にエラーが発生しました。(LO 02042).....	309
18.2.39	Live Office が正しくインストールされていません。クラス {0} のロード中にエラーが発生しました。(LO 02043).....	310
18.2.40	挿入ウィザードの初期化中にエラーが発生しました。Web サービス接続を確認してください。(LO 02044).....	310
18.2.41	パラメータの更新に失敗しました。(LO 02045).....	310
18.2.42	入力したパラメータは、必要なパラメータの種類と一致しません。(LO 02046).....	310
18.2.43	Live Office オブジェクトのレポートタイプに対応するインスタンスが見つかりません。(LO 02047).....	311
18.3	LO 26000 – LO 26999.....	311
18.3.1	Live Office でエラーが発生しました。(LO 26000).....	311
18.3.2	SAP BusinessObjects Live Office を使用するための有効なライセンスがありません。SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームのシステム管理者に連絡してください。(LO 26003).....	311
18.3.3	正しくないバージョンの SAP BusinessObjects Web サービスに接続しているか、または Web サービスの展開が壊れている可能性があります。(LO 26002).....	311
18.3.4	SAP BusinessObjects Live Office Web サービスでエラーが発生しました。(LO 26004).....	312
18.3.5	XML の解析に失敗しました。(LO 26005).....	312
18.3.6	クライアントの XML がサーバの XML よりも新しいバージョンです (LO 26006).....	312

18.3.7	BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームへの接続が失われました。もう一度ログオンしてください。(LO 26007).....	312
18.3.8	現在の最新表示オプションには保存データが必要ですが、そのデータは存在しません。(LO 26008).....	313
18.3.9	Web サーバのメモリが不足しています。システム管理者に連絡してください。(LO 26009).....	313
18.3.10	検索サービスで問題が発生しました。検索操作が間違っています。(LO 26010).....	313
18.3.11	Live Office で問題が発生したため、要求されたアクションを完了できません。(LO 26300).....	313
18.3.12	現在の最新表示オプションにはレポートインスタンスが必要ですが、インスタンスはありません。(LO 26301).....	314
18.3.13	レポート接続 “[0]-[1]” が存在しません。(LO 26302).....	314
18.3.14	Interactive Analysis レポートエンジン Web サービスに接続できません (LO 26303).....	314
18.3.15	Interactive Analysis レポートエンジン Web サービスに接続できません (LO 26304).....	314
18.3.16	永続化ビューをロードできませんでした。(LO 26307).....	315
18.3.17	レポートパーツのタイプが {0} から {1} に変更されました。(LO 26310).....	315
18.3.18	クエリデータを取得できませんでした (LO 26312).....	315
18.3.19	Interactive Analysis レポートパーツ出力データを取得できなかったか、データが無効です (LO 26313).....	315
18.3.20	指定されたレポートからデータを最新表示するための十分な権限がありません。(LO 26314).....	316
18.3.21	ドキュメント情報を取得できませんでした。(LO 26315).....	316
18.3.22	Live Office オブジェクトを取得できませんでした。オンラインピクチャはサポートされていません。(LO 26318).....	316
18.3.23	指定されたレポートからデータを取得する権限がありません。(LO 26604).....	316
18.3.24	Live Office ビューが破損しています。(LO 26605).....	317
18.3.25	最新表示に失敗しました。ビューの最新表示オプションは存在しません。(LO 26606).....	317
18.3.26	Crystal Reports Server にアクセスできません。Crystal Reports Server の接続を確認してください。(LO 26607).....	317
18.3.27	SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームのオブジェクトが見つかりません。(LO 26608).....	317
18.3.28	レポート接続が存在しません。(LO 26610).....	318
18.3.29	パラメータ値 “[0]” を “[2]” ロケール内の “[1]” に解析できませんでした。(LO 26611).....	318
18.3.30	Crystal レポートを解析できませんでした。(LO 26612).....	318
18.3.31	お使いの Live Office クライアントのバージョンが、SAP BusinessObjects Web サービスのバージョンと一致していません。(LO 26613).....	318
18.3.32	Crystal Reports Server にアクセスできません。Crystal Reports Server の接続を確認してください。(LO 26614).....	319
18.3.33	ビューの表示に失敗しました。レポート CUID {0} が見つかりません。(LO 26615).....	319
18.3.34	セルはすでに存在します。(LO 26616).....	319
18.3.35	入力された値は必要なフィルタタイプではありません。(LO 26617).....	319
18.3.36	レポートを開けませんでした。(LO 26619).....	320
18.3.37	永続化ビューをロードできませんでした。(LO 26620).....	320
18.3.38	この種類のレポートオブジェクトはサポートされていません。(LO 26621).....	320
18.3.39	指定されたレポートパーツを最新表示できませんでした。指定されたデータコンテキストが存在するか確認してください: {0}。(LO 26626).....	320

18.3.40	見つからないパーツ: (LO 26627).....	321
18.3.41	現在のバージョンは SAP KeyDate 機能をサポートしていません。(LO 26630).....	321
18.3.42	Crystal Reports Java 形式はサポートされていません。(LO 26631).....	321
第 19 章	メタデータブリッジおよびユニバースビルダ (MDB) エラーメッセージ.....	323
19.1	このユニバースは解析できません。¥nユニバースデザインの確認が必要な場合があります。(MDB 00001).....	323
第 20 章	SAP BusinessObjects Mobile (MOB) のエラーメッセージ.....	325
20.1	Mobile サーバのエラーメッセージ.....	325
20.1.1	認証情報: {0} が無効です。ログイン情報が正しいことを確認してください。(MOB 00001).....	325
20.1.2	{0} 認証により、ログオンできませんでした。ログイン情報が正しいことを確認してください。(MOB 00002).....	325
20.1.3	{0} ドキュメントを開けませんでした。(MOB 00005).....	326
20.1.4	ドキュメントがサーバに存在しません。(MOB 00006).....	326
20.1.5	コマンドの作成中に内部サーバエラーが発生しました。管理者に連絡してください。(MOB 00009).....	326
20.1.6	クライアントから受信した情報に基づいてセッションを作成できませんでした。(MOB 00010).....	326
20.1.7	ドキュメントのプロンプトが見つかりません。(MOB 00011).....	327
20.1.8	Central Management Server からの情報の取得中に内部サーバエラーが発生しました。(MOB 00012).....	327
20.1.9	クライアント要求の処理中に内部サーバエラーが発生しました。(MOB 00014).....	327
20.1.10	ドキュメントを開く際に内部サーバエラーが発生しました。サーバでクラス {0} が見つかりませんでした。(MOB 00015).....	327
20.1.11	内部エラーが発生しました。- {0} サービスが見つかりませんでした。(MOB 00018).....	327
20.1.12	{0} サービスの作成中に内部エラーが発生しました。(MOB 00019).....	328
20.1.13	クライアント要求の処理中に内部サーバエラーが発生しました。(MOB 00020).....	328
20.1.14	クライアント要求の処理中に内部サーバエラーが発生しました。(MOB 00021).....	328
20.1.15	クライアント要求の処理中に内部サーバエラーが発生しました。(MOB 00022).....	328
20.1.16	クライアント要求の処理中に内部サーバエラーが発生しました。(MOB 00023).....	329
20.1.17	ドキュメントアラートを購読する権限がありません。(MOB 00024).....	329
20.1.18	デバイスのローカルストアにドキュメントを保存する権限がありません。[ローカルコピーの保存] オプションを選択せずに、アラートを購読することができます。(MOB 00026).....	329
20.1.19	デバイスのローカルストアにドキュメントを保存する権限がありません。(MOB 00027).....	329
20.1.20	検索の実行中に内部サーバエラーが発生しました。(MOB 00028).....	329
20.1.21	クライアント要求の処理中に内部サーバエラーが発生しました。(MOB 00029).....	330
20.1.22	セッションの期限が切れています。再度ログインしてください。(MOB 00030).....	330
20.1.23	セッションの期限が切れています。再度ログインしてください。(MOB 00031).....	330
20.1.24	受信したセッションデータの確認中に、メッセージブッシュが失敗しました。(MOB 00050).....	330
20.1.25	クライアント要求の処理中に内部サーバエラーが発生しました。(MOB 00060).....	331
20.1.26	クライアント要求の処理中に内部サーバエラーが発生しました。(MOB 00080).....	331
20.1.27	クラス {0} のインスタンの作成中に内部サーバエラーが発生しました。(MOB 00110).....	331
20.1.28	クライアント要求の処理中に内部サーバエラーが発生しました。(MOB 00130).....	331

20.1.29	内部サーバエラーが発生しました。ファイル {0} が見つからないか、サーバでファイルが破損しています。(MOB 00300).....	331
20.1.30	セッションの期限が切れています。ドキュメントを開くには再ログインしてください。(MOB 02003).....	332
20.1.31	パラメータの範囲が無効であるため、プロンプトの実行が失敗しました。(MOB 02017).....	332
20.1.32	URL {0} に無効な文字が含まれているため、要求されたアクションを実行できません。(MOB 02090).....	332
20.1.33	プロンプト値が無効です。適切な書式の日付を入力してください。(MOB 02100).....	332
20.1.34	無効な <href> タグの構文のため、要求されたアクションを実行できません。(MOB 02120).....	333
20.2	Mobile クライアントのエラーメッセージ.....	333
20.2.1	要求されたフォルダが見つかりません。(MOB 10004).....	333
20.2.2	要求されたアクションを実行できません。(MOB 10005).....	333
20.2.3	ローカルドキュメントを開けません。(MOB 10006).....	333
20.2.4	進行中の操作を突然キャンセルしました。(MOB 10007).....	334
20.2.5	ログイン認証情報が無効です。正しい認証情報を使用してログインしてください。(MOB 10008).....	334
20.2.6	ログイン時にエラーが発生しました。(MOB 10009).....	334
20.2.7	レポートが見つかりません。(MOB 10010).....	334
20.2.8	データ接続を更新できませんでした。(MOB 10011).....	334
20.2.9	デバイスの電子メールアドレスが見つかりません。(MOB 10012).....	335
20.2.10	デバイスプラットフォームが要求されたアクションをサポートしていません。(MOB 10013).....	335
20.2.11	通話を発信できません。(MOB 10030).....	335
20.2.12	内部エラーが発生したため、レポートを最新表示できません。(MOB 10031).....	335
20.2.13	内部エラーが発生したため、アプリケーションを終了できませんでした。(MOB 10032).....	336
20.2.14	フォルダで {0} ドキュメントを検索できませんでした。(MOB 10033).....	336
20.2.15	要求されたフォルダでフォルダを検索できませんでした。(MOB 10034).....	336
20.2.16	要求されたアクションを実行できませんでした。(MOB 10035).....	336
20.2.17	ドキュメントを電子メールとして送信する権限がありません。(MOB 10037).....	336
20.2.18	内部エラーが発生しました。通知を送信できません。(MOB 10039).....	337
20.2.19	SAP BusinessObjects Mobile アプリケーションにログオンする権限がありません。(MOB 10040).....	337
20.2.20	クライアントが画面 {0} をサポートしていません。(MOB 10042).....	337
20.2.21	要求されたナビゲーション方向はサポートされていません。(MOB 10043).....	337
20.2.22	ドキュメントインスタンス情報を取得できません。(MOB 10044).....	338
20.2.23	{0} クラスのリモート呼び出し中に内部エラーが発生しました。(MOB 10045).....	338
20.2.24	レポートを開いているときに内部エラーが発生しました。(MOB 10046).....	338
20.2.25	レポートを開いているときにエラーが発生しました。(MOB 10047).....	338
20.2.26	フォルダを開けません。(MOB 10048).....	338
20.2.27	ドキュメントに埋め込まれたアクション URL の書式が正しくありません。(MOB 10050).....	339
20.2.28	要求されたアクションを実行できませんでした。(MOB 10071).....	339
20.2.29	許可されていない操作 (MOB 10081).....	339
20.2.30	サーバからのデータの読み込み中に内部エラーが発生しました。(MOB 10090).....	339
20.2.31	ネットワークエラーが発生したため、ローカルストアを修復できません。(MOB 10100).....	340
20.2.32	レポートの要求されたページがサーバに見つかりません。(MOB 10110).....	340
20.2.33	内部エラーが発生しました。アプリケーションを開始できませんでした。(MOB 10120).....	340

20.2.34	画面での UI コントロールの管理中にエラーが発生しました。(MOB 10130).....	340
20.2.35	認証情報が無効です。(MOB 10140).....	340
20.2.36	内部エラーが発生しました。(MOB 10150).....	341
20.2.37	データ同期中にエラーが発生しました。(MOB 10160).....	341
20.2.38	ログインに失敗しました。再度ログインしてください。(MOB 10170).....	341
20.2.39	同期プロセスが進行中であるため、ドキュメントを削除できません。(MOB 10180).....	341
20.2.40	レポートを開いているときに内部エラーが発生しました。(MOB 10190).....	342
20.2.41	内部エラーが発生したため、SMS を送信できませんでした。(MOB 10200).....	342
20.2.42	要求されたアクションはサポートされていません。(MOB 10210).....	342
20.2.43	アプリケーションを起動できませんでした。(MOB 10220).....	342
20.2.44	ログインに失敗しました。Mobile サーバに接続できません。(MOB 10230).....	342
20.2.45	オフラインモードであるため、サーバから情報を取得できません。(MOB 10300).....	343
20.2.46	Mobile サーバに接続できません。(MOB 10400).....	343
20.2.47	画面での UI コントロールの管理中にエラーが発生しました。(MOB 10500).....	343
20.2.48	インプットが選択されていません。要求はキャンセルされました。(MOB 10600).....	343
20.2.49	要求されたアクションの実行中に内部エラーが発生しました。(MOB 10700).....	344
20.2.50	セッションの期限が切れています。再度ログインしてください。(MOB 10800).....	344
20.2.51	要求された操作はサポートされていません。(MOB 10900).....	344
第 21 章	クエリテクニックエラー	345
21.1	予期しない列挙形 {0} です。(QTJ 00501).....	345
21.2	ネストされた @aggregate_aware 関数はサポートされていません。(QTJ 00510).....	345
21.3	循環参照: @Select および @Where の呼び出しを確認してください (QTJ 00511).....	345
21.4	@Select 参照が正しくありません。@Select 宣言の定義を確認してください。(QTJ 00512).....	346
21.5	@Where 参照が正しくありません。@Where 宣言の定義を確認してください。(QTJ 00513).....	346
21.6	@Prompt 参照が正しくありません。@Prompt 宣言の有効性を確認してください。@Prompt エディタを使用してください。(QTJ 00514).....	346
21.7	階層参照が不正です。(QTJ 00515).....	346
第 22 章	Query as a Web Service (QWS) エラーメッセージ	347
22.1	ヘルプファイルが見つかりません: %n{0} (QWS 00001).....	347
22.2	サーバ名と証明書名が一致しません (QWS 00002).....	347
22.3	HTTPS 証明書の発行者は信頼できません (QWS 00003).....	347
22.4	指定した Web サービス URL は更新されていません。管理者に問い合わせるか、Query as a Web Service のマニュアルを参照してください。(QWS 00004).....	348
22.5	XML コンテンツのクエリの指定が無効です (QWS 00005).....	348
22.6	結果オブジェクトのデータ型は認識されません: {0} (QWS 00006).....	348
22.7	サーバにログオンする必要があります (QWS 00007).....	348
22.8	レポートエンジン Web サービスのプロキシが使用できません。Web サービスの呼び出しは成功していません。(QWS 00008).....	349
22.9	プロンプト選択中のエラー (QWS 00009).....	349

22.10	コンテキストの選択中に問題が発生しました (QWS 00010).....	349
22.11	データソースのリストをロードできません (QWS 00011).....	350
22.12	クエリを設計または編集する権限がありません。¥r¥n管理者に連絡してください。(QWS 02718).....	
3	5	0
第 23 章	エクスプローラ (PS) エラーメッセージ.....	351
23.1	PS 10001 - PS 15010.....	351
23.1.1	システムにログオンできません。(PS 10001).....	351
23.1.2	トークンが無効なので、システムにログオンできません。(PS 10002).....	351
23.1.3	ログオン認証情報が見つからないので、システムにログオンできません。(PS 10003).....	352
23.1.4	Explorer Web アプリケーションで、受信した Web クライアント要求から Explorer サービスを取得できませんでした。(PS 10004).....	352
23.1.5	現在のユーザプロファイルでは、その要求を実行できません。(PS 10005).....	352
23.1.6	Explorer でサービスを取得できませんでした。(PS 10006).....	352
23.1.7	Explorer がサービスロケータを初期化できませんでした。(PS 10007).....	353
23.1.8	Explorer がその設定を取得できませんでした。(PS 10008).....	353
23.1.9	ログオン中にエラーが発生しました。(PS 15002).....	353
23.1.10	SSO 設定ファイルで文字列プロパティ '{0}' が見つかりません。(PS 15003).....	353
23.1.11	SSO 設定ファイルで論理値プロパティ '{0}' が見つかりません。(PS 15004).....	353
23.1.12	SSO 設定ファイルでリストプロパティ '{0}' が見つかりません。(PS 15005).....	354
23.1.13	ログオンに必要な認証情報が見つかりませんでした。(PS 15006).....	354
23.2	PS 20000 ~ PS 20015.....	354
23.2.1	データソースファイルが見つかりませんでした。(PS 20001).....	354
23.2.2	ユニバースの読み込み中にエラーが発生しました。(PS 20002).....	354
23.2.3	CMS (Central Management Server) からのユニバースの取得中にエラーが発生しました。(PS 20003).....	355
23.2.4	情報スペースが見つかりませんでした。(PS 20004).....	355
23.2.5	情報スペースのプロパティを読み込むことができません。(PS 20005).....	355
23.2.6	情報スペースを取得して [ホーム] タブに表示できません。(PS 20006).....	355
23.2.7	インデックス化を開始できません。(PS 20007).....	355
23.2.8	要求されたリソースでロックを取得できません。(PS 20008).....	356
23.2.9	要求されたリソースのロックを解除できません。(PS 20009).....	356
23.2.10	ログオフ中にエラーが発生しました。(PS 20010).....	356
23.2.11	インデックス化タスクのスケジュール中にサーバでエラーが発生しました。(PS 20011).....	356
23.2.12	ユーザプロファイルの取得中にエラーが発生しました。(PS 20012).....	357
23.2.13	インデックス化タスクのキャンセル中にサーバエラーが発生しました。(PS 20013).....	357
23.3	PS 30000 ~ PS 30020.....	357
23.3.1	情報スペース名は空白にできません。(PS 30001).....	357
23.3.2	同じ名前の情報スペースがすでに存在します。(PS 30002).....	357
23.3.3	リポジトリにアクセスできません。(PS 30003).....	358
23.3.4	ディメンションまたはメジャーを指定せずに情報スペースを作成することはできません。(PS 30004).....	358

23.3.5	情報スペースのスケジュールのパスワードを確認できませんでした。(PS 30005).....	358
23.3.6	オブジェクトのテスト中に、クエリが複数のレコードセットを返します。(PS 30006).....	358
23.3.7	オブジェクトのテスト中に、クエリで Web Intelligence レポートエンジンの例外が生成されました。(PS 30007).....	358
23.3.8	パブリック CMS (Central Management Server) フォルダおよびお気に入り CMS フォルダの取得中に問題が発生しました。(PS 30008).....	359
23.3.9	情報スペースの一覧の取得中に問題が発生しました。(PS 30009).....	359
23.3.10	情報スペースのスケジュールの詳細の取得中に問題が発生しました。(PS 30010).....	359
23.3.11	指定したフォルダに情報スペースを保存する権限がありません。(PS 30011).....	359
23.3.12	次のオブジェクトは使用できません。プロンプトはサポートされていません。(PS 30012).....	360
23.3.13	続行するには、コンテキストを選択する必要があります。(PS 30013).....	360
23.3.14	指定したフォルダの情報スペースを削除する権限がありません。(PS 30015).....	360
23.3.15	この情報スペースを削除する権限がありません。(PS 30016).....	360
23.3.16	このスプレッドシートを使用することはできません。(PS 30017).....	360
23.3.17	ディメンションがないため、このスプレッドシートを使用することはできません。(PS 30019).....	361
23.4	PS 40000 ~ PS 40010.....	361
23.4.1	検索が失敗しました。(PS 40001).....	361
23.4.2	検索インデックスの最新バージョンをロードできません。(PS 40002).....	361
23.4.3	検索を実行できません。一致する結果項目が多すぎます。(PS 40003).....	361
23.5	PS 50000 ~ PS 50310.....	362
23.5.1	その他の値を取得できません。(PS 50001).....	362
23.5.2	チャートを生成できません。(PS 50002).....	362
23.5.3	メジャーの一覧を取得できません。(PS 50003).....	362
23.5.4	[閲覧] タブ内でファセットを取得できません。(PS 50004).....	362
23.5.5	データテーブル値を取得できません。(PS 50005).....	363
23.5.6	情報スペースの閲覧を開始できません。(PS 50006).....	363
23.5.7	情報スペースのナビゲーションインデックスの最新バージョンをロードできません。(PS 50007).....	363
23.5.8	情報スペースの閲覧を停止できません。(PS 50008).....	363
23.5.9	検索を実行できません。一致する結果項目が多すぎます。(PS 50009).....	364
23.5.10	検索を実行できません。一致する結果項目が多すぎます。(PS 50010).....	364
23.5.11	データが含まれていないため、情報スペースの閲覧を開始できません。(PS 50011).....	364
23.5.12	エクスポート要求の実行中にサーバエラーが発生しました。(PS 50100).....	364
23.5.13	エクスポート結果の取得中にサーバエラーが発生しました。(PS 50101).....	364
23.5.14	エクスポートタスクのキャンセル中にサーバエラーが発生しました: 要求でタスク識別子が指定されていません。(PS 50102).....	365
23.5.15	エクスポート形式がサーバで認識されません。(PS 50103).....	365
23.5.16	エクスポート要求の出力先がサーバで認識されません。(PS 50104).....	365
23.5.17	指定したエクスポート形式と出力先には互換性がありません。(PS 50105).....	365
23.5.18	データプロバイダとの対話中にサーバエラーが発生しました。(PS 50106).....	366
23.5.19	エクスポートエンジンで受信した一部のデータが不正であるか、サポートされていません。または、要求が正しい構文ではありません。(PS 50107).....	366
23.5.20	データプロバイダとの対話中にサーバエラーが発生しました。(PS 50108).....	366

23.5.21	現在のデータセットはこのエクスポートには大きすぎます。(PS 50109).....	366
23.5.22	プロンプト入力の処理中にサーバエラーが発生しました。(PS 50200).....	367
23.5.23	プロンプトの分析中にサーバエラーが発生しました。(PS 50201).....	367
23.5.24	プロンプト入力の送信中にサーバエラーが発生しました。(PS 50202).....	367
23.5.25	一部のプロンプト入力が見つかりません。(PS 50203).....	367
23.5.26	プロンプト入力が無効です。(PS 50204).....	368
23.5.27	プロンプト入力の保存中にサーバエラーが発生しました。(PS 50205).....	368
23.5.28	選択したオブジェクトには互換性がありません。(PS 50206).....	368
23.5.29	情報スペースをロードできませんでした。(PS 50300).....	368
23.5.30	情報スペースのインデックスをロードできませんでした。(PS 50301).....	368
23.5.31	データプロバイダセッションを初期化できませんでした。(PS 50302).....	369
23.5.32	情報スペースは、存在していないデータソースに基づいています。(PS 50303).....	369
23.5.33	情報スペースにファセットが含まれていません(PS 50304).....	369
23.5.34	情報スペースにデータが含まれていません。(PS 50305).....	369
23.5.35	オブジェクトレベルセキュリティを適用できませんでした。(PS 50306).....	370
23.5.36	パーソナライゼーション設定を適用できませんでした。(PS 50307).....	370
23.5.37	基になるデータアクセスレイヤへの要求に失敗しました。(PS 50308).....	370
23.6	PS 60000 ~ PS 60310.....	370
23.6.1	呼び出されたメソッドはこの終了値をサポートしていません。(PS 60001).....	370
23.6.2	呼び出されたメソッドにはトークンが必要です。(PS 60002).....	371
23.6.3	応答の解析中に、Web アプリケーションでエラーが発生しました。(PS 60003).....	371
23.6.4	呼び出された終了値は存在しません。(PS 60004).....	371
23.6.5	要求によって、解析の問題が発生しました。(PS 60101).....	371
23.6.6	要求内にパラメータがありません。(PS 60102).....	372
23.6.7	要求の形式が正しくありません。(PS 60103).....	372
23.6.8	情報スペースのデータチャンクの作成中または更新中にエラーが発生しました。(PS 60201).....	372
23.6.9	情報スペースを開こうとしてエラーが発生しました。情報スペースのインデックス化に失敗しました。(PS 60301).....	372
第 24 章	レポート変換ツール(RCT)に関するエラーメッセージ.....	373
24.1	不明なエラーです(RCT 00001).....	373
24.2	ユーザが変換をキャンセルしました。(RCT 00011).....	373
24.3	変換サーバの開始中にエラーが発生しました。(RCT 00013).....	373
24.4	公開に失敗しました(RCT 00014).....	374
24.5	ソースサーバが見つからないかダウンしている可能性があります。(RCT 00016).....	374
24.6	出力先サーバが見つからないかダウンしている可能性があります。(RCT 00017).....	374
24.7	ソースのユーザ名が無効です。(RCT 00018).....	374
24.8	出力先のユーザ名が無効です。(RCT 00019).....	375
24.9	ソースのパスワードが無効です。(RCT 00020).....	375
24.10	出力先のパスワードが無効です。(RCT 00021).....	375
24.11	ソースのログイン、パスワード、またはポートが正しくありません。(RCT 00022).....	375

24.12	出力先のログイン、パスワード、またはポートが正しくありません。(RCT 00023).....	375
24.13	無効なソースです (RCT 00024).....	376
24.14	無効な出力先です (RCT 00025).....	376
24.15	接続を選択して監査を続行するか、チェックボックスを選択解除してください。(RCT 00026).....	376
24.16	次のファイルを開くことができません。(RCT 00027).....	376
24.17	ファイルが見つかりません。ファイル名を確認してください。(RCT 00028).....	377
24.18	ファイル名が無効です。(RCT 00029).....	377
24.19	無効な ROC ファイルです。有効な ROC ファイルを選択してください。(RCT 00030).....	377
24.20	ファイルが無効です。(ファイルが破損している可能性があります)有効な ROC ファイルを選択してください。(RCT 00031).....	377
24.21	ファイル名が無効です。(RCT 00032).....	377
第 25 章	RESTful Web サービス (RWS) のエラーメッセージ	379
25.1	RWS 00002 – RWS 00010.....	379
25.1.1	一般サーバエラー。(RWS 00002).....	379
25.1.2	クライアント入力エラー。(RWS 00003).....	379
25.1.3	禁止 (RWS 00004).....	380
25.1.4	見つかりません (RWS 00005).....	380
25.1.5	サービスを作成できません。詳細については、サーバログを参照してください。(RWS 00006).....	380
25.1.6	サービス呼び出し中に不明なエラーが発生しました。詳細については、サーバログを参照してください。(RWS 00007).....	380
25.1.7	HTTP ヘッダには X-SAP-LogonToken 属性が含まれていません。(RWS 00008).....	381
25.1.8	リソースが見つかりません: {0} (RWS 00009).....	381
25.1.9	要求されたオブジェクトに対してリソースがサポートされていません。(RWS 00010).....	381
25.2	RWS 000011 – RWS 000026.....	381
25.2.1	セッショントークンのタイムアウト値 {0} は無効です。(RWS 000011).....	381
25.2.2	ID {0} の Info オブジェクトが見つかりません。(RWS 000012).....	382
25.2.3	重複するオブジェクト (RWS 000013).....	382
25.2.4	{0} という名前の関係はありません。(RWS 000015).....	382
25.2.5	サーバセッションは PJS Service Bean から使用できません。(RWS 000016).....	382
25.2.6	エンコードに失敗しました。(RWS 000017).....	383
25.2.7	{0} が NULL です。(RWS 000018).....	383
25.2.8	不正な引数: {0} (RWS 000019).....	383
25.2.9	{0} 型の値はシリアル化できません。(RWS 000020).....	383
25.2.10	終端がない文字列です。(RWS 000021).....	384
25.2.11	不正な形式の日付: {0}。(RWS 000022).....	384
25.2.12	不正な形式の時間: {0}。(RWS 000023).....	384
25.2.13	不正な形式の日時: {0}。(RWS 000024).....	384
25.2.14	{0} 型の値は非シリアル化できません。(RWS 000025).....	385
25.2.15	属性名を取得できません。名前が null または空です。(RWS 000026).....	385
25.3	RWS 000031 – RWS 000051.....	385

25.3.1	モデルエラーです。(RWS 000031).....	385
25.3.2	setter がありません。(RWS 000032).....	385
25.3.3	getter にはパラメータ {0} を使用できません。(RWS 000033).....	386
25.3.4	setter は 1 つのパラメータ {0} だけを持つ必要があります。(RWS 000034).....	386
25.3.5	setter {0} は getter {1} のタイプと異なります。(RWS 000035).....	386
25.3.6	ソース: {0} + 出力先: {1}。(RWS 000036).....	386
25.3.7	参照型の等号は実装されていません。(RWS 000037).....	387
25.3.8	ハッシュベースのコレクション形式の使用は実装されていません。(RWS 000038).....	387
25.3.9	クラス {0} はモデルクラスではありません。(RWS 000039).....	387
25.3.10	プロパティ '{0}' は次の 2 つのフィールドにバインドできません: {1} および {2}。(RWS 000040).....	387
25.3.11	属性 '{0}' は 2 つの get (set) メソッドにバインドできません: {1} および {2}。(RWS 000041).....	388
25.3.12	モデルに少なくとも 1 つの書き込み専用属性が含まれています。名前: {0}、メソッド: {1}。(RWS 000042).....	388
25.3.13	クラス {0} にはパラメータなしでアクセスできるコンストラクタはありません。(RWS 000043).....	388
25.3.14	構成プロパティ {1} のオブジェクト {0} が null です。(RWS 000044).....	388
25.3.15	プロパティ '{0}' を {2} 型のフィールド {1} に導入できませんでした。(RWS 000045).....	389
25.3.16	プロパティ名はすでに存在します: {0} (RWS 000046).....	389
25.3.17	GUID にパス区切り '/' を含めることはできません (RWS 000047).....	389
25.3.18	クラス {0} に型がありません (RWS 000048).....	389
25.3.19	空のフィルタ。(RWS 000049).....	390
25.3.20	フィルタは他のフィルタ文字と共に '{0}' を使用できません。(RWS 000050).....	390
25.3.21	重複する {0} インスタンスが作成されました。(RWS 000051).....	390
25.4	RWS 00052 - RWS 00075.....	390
25.4.1	不正な要求です。(RWS 00052).....	390
25.4.2	権限なし (RWS 00053).....	391
25.4.3	支払が必要です。(RWS 00054).....	391
25.4.4	禁止 (RWS 00055).....	391
25.4.5	見つかりません。(RWS 00056).....	391
25.4.6	メソッドは使用できません (RWS 00057).....	392
25.4.7	受け入れられません。(RWS 00058).....	392
25.4.8	プロキシ認証が必要です。(RWS 00059).....	392
25.4.9	要求がタイムアウトしました。(RWS 00060).....	392
25.4.10	競合 (RWS 00061).....	393
25.4.11	消失 (RWS 00062).....	393
25.4.12	長さが必要です。(RWS 00063).....	393
25.4.13	長さが必要です。(RWS 00063).....	393
25.4.14	前提条件に失敗しました。(RWS 00064).....	394
25.4.15	要求エンティティが大きすぎます。(RWS 00065).....	394
25.4.16	要求 URI が長すぎます。(RWS 00066).....	394
25.4.17	サポートされていないメディアタイプです。(RWS 00067).....	394
25.4.18	要求された範囲が完全ではありません。(RWS 00068).....	395
25.4.19	予想に失敗しました。(RWS 00069).....	395

25.4.20	内部サーバエラーです。(RWS 00070).....	395
25.4.21	実装されていません。(RWS 00071).....	395
25.4.22	不正なゲートウェイです。(RWS 00072).....	396
25.4.23	サービスは利用できません。(RWS 00073).....	396
25.4.24	ゲートウェイがタイムアウトしました。(RWS 00074).....	396
25.4.25	サポートされていない HTTP バージョンです。(RWS 00075).....	396
25.5	RWS 000076 – RWS 000079.....	397
25.5.1	セッションがすでにこのリクエストに関連付けられているためログオンを続行できません。(RWS 000076).....	397
25.5.2	選択した認証スキーマは現在サポートされていません。(RWS 000077).....	397
25.5.3	認証情報をデコードできませんでした。(RWS 000078).....	397
25.5.4	入力を確認してください。(RWS 000079).....	397
第 26 章	トランスレーションツールエラーメッセージ (TMT および UTM).....	399
26.1	トランスレーションマネジメントツール (TMT) のエラー.....	399
26.1.1	オブジェクトタイプは翻訳できません (TMT10000).....	399
26.1.2	タイプ “[0]” の翻訳プラグインが定義されていません (TMT10010).....	399
26.1.3	タイプ “[0]” の翻訳プラグインをロードできません (TMT10020).....	400
26.1.4	“[0]” は読み取り専用オブジェクトです (TMT10030).....	400
26.1.5	予期しない I/O 例外です (TMT10040).....	400
26.1.6	“[0]” を翻訳する権限がありません (TMT10050).....	400
26.1.7	ユーザアクセス権が無効です (TMT 20050).....	400
26.1.8	このドキュメントを使用する権限がありません。¥n¥nこのドキュメントは別の CMS に属しています。インポート元と同じ CMS に接続する場合を除いて、このドキュメントを開くことができません。(TMT 20070).....	401
26.2	トランスレーションマネジメントツール (UTM) のエラー.....	401
26.2.1	PropertyInfo が無効です: [0]¥nラベル 'PropertyInfo' を NULL にすることはできません。(UTM 20001).....	401
26.2.2	ロケールが無効です: ロケールが NULL です (UTM 20010).....	401
26.2.3	ルートが無効です: ルートエンティティが NULL です (UTM 20020).....	402
26.2.4	無効なドキュメント: ドキュメントが NULL です (UTM 20030).....	402
26.2.5	EntityInfo が無効です: EntityInfo が NULL です (UTM 20040).....	402
26.2.6	ユーザアクセス権が無効です (TMT 20050).....	402
26.2.7	ドキュメントのバージョンが無効です。¥nこのドキュメントは古いバージョンの Universe Designer で生成された可能性があります。¥nユニバースを XI 3.0 または XI 3.1 の Designer を使ってこのドキュメントを開いてから保存して、移行してください。(UTM 20060).....	403
26.2.8	このドキュメントを使用する権限がありません。¥n¥nこのドキュメントは別の CMS に属しています。インポート元と同じ CMS に接続する場合を除いて、このドキュメントを開くことができません。(UTM 20070).....	403
第 27 章	ユニバースエラーメッセージ.....	405
27.1	ユニバース管理 (UNM) に関するエラーメッセージ.....	405

27.1.1	互換性のチェックが必要 (UNM0001)	405
27.1.2	数値書式が不正です (UNM0002)	406
27.1.3	クォーテーション "" "" がありません (UNM0003)	406
27.1.4	ダブルクォーテーション "" "" がありません (UNM0004)	406
27.1.5	閉じ括弧 [...] がありません (UNM0005)	406
27.1.6	関数名の後に開き括弧がありません (UNM0006)	406
27.1.7	閉じ括弧がありません (UNM0007)	407
27.1.8	パラメータがありません (UNM0008)	407
27.1.9	パラメータ数が不正です (UNM0009)	407
27.1.10	不正な文字です (UNM0010)	407
27.1.11	不正なインデントです (UNM0011)	408
27.1.12	使用できないオペランドです (UNM0012)	408
27.1.13	変数定義にループがあります (UNM0013)	408
27.1.14	戻り値がユーザオブジェクトの型と対応しません。 (UNM0014)	408
27.1.15	構文エラー (UNM0015)	408
27.1.16	同じ名前のユーザオブジェクトは作成できません。 (UNM0016)	409
27.2	ユニバース (UNV) に関するエラーメッセージ	409
27.2.1	サーバが応答しません。 (UNV0017)	409
27.2.2	サーバが応答しません (UNV0018)	409
27.2.3	このエイリアス名はテーブルで使われています。 (UNV0031)	410
27.2.4	関連付けられたテーブルがありません。 (UNV0032)	410
27.2.5	このオブジェクトは既に存在します。 (UNV0035)	410
27.2.6	ストラテジ接続が見つかりません。 (UNV0049)	411
第 28 章	アップグレードマネジメントツール (UMT) のエラーメッセージ	413
28.1	UMT 00001	413
28.1.1	選択した新しい言語はアップグレードマネジメントツールを再起動するまで有効になりません。 (UMT 00001)	413
28.2	UMT 00301-00304	413
28.2.1	このオブジェクトのアップグレードプロセスの中で、タイトルが “[0]”、種類が “[1]” の別のオブジェクトが作成されました。 (UMT 00301)	414
28.2.2	このオブジェクトは、タイトルが “[0]”、種類が “[1]” の別のオブジェクトのアップグレードプロセスの中で作成されました。 (UMT 00302)	414
28.2.3	アップグレード中、このオブジェクトはコミットされません。この動作は意図的なものであり、エラーではありません。 (UMT 00303)	414
28.2.4	このオブジェクトのアップグレードプロセスの中で、タイトルが “[0]”、種類が “[1]” の別のオブジェクトがコミットから除外されました。これはエラーではありません。 (UMT 00304)	414
28.3	UMT 10001-10006	415
28.3.1	パラメータを変更できるのは管理者のみです。 (UMT 10001)	415
28.3.2	警告が発生しました。利用可能な詳細はありません。 (UMT 10002)	415
28.3.3	ファイル “[0]” が見つかりません。正しいファイル名が指定されているかを確認してください。 (UMT 10003)	415

28.3.4	このオブジェクトはコミットから除外されました。これはアップグレードプロセスの一部で、エラーではありません。(UMT 10004).....	415
28.3.5	このオブジェクトは、タイトルが “[0]”、種類が “[1]” の別のオブジェクトのアップグレードプロセスの中で、コミットから除外されました。これはエラーではありません。(UMT 10005).....	416
28.3.6	サードパーティ認証を介してマップされたユーザおよびグループの場合は、名前 (CUID ではなく) を使用してユーザまたはグループが出力先に存在しているかどうかを検出します。(UMT 10006).....	416
28.4	UMT 10101-10105.....	416
28.4.1	システム管理者ではないユーザとして出力先 CMS にログオンしています。アクセス権限のないオブジェクトのエクスポートはできません。システム管理者としてアップグレードマネジメントツールを実行することをお勧めします。(UMT 10101).....	416
28.4.2	システム管理者ではないユーザとして出力先 CMS にログオンしています。セキュリティ権限のため一部のオブジェクトのコミットに失敗する場合があります。(UMT 10102).....	417
28.4.3	システム管理者ではないユーザとしてソースおよび出力先 CMS の両方にログオンしています。アクセス権限のないオブジェクトのエクスポートまたはコミットはできません。システム管理者としてアップグレードマネジメントツールを実行することをお勧めします。(UMT 10103).....	417
28.4.4	システム管理者ではないユーザとしてソース XI Release 2 CMS にログオンしています。アクセス権限のないオブジェクトのエクスポートはできません。また、ユーザのパスワードはエクスポートされません。システム管理者としてアップグレードマネジメントツールを実行することをお勧めします。(UMT 10104).....	417
28.4.5	システム管理者ではないユーザとしてソースおよび出力先 CMS の両方にログオンしています。アクセス権限のないオブジェクトのエクスポートまたはコミットはできません。また、ユーザのパスワードはエクスポートされません。システム管理者としてアップグレードマネジメントツールを実行することをお勧めします。(UMT 10105).....	417
28.5	UMT 20001-20016.....	418
28.5.1	オブジェクト ID を認識できません: [0] (UMT 20001).....	418
28.5.2	エラーが発生しました。利用可能な詳細はありません。(UMT 20002).....	418
28.5.3	アップグレードマネジメントツールアプリケーションプラグインの変更を適用できませんでした。エラー: [0] (UMT 20003).....	418
28.5.4	予期しないエラーが発生しました。(UMT 20004).....	418
28.5.5	タイプ “[0]” の予期しないエラーが発生しました。(UMT 20005).....	419
28.5.6	CUID “[0]” のオブジェクトをオブジェクトマネージャから取得できません。(UMT 20006).....	419
28.5.7	“[0]” の CUID が取得できません。エラー: [1] (UMT 20007).....	419
28.5.8	アップグレードマネジメントツールアプリケーションオブジェクトを取得する権限がありません。アップグレードマネジメントツールアプリケーションオブジェクトの表示権限を持つユーザとしてログオンしてください。(UMT 20008).....	419
28.5.9	アップグレードマネジメントツールの関連製品の間で内部の不一致が検出されました。オブジェクト: “[0]”、プロパティ: “[1]”、予期しない値: “[2]”。(UMT 20009).....	420
28.5.10	アップグレードマネジメントツールに関連するプラグイン間で内部の不一致が検出されました。プロンプト名 “[0]” は少なくともプラグイン “[1]” および “[2]” で使用されています。(UMT 20010).....	420
28.5.11	アップグレードマネジメントツールに関連するプラグイン間で内部の不一致が検出されました。プラグイン “[1]” のプロンプト名 “[0]” に 1 つ以上の無効な文字が含まれています。(UMT 20011).....	420
28.5.12	バージョンチェックが失敗しました。ソースシステムまたはソース BIAR ファイルはより古いバージョンである必要があります。出力先システムは現バージョンである必要があります。(UMT 20012).....	420
28.5.13	バージョンチェックが失敗しました。ソースシステムは現在のバージョンである必要があります。(UMT 20013).....	421

28.5.14	バージョンチェックが失敗しました。ソースシステムのバージョンは XI Release 2 以降である必要があります。(UMT 20014).....	421
28.5.15	ブラウザでヘルプを開けませんでした。(UMT 20015).....	421
28.5.16	アップグレードマネジメントツールは現在 WinAD と連動するように設定されていません。アップグレードガイドで WinAD 認証の適切なセットアップ方法を参照してください。(UMT 20016).....	421
28.6	UMT 20106-20112.....	422
28.6.1	完全アップグレードを実行するには、システム管理者としてソース CMS にログオンする必要があります。(UMT 20106).....	422
28.6.2	完全アップグレードを実行するには、システム管理者として出力先 CMS にログオンする必要があります。(UMT 20107).....	422
28.6.3	完全アップグレードを実行するには、システム管理者としてソース XI Release 2 CMS にログオンする必要があります。(UMT 20108).....	422
28.6.4	ソース入力 File Repository Server を使用できません。ソースシステムをチェックし、FRS サーバが稼働中であることを確認してください。(UMT 20109).....	423
28.6.5	ソース出力 File Repository Server を使用できません。ソースシステムをチェックし、FRS サーバが稼働中であることを確認してください。(UMT 20110).....	423
28.6.6	出力先入力 File Repository Server を使用できません。出力システムをチェックし、FRS サーバが稼働中であることを確認してください。(UMT 20111).....	423
28.6.7	出力先出力 File Repository Server を使用できません。出力システムをチェックし、FRS サーバが稼働中であることを確認してください。(UMT 20112).....	423
28.7	UMT 20201-20215.....	424
28.7.1	無効なアップグレードモードが検知されました。許容されるモードの一覧については、文書を参照してください。(UMT 20201).....	424
28.7.2	ソースシステム名は空にできません。(UMT 20202).....	424
28.7.3	ソースシステムユーザ名は空にできません。(UMT 20203).....	424
28.7.4	ソースシステム認証は空にできません。(UMT 20204).....	424
28.7.5	出力先 CMS 名は空にできません。(UMT 20205).....	425
28.7.6	出力先ユーザ名は空にできません。(UMT 20206).....	425
28.7.7	出力先認証タイプは空にできません。(UMT 20207).....	425
28.7.8	BIAR ファイルパスを空白にすることはできません。(UMT 20208).....	425
28.7.9	BIAR ファイルパスに指定されたディレクトリが見つかりません。パスを確認してください。(UMT 20209).....	425
28.7.10	BIAR ファイルパスが無効です。パスを確認してください。(UMT 20210).....	426
28.7.11	指定された BIAR ファイルが見つかりません。ファイルパスを確認してください。(UMT 20211).....	426
28.7.12	ログファイルパスを空白にすることはできません。(UMT 20212).....	426
28.7.13	ログファイルのパスが無効です。パスを確認してください。(UMT 20213).....	426
28.7.14	プロンプト “[0]” は無効です。許容されるプロンプトの一覧については、文書を参照してください。(UMT 20214).....	427
28.7.15	ログファイルパスに指定されたディレクトリが見つかりません。パスを確認してください。(UMT 20215).....	427
4	2	7
第 29 章	Web Intelligence エラー メッセージ.....	429
29.1	Web Intelligence (WIJ) に関するエラーメッセージ.....	429
29.1.1	式エディタを使って式を作成する必要があります。(エラー: WIJ 10000).....	429

29.1.2	既存のドキュメントオブジェクトと同じ名前の変数を作成することはできません。新しい変数にはほかの名前を選択してください。(エラー: WIJ 10001).....	429
29.1.3	このレポートコンポーネントを基準に配置されているブロック、セル、またはセクションを基準として、このレポートコンポーネントを配置することはできません。ドロップダウンリストから別のブロック、セル、またはセクションを選択するか、[基準] オプションを選択解除してください。(WIJ 10500).....	430
29.1.4	Web Intelligence では Java Runtime Environment (JRE) 1.4.2_01 が必要です。現在インストールされている JRE は {0} です。1.4.2_01 にアップグレードするよう管理者に連絡してください。必要なバージョンを既にお持ちの場合は、[Java Plug-in コントロール パネル] で、デフォルトの Virtual Machine バージョンを選択してください。(WIJ 11111).....	430
29.1.5	ドキュメントのデコード中にエラーが発生しました。BI 起動パッドでこのドキュメントを開いてみてください。開くことができない場合、詳細については管理者に連絡してください。(WIJ20000).....	430
29.1.6	ドキュメントを最新表示する際、および開く際に予期しない問題が発生しました。データソースが変更または削除されているか、ドキュメントのプロンプトの値が選択されていません。(WIJ20001).....	431
29.1.7	予期しないエラーです。サーバに再接続できない場合、セッションを閉じてから再び開始します。(WIJ 20002).....	431
29.1.8	現在のレポートの最初のページを取得できません。¥nレポートの有効性を確認してください。(ERR WIJ 20003).....	431
29.1.9	現在のクエリには解決不能なオブジェクトが含まれています。クエリは更新されます (WIJ 20004).....	432
29.1.10	現在のリクエストが、破損したデータを返しました。管理者に連絡してください (WIJ 20005).....	432
29.1.11	アプリケーションサーバにアクセスできません。追加情報については管理者に連絡してください (WIJ 20010).....	432
29.1.12	コピーしようとしている {0,number} MB のレポート要素は大きすぎて外部アプリケーションにエクスポートできません。¥n使用できる最大サイズは {1,number} MB です。(エラー: WIJ 30004).....	432
29.1.13	現在のユーザプロファイルでは、ドキュメントドメインにアクセスして会社用ドキュメントを保存することはできません。このドキュメントを個人用ドキュメントとして保存するか、管理者に連絡してください。(エラー: WIJ 40000).....	433
29.1.14	このドキュメントのクエリは空です。[クエリ] タブの [結果オブジェクト] 枠にオブジェクトがあることを確認してからクエリを実行してください。(エラー: WIJ 30000).....	433
29.1.15	このドキュメントに、空のクエリが少なくとも 1 つ存在します。クエリを実行する前に、各 [クエリ] タブの [結果オブジェクト] 枠にオブジェクトが含まれているかどうか確認してください。(エラー: WIJ 30001).....	433
29.1.16	メモリが不足しています。ブラウザ ウィンドウのサイズを小さくするか、レポートパネルを再起動してください。(WIJ 30003).....	433
29.1.17	ユーザプロファイルにより、個人または会社用のドキュメントを保存することはできません。詳細については、管理者に連絡してください。(WIJ 40001).....	434
29.1.18	お使いのバージョンの Web Intelligence リッチクライアントは最新ではないので、このシステムに接続できません (ERR WIJ 50003)。ここをクリックして Web Intelligence リッチクライアントをアップグレードする必要があります。.....	434
29.1.19	サーバに送信された情報には無効な文字が含まれています。[元に戻す] ボタンで最新の変更内容を取り消してから、再試行してください。(エラー: WIJ 55555).....	434
29.1.20	セッションがタイムアウトしました。{ドキュメント名}.wid は Favorites¥InteractiveAnalysis に自動保存されました。[復元] をクリックしてドキュメントを取得してください。(WIJ 60001).....	434
29.1.21	セッションはタイムアウトしましたが、次のセキュリティ権限が割り当てられていないため、ドキュメントを自動保存できませんでした。(WIJ 60002): [権限のリスト].....	435
29.1.22	サーバの問題により、ドキュメントを受信できません (WIJ 77777).....	435

29.1.23	Central Management Server (CMS) が機能していません。詳細については、管理者にお問い合わせください。(WIJ 77779).....	435
29.1.24	セッションがタイムアウトしました。Java インタフェースを閉じて、再度ログオンしてください。(WIJ 77778).....	436
29.2	Web Intelligence デスクトップ (WIO) に関するエラーメッセージ.....	436
29.2.1	Web Intelligence デスクトップにログインできません。(WIO 00001).....	436
29.2.2	ハイパーリンクを開くことができません (WIO 00002).....	436
29.2.3	使用できるメモリはこれ以上ありません。(WIS 30280) (WIO 30280).....	437
29.2.4	メモリが不足しているため続行できません。ドキュメントを閉じてメモリを解放してください。(WIO 30284).....	437
29.3	Web Intelligence サーバー (WIS) に関するエラー メッセージ.....	437
29.3.1	このドキュメントのクエリは空です。(WIS30000).....	438
29.3.2	ドキュメントに、空のクエリが少なくとも 1 つ存在します。(WIS 30001).....	438
29.3.3	セキュリティプロファイルに、クエリを編集する権限が含まれていません (WIS 30251).....	438
29.3.4	セキュリティプロファイルに、ドキュメントを編集する権限が含まれていません。(WIS 30252).....	438
29.3.5	セキュリティプロファイルに、ドキュメントを最新表示する権限が含まれていません。(WIS 30253).....	438
29.3.6	セキュリティプロファイルに、値の一覧を最新表示する権限が含まれていません。(WIS 30254).....	439
29.3.7	セキュリティプロファイルに、値の一覧を使用する権限が含まれていません。(WIS 30255).....	439
29.3.8	セキュリティプロファイルに、クエリによって生成されたスクリプトを表示する権限が含まれていません。(WIS 30256).....	439
29.3.9	セキュリティプロファイルに、式言語を使用する権限が含まれていません。(WIS 30257).....	439
29.3.10	セキュリティプロファイルに、ドリル分析を実行する権限が含まれていません。(WIS 30258).....	440
29.3.11	セキュリティプロファイルに、分析範囲を拡張する権限が含まれていません。(WIS 30259).....	440
29.3.12	{api_name} API の呼び出し中に内部エラーが発生しました。(WIS 30270).....	440
29.3.13	ドキュメントが大きすぎるため、サーバーで処理できません。(WIS 30271).....	440
29.3.14	ドキュメントが大きすぎるため、サーバーで処理できません。(WIS 30272).....	441
29.3.15	クエリまたはレポートを生成できませんでした。(WIS 30351).....	441
29.3.16	この名前のクエリファイルは既に存在します。(WIS 30371).....	441
29.3.17	Web Intelligence サーバのメモリ不足です。ログオフしてから、もう 1 度接続を実行してください。問題が解決しない場合は、管理者に連絡してください。(エラー: ERR_WIS_30280) (WIS 30280).....	442
29.3.18	Web Intelligence サーバは使用中です。変更を保存して、後でもう一度実行してください。問題が解決しない場合は、管理者に連絡してください。(エラー: ERR_WIS_30284) (WIS 30284).....	442
29.3.19	Web Intelligence サーバがメモリ不足で、ドキュメントが閉じられています。問題が解決しない場合は、管理者に連絡してください。(エラー: ERR_WIS_30285) (WIS 30285).....	442
29.3.20	このドキュメントを編集できません。これは、クエリのプロパティオプションである [ほかのユーザによるクエリ編集を許可] がこのドキュメントの作成時に有効になっていなかったためです。(WIS 30381).....	442
29.3.21	WIQT で内部エラーが発生しました (WIS 30551).....	443
29.3.22	WIQT セッションがタイムアウトになりました。ログアウトし、再度 BI 起動パッドにログインしてください。(WIS 30553).....	443
29.3.23	使用できる WIQT サーバはこれ以上ありません。同時にログインできるユーザの最大数に達しています。(WIS 30554).....	443

29.3.24	セキュリティプロファイルに、会社用ドキュメントとしてドキュメントを保存、または BI 起動パッドを使用してドキュメントを送信する権限が含まれていません。(WIS 30555).....	443
29.3.25	同じ名前の会社用ドキュメントがすでに存在します。セキュリティプロファイルに、他のユーザが所有する会社用ドキュメントを削除できません。(WIS 30556).....	444
29.3.26	リポジトリにこの名前のドキュメントはありません。ほかの名前を指定してください。(WIS 30557).....	444
29.3.27	このドキュメントには指定のアクションを実行できません。(WIS 30650).....	444
29.3.28	サーバは XML ドキュメントをロードできませんでした。(WIS 30751).....	445
29.3.29	このドキュメントの XML ファイルを開くことができません。管理者に連絡してください。(WIS 30752).....	445
29.3.30	XML ドキュメントを解析中にエラーが発生しました。管理者に連絡してください。(WIS 30753).....	445
29.3.31	Web Intelligence 2.x のドキュメントは移行できませんでした。(WIS 30761).....	446
29.3.32	このドキュメントを移行できませんでした。元の Web Intelligence 2.x ドキュメントのクエリとレポートが同期していません。元のドキュメントを最新表示して保存し、もう一度移行してみてください。(WIS 30762).....	446
29.3.33	WIQT モジュールがエラーを返したため、Web Intelligence 2.x ドキュメントは移行できませんでした。管理者にお問い合わせください。(WIS 30763).....	446
29.3.34	現在のユーザプロファイルでは、ドキュメントのドメインにアクセスして会社用ドキュメントを保存することはできません。このドキュメントを個人用ドキュメントとして保存するか、管理者に連絡してください。(WIS 40000).....	447
29.4	Web Intelligence デスクトップ HTML インタフェース (WIH) に関するエラーメッセージ.....	447
29.4.1	ドキュメントを保存できませんでした(WIH 00014).....	447
29.4.2	セッションがタイムアウトしました。ドキュメント {ドキュメント名}.wid は お気に入り¥~WebIntelligence フォルダに自動保存されました。取得するには [復元] をクリックしてください。(WIH 00015).....	448
29.4.3	セッションはタイムアウトしましたが、次のセキュリティ権限が割り当てられていないため、ドキュメントを自動保存できませんでした。(WIH 00016): {権限のリスト}.....	448
29.5	ReportEngine Web Intelligence (RWI) エラーメッセージ	448
29.5.1	RWI 00000 - RWI 00314.....	449
29.5.2	RWI 00315 - RWI 00605.....	454
29.5.3	RWI 00606 - RWI 00850.....	459
29.6	カスタムデータソース (CDS) フレームワークのエラーメッセージ.....	463
29.6.1	カスタムデータソースユーザインタフェースフレームワークのエラーメッセージ.....	463
29.6.2	Web サービスカスタムデータソースプラグインのエラーメッセージ.....	466
29.6.3	カスタムデータソースフレームワークのエラーメッセージ.....	469
第 30 章	HTTP エラー	475
30.1	HTTP 404 エラーのトラブルシューティング.....	475
30.2	HTTP 500 エラーの解決.....	475
第 31 章	Dashboards のエラーメッセージ	477
31.1	DSL の初期化に失敗しました(XLS 000001).....	477
31.2	DSL サービスが見つかりませんでした。SAP BusinessObjects インストールをチェックしてください。(XLS 000002).....	477

31.3	SAP BusinessObjects サーバに接続できませんでした。ネットワーク接続をチェックしてください。(XLS 000003).....	477
31.4	データをシリアル化 (非シリアル化) できませんでした。(XLS 000004).....	477
31.5	例外 {0} をシリアル化できませんでした。(XLS 000005).....	478
31.6	データソース ({0} - {1}) が見つかりません。(XLS 000006).....	478
31.7	Dashboards DSL ライブラリをロードできませんでした。(XLS 000007).....	478
31.8	セッションをロードできませんでした。(XLS 000008).....	478
31.9	リクエストを処理できませんでした。(XLS 000009).....	479
31.10	{0} infoobject が見つかりません: {1}。infoobject が存在し、それに対して権限があることを確認してください。(XLS 000010).....	479
31.11	ユニバース {0} のデータ接続情報が見つかりません (XLS 000011).....	479
31.12	不明なサーバエラー。後でもう一度実行してください。(XLS 000012).....	479
31.13	Dashboards Server の設定プロパティ {0} は無効です。(XLS 000013).....	479
31.14	Dashboards Server の設定ファイルが見つからないかロードできません。(XLS 000014).....	480
31.15	クエリでサポートされていない複数の SQL 文が生成されました。クエリを変更してください。(XLS 000015).....	480
31.16	複合クエリはサポートされていません。(XLS 000016).....	480
31.17	キャッシュファイルのパスが無効です。(XLS 000017).....	480
31.18	Dashboards Processing Server を初期化できませんでした。(XLS 000018).....	481
31.19	現在のユーザには、オブジェクト {1} に対して権限 {0} がありません (XLS 000019).....	481
31.20	サーバに接続できませんでした。ログオンしてからもう一度実行してください。(XLW 000001).....	481
31.21	サーバと通信できませんでした。もう一度試してみます。問題が解決しない場合は、システム管理者またはテクニカルサポートにお問い合わせください。(XLW 000002).....	481
第 32 章	プラットフォーム検索エラーメッセージ.....	483
32.1	新しいドキュメント抽出バージョンは実装されていません。システム管理者に連絡してください。(PSS 00002).....	483
32.2	不明な理由のため {0} の抽出に失敗しました。システム管理者に連絡してください。(PSS 00003).....	483
32.3	SI_ID {0} のオブジェクトの抽出中に、メモリ不足エラーが発生しました。ドキュメントのサイズを確認してください。(PSS 00004).....	483
32.4	複数のインデックスエンジンが有効になっているため、インデックス化に失敗しました (PSS 01001).....	484
32.5	インデックス化に失敗しました。インデックスエンジンがすべて無効な可能性があります (PSS 01002).....	484
32.6	インデックスの準備が完了していません。後でもう一度実行してください (PSS 01004).....	484
32.7	文字列が一般的すぎます。より具体的な文字列を指定してください。(PSS 02001).....	484
32.8	検索文字列が空です。有効な検索文字列を入力してください (PSS 02003).....	485
32.9	検索文字列が無効です。サポートされている検索構文に関する詳細は、マニュアルを参照してください (PSS 02004).....	485
32.10	サーバはビジー状態です。後でもう一度実行してください (PSS 02005).....	485
32.11	{0} のサマリの抽出に失敗しました。(PSS 03002)	485
32.12	{0} のコンテンツの抽出に失敗しました。(PSS 03004)	486

32.13	ドキュメントがコメントなしの PPT である、パスワード保護されている、またはドキュメントに抽出不可能なコンテンツが含まれている可能性があるため、SI_ID {0} のオブジェクトを抽出できません。(PSS 03007).....	486
32.14	PDF に抽出不可能なコンテンツが含まれている可能性があるため、SI_ID {0} のオブジェクトを抽出できません。(PSS 03008)	486
32.15	ドキュメントに抽出不可能なコンテンツが含まれている、またはドキュメントが大きすぎる可能性があるため、SI_ID {0} のオブジェクトを抽出できません。(PSS 03009)	487
32.16	RASFactory サービスが返されませんでした。(PSS 04001).....	487
32.17	サポートされていない InfoObject {0} が Crystal Reports 抽出に送られました。(PSS 04003).....	487
32.18	Crystal レポート {0} を終了できませんでした。(PSS 04005)	487
32.19	RAS はドキュメント {0} を開くことができませんでした。(PSS 04006).....	488
32.20	例外のため、ユニバースのコンテキストを作成できませんでした: {0}。(PSS 05001).....	488
32.21	DataSourceElement の値を取得できませんでした。DataSourceName が作成され、接続が利用可能であることを確認してください。(PSS 05002)	488
32.22	ユニバース {0} のビジネスレイヤを作成できませんでした。コンテキストのエラーまたはコアサービスが使用できないことが原因である可能性があります。(PSS 05003)	488
32.23	Interactive Analysis 処理サーバがダウンしている可能性があります。ドキュメントインスタンスを作成できません。(PSS 06002).....	489
32.24	新しいドキュメント抽出バージョンは実装されていません。システム管理者に連絡してください。(PSS 06004)	489
32.25	Interactive Analysis ドキュメント {0} を終了できませんでした。(PSS 06005)	489
32.26	Interactive Analysis 処理サーバがドキュメント {0} を開けませんでした。(PSS 06006).....	489
32.27	Interactive Analysis ドキュメントには、正しくないユニバース接続情報が含まれています。(PSS 06007).....	490
32.28	Explorer 検索サーバがダウンしている可能性があります。結果を作成できません。(PSS 07001).....	490
32.29	情報スペースの取得中に内部エラーが発生しました。(PSS 07002).....	490
第 33 章	モニタリングエラーメッセージ.....	491
33.1	プローブの実行中にエラーが発生しました (MON00001).....	491
33.2	プローブの一覧表示中にエラーが発生しました (MON00002).....	491
33.3	ID {0} のファイルからプローブ結果を読み込み中にエラーが発生しました (MON00003).....	491
33.4	プロパティ/スケジュール/履歴アクションの URL の取得中にエラーが発生しました (MON00004).....	492
33.5	プローブの一覧のページ番号付け中にエラーが発生しました (MON00006).....	492
33.6	{0} は有効な {1} 値ではありません (MON00007).....	492
33.7	リクエストの実行中に例外が発生しました (MON00008).....	492
33.8	データベースからトレンドデータの取得中にエラーが発生しました (MON00009).....	492
33.9	監視の一覧作成中にエラーが発生しました (MON00010).....	493
33.10	監視 {0} の詳細を取得中にエラーが発生しました (MON00011).....	493
33.11	監視 {0} のステータスを取得中にエラーが発生しました。(MON00012).....	493
33.12	監視 {0} の作成中にエラーが発生しました (MON00013).....	493
33.13	監視 {0} の削除中にエラーが発生しました (MON00014).....	494
33.14	監視 {0} のコピーを作成中にエラーが発生しました (MON00015).....	494
33.15	監視 {0} を編集中にエラーが発生しました (MON00016).....	494

33.16	監視の一覧のページ番号付け中にエラーが発生しました (MON00017).....	494
33.17	監視 {0} をお気に入りとして登録中にエラーが発生しました (MON00018).....	495
33.18	最近のアラートを取得中にエラーが発生しました (MON00019).....	495
33.19	監視 {0} のアラートを取得中にエラーが発生しました (MON00020).....	495
33.20	アラートの削除中にエラーが発生しました (MON00021).....	495
33.21	アラートの全ページ数を取得中にエラーが発生しました (MON00022).....	496
33.22	アラート数と共に監視を取得中にエラーが発生しました (MON00023).....	496
33.23	アラートが確認されたプロパティを設定中にエラーが発生しました (MON00024).....	496
33.24	既読に変更されたアラートの設定中にエラーが発生しました (MON00025).....	496
33.25	サーバは起動していません (MON00026).....	497
33.26	不明なエラーです (MON00027).....	497
33.27	KPI の取得中にエラーが発生しました (MON00028).....	497
33.28	マネージドエンティティの更新中にエラーが発生しました (MON00029).....	497
33.29	監視の有効化中にエラーが発生しました (MON00030).....	497
33.30	タイムアウト値をゼロまたは負の値にすることはできません (MON00031).....	498
33.31	タイムアウト値が正しくありません (MON00032).....	498
33.32	入力パラメータタイプ "[0]" が認識できません (MON00033).....	498
33.33	入力パラメータが正しくありません: {0} (MON00034).....	498
33.34	プローブ InfoObject の取得中にエラーが発生しました (MON00035).....	499
33.35	プローブ InfoObject が見つかりませんでした (MON00036).....	499
33.36	以下の引数には {0} がありません (MON00037)	499
33.37	監視 {0} の無効化または有効化中にエラーが発生しました (MON00039).....	499
33.38	モニタリングサービスが開始されていないか、開始に失敗した可能性があります。サービスステータスをチェックしてください (MON00041).....	500
33.39	プローブの実行中に例外が発生しました (MON00042).....	500
33.40	応答の書式設定中に例外が発生しました (MON00044).....	500
33.41	ユーザの一覧表示中にエラーが発生しました (MON00045).....	500
33.42	KPI の詳細の取得中にエラーが発生しました。(MON00046).....	501
33.43	同期されたライブデータの取得中にエラーが発生しました (MON00047).....	501
33.44	監視ステータスの取得中にエラーが発生しました (MON00048).....	501
33.45	プローブの実行結果レポートの取得中にエラーが発生しました (MON00049).....	501
33.46	プローブの保存中にエラーが発生しました (MON00050).....	501
33.47	プローブのプロパティの表示中にエラーが発生しました (MON00051).....	502
33.48	アプリケーションのプロパティの保存中にエラーが発生しました (MON00052).....	502
33.49	アプリケーションのプロパティを表示中にエラーが発生しました (MON00053).....	502
33.50	データベースバックアップタスクの実行中にエラーが発生しました (MON00054).....	502
33.51	派生メトリクスの詳細の取得中にエラーが発生しました (MON00055).....	503
33.52	派生メトリクスの編集集中にエラーが発生しました (MON00056).....	503
33.53	監視の無効化中にエラーが発生しました (MON00057).....	503

付録 A	より詳しい情報.....	505
	索引	507

アドミニストレーションおよびセキュリティエラーメッセージ

アドミニストレーションエラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

- ・ アドミニストレーション (ADM) エラー
- ・ アドミニストレーションウィザード (ADW) エラーメッセージ
- ・ BI プラットフォームサーバ (FWB) に関するエラーメッセージ
- ・ BIP フレームワークミドルウェア (FWM) エラーメッセージ
- ・ セキュリティ (USR) エラー

1.1 アドミニストレーション (ADM) エラー

アドミニストレーションエラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

範囲	カテゴリ
ADM0012 - ADM 00208	アドミニストレーションエラー

1.2 アドミニストレーションウィザード (ADW) エラーメッセージ

アドミニストレーションウィザードエラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

範囲	カテゴリ
ADW0002 - ADW0025	アドミニストレーションセットアップウィザードのエラー

1.3 BIP フレームワークミドルウェア (FWM) エラーメッセージ

BIP フレームワークミドルウェア (FWM) は、次のエラーメッセージのカテゴリに分類されます。

範囲	カテゴリ
FWM 00001 ~ FWM 00009	BIP フレームワークミドルウェア (FWM)
FWM 01001 ~ FWM 01014	BIP フレームワークミドルウェア (FWM)
FWM 02001 ~ FWM 02124	BIP フレームワークミドルウェア (FWM)
FWM 04002 ~ FWM 04038	BIP フレームワークミドルウェア (FWM)
FWM 08001 ~ FWM 08006	BIP フレームワークミドルウェア (FWM)
FWM 10001 ~ FWM 10007	BIP フレームワークミドルウェア (FWM)
FWM 12001 ~ FWM 12013	BIP フレームワークミドルウェア (FWM)
FWM 14001 ~ FWM 14009	BIP フレームワークミドルウェア (FWM)
FWM 16001 ~ FWM 16005	BIP フレームワークミドルウェア (FWM)
FWM 17001 ~ FWM 17003	BIP フレームワークミドルウェア (FWM)

1.3.1 FWM 00001 ~ FWM 00009

転送エラー: 通信に失敗しました。(FWM 00001)

原因

サーバがオフラインか、ネットワーク通信問題があるか、またはクライアントのリクエストがタイムアウトしたため、クライアントがサーバと通信できませんでした。

対処方法

サーバがオンラインで、ネットワーク通信があり、リクエストがタイムアウトするまでの時間を増やします。

転送エラー: リソース不足です。(FWM 00002)

原因

クライアントとサーバが相互に通信できません。

対処方法

クライアントとサーバの両方が SSL を使用しているか、または両方が SSL を使用していないことを確認します。

Kerberos ターゲット名 %1 が不明です。システム管理者に連絡し、適切に設定されていることを確認してください。(FWM 00003)

原因

ターゲットアカウントまたはサービスプリンシパル名 (SPN) が認識できません。

対処方法

ターゲットアカウントおよびターゲット SPN が存在することを確認します。

Active Directory サーバにコンタクトできませんでした。(FWM 00004)

原因

Active Directory サーバに接続できません。

対処方法

ログからサーバ名を特定し、サーバが使用可能であることを確認します。

Active Directory 認証プラグインでの認証が行えません。Please try again.問題が解決しない場合は、組織内のテクニカルサポート部門にお問い合わせください。(FWM 00005)

原因

Active Directory プラグインで、旧式のエイリアス形式が使用されています。

対処方法

[Windows AD] ページで、セントラル管理コンソールの Active Directory プラグインを更新します。

Active Directory 認証でログオンできません。システム管理者に連絡して、マップされた有効なグループのメンバーであることを確認し、もう一度実行してください。デフォルトドメインのメンバーでない場合は、ユーザ名として UserName@DNS_DomainName を入力し、もう一度実行してください。(FWM 00006)

原因

ログオンコンテキストを作成できません。

対処方法

設定ファイルのエントリが有効で、ログインコンテキストを作成するために必要な権限を持っていることを確認します。

無効なユーザ名またはパスワードです。アカウントが %1 以外のルート直下にある場合は、DN (識別名) を入力する必要があります。(FWB 00007) (FWM 00007)

原因

ユーザ名を認証できませんでした。

対処方法

有効なユーザ名とパスワードを入力します。

注

アカウントが他のシステムにある場合は、識別名 (DN) を入力する必要があります。

LDAP 認証はシングルサインオンを使用するように設定されていません。システム管理者にお問い合わせください。(FWM 00008)

原因

シングルサインオンが設定されていません。

対処方法

シングルサインオンを設定します。

シングルサインオンが無効になっているときに、パスワードを空にして LDAP 認証を行うことはできません。(FWM 00009)

原因

パスワードが入力されていません。

対処方法

有効なパスワードを入力します。

1.3.2 FWM 01001 ~ FWM 01014

サーバとの通信中に次の問題が発生しました。{0} (FWM 01001)

原因

サーバとの通信中に問題が発生しました。

対処方法

詳細については、問題の原因を参照してください。

CMS {0} に再接続できません。セッションはログオフされたか期限が切れました。(FWM 01002)

原因

ログオフしているか、セッションの有効期限が切れています。

対処方法

再ログオンしてください。

サーバ {0} が見つからないか、またはダウンしています。(FWM 01003)

原因

サーバが見つかりません。オフラインである可能性があります。

対処方法

Central Management Server のポート設定を確認し、サーバを起動して有効化します。

CMS {0} との通信にソケットを開くことができません。(FWM 01005)

原因

Central Management Server と通信するためのソケットを開けません。

対処方法

Central Management Server が実行されていることを確認します。

サービス {0} にサーバ {1} から CMS {2} を経由して接続できません。(FWM 01006)

原因

Central Management Server を通してサービスに接続できません。

対処方法

セントラル管理コンソールにログオンして、適切なサーバでサービスが実行中であることを確認します。

サーバ {0} から CMS {1} を経由してサービスを一覧できません。(FWM 01007)

原因

指定した Central Management Server を通して、指定したサーバで実行中のサービスの一覧を作成できませんでした。

対処方法

セントラル管理コンソールにログオンして、適切なサーバでサービスが実行中であることを確認します。

種類 {2} で追加の条件が {3} のサービスが CMS {0} およびクラスタ {1} 内にサーバが見つかりません。サーバは停止しているか、管理者により無効にされている可能性があります。(FWM 01008)

原因

必要なサーバが見つかりません。オフラインであるか、無効化されている可能性があります。

対処方法

必要なすべてのサーバが実行中で、有効になっていることを確認します。

サーバ {0} に接続しようとした際に、通信エラーが発生しました。(FWM 01009)

原因

サーバへの接続中に、表示されている通信エラーが発生しました。

対処方法

詳細については、このエラーの原因を参照してください。

サーバグループ {0} が CMS {1} で見つかりません。(FWM 01010)

原因

表示されているサーバグループが Central Management Server 上で見つかりませんでした。

対処方法

表示されているサーバグループを作成します。

サービス {0} がサーバ {1} 上に見つかりません。(FWM 01011)

原因

表示されているサービスが、表示されているサーバ上で見つかりません。

対処方法

セントラル管理コンソールにログオンして、表示されているサーバで表示されているサービスが実行中であることを確認します。

SSL モードが要求されていますが、次の引数がありません: {0} (FWM 01012)

原因

SSL モードのためのリクエストで引数が足りません。

対処方法

すべての SSL 引数がリクエストに指定されていることを確認します。

SSL モードが要求されています。{0} という名前のファイルを開くとき、またはこのファイルからデータを 読み取ろうとして、エラーが発生しました。エラーメッセージは {1} です。(FWM 01013)

原因

表示されているファイルを開く、または読み取ることができませんでした。

対処方法

SSL ファイルが存在し、読み取れることを確認します。

種類 {2} でサービスが {3} の CMS {0} およびクラスタ {1} 内にサーバが見つかりません。サーバーは停止しているか、管理者により無効にされている可能性があります。(FWM 01014)

原因

必要なサービスのあるサーバが見つかりませんでした。オフラインであるか、システム管理者によって無効化されている可能性があります。

対処方法

必要なサーバがすべてオンラインで、有効化され、必要なサービスが実行されていることを確認します。

1.3.3 FWM 02001 ~ FWM 02124

{0} (FWM 02001)

原因

表示された例外が発生しました。

対処方法

詳細については、表示されている例外の原因を参照してください。

サービス {0} をサーバ {1} から取得中に問題が発生しました (FWM 02002)

原因

サーバ上のサービスにアクセスできませんでした。

対処方法

サーバ上でサービスが実行され、有効になっていることを確認します。

{0} プラグインは CMS 内に存在しません (FWM 02017)

原因

必要なプラグインが Central Management Server にインストールされていません。

対処方法

プラグインがインストールされていることを確認します。

{0} プラグインは初期化できませんでした (FWM 02018)

原因

必要なプラグインを初期化できませんでした。

対処方法

このタイプの新しい InfoObjects を作成する権限を持っていることを確認します。

ID {0} のオブジェクトが CMS にないか、そのオブジェクトへのアクセス権がありません (FWM 02020)

原因

必要なオブジェクトが Central Management Server (CMS) に存在しないか、必要なアクセス権がありません。

対処方法

オブジェクトが CMS に存在し、そのオブジェクトにアクセスするのに必要な権限があることを確認します。

システムプロパティ¥" {0} ¥" の呼び出し時にエラーが発生しました。エラー発生時のこのプロパティの値: {1} この値は有効ではないと思われます。(FWM 02031)

原因

必要なシステムプロパティの値が無効です。

対処方法

有効なシステムプロパティの値を指定してください。

信頼できるプリンシパル設定ファイルからの共有シークレットの読み取り中に、エラーが発生しました。(FWM 02045)

原因

信頼できるプリンシパル設定ファイルから共有シークレットを読み取れませんでした。

対処方法

信頼できるプリンシパル設定ファイルがあり、読み取れることを確認します。

ID {0}、タイトル "{1}"、種類 "{2}" のオブジェクトは、最後のクエリから変更されました (FWM 02050)

原因

必要な InfoObjects オブジェクトが最後のクエリ以降、変更されました。

対処方法

再度 InfoObject を照会します。

ID {0} のサービスは削除できません。現在サーバーで使用されています。(FWM 02056)

原因

サーバが現在使用しているため、必要なサービスを削除できません。

対処方法

サービスに関連するサーバがないことを確認します。

ID {0} のサービスコンテナを削除できません。現在サーバーで使用されています。(FWM 02057)

原因

サーバが現在使用しているため、必要なサービスコンテナを削除できません。

対処方法

サービスコンテナに関連するサーバがないことを確認します。

イベントの監査に失敗しました

原因

必要なイベントを監査できませんでした。

対処方法

Program Job Server が実行され、有効になっていることを確認します。

イベントの種類 {0} が無効です (FWM 02073)

原因

必要なイベントの種類が無効になっています。

対処方法

監視するイベントの種類を有効にします。

このユーザに対して優先ビューアロケールが設定されていません: {1} ({0}) (FWM 02077)

原因

このユーザには、優先表示ロケールが設定されていません。

対処方法

このユーザの優先表示ロケールを設定します。

このユーザに対してロケールが設定されていません: {1} ({0}) (FWM 02078)

原因

このユーザには、デフォルトロケールが設定されていません。

対処方法

このユーザのデフォルトロケールを設定します。

サービス {0} は無効にされています (FWM 02079)

原因

必要なサービスが無効になっています。

対処方法

サービスが有効になっていることを確認します。

無効なログオントークン: {0}。 (FWM 02080)

原因

無効なログオントークンが使用されました。

対処方法

有効なログオンチケットを入力します。

ファイルのプロパティは正しく構成されていません。(FWM 02082)

原因

ファイルプロパティの構造が無効です。

対処方法

API が正しく使用されていることを確認します。

監査サービスは無効です。(FWM 02083)

原因

監査サービスが無効になっています。

対処方法

Central Management Server と監査サービスが動作していて、有効になっていることを確認します。

監査イベントのソースオブジェクト CUID を設定してからその他の監査 API を呼び出す必要があります。(FWM 02084)

原因

アプリケーションオブジェクト CUID が設定されていません。

対処方法

アプリケーションに対して監査を呼び出す前に、IClientSideAuditing.setApplicationObjCUID(String appObjCUID) でアプリケーションオブジェクト CUID が設定されていることを確認してください。

イベントの種類 {0} はアプリケーション {1} でサポートされていません (FWM 02085)

原因

必要なイベントの種類がサポートされていません。

対処方法

サポートされているイベントの種類しか監査できません。

期間は 0 以上の値、オブジェクト CUID、セッション CUID およびユーザ CUID は空以外の文字列にする必要があります。(FWM 02086)

原因

一部のイベントオブジェクトパラメータが無効です。

対処方法

有効なイベントオブジェクトパラメータを入力します。

無効なロケールです。ロケールは定義されていないか、ユーザのデフォルトロケールに設定されているか、サポートされていません。(FWM 02087)

原因

このユーザアカウントのデフォルトロケールが無効です。

対処方法

ユーザが有効なロケールを入力したことを確認します。

CMS システムデータベースは使用できません。エラーはエンドユーザによって修正できません。このエラーをシステム管理者またはデータベース管理者に報告してください。(FWM 02088)

原因

Central Management Server データベースが使用できません。

対処方法

システム管理者に連絡してください。

検索サービスが正しく初期化されていません。(FWM 02091)

原因

検索サービスが正しく初期化されていません。

対処方法

Adaptive Processing Server を再起動します。

Adaptive Processing Server がシャットダウンしています。(FWM 02092)

原因

Adaptive Processing Server がシャットダウンしています。

対処方法

Adaptive Processing Server を再起動します。

クエリ文字列 {0} が無効です。クエリパーサーは文字列を解析できませんでした。(FWM 02093)

原因

パーサーでクエリ文字列を解析できません。

対処方法

クエリ文字列を変更します。

現在の検索サービスはすでにインデックスを作成しています。後でもう一度実行してください。(FWM 02094)

原因

検索サービスで一度に処理できるインデックス化要求は 1 つだけです。

対処方法

さらに要求する前に、インデックス化要求が終了するまでお待ちください。

クエリ文字列が空です。(FWM 02099)

原因

クエリ文字列が空です。

対処方法

クエリ文字列のコンテンツを入力します。

次のクエリを解析できません: {0} (FWM 02103)

原因

Central Management Server (CMS) のクエリ文字列を解析できません。

対処方法

有効な CMS クエリ文字列を入力します。

次の文字を解析できません: {0} (FWM 02104)

原因

Central Management Server (CMS) のクエリ文字列を解析できません。

対処方法

有効な CMS クエリ文字列を入力します。

イベントの種類 ID {0} が無効か、クエリに SL_AUDIT_EVENTS が含まれていません。(FWM 02105)

原因

イベントの種類が無効です。

対処方法

イベントオブジェクト ID が有効で、クエリに SL_AUDIT_EVENTS が含まれることを確認します。

イベント詳細 ID {0} が無効か、クエリに SL_AUDIT_EVENT_DETAILS が含まれていません。(FWM 02106)

原因

イベントの種類が無効です。

対処方法

イベントオブジェクト ID が有効で、クエリに SL_AUDIT_EVENTS が含まれることを確認します。

ファイル {0} を読み取れません。(FWM 02107)

原因

ファイルを読み取れません。

対処方法

ファイルを読み取れることを確認します。

ファイル {0} のサイズが {1} バイト制限を超えています。大きすぎて扱えません。(FWM 02108)

原因

ファイルサイズが提案されている値を超えています。

対処方法

ファイルのサイズを小さくするか、サイズがより小さいファイルを選択します。

{0} のためファイル全体を読み取れませんでした。(FWM 02109)

原因

ファイルを完全に読み取れませんでした。

対処方法

ファイルが壊れていないことを確認します。

交換中のキーのみを一時停止できます。(FWM 02110)

原因

交換処理されていないキーを中断しようとしてしました。

対処方法

交換処理中のキーの中断のみ実行できます。

無効にされたキーをのみを交換できます。(FWM 02111)

原因

無効化されたクラスタキーのみ実行できます。

対処方法

交換処理する前にキーが無効化されていることを確認します。

クラスタキーが無効です。(FWM 02112)

原因

現在のキーは有効ではありません。

対処方法

現在のキーを有効化します。

監査レベルがカスタムに設定されていません。(FWM 02113)

原因

現在の監査レベルがカスタムでない場合は、監査イベントを有効化または無効化できません。

対処方法

現在の監査レベルがカスタムであることを確認します。

指定できない監査詳細を有効化または無効化することはできません (FWM 02114)

原因

指定されていない監査詳細は切り替えできません。

対処方法

切り替える監査詳細が指定されていることを確認します。

暗号化/解読キーを作成できません。(FWM 02115)

原因

ファイル暗号化キーまたは salt を生成できません。

対処方法

必要な暗号化ライブラリがインストールされていることを確認します。

各コレクションには同じ数の項目が含まれている必要があります。コレクション {0} はコレクション {1} と同じサイズではありません。(FWM 02118)

原因

正しい数の暗号化キーを使わずにファイルセットのダウンロードまたはアップロードを試みました。

対処方法

暗号化キーの数が、ダウンロードまたはアップロードするファイルの数と等しいことを確認します。

コンフィデンシャルチャネルを確立できませんでした。(FWM 02119)

原因

コンフィデンシャルチャネルを確立できませんでした。

対処方法

操作を再実行します。

一時停止したキーのみを再開できます。(FWM 02120)

原因

有効なキーを再開しようとしてしました。

対処方法

再開する前にキーが中断されていることを確認します。

クラスタキーが有効な場合、改ざんありにできません。(FWM 02121)

原因

有効なキーを改ざんありとマーク付けしようとしてしました。

対処方法

改ざんありのマークを設定する前に、キーが無効であることを確認します。

{0} プラグインは公開をサポートしていません。(FWM 02122)

原因

選択されたプラグインは公開をサポートしません。

対処方法

公開をサポートするプラグインの種類を選択します。

イベント詳細値は空にできません。(FWM 02123)

原因

イベント詳細にコンテンツがありません。

対処方法

イベント詳細にコンテンツがあることを確認します。

コンフィデンシャルチャンネルは無効になりました。(FWM 02124)

原因

コンフィデンシャルチャンネルが無効化されているため、この操作を実行できません。

対処方法

コンフィデンシャルチャンネルを有効化するには、businessobjects.enterprise.cc を TRUE に設定するか、Java システムプロパティからプロパティを削除します。

1.3.4 FWM 04002 ~ FWM 04038

CE SDK ランタイム例外が発生しました: '{0}' (FWM 04002)

原因

表示されている SKD 例外が発生しました。

対処方法

詳細については、表示されている例外の原因を参照してください。

インポートフォルダ CUID '{0}' はこの CMS に存在しません。(FWM 04003)

原因

CUID が BIAR ファイルで解決できなかったか、出力先 Central Management Server に CUID がありません。

対処方法

BIAR ファイルが有効であることを確認します。

エンタープライズセッションが無効です。(FWM 04004)

原因

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームセッションからログアウトしているか、有効期限が切れています。

対処方法

再ログオンしてください。

ファイルパスへのエクスポートが無効です。(FWM 04005)

原因

エクスポートしようとしたファイルパスが無効です。

対処方法

有効なファイルパスを指定します。

インポートファイル '{0}' が存在しません。(FWM 04007)

原因

BIAR ファイルにないため、ファイルリポジトリサーバにファイルをアップロードできません。

対処方法

BIAR ファイルが有効であることを確認します。

'{0}' は、InfoObject ではないため、インポートは実行できません。(FWM 04008)

原因

BIAR ファイルで指定されているオブジェクトが InfoObject ではありません。

対処方法

BIAR ファイルが有効であることを確認します。

インポートファイルの解析例外が発生しました: '{0}' (FWM 04009)

原因

BIAR ファイル内の businessobjects.xml ファイルが無効です。

対処方法

BIAR ファイルが有効であることを確認します。

XML ファイル内の要素が無効です: '{0}' (FWM 04010)

原因

BIAR ファイル内の businessobjects.xml ファイルに無効な要素が含まれています。

対処方法

BIAR ファイルが有効であることを確認します。

XSD ファイルの解析例外が発生しました: '{0}' (FWM 04011)

原因

.xsd ファイルの解析中にエラーが発生しました。

対処方法

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームによってインストールされた .xsd ファイルについては、サービスマーケットプレイスを参照してください。

'{0}' の使用可能なスキーマ定義 (XSD) がありません。(FWM 04012)

原因

.xsd ファイルが見つかりません。

対処方法

必要な .xsd ファイルがすべてインストールされていることを確認します。

項目 '{1}' が列挙 '{0}' にありません。(FWM 04016)

原因

BIAR ファイルに無効な列挙項目が含まれています。

対処方法

BIAR ファイルが有効であることを確認します。

無効な XSD が渡されました。ログファイルを参照してください。(FWM 04022)

原因

無効な .xsd ファイルが渡されました。

対処方法

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームによってインストールされた .xsd ファイルについては、サービスマーケットプレイスを参照してください。

CUID が見つからない InfoObject はインポートできません。(FWM 04026)

原因

CUID がないため、InfoObject をインポートできません。

対処方法

BIAR ファイルが有効であることを確認します。

親 CUID が見つからない InfoObject CUID '{0}' はインポートできません。(FWM 04027)

原因

親 CUID がないため、InfoObject をインポートできません。

対処方法

BIAR ファイルが有効であることを確認します。

名前空間 '{1}' および '{2}' に対して重複する名前空間前置記 '{0}' が定義されています。(FWM 04029)

原因

重複した名前空間前置記が定義されています。

対処方法

独自の .xsd ファイルがある場合は、インストールされた .xsd ファイルと同じ名前空間プレフィックスがないことを確認します。

種類 '{0}' は CMS に存在しません。(FWM 04030)

原因

指定された InfoObject の種類が、Central Management Server に存在しません。

対処方法

InfoObject の種類が正しくインストールされていることを確認します。

プラグイン名前空間 URI '{0}' の書式が認識されません。詳細: '{1}' (FWM 04031)

原因

プラグイン名前空間 URI の書式が認識されません。

対処方法

BIAR ファイルが有効であることを確認します。

種類 '{0}' は見つかりませんでした。(FWM 04032)

原因

InfoObject タイプがありません。

対処方法

この種類の InfoObject の .xsd がインストールされていることを確認します。

ターゲットシステムに必要な依存関係が見つかりません: '{0}' (FWM 04036)

原因

エクスポートされたオブジェクトが参照するオブジェクト ID を CUID に解決できません。

対処方法

エクスポート中に依存関係の強制を無効化するか、すべての ID が、ドキュメントをエクスポートするユーザが表示できる、ソースシステム上の有効なオブジェクトを参照するようにします。

CUID '{1}' のオブジェクトでプロパティ配列 '{0}' が無効です (FWM 04038)

原因

エクスポートしようとした InfoObject には、予想外の構造のプロパティ配列があります。

対処方法

InfoObject のプロパティをチェックして、配列構造が正しいことを確認します。

1.3.5 FWM 08001 ~ FWM 08006

プロパティ - 値ペア ({0}、{1}) の設定が ({2}、{3}) と矛盾します。矛盾を解決します。(FWM 08001)

原因

2 つのプロパティと値の組の設定が矛盾します。

対処方法

2 つのプロパティと値の組を正しく設定します。

ID {0} のオブジェクトはシステム内に存在しません (FWM 08002)

原因

参照先オブジェクトがシステムに存在しません。

対処方法

正しい ID を使用し、同じ ID の対応するオブジェクトがシステムに存在することを確認します。

プロパティ {0} の値 {1} は、予期される範囲 {2} から {3} の間にありません (FWM 08003)

原因

表示されたプロパティの値が範囲を超えています。

対処方法

値が正しい範囲内にあることを確認します。

{0} はインタフェース {1} に定義されている有効な値ではありません (FWM 08004)

原因

表示されたパラメータ値が無効です。

対処方法

有効なパラメータ値を入力します。

親のアクセス権を継承させるには、プリンシパルをオブジェクトから削除する必要があります。(FWM 08005)

原因

主体がオブジェクトから削除されていません。

対処方法

親の権限が継承される前に主体をオブジェクトから削除します。

1.3.6 FWM 10001 ~ FWM 10007

例外が発生し、保存領域へのオブジェクトの読み込みまたは書き込みは実行できません。(FWM 10002)

原因

ストレージレイヤでの例外のため、オブジェクトを処理できません。

対処方法

詳細については、表示されている例外の原因を参照してください。

BIAR エンジンで例外が発生しました。(FWM 10004)

原因

BIAR エンジンで例外が発生しました。

対処方法

詳細については、表示されている例外の原因を参照してください。

{0} が発生しました。元の例外メッセージ {1}(FWM 10005)

原因

例外が発生しました。

対処方法

詳細については、表示された例外の原因を参照してください。

クエリを解析中にエラーが発生しました: '{0}' (FWM 10006)

原因

クエリを解析できませんでした。

対処方法

詳細については、表示されている例外の原因を確認し、クエリの構文が正しいことを確認します。

{0} 個の例外が発生しました。(FWM 10007)

原因

例外が発生しました。

対処方法

詳細については、表示されている各例外の原因を参照してください。

1.3.7 FWM 12001 ~ FWM 12013

{0} が発生しました。元の例外メッセージ {1} (FWM 12001)

原因

例外が発生しました。

対処方法

詳細については、表示されている例外の原因を参照してください。

インポートまたはエクスポートアクションが決定できません。(FWM 12002)

原因

この種類のアクションは指定できませんでした。

対処方法

インポートまたはエクスポートアクションを入力します。

インポート中の XML 検証はサポートされません。(FWM 12007)

原因

インポート中に要求した XML 検証はサポートされていません。

対処方法

validateXML を false に設定します。

次のクエリは BIAR エンジンで認識されません: '{0}' (FWM 12011)

原因

BIAR エンジンではクエリを解析できません。

対処方法

クエリの書式が正しいことを確認します。

無効な BIAR ファイルです。バージョン {0} よりも古いファイルをインポートする場合は、アップグレードマネジメントツールを使用してください。(FWM 12012)

原因

旧バージョンのデプロイメントから BIAR ファイルはインポートできません。

対処方法

サポートされているバージョンにデプロイメントをアップグレードし、アップグレードマネジメントツールを使用して BIAR ファイルをインポートします。

BIAR ファイルを開けません。パスワードが無効です。(FWM 12013)

原因

不正なパスワードが入力されました。

対処方法

Caps Lock がオフになっていることを確認して、パスワードを再入力します。

BIAR ファイル形式が認識されません。互換性のある形式で BIAR ファイルを再エクスポートしてください。(FWM 12014)

原因

BIAR ファイルを開こうとしました。ファイルの内容を認識できません。

対処方法

BIAR ファイルを再作成します。

1.3.8 FWM 14001 ~ FWM 14009

レプリケーション一覧にオブジェクトがありません。(FWM 14001)

原因

このジョブのレプリケーション一覧に、アカウントがレプリケート権限を持つオブジェクトが含まれていません。

対処方法

レプリケーション一覧にオブジェクトがあること、リモートシステム接続で指定されたユーザに、そのレプリケーション一覧内のオブジェクトに対するレプリケート権限があることを確認します。

元のサイトに CUID "{0}" のレプリケーション一覧がありません。(FWM 14002)

原因

レプリケーションジョブが、無効な CUID を使ってレプリケーション一覧を要求しました。

対処方法

要求されたレプリケーション一覧がシステムに存在することを確認します。

フィルタ設定によりレプリケーションからすべてが除外されます。(FWM 14003)

原因

レプリケーションフィルタの設定で、すべてのオブジェクトが除外されます。

対処方法

レプリケーションジョブ設定が正しいことを確認します。

無効な最新表示モードの値: {0} (FWM 14004)

原因

現在の最新表示モードの値が無効です。

注

一方向レプリケーションでは、CeApplicationRefreshMode.REFRESH_TO_MASTER は無効です。

対処方法

レプリケーションジョブ設定が正しいことを確認します。設定できる値については、CeApplicationRefreshMode を参照してください。

無効な競合解決モードの値: {0} (FWM 14005)

原因

現在の競合解決モードの値が無効です。

注

一方レプリケーションでは、CeConflictResolutionMode.SLAVE_WINS は無効です。

対処方法

レプリケーションジョブ設定が正しいことを確認します。設定できる値については、CeApplicationRefreshMode を参照してください。

オブジェクトを更新しないとレプリケーションを最新表示できません。(FWM 14006)

原因

レプリケーションジョブが最新表示モードで実行されましたが、オブジェクトが指定されていませんでした。

対処方法

レプリケーションジョブ設定によって、最新表示するオブジェクトが指定されていることを確認するか、通常のレプリケーションモードに切り替えます。

リモートシステム接続でローカルシステムを参照しています。(FWM 14007)

原因

レプリケーションジョブの出力元と出力先が同じです。

対処方法

リモートクラスタ設定が、異なる SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームデプロイメントを参照することを確認します。

最新表示モード ({0}) と競合解決モード ({1}) の組み合わせが無効です (FWM 14008)

原因

最新表示モードと競合解決モードを組み合わせることはできません。CeConflictResolutionMode.MASTER_WINS は CeApplicationRefreshMode.REFRESH_TO_MASTER と共に使用できません。また、CeConflictResolutionMode.SLAVE_WINS は CeApplicationRefreshMode.REFRESH_FROM_MASTER と共に使用できません。

対処方法

レプリケーションジョブ設定が正しいことを確認して CeConflictResolutionMode および CeApplicationRefreshMode の適切な値を参照しています。

別のレプリケーションジョブが同じ元サイトからコンテンツをレプリケートしています。このジョブは、後でもう一度実行してください。(FWM 14009)

原因

他のレプリケーションジョブの実行中にレプリケーションジョブを実行しようとした。

対処方法

新しいレプリケーションジョブが再実行を試行します。

1.3.9 FWM 16001 ~ FWM 16005

CMS にログオンしていません。続行できません。(FWM 16001)

原因

Central Management Server (CMS) にログオンしていません。

対処方法

コマンドを実行する前に、CMS にログオンします。

コマンド '{0}' に次の必要なパラメータがありません: {1} (FWM 16002)

原因

ランタイムコマンドに必要なパラメータがありません。

対処方法

使用できるパラメータについては、コマンドの説明を参照してください。

コマンド '{0}' は '{1}' を有効なパラメータとして認識しません。(FWM 16003)

原因

このランタイムコマンドには、無効な、または認識できないパラメータが含まれています。

対処方法

使用できるパラメータについては、コマンドの説明を参照してください。

コマンド '{0}' は有効なコマンドとして認識されません。(FWM 16004)

原因

このランタイムコマンドは無効です。

対処方法

有効なランタイムコマンドについては、ドキュメンテーションを参照してください。

ファイル '{0}' への書き込みに失敗しました。(FWM 16005)

原因

指定されたファイルにコンテンツを書き込めませんでした。

対処方法

正しい書き込み権限が指定されていることを確認します。

1.3.10 FWM 17001 ~ FWM 17003

オプション {0} には値を入力する必要があります。(FWM 17001)

原因

このオプションには値が必要です。値がありません。

対処方法

コマンドラインの構文が正しいことを確認してから、操作を再試行します。

オプション {0} には値を入力できません。(FWM 17002)

原因

このオプションでは値を使用できません。にもかかわらず、値が含まれています。

対処方法

コマンドラインの構文が正しいことを確認してから、操作を再試行します。

オプション {0} は不明です。(FWM 17003)

原因

このオプションは無効です。

対処方法

コマンドラインの構文が正しいことを確認してから、操作を再試行します。

1.4 BI プラットフォームサーバ(FWB)に関するエラーメッセージ

BI プラットフォームサーバに関するエラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

範囲	カテゴリ
FWB 00004 ~ FWB 200002	BI プラットフォームサーバ(FWB)

1.4.1 FWB 00001 – FWB 00999

リクエストは現在の CMS に対するものではなく、%1 に対するリクエストです。(FWB 00001)

原因

リクエストが予想外の Central Management Server (CMS) に送信されました。

対処方法

正しい CMS にリクエストを送信していることを確認してください。

%1 セキュリティプラグインは有効になっていません。詳細については、システム管理者に問い合わせてください。(FWB 00002)

原因

要求されたセキュリティプラグインは無効化されているか存在しません。

対処方法

要求されたセキュリティプラグインファイルが存在し、有効になっていることを確認します。

ログオンのトークンが無効です。(FWB 00003)

原因

ログオントークンの有効期限が切れているか、認証情報が存在しないか、ユーザが無効です。

対処方法

有効なユーザに対して必要な認証情報を含むトークンを再生成し、もう一度ログインを試みます。

セキュリティサーバはクライアントから送信された Kerberos チケットの解読に失敗しました。システム管理者に連絡し、Kerberos 認証が適切に設定されていることを確認してください。(FWB 00004)

原因

サーバがクライアントの Kerberos 認証データの一部を解読できませんでした。

対処方法

有効な SPN がサービスアカウントにマップされていることを確認します。

トークンに指定されていないクライアントからのログオントークンが使用されたか、クライアントの IP アドレスの識別でエラーが発生しました。(FWB 00005)

原因

ログオントークンに異なるクライアントについての情報が含まれているか、またはクライアントの IP アドレスを特定できませんでした。

対処方法

トークンが正しいクライアントからのものであること、クライアントの IP アドレスにアクセスできることを確認するか、新しいトークンを作成します。

プラグインマネージャエラー: 要求されたプラグイン %1 がサーバ上に見つかりません。(FWB 00006)

原因

要求されたプラグインが存在しません。

対処方法

要求されたプラグインが存在し、正しくインストールされていることを確認します。

ユーザ "%1" が見つかりません。(FWB 00007)

原因

ユーザまたはユーザのエイリアスが存在しません。

対処方法

ユーザが存在し、有効なエイリアスを持っていることを確認します。

Enterprise 認証のログオンに失敗しました。ログオン情報が正しいかどうか確認してください。(FWB 00008)

原因

ユーザ名が見つからなかったか、パスワードが無効なためログオンできませんでした。

対処方法

ユーザ名とパスワードが正しいことを確認します。

この機能は使用できません。(FWB 00009)

原因

要求された機能が無効化されています。

対処方法

要求された機能を有効にします。

ユーザには、最低 1 つのエイリアスを作成してください。(FWB 00010)

原因

ユーザアカウントにエイリアスがありません。

対処方法

ユーザアカウントに 1 つ以上のエイリアスがあることを確認します。

セッション ID が無効です。(FWB 00011)

原因

セッションの期限が切れています。

対処方法

再ログオンしてください。

ユーザアカウントが無効です。(FWB 00012)

原因

ユーザアカウントが手動で無効化されているか、ユーザアカウントのエイリアスが無効化されているか、パスワードの期限が切れているか、ユーザがログオンに失敗した回数が多すぎます。

対処方法

ユーザアカウントを有効化し、ユーザのパスワードとエイリアスが有効であることを確認します。

このユーザを指定ユーザにする指定ユーザライセンスが不足しています。現在の指定ユーザライセンス数は %1 個です。(FWB 00013)

原因

現在のライセンスキーで許可された、ログオンできる指定ユーザの最大数に達しました。

対処方法

他のユーザがログオフするのを待つか、ライセンスキーをアップグレードします。

システムの %1 同時接続ライセンスがすべて使用中か、システムのライセンスキーの有効期限が切れています。しばらくしてからもう一度実行するか、管理者に連絡して追加のライセンスを取得してください。(FWB 00014)

原因

現在のライセンスキーで許可された、同時にログオンできる指定ユーザの最大数に達しました。

対処方法

他のユーザがログオフするのを待つか、ライセンスキーをアップグレードします。

現在のライセンスキーセットではこの操作は許可されていません。この操作が有効になるよう、ライセンスキーをアップグレードしてください。(FWB 00015)

原因

現在のライセンスキーではこの操作（サードパーティ認証の使用、サーバグループやイベントの変更など）は実行できません。

対処方法

ライセンスキーをアップグレードします。

ライセンス キーが無効か、有効期限が切れています。別の SAP BusinessObjects 製品を購入して取得した一時的なライセンスキーをお使いの場合、SAP BusinessObjects BI プラットフォームの登録を行って、正規のライセンスキーを取得する必要があります。(FWB 00016)

原因

現在のライセンスキーは、無効または有効期限が切れています。

対処方法

有効なライセンスキーを入力します。

例外がプラグイン %1 から返されました。プラグインは無効になります。管理者に問い合わせてください。(FWB 00017)

原因

サードパーティのプラグインでエラーが発生しました。プラグインが無効化されました。

対処方法

サードパーティプラグインを削除、アップグレード、検証してから有効化します。

このログオンセッションに関連付けられている認証プロバイダ (%1) では、プロセス間でのシングルサインオンをサポートしていません。詳細については、システム管理者に問い合わせてください。(FWB 00018)

原因

このセッションの認証プロバイダは、シングルサインオンをサポートしていません。

対処方法

他の認証プロバイダを使用するか、現在のプロバイダがシングルサインオンで機能するよう設定します。

このログオンセッションに関連付けられている認証プロバイダ(%1)では、プロセス間でのシングルサインオンが有効にされていません。詳細については、システム管理者に問い合わせてください。(FWB 00019)

原因

このセッションの認証プロバイダは、シングルサインオンを有効にしていません。

対処方法

この認証プロバイダにシングルサインオンを有効化します。

シングルサインオンに失敗しました。詳細については、システム管理者に問い合わせてください。(FWB 00020)

原因

シングルサインオン認証情報が無効であるか、認証プロバイダで内部エラーが発生した可能性があります。

対処方法

シングルサインオン認証情報が有効であることと、シングルサインオンが認証プロバイダで正しく機能していることを確認します。

関連するセッションを確認できなかったため、シングルサインオンに失敗しました。BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームに再ログオンしてください。(FWB 00021)

原因

セッショントークンが無効または有効期限が切れている、認証情報が見つからない、元のセッションの有効期限が切れている、またはユーザアカウントが無効である可能性があります。

対処方法

有効なユーザに対して必要な認証情報を含むトークンを再生成し、もう一度ログインを試みます。

信用できる認証の共有シークレットの有効期限が切れています。(FWB 00022)

原因

信用できる認証共有シークレットの有効期限が切れています。

対処方法

信用できる認証共有シークレットを更新します。

クライアントクロックスキューが大きすぎます。(FWB 00023)

原因

信用できる認証リクエストがタイムアウトしたか、クライアントとサーバの時間差が大きすぎます (異なるタイムゾーンのため)。

対処方法

信用できる認証リクエストがタイムアウトしないことと、クライアントとサーバマシンの時間が同期していることを確認します。

SAP BusinessObjects BI プラットフォーム CMS: CMS システムデータベース "%1" は使用できません。エラーはエンドユーザによって修正できません。このエラーをシステム管理者またはデータベース管理者に報告してください。(FWB 00024)

原因

Central Management Server (CMS) に使用できるデータベース接続がありません。

対処方法

データベースが実行中かつ使用可能で、CMS からの接続を受け付けていることを確認します。データベース接続の数を増やします。

有効なクエリではありません。(FWB 00025)

原因

クエリ文字列が無効です。

対処方法

クエリ文字列の構文が正しいことを確認します。

オブジェクト名はすでに同じフォルダにあります。(FWB 00026)

原因

すでに存在している名前オブジェクトを作成しようとしています。

対処方法

オブジェクトに一意の名前を付けます。

CMS システムデータベースがオーバーロードされます。もう一度実行してみてください。問題が続く場合は、システム管理者に連絡してください。(FWB 00027)

原因

データベースリソースの待機中にリクエストがタイムアウトしました。

対処方法

デプロイメントが過負荷状態です。データベース接続の数を増やします。

secLdap プラグインは、指定されたホストへの接続に失敗しました。(FWB 00028)

原因

LDAP サーバへの接続が確立できませんでした。

対処方法

LDAP サーバがオンラインで、接続を受け入れていることを確認します。

ログオンに失敗しました。マップされた有効なグループのメンバーであることを確認してください。(FWB 00029)

原因

ユーザが SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームにマップされているサードパーティグループに属していません。

対処方法

ユーザが最低 1 つのマップされたグループに属することを確認します。

ディレクトリサーバは、要求された操作を実行しません。追加情報: %1 (FWB 00030)

原因

ディレクトリサーバが要求された操作を実行できません。

対処方法

ユーザアカウントが有効化されていることを確認します。

出力先が無効です。[%1]: [%2]。リクエストで使用する Job Server 名を書き留め、システム管理者に連絡して、指定の出力先が有効であることを確認してください。(FWB 00031)

原因

ジョブによって指定された出力先プラグインが、ジョブを処理したサーバ上で無効化されていたため、ジョブ結果を配信できませんでした。

対処方法

ジョブを処理した Job Server の名前を取得して、セントラル管理コンソールサーバリストで特定し、[出力先] 操作を使用して必要な出力先を追加、設定します。

コンフィデンシャルチャンネルが無効です。(FWB 00032)

原因

コンフィデンシャルチャンネルが確立されていません。

対処方法

コンフィデンシャルチャンネルを確立できる新しいバージョンの SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームを使用するか、FIPS モードを無効化します。

インデックス化されたプロパティ %1 は暗号化できません。(FWB 00033)

原因

Central Management Server データベースでインデックス化されているプロパティを暗号化できません。

対処方法

インデックス化されたプロパティの encrypted フラグを有効にしないでください。

FIPS モードがオンになっているため、FIPS に準拠していないクライアントは接続できません。(FWB 00034)

原因

FIPS モードが有効化されているため、FIPS に準拠しないクライアントには接続できません。

対処方法

コンフィデンシャルチャンネルを確立できる新しいバージョンの SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームをインストールするか、FIPS モードを無効化します。

暗号化キーを状態 %1 から状態 %2 に移動できません (FWB 00035)

原因

キーステータス変更の一部が許可されていません。無効化されたキーは、キーの再暗号化ステータスのみに移行でき、そのステータスに一度なると、一時停止ステータスのみに移行できます。

対処方法

SL_KEY_STATE は許可された値にのみ変更できます。

重要なシステムオブジェクトが見つかりません。名前: %1、CUID: %2。(FWB 00036)

原因

インストールが壊れていて重要なファイルがデプロイメントに存在しないため、Central Management Server は初期化できません。

対処方法

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームを再インストールします。

重要なシステムオブジェクトの種類が見つかりません。種類: %1。(FWB 00037)

原因

インストールが壊れていて重要なファイルがデプロイメントに存在しないため、Central Management Server は初期化できません。

対処方法

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームを再インストールします。

デプロイメントファイルディレクトリ %1 は存在しないか、ファイルが含まれていません。(FWB 00038)

原因

デプロイメントのファイルを含むディレクトリが空であるか、特定できませんでした。

対処方法

デプロイメントファイルがディレクトリに含まれていることを確認するか、デプロイメントを再インストールします。

デプロイメントファイルディレクトリ %1 は存在しないか、キーコードファイルが含まれていません。(FWB 00039)

原因

デプロイメントファイルを含むディレクトリを特定できないか、ディレクトリにキーコード初期化ファイルがありません。

対処方法

ディレクトリにキーコード初期化デプロイメントファイルが含まれていることを確認します。この問題を解決するにはデプロイメントを再インストールする必要がある場合があります。

オブジェクトをコミットできません。オブジェクト "%1" (ID: %2) はセッション "%3" (ID: %4) によってロックされています。(FWB 00040)

原因

他のセッションによってロックされたオブジェクトを変更しようとしてしました。

対処方法

後で操作を再試行してください。問題が解消されない場合は、エラーメッセージに示されているセッションを削除します。

オブジェクトをコミットできません。オブジェクト "%1" (ID: %2) はセッション "%3" (ID: %4) によってカスケードロックされています。(FWB 00041)

原因

祖先オブジェクトがカスケードロックされていたため、他のセッションによってロックされたオブジェクトを変更しようとしてしました。

対処方法

後で操作を再試行してください。問題が解消されない場合は、エラーメッセージに示されているセッションを終了します。

オブジェクトを削除できません。オブジェクト "%1" (ID: %2) はセッション "%3" (ID: %4) によってカスケードロックされています。(FWB 00043)

原因

祖先オブジェクトがカスケードロックされていたため、他のセッションによってロックされたオブジェクトを削除しようとしてしました。

対処方法

後で操作を再試行してください。問題が解消されない場合は、エラーメッセージに示されているセッションを終了します。

オブジェクトをロックできません。オブジェクト "%1" (ID: %2) はセッション "%3" (ID: %4) によってロックされています。(FWB 00044)

原因

他のセッションによってすでにロックされたオブジェクトをロックしようとしています。

対処方法

後で操作を再試行してください。エラーが再度発生する場合は、エラーメッセージに示されているセッションを終了します。

オブジェクトをロックできません。オブジェクト "%1" (ID: %2) はセッション "%3" (ID: %4) によってカスケードロックされています。(FWB 00045)

原因

祖先オブジェクトがカスケードロックされていたため、他のセッションによってロックされたオブジェクトをロックしようしました。

対処方法

後で操作を再試行してください。問題が解消されない場合は、エラーメッセージに示されているセッションを終了します。

オブジェクトをコミットできません。バージョン %3 のオブジェクト "%1" (ID: %2) をコミットすると、プロパティ "%5" に関して現在のバージョン %4 と競合が発生します。変更のマージに失敗しました。(FWB 00046)

原因

他のコミットが同時に変更したプロパティを変更しようとしたため、先着順コミットが失敗しました。

対処方法

オブジェクトを取得しなおし、操作を再試行します。

リレーションシップ属性の変更をコミットできません。バージョン %4 の親 %2 と子 %3 のリレーションシップ %1 をコミットすると、プロパティ "%6" に関して現在のバージョン %5 と競合が発生します。変更のマージに失敗しました。(FWB 00047)

原因

他のコミットが同時に変更した帰属関係プロパティを結合しようとしたため、先着順コミットが失敗しました。

対処方法

オブジェクトを取得しなおし、操作を再試行します。

リレーションシップ属性の変更をコミットできません。バージョン %4 の親 %2 と子 %3 のリレーションシップ %1 をコミットすると、現在のバージョン %5 と競合が発生します。(FWB 00048)

原因

他のコミットが同時に変更した帰属関係を交換しようとしたため、先着順コミットが失敗しました。

対処方法

オブジェクトを取得しなおし、操作を再試行します。

クエリとコミットの間に変更されたオブジェクトを削除できません。バージョン %3 のオブジェクト "%1" (ID: %2) を削除すると、現在のバージョン %4 と競合が発生します。(FWB 00049)

原因

他のコミットが同時に変更したオブジェクトを削除しようとしたため、先着順コミットが失敗しました。

対処方法

オブジェクトを取得しなおし、操作を再試行します。

オブジェクトをコミットできません。オブジェクト "%2" (Id - %3) がクエリされてから、他のユーザがリレーションシップ "%1" を変更しました。(FWB 00050)

原因

他のコミットが同時に変更したリレーションシップエッジの明示リスト関係を更新しようとしたため、先着順コミットが失敗しました。

対処方法

オブジェクトを取得しなおし、操作を再試行します。

オブジェクトをコミットできません。バージョン %3 のオブジェクト "%1" (Id - %2) は現在のバージョン %4 と比較して古すぎるため、正常なマージを実行できません。オブジェクトは %5 バージョン以内である必要があります。(FWB 00051)

原因

コミットされたオブジェクトがデータベースに含まれているバージョンに比較して古すぎるため、先着順コミットが失敗しました。

対処方法

オブジェクトを取得しなおし、操作を再試行します。

一部のプロパティはマージされませんでした。バージョン %3 のオブジェクト "%1" (Id - %2) をコミットすると、現在のバージョン %4 と競合します。次のプロパティはマージされた "%5" ではありません。(FWB 00052)

原因

コミットがすべての変更を結合できませんでした。他のコミットによって同時に実行された変更との競合が存在します。

対処方法

失敗した結合の結果が許容できるものか確認します。

同じクラスタ内のすべての CMS に同じ FIPS モードおよび SSL モードが設定されています (FWB 00053)

原因

非 FIPS 準拠 Central Management Server (CMS) が FIPS 準拠のクラスタに結合しようとしたか、または SSL が無効化された CMS が SSL が有効化されたクラスと結合しようしました。

対処方法

セントラル設定マネージャを使用するすべての Server Intelligence Agent ノードで FIPS モードまたは SSL を有効化します。

オブジェクト ID 番号 %1 に、無効な種類の %2 が含まれています。(FWB 00054)

原因

指定された SL_KIND が存在しないオブジェクトを作成または更新しようとした。

対処方法

各 KIND について存在するオブジェクトの名前を指定します。

オブジェクト ID 番号 %1 に、無効なプログラム ID %2 が含まれています。(FWB 00055)

原因

指定された SL_PROGID が存在しないオブジェクトを作成または更新しようとした。

対処方法

PROGID について存在するオブジェクトの名前を指定します。

このユーザを追加するためのロールベースユーザライセンスが不足しています。現在のロールベースユーザライセンス数は %1 個です。(FWB 00056)

原因

ロールベースのライセンスでのユーザ制限数に達しました。

対処方法

システムからユーザを削除するか、ライセンスキーをアップグレードします。

システムにログオンするための指定ユーザライセンスが不足しています。現在の指定ユーザライセンス数は %1 個です。(FWB 00057)

原因

十分な指定ユーザライセンスがないため、指定ユーザがデプロイメントにログオンできません。

対処方法

ライセンスキーをアップグレードします。

認証情報が FRS に提供されませんでした。(FWB 00058)

原因

File Repository Server (FRS) への認証情報を入力していません。古い FRS クライアントを使用しているにもかかわらず、FRS コマンドラインに `-disablelegacyclients` を指定しました。

対処方法

最新バージョンの FRS を使用するか、`-disablelegacyclients` を指定しないでください。

FRS に提供された認証情報が CMS によって拒否されました。(FWB 00059)

原因

ユーザを特定するログオントークンが無効か、その有効期限が切れているか、認証情報が存在しないか、あるいはユーザアカウントが無効です。

対処方法

有効なユーザに対して必要な認証情報を含むトークンを再生成し、操作を再試行します。

認証情報により、操作が許可されていません。(FWB 00061)

原因

ユーザアカウントに、ファイル操作を実行するのに十分な認証情報がありません。

対処方法

ユーザアカウントに、十分な認証情報と、オブジェクトに対する権限があることを確認します。

FRS 認証情報が CMS によって拒否されました。(FWB 00062)

原因

Central Management Server (CMS) が File Repository Server (FRS) の認証情報を拒否しました。

対処方法

CMS または FRS を再起動します。

ユーザが見つかりません (%1) (FWB 00063)

原因

ユーザが見つからないか、ユーザのエイリアスが見つかりませんでした。

対処方法

ユーザが存在し、有効なエイリアスを持っていることを確認します。

以前のバージョンからデータをコピーするには、アップグレードマネジメントツールを使用します。詳細については、アップグレードガイドを参照してください。(FWB 00064)

原因

出力元と出力先データソースは同じバージョンである必要があります。

対処方法

旧バージョンからデータをコピーするには、アップグレードマネジメントツールを使用します。

操作では、クラスタ内の CMS をすべて停止する必要があります。CMS %1 (ID: %2) を停止してください。(FWB 00065)

原因

この操作を実行するには、クラスタ内のすべての Central Management Server を停止する必要があります。

対処方法

クラスタ内のすべての CMS を停止します。

システム ID は空です。(FWB 00066)

原因

システム ID が設定されていません。

対処方法

システム ID を設定します。

Keystore は空です。(FWB 00067)

原因

キーストアが設定されていません。

対処方法

キーストアを設定します。

エイリアスは空です。(FWB 00068)

原因

エイリアスが設定されていません。

対処方法

エイリアスを設定します。

CUID (%1) が設定されているデフォルトオブジェクトの親 ID/CUID が、無効であるが見つかりません。(FWB 00069)

原因

デプロイメントファイルオブジェクトに、親オブジェクトに対する無効な参照があるか、または参照がないデフォルトオブジェクトが含まれています。

対処方法

デフォルトオブジェクトの仕様をチェックして SL_PARENTID または SL_PARENT_CUID が有効なオブジェクトを参照することを確認します。

CUID (%1) が設定されているデフォルトオブジェクトのタイプ情報が、無効であるが見つかりません。SL_KIND の値を確認してください。(FWB 00070)

原因

デプロイメントファイルオブジェクトに、無効なタイプ情報があるか、タイプ情報がないデフォルトオブジェクトが含まれています。

対処方法

デフォルトオブジェクトの仕様をチェックして、SL_KIND があり、KIND がシステムに存在することを確認します。

CUID (%1) が設定されているオブジェクトは無効であるため処理できません。詳細については、アサートログを確認してください。(FWB 00071)

原因

デプロイメントファイルオブジェクトに、無効なデフォルトオブジェクトが含まれています。

対処方法

デフォルトオブジェクトの障害の詳細については、Central Management Server のアサートログを参照してください。

名前空間が設定されたデフォルトオブジェクトファイルのサブディレクトリの設定に失敗しました。名前: %1。エラー: %2。(FWB 00072)

原因

初期化中、Central Management Server は、Server Intelligence のデフォルトオブジェクトのための新しいオブジェクトを作成できませんでした。

対処方法

詳細については、ファイルシステムのエラーメッセージを参照してください。

信用できる認証を無効にする (FWB 00073)

原因

信用できる認証を有効化する必要のある機能を使用しようとしてしました。

対処方法

セントラル管理コンソールを使用して信用できる認証を有効化します。

無効なデータです (FWB 00074)

原因

無効なデータが Central Management Server に送信されました。

対処方法

信用できる認証を設定する必要があります。詳細については、『SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム管理者ガイド』を参照してください。

ファイル %1 からのデフォルトオブジェクトフラグメントをオブジェクト (名前: %2、CUID: %3) に適用できませんでした。詳細については、アサートログを確認してください。(FWB 00075)

原因

デフォルトオブジェクトフラグメントをデフォルトオブジェクトに適用できませんでした。

対処方法

Central Management Server のアサートログにあるデフォルトオブジェクトフラグメントの障害に関する詳細情報を確認します。

1.4.2 FWB 01000 – FWB 01999

InfoObject {0} が関連する InfoObject 間で見つかりませんでした。(FWB 01001)

原因

InfoObject が存在しない InfoObject の ID を参照しました。

対処方法

サーバコンテナ、サービス、サーバ、インストールおよびエンタープライズノード間の関係が正しいことを確認します。

サービス {0} の準備ができていません (FWB 01002)

原因

サービスが正しく設定されていないため、サービスがリクエストを処理できません。

対処方法

サービスを正しく設定し、サーバを再起動します (必要な場合)。

サービス {0} のリソースが一時的に使用できません。後からやり直してください。(FWB 01003)

原因

サービスのリソースが最大限に達したため、サービスはリクエストを処理できません。

対処方法

他のユーザがリクエストの送信を停止するのを待って、他のサーバにリクエストを送信するか、サービスの限界を引き上げます。

CMS は {0} という名前のサーバを見つけることができませんでした。このサーバの起動に使用されている名前が間違っている可能性があります。(FWB 01004)

原因

Adaptive Processing Server (APS) が Central Management Server (CMS) の設定を問い合わせ、CMS はこの APS インスタンスに対応するサーバ InfoObject がリポジトリに見つからなかったという応答を返しました。

対処方法

APS インスタンスを開始するために使用されるサーバフレンドリ名が正しくありません。リポジトリに存在する有効な名前を入力します。

サービス {1} は、サービス {0} が開始できなかったために開始できませんでした (FWB 01005)

原因

このサービスが使用するいずれかのサービスを開始できなかったため、サービスを開始できませんでした。

対処方法

サービスが使用するプロセスが正しく開始されていることを確認します。

サービス {0} は開始できませんでした (FWB 01006)

原因

このサービスが使用するいずれかのサービスを開始できなかったため、サービスを開始できませんでした。

対処方法

サービスのログファイルを確認しサービスを再設定します。

1.4.3 FWB 02000 – FWB 02999

ClassNotFoundException エラーが発生しました。(例外メッセージ: {0}) (FWB 02001)

原因

クラスの定義が存在しないため、プログラムは指定された文字列名からクラスをロードできませんでした。

対処方法

必要なすべての .jar ファイルが classpath に含まれていることを確認します。

NoClassDefFoundError が発生しました。例外メッセージ: {0} (FWB 02002)

原因

Java 仮想マシンまたは ClassLoader インスタンスが存在しないクラス定義をロードしました。

対処方法

必要なすべての .jar ファイルが classpath に含まれていることを確認します。

1.5 セキュリティ(USR)エラー

セキュリティエラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

範囲	カテゴリ
USR0006	セキュリティ

Designer を使用する権限がありません。(USR0006)

原因

Universe Designer を起動しようとしたますが、必要な権限がありません

対処方法

管理者に必要な権限の許可を依頼します。

Analysis edition for OLAP のエラー

Analysis のエラーメッセージは、以下のとおりです。

範囲	カテゴリ
AOC 00000 - AOC 09999	Analysis edition for OLAP のエラー

2.1 AOC 00000 - 09999

元のワークスペースを置き換える際に問題が発生しました。もう一度実行するか、[名前を付けて保存]を使用してください。(AOC00001)

原因

元のワークスペースが見つかりませんでした。削除された可能性があります。

対処方法

[名前を付けて保存]を使用してワークスペースを保存します。

ワークスペースの保存中に不明なエラーが発生しました。ワークスペースを保存できませんでした。(AOC00002)

原因

不明なエラーが発生しました。Analysis は、ユーザにワークスペースを保存する権限があり、ワークスペースが存在し、BI プラットフォームセッションが有効であることを確認しました。

対処方法

[名前を付けて保存]を使用してワークスペースを保存し、すべての入力フィールドが入力されていることを確認します。

セッションが切断されたため、リクエストの処理が完了しませんでした。もう一度ログオンして再実行してください。(AOC00003)

原因

Analysis は有効な BI プラットフォームセッションを設定できませんでした。考えられる原因は次のとおりです。

- ・ セッションの有効期限が切れている。
- ・ ネットワークで問題が発生している。
- ・ BI プラットフォームサーバがオフラインである。

対処方法

再ログオンしてください。問題の原因がセッションのタイムアウトの場合、ワークスペースはお気に入りフォルダに保存されます。

SAP BusinessObjects Analysis, edition for OLAP がワークスペースを開けませんでした。ワークスペースが破損しています。管理者に連絡してください。(AOC00005)

原因

ワークスペースが手動で編集されたか、壊れています。

対処方法

ワークスペースのバックアップを復元するよう管理者に依頼します。

SAP BusinessObjects Analysis, edition for OLAP が要求されたワークスペースを見つけられませんでした。削除された可能性があります。(AOC00006)

原因

要求されたワークスペースは削除されたか、ユーザにワークスペースを表示するアクセス権がありません。

対処方法

ワークスペースのバックアップを復元するか、ユーザのアクセス権を変更するよう管理者に依頼します。

ワークスペースの復元中にエラーが発生しました。管理者に連絡してください。(AOC00007)

原因

ワークスペースが手動で編集されたか、壊れています。

対処方法

ワークスペースのバックアップを復元するよう管理者に依頼します。

SAP BusinessObjects Analysis, edition for OLAP がワークスペースを保存できませんでした。名前がありません。有効な名前を入力してから再試行してください。(AOC00008)

原因

ユーザが名前を入力しないでワークスペースを保存しようとした。

対処方法

有効なワークスペース名を入力します。

SAP BusinessObjects Analysis, edition for OLAP がワークスペースを保存できませんでした。ワークスペースフォルダがありません。有効なフォルダを選択してから再試行してください。(AOC00009)

原因

ユーザがフォルダを選択しないでワークスペースを保存しようとした。

対処方法

ワークスペースを保存するフォルダを選択します。

このフォルダを保存する権限がありません。この権限を有効にする必要がある場合は、管理者に連絡してください。(AOC00011)

原因

ユーザがワークスペースをアクセス権のないフォルダに保存しようとした。

対処方法

このフォルダへの書き込み権限を管理者に依頼します。

Enterprise サーバから接続を取得しようとして、エラーが発生しました。サーバが実行中であることを管理者に確認してください。(AOC00012)

原因

BI プラットフォームサーバが見つかりませんでした。

対処方法

BI プラットフォームサーバが実行中であることを確認するよう管理者に依頼します。

接続を取得しようとして、エラーが発生しました。すべての接続は使用できませんでした。問題が解決しない場合は、管理者に連絡してください。(AOC00013)

原因

Analysis は、要求された接続の一部またはすべてを検索できませんでした。接続が削除された可能性があります。

対処方法

接続を復元するか、セントラル管理コンソールを使用して要求された接続を他の接続へマップするよう管理者に依頼します。

要求された操作を実行する権限がありません。サポートが必要な場合は、システム管理者に連絡してください。(AOC00018)

原因

ユーザが権限のないアクションを実行しようとした。

対処方法

適切な権限を管理者に依頼します。

セントラル管理コンソールで接続が定義されていないか、既存の接続を表示する権限がありません。詳細は管理者に問い合わせてください。(AOC00020)

原因

セントラル管理コンソールで接続が定義されていないため、選択できません。

対処方法

管理者は OLAP データソースへの接続を定義する必要があります。管理者はセントラル管理コンソールにログインし、[OLAP 接続] リンクをクリックして、接続を定義します。

SAP BusinessObjects Analysis, edition for OLAP が最後のアクションを完了できませんでしたPlease try again.問題が解決しない場合は、管理者に連絡してください。(AOC00021)

原因

メタデータエクスプローラは、サービスから渡された XML を解析できませんでした。

対処方法

このエラーは、ライブラリのバージョンの不一致など、深刻な問題を示しています。管理者は、mdas.log ファイルをチェックして、カスタマーサポートに連絡する必要があります。

SAP BusinessObjects Analysis, edition for OLAP は "{0}" を削除できませんでした。分析は接続を失いました。(AOC00022)

原因

分析により OLAP サーバが切断されました。

対処方法

ワークスペースを閉じてから再び開き、接続を再確立する必要があります。

レポートパラメータの取得中にエラーが発生しました。この操作をもう一度実行してください。問題が解決しない場合は、管理者に連絡してください。(AOC00023)

原因

Analysis は、BI プラットフォームサーバまたは Interactive Analysis レポートエンジンサーバを検索できませんでした。

対処方法

これらのサーバが使用可能であることを確認するよう管理者に依頼します。

MDAS サービスが利用できないため、要求された操作は正常に完了しませんでした。この操作をもう一度実行してください。問題が解決しない場合は、管理者に連絡してください。(AOC00040)

原因

MDS クライアントと MDAS サービス間の通信でエラーが発生しました。たとえば、MDAS サービスがダウンしているか、接続できない状態か、再起動した可能性があります。

対処方法

MDAS サービスが実行中で、セントラル管理コンソールの [サーバ] ページから接続できることを確認します。MDAS サービスが再起動されると、Analysis のセッション状態は失われ、保存できません。

MDAS サービスでエラーが発生しました。(AOC00041)

原因

Analysis クライアントからの要求を処理中に、MDAS サービスでエラーが発生しました。理由として、OLAP サーバに関する問題や、ネットワークの問題が考えられます。

対処方法

もう一度試してみます。問題が解決しない場合は、管理者に連絡してください。

SAP BusinessObjects Analysis, edition for OLAP が接続を開けませんでした。(AOC00044)

原因

接続を開くことができませんでした。一般的な理由は、認証エラーです。

対処方法

接続の認証情報が正しいことを確認します。認証情報が接続とともに保存されている場合、管理者が更新する必要がある場合があります。

要求された操作は、クエリを無効な状態にするため、完了できませんでした。(AOC00045)

原因

Analysis クライアントからの要求を処理中に、MDAS サービスでエラーが発生しました。理由として、すべての階層を同じ軸に配置しようとしたことが考えられます。

対処方法

アクションにより分析が無効な状態になっていないことを確認して、もう一度実行します。問題が解決しない場合は、管理者に連絡してください。

要求された操作は、階層の競合により完了できませんでした。(AOC00046)

原因

Analysis クライアントからの要求を処理中に、MDAS サービスでエラーが発生しました。理由として、相互に排他的な 2 つの階層を同じ軸に配置しようとしたことが考えられます。

対処方法

操作が競合の原因になっていないことを確認して、もう一度実行します。問題が解決しない場合は、管理者に連絡してください。

クエリのサイズが大きすぎるため、要求された操作を正常に完了できませんでした。(AOC00047)

原因

Analysis クライアントからの要求を処理中に、MDAS サービスでエラーが発生しました。理由として、データセルが多すぎるクエリを作成しようとしたことが考えられます。

対処方法

クエリサイズが OLAP サーバ限度を超えないようにしてください。問題が解決しない場合は、管理者に連絡してください。

BIP サーバ (FWR) エラーメッセージ

BIP サーバ (FWR) には、以下のエラーメッセージカテゴリが含まれています。

範囲	カテゴリ
FWR 00000 ~ 00999	BIP サーバ (FWR)
FWR 100001 ~ 100002	BIP サーバ (FWR)

3.1 FWR 000001 ~ 000007

[_a_内部エラーが発生しました。システム管理者に連絡してください。\(FWR 000001\)_z_](#)

原因

内部エラーが発生しました。

対処方法

システム管理者に連絡してください。

[_a_プロパティ {0} に値がありません。\(FWR 000002\)_z_](#)

原因

指定されたプロパティの値がありません。

対処方法

システム管理者に連絡してください。

[_a_プロパティ {0} に無効な値 {1} があります。\(FWR 000003\)_z_](#)

原因

指定されたプロパティの値が無効です。

対処方法

システム管理者に連絡してください。

[_a_引数 {0} に無効な値 {1} があります。\(FWR 000004\)_z_](#)

原因

指定された引数の値が無効です。

対処方法

システム管理者に連絡してください。

[_a_オブジェクトの非シリアル化中にエラーが発生しました。\(FWR 000005\)_z_](#)

原因

オブジェクトを非シリアル化できませんでした。

対処方法

システム管理者に連絡してください。

[_a_プロパティ {0} のシリアル化中にエラーが発生しました。\(FWR 000006\)_z_](#)

原因

プロパティをシリアル化できませんでした。

対処方法

システム管理者に連絡してください。

[_a_{0} の値の範囲は {1} から {2} である必要があります。\(FWR 000007\)_z_](#)

原因

設定プロパティ値が許容範囲外です。

対処方法

システム管理者に連絡してください。

3.2 FWR 100001 ~ 100002

内部エラーが発生しました。システム管理者に連絡してください。(FWR 100001)

原因

内部エラーが発生しました。

対処方法

システム管理者に連絡してください。

メモリ不足エラー。システム管理者に連絡してください。(FWR 100002)

原因

システムのメモリがなくなりました。

対処方法

システム管理者に連絡してください。

整合性のチェックメッセージ (CIM)

整合性のチェックメッセージ (CIM) のエラーメッセージには以下が含まれます。

範囲	カテゴリ
CIM01100 ～ CIM01117	テーブル、列、および式
CIM01200 ～ CIM01200	接続、結合、およびリンク
CIM01300 ～ CIM01307	ユニバース、ビジネスオブジェクト、および式
CIM01400 ～ CIM01421	式チェック
CIM01501 ～ CIM01502	コンテキストチェック
CIM01601 ～ CIM01616	プロンプトおよび値の一覧
CIM01700 ～ CIM01705	クエリ定義

テーブル {0} にはプライマリキーがありません。(CIM 01100)

原因

テーブルにプライマリキーがありません。

対処方法

自動キー検出機能を使用してテーブルを更新します。

テーブル {0} はどのテーブルにもリンクしていません。(CIM 01101)

原因

テーブルが他のテーブルにリンクされていません。

対処方法

データファンデーションで、テーブルと他のテーブル間に結合を挿入するか、必要ない場合はテーブルを削除します。

データファンデーション {1} で参照されているテーブル {0} は接続内にありません。(CIM 01102)

原因

データソースにテーブルが存在しません。

対処方法

データソースにテーブルを追加するか、テーブル名が変更されていないかを確認します。

新しい列 {0} が、接続からテーブル {1} で検出されました。(CIM 01103)

原因

データソースのテーブルに新しい列が検出されました。

対処方法

データファンデーションで [構造の最新表示] を実行します。

テーブル {1} の列 {0} は接続内に存在しません。(CIM 01104)

原因

データソースのテーブルがデータファンデーションのテーブルと一致しません。

対処方法

データファンデーションで [構造の最新表示] を実行します。

テーブル {1} の列 {0} に未決定のデータ型があります。(CIM 01105)

原因

列のデータ型が指定されていません。

対処方法

データファンデーションで [構造の最新表示] を実行します。

テーブル {1} で参照されている列 {0} には接続と同じデータ型がありません。(CIM 01106)

原因

データソースにおける列のデータ型がデータファンデーションのデータ型と異なります。

対処方法

データファンデーションで [構造の最新表示] を実行します。

テーブル {1} で参照される計算列 {0} には、無効な SQL が含まれています。(CIM 01107)

原因

計算列に対する SQL 式の解析が失敗しました。

対処方法

データファンデーションで、計算列に対する式を編集および確認します。

データファンデーション {1} のチェック済みテーブル {0} の接続が無効です。(CIM 01108)

原因

接続のパラメータが無効です。

対処方法

データファンデーションで参照される接続が有効であることを確認します。必要に応じ、パラメータを更新します。

データファンデーション {1} の派生テーブル {0} の接続が無効です。(CIM 01109)

原因

接続のパラメータが無効です。

対処方法

データファンデーションで参照される接続が有効であることを確認します。必要に応じ、パラメータを更新します。

データファンデーション {1} で取得されたテーブル {0} には空の式があります。(CIM 01110)

原因

派生テーブル式が空です。

対処方法

データファンデーションで、派生テーブルを編集および確認します。

データファンデーション {1} の派生テーブル {0} に無効な SQL 式があります。(CIM 01111)

原因

派生テーブルの SQL 式が無効です。

対処方法

データファンデーションで、派生テーブルを編集および確認します。

データファンデーション {1} のエイリアステーブル {0} の接続が無効です。(CIM 01112)

原因

接続のパラメータが無効です。

対処方法

データファンデーションで参照される接続が有効であることを確認します。必要に応じ、パラメータを更新します。

データファンデーション {1} のエイリアステーブル {0} はどのテーブルも参照しません。(CIM 01113)

原因

エイリアステーブルがテーブルを参照していません。

対処方法

データファンデーションで、既存のテーブルに基づいてエイリアステーブルを再挿入します。

エイリアステーブル {1} に参照されているテーブル {0} はデータファンデーション {2} に存在しません。(CIM 01114)

原因

エイリアステーブルに参照されているテーブルは、データファンデーションに存在しません。

対処方法

データファンデーションで、エイリアステーブルを削除します。既存のテーブルに基づき、エイリアステーブルを再挿入できます。

テーブル {1} の計算列 {0} の接続が無効です。(CIM 01115)

原因

接続のパラメータが無効です。

対処方法

データファンデーションで参照される接続が有効であることを確認します。必要に応じ、パラメータを更新します。

テーブル {1} の計算列 {0} の式が空です。(CIM 01116)

原因

計算列の式が空です。

対処方法

データファンデーションで、計算列に対する式を編集および確認します。

テーブル {1} の計算列 {0} の式が無効です。(CIM 01117)

原因

計算列の式が無効なため、正しく解析できませんでした。

対処方法

データファンデーションで、計算列に対する式を編集および確認します。

接続 {0} は無効です: {1}。(CIM 01200)

原因

接続で参照されるデータソースにアクセスできません。

対処方法

データファンデーションで参照される接続が有効であることを確認します。必要に応じ、パラメータを更新します。

データファンデーション {1} の結合 {0} のテーブルには有効なリンクがありません。(CIM 01300)

原因

結合定義が無効です。

対処方法

データファンデーションで結合を編集し、すべての参照テーブルおよび列が有効であることを確認します。

結合に含まれるテーブル {0} がデータファンデーション {1} に見つかりませんでした。(CIM 01301)

原因

結合定義が無効です。

対処方法

データファンデーションで結合を編集し、すべての参照テーブルおよび列が有効であることを確認します。

結合に含まれる列 {0} がデータファンデーション {1} に見つかりませんでした。(CIM 01302)

原因

結合定義が無効です。

対処方法

データファンデーションで結合を編集し、すべての参照テーブルおよび列が有効であることを確認します。

データファンデーション {1} の結合 {0} の接続が無効です。(CIM 01303)

原因

接続のパラメータが無効です。

対処方法

データファンデーションで参照される接続が有効であることを確認します。必要に応じ、パラメータを更新します。

データファンデーション {1} の結合 {0} のカーディナリティが未決定です。(CIM 01304)

原因

結合のカーディナリティが指定されていません。

対処方法

データファンデーションで結合を編集し、カーディナリティを検出するか、またはマニュアルで設定します。

データファンデーション {1} の結合 {0} には検出されたカーディナリティと異なるカーディナリティがあります。(CIM 01305)

原因

結合のカーディナリティが、検出されたカーディナリティと異なります。

対処方法

データファンデーションで結合を編集し、カーディナリティを検出します。

データファンデーション {1} のチェック済み結合 {0} の式が空です。(CIM 01306)

原因

結合式が空です。

対処方法

データファンデーションで結合を編集し、結合式を確認します。

データファンデーション {1} のチェック済み結合 {0} の式が正しく解析できません。(CIM 01307)

原因

結合の式が無効なため、正しく解析できませんでした。

対処方法

データファンデーションで結合を編集し、結合式を確認します。

ビジネスオブジェクト '{0}' をユニバースは所有していません。(CIM 01400)

原因

ビジネスオブジェクトがユニバースによって所有されていません。

対処方法

ビジネスオブジェクトをユニバースに割り当てます。

ビジネスオブジェクト '{0}' のバインディングは無効です。(CIM 01401)

原因

ビジネスオブジェクトが、存在しないかまたは無効なソースオブジェクトに基づきます。

対処方法

ビジネスレイヤでオブジェクトを編集し、SQL または MDX 式を確認します。

ビジネスオブジェクト '{0}' を実行できませんでした。オブジェクトのプロパティを確認してください。(CIM 01403)

原因

ビジネスオブジェクトが、存在しないかまたは無効なソースオブジェクトに基づきます。

対処方法

ビジネスレイヤでオブジェクトを編集し、SQL または MDX 式を確認します。

ビジネスオブジェクト '{0}' が無効です。(CIM 01405)

原因

ビジネスオブジェクトに名前が付いていないか、名前が無効です。

対処方法

ビジネスレイヤで、ビジネスオブジェクト名を編集します。

解決順序の値は数字にする必要があります (CIM 01406)

原因

メジャーの解決順序の値が無効です。

対処方法

ビジネスレイヤでメジャーを編集し、解決順序に対して数値を入力します。

このメジャー名はビジネスレイヤですでに使用されています。(CIM 01407)

原因

名前が、ビジネスレイヤで定義済みのメジャーですでに使用されています。

対処方法

ビジネスレイヤでメジャーを編集し、名前を変更します。

MDX 式はディメンション [MEASURES] を参照していません。(CIM 01409)

原因

メジャーの MDX 式は、ディメンション [MEASURES] を参照していません。

対処方法

ビジネスレイヤでメジャーを編集し、MDX 式を確認します。

階層を指定する必要があります。(CIM 01410)

原因

階層が定義されていません。

対処方法

ビジネスレイヤでオブジェクトを編集し、階層を割り当てます。

この名前は同じ階層内で計算メンバーがすでに使用しています。(CIM 01411)

原因

計算されたメンバー名が、同じ階層内の他の計算されたメンバーによってすでに使用されています。

対処方法

ビジネスレイヤで計算メンバーを編集し、名前を変更します。

MDX 式は計算メンバーに割り当てられている階層を参照していません。(CIM 01412)

原因

計算メンバーの MDX 式に階層がありません。

対処方法

ビジネスレイヤで計算メンバーを編集し、階層を割り当てます。

階層を指定する必要があります。(CIM 01413)

原因

名前付きセットの MDX 式に階層がありません。

対処方法

ビジネスレイヤで名前付きセットを編集し、階層を割り当てます。

この名前は他の名前付きセットがすでに使用しています。(CIM 01414)

原因

名前が、ビジネスレイヤで定義済みの名前付きセットですすでに使用されています。

対処方法

ビジネスレイヤで名前付きセットを編集し、名前を変更します。

MDX 式には "crossjoin" 演算子が含まれます。名前付きセットはクエリ時に予期しない動作をする場合があります。(CIM 01415)

原因

名前付きセットの MDX 式に crossjoin 演算子が含まれています。

対処方法

ビジネスレイヤで名前付きセットを編集し、MDX 式を確認します。

MDX 式は名前付きセットに割り当てられている階層を参照していません。(CIM 01416)

原因

名前付きセットの定義に階層がありません。

対処方法

ビジネスレイヤで名前付きセットを編集し、階層を割り当てます。

言語の値は数字にする必要があります。(CIM 01417)

原因

メジャーまたは計算メンバーの言語の値が無効です。

対処方法

ビジネスレイヤでメジャーまたは計算メンバーの MDX 式を編集し、言語に対して数値を入力します。

@Variable 式が正しくありません。(CIM 01418)

原因

@Variable 式が無効です。

対処方法

ビジネスレイヤでオブジェクトを編集し、@Variable 式を確認します。

@Select 式が正しくありません。(CIM 01419)

原因

@Select 式が無効です。

対処方法

ビジネスレイヤでオブジェクトを編集し、@Select 式を確認します。

この名前は OLAP サーバで定義済みのメジャーがすでに使用しています (OLAP カタログで文字列 [Measures].[{0}] を検索)。(CIM 01420)

原因

メジャーの名前が、OLAP データソースで定義済みのメジャーですすでに使用されています。

対処方法

OLAP カタログで文字列 [Measures].[{0}] を検索します。ビジネスレイヤでメジャーを編集し、名前を変更します。

この名前は OLAP サーバで定義済みの名前付きセットがすでに使用しています。(CIM 01421)

原因

名前付きセットの名前が、OLAP データソースで定義済みの名前付きセットですすでに使用されています。

対処方法

ビジネスレイヤで名前付きセットを編集し、名前を変更します。

データファンデーション "{1}" のチェック済みコンテキスト "{0}" にはループが含まれます。(CIM 01501)

原因

コンテキストのチェック中に結合パスのループが見つかりました。

対処方法

データファンデーションの [エイリアスとコンテキスト] ペインでループビジュアライゼーションツールを使用し、ループを解決します。

データファンデーション "{1}" のチェック済みコンテキスト "{0}" には、デカルト積を生成する除外結合が含まれます。(CIM 01502)

原因

コンテキストの除外結合で、デカルト積が生成されます。

対処方法

データファンデーションでコンテキストを編集し、除外結合を確認します。

値の一覧 "{0}" にはデータテーブルに少なくとも列が 1 つが必要です。(CIM 01601)

原因

値の一覧がテーブルの列を参照していません。

対処方法

(データファンデーションまたはビジネスレイヤで) 値の一覧を編集し、少なくとも 1 つの列が参照されていることを確認します。

値の一覧 "{0}" で、[使用前にフィルタを適用] オプションを False に設定する必要があります。(CIM 01602)

原因

[使用前にユーザに対して値のフィルタを強制] オプションが、値の一覧に対して無効です。

対処方法

ビジネスレイヤで値の一覧を編集し、[使用前にユーザに対して値のフィルタを強制] オプションを False に設定します。

値の一覧 "{0}" で、[自動更新] オプションを True に設定する必要があります。(CIM 01603)

原因

[自動更新] オプションが正しく設定されていません。

対処方法

(ビジネスレイヤまたはデータファンデーションで) 値の一覧を編集し、オプション [自動更新] を True に設定します。

値の一覧 "{0}" で、[ユーザにデータベースの値の検索を許可する] オプションを False に設定する必要があります。(CIM 01604)

原因

[ユーザにデータベースの値の検索を許可する] オプションが正しく設定されていません。

対処方法

ビジネスレイヤで値の一覧を編集し、[ユーザにデータベースの値の検索を許可する] オプションを False に設定します。

値の一覧 "{0}" で、[クエリ実行のタイムアウト] オプションを無効にする必要があります。(CIM 01605)

原因

[クエリ実行のタイムアウト] オプションが、値の一覧に対して無効です。

対処方法

(ビジネスレイヤまたはデータファンデーションで) 値の一覧を編集し、[クエリ実行のタイムアウト] オプションの選択を解除します。

値の一覧 "{0}" で、[最大行数] オプションを無効にする必要があります。(CIM 01606)

原因

[最大行数] オプションが、値の一覧に対して無効です。

対処方法

(ビジネスレイヤまたはデータファンデーションで) 値の一覧を編集し、[最大行数] オプションの選択を解除します。

SQL 式が空ではないことをチェックします。(CIM 01607)

原因

値の一覧の SQL 式にエラーがありました。

対処方法

(データファンデーションまたはビジネスレイヤで) 値の一覧を編集し、SQL 式を入力および確認します。

値の一覧接続が使用できることを確認します。(CIM 01608)

原因

値の一覧で参照される接続が使用できません。

対処方法

データファンデーションまたはビジネスレイヤで参照される接続が使用できることを確認します。

値の一覧データ構造が使用できることを確認します。(CIM 01609)

原因

値の一覧で参照されるデータ構造が見つかりませんでした。

対処方法

(データファンデーションまたはビジネスレイヤで) 値の一覧を編集し、参照データソースの有効性を確認します。

値の一覧 "{0}" で、[ユーザにデータベースの値の検索を許可する] オプションを False に設定する必要があります。(CIM 01610)

原因

[ユーザにデータベースの値の検索を許可する] オプションが正しく設定されていません。

対処方法

ビジネスレイヤで値の一覧を編集し、[ユーザにデータベースの値の検索を許可する] オプションを False に設定します。

プロンプトには名前が必要です。(CIM 01611)

原因

パラメータに名前がありません。

対処方法

データファンデーションおよびビジネスレイヤのパラメータを確認し、それらに名前があることを確認します。

プロンプト {0} には正しく設定されていないデータ型があります (文字列、数値、日付など)。 (CIM 01612)

原因

パラメータのデータ型が正しく設定されていません。

対処方法

(データファンデーションまたはビジネスレイヤで) パラメータを編集し、ソースデータ型との整合性があるデータ型を設定します。

プロンプト "{0}" にはプロンプト文が必要です。 (CIM 01613)

原因

パラメータに関連するプロンプトテキストがありません。

対処方法

(データファンデーションまたはビジネスレイヤで) パラメータを編集し、プロンプトテキストを入力します。

[キー値をリストから使用する] が有効になっている場合、[一覧から選択] オプションも有効にしておく必要があります。 (CIM 01614)

原因

[一覧から選択] オプションが、値の一覧に対して有効になっていません。

対処方法

(データファンデーションまたはビジネスレイヤで) パラメータを編集し、関連する値の一覧に対して [一覧から選択] オプションを有効にします。

デフォルト値が空です。 (CIM 01615)

原因

パラメータに対してデフォルト値が定義されていません。

対処方法

(データファンデーションまたはビジネスレイヤで) パラメータを編集し、プロンプトのデフォルト値を入力します。

値の一覧が空です。(CIM 01616)

原因

値の一覧が空です

対処方法

(データファンデーションまたはビジネスレイヤで) パラメータを編集し、関連する値の一覧を確認するか、またはデフォルト値を入力します。

"{0}" に空のクエリ定義があります。(CIM 01700)

原因

クエリに定義がありません。

対処方法

クエリを編集し、有効性を確認します。

"{0}" のクエリ定義が解析できません。(CIM 01701)

原因

クエリ定義を解析できません。

対処方法

クエリを編集し、クエリ式を確認します。

クエリ "{0}" にはクエリがありません。(CIM 01702)

原因

クエリに定義がありません。

対処方法

クエリを編集し、有効性を確認します。

クエリ "{0}" がユニバースから見つからないオブジェクト ({1}) を参照しています。(CIM 01703)

原因

クエリが、ユニバースに含まれないオブジェクトを参照しています。

対処方法

別のオブジェクトを参照するようクエリを編集するか、または見つからないオブジェクトを取得するためにユニバースを最新表示します。

クエリ "{0}" には結果オブジェクトがありません。(CIM 01704)

原因

クエリに結果オブジェクトがありません。

対処方法

クエリを編集し、オブジェクトが返されることを確認します。

クエリ "{0}" が結果オブジェクト数が一致しないクエリを結合しました。(CIM 01705)

原因

クエリに、結果オブジェクト数が一致しない複合クエリがあります。

対処方法

クエリを編集し、複合クエリ式を確認します。

"{0}" が見つかりませんでした (CIM 01800)

原因

リソースが、見つからなかったオブジェクトを参照しています。

対処方法

リソースの有効性を確認します。移動、削除、または名前変更されたオブジェクトがないか確認します。

"{0}" に破損した依存関係があります。(CIM 01801)

原因

リソースが、存在しないオブジェクトを参照しています。

対処方法

リソースの依存関係を確認します。移動、削除、または名前変更されたオブジェクトがないか確認します。オブジェクトを再作成するかリンクを修正します。

未知の問題です。(CIM 02000)

原因

不明

対処方法

このエラーメッセージは、一般エラーに使用されます。

Crystal Reports Server (CRS) エラーメッセージ

Crystal Reports Server (CRS) エラーメッセージには以下のとおりです。

範囲	カテゴリ
CRS 200001 ~ CRS 200005	Crystal Reports Server エラー
CRS 300001 ~ CRS 300024	Crystal Reports Server エラー

5.1 CRS 200001 ~ CRS 200005

内部エラーが発生しました。システム管理者にお問い合わせください。(CRS 200001)

原因

内部エラーが発生しました。

対処方法

システム管理者にお問い合わせください。

メモリ不足エラー。システム管理者にお問い合わせください。(CRS 200002)

原因

システムのメモリ不足です。

対処方法

システム管理者にお問い合わせください。

ユーザに次の動作を実行する権限がないため、リクエストに失敗しました: {0}。(CRS 200003)

原因

ユーザ権限が不十分です。

対処方法

システム管理者にお問い合わせください。

サポートされていないランタイムの更新が検出されました。ユーザ固有のコンテンツをランタイムで追加することはできません。(CRS 200004)

原因

サポートされていない実行時変更です。

対処方法

システム管理者にお問い合わせください。

ドリルダウンできません。(CRS 200004) (CRS 200005)

原因

ドリルダウンできません。

対処方法

他のドリルダウン場所を選択します。

5.2 CRS 300001 ~ CRS 300024

内部エラーが発生しました。システム管理者にお問い合わせください。(CRS 300001)

原因

内部エラーが発生しました。

対処方法

システム管理者にお問い合わせください。

{0} (CRS 300002)

原因

コード生成エラー。

対処方法

システム管理者にお問い合わせください。

{0} (CRS 300003)

原因

レポート例外が投げられました。

対処方法

システム管理者にお問い合わせください。

ディスクへエクスポートされたレポートの書き込み中にエラーが発生しました。(CRS 300004)

原因

エクスポートされたレポートをディスクに書き込み中にエラーが発生しました。

対処方法

システム管理者にお問い合わせください。

BOE との通信中にエラーが発生しました: {0} (CRS 300005)

原因

BOE との通信中にエラーが発生しました。

対処方法

システム管理者にお問い合わせください。

バッチジョブの処理が失敗しました。(CRS 300006)

原因

バッチジョブの処理が失敗しました。

対処方法

システム管理者にお問い合わせください。

グローバル配信ルールアラートの処理が失敗しました。(CRS 300007)

原因

グローバル配信ルールアラートの処理が失敗しました。

対処方法

システム管理者にお問い合わせください。

ドキュメントを出力先に配信できません。(CRS 300008)

原因

ドキュメントを出力先に配信できません。

対処方法

システム管理者にお問い合わせください。

パーソナライゼーションターゲットフィールド: {0} がレポートで見つかりません。(CRS 300009)

原因

パーソナライゼーションターゲットフィールドが見つかりません。

対処方法

システム管理者にお問い合わせください。

BOE プロファイル値を非文字列パラメータフィールド: {0} にマッピングできません (CRS 300010)

原因

BOE プロファイル値を非文字列パラメータフィールドにマッピングできません。

対処方法

BOE プロファイル値が、文字列パラメータフィールドにマップされていることを確認します。

プロファイル式を非文字列パラメータフィールド: {0} にマッピングできません (CRS 300011)

原因

プロファイル式をパラメータフィールドにマッピングできません。

対処方法

システム管理者にお問い合わせください。

パラメータフィールド: {0} はオプションではありません。値の設定は必須です。(CRS 300012)

原因

一部のパラメータフィールドはオプションではありません。

対処方法

オプションでないパラメータには、値が含まれている必要があります。

パラメータフィールド: {0} には複数の値を入力できません。(CRS 300013)

原因

値の数が多すぎるパラメータフィールドがあります。

対処方法

パラメータの値の数を減らします。

パラメータフィールド: {0} は使用されており、値が必要です。(CRS 300014)

原因

値のないパラメータフィールドがあります。

対処方法

パラメータに値を設定します。

パラメータフィールド: {0} には NULL 値を入力できません。(CRS 300015)

原因

一部のパラメータフィールドには NULL 値を入力できません。

対処方法

システム管理者にお問い合わせください。

パブリケーションソースドキュメントに保存データがありませんが、保存データは必須です。(CRS 300016)

原因

パブリケーションソースドキュメントに保存データがありません。

対処方法

ソースドキュメントに保存データがあることを確認します。

プロファイル値タイプをフィールド: {0} のレポートフィールドタイプに変換できません (CRS 300017)

原因

型変換に失敗しました。

対処方法

システム管理者にお問い合わせください。

データパラメータ: {0} でパーソナライズを行うと、潜在的にパフォーマンスが低下して、受信者ごとに 1 データベースが最新表示されます。(CRS 300018)

原因

データパラメータをパーソナライズすると、データが最新表示されます。

対処方法

パフォーマンスを改善するためには、データパラメータのパーソナライズを避けてください。

論理値グループパラメータ: {0} をパーソナライズできません。論理値グループのパラメータのパーソナライズはサポートされていません。(CRS 300019)

原因

論理値グループパラメータはパーソナライズできません。

対処方法

論理値グループのパラメータのパーソナライズはサポートされていません。

ユーザにドキュメントの印刷権限がありません。(CRS 300020)

原因

ユーザにこのドキュメントの印刷権限がありません。

対処方法

システム管理者にお問い合わせください。

ユーザにはドキュメントのダウンロード権限がなく、デフォルトの Enterprise の場所と受信ボックス出力先に対するスケジュール権限しかありません。(CRS 300021)

原因

ユーザにはこのドキュメントのダウンロード権限がありません。

対処方法

システム管理者にお問い合わせください。

多言語レポートをスケジュールできませんでした。(CRS 300022)

原因

多言語レポートをスケジュールできませんでした。

対処方法

システム管理者にお問い合わせください。

レポート内のアラートを生成できませんでした。(CRS 300023)

原因

アラートを生成できませんでした。

対処方法

システム管理者にお問い合わせください。

ドキュメントが、ユーザ固有のセキュリティを持つセマンティックレイヤに基づいているため、パブリケーションを実行できません。また、パブリケーションは受信者ごとのバーストモードを使用していません。
(CRS 300024)

原因

Crystal Report は、ユーザ固有のセキュリティを持つセマンティックレイヤに基づいており、パブリケーションは受信者ごとのバーストモードを使用していません。

対処方法

受信者ごとのバーストモードに切り替えます。

チェックセキュリティマッピング (CSM) のエラーメッセージ

チェックセキュリティマッピングのエラーメッセージカテゴリには、以下のものが含まれます。

CSM エラー	カテゴリ
CSM 00001 ~ CSM 00012	データセキュリティプロファイルエラー: テーブルおよび行制限、テーブルマッピング、および接続の上書き。
CSM 00101 ~ CSM 00112	ビジネスセキュリティプロファイルエラー。

チェック済みデータセキュリティプロファイル "{0}" には、無効なデータファンデーションが含まれています。データファンデーションが存在するか、少なくともテーブルが 1 つ含まれていることを確認してください。(CSM 00001)

原因

参照データファンデーションが有効ではありません。

対処方法

データファンデーションの有効性を確認します。データファンデーションには、少なくともテーブルが 1 つ含まれている必要があります。データファンデーションで整合性のチェックを実行します。

チェック済みデータセキュリティプロファイル "{0}" の行制限には、データファンデーションで定義されていない制限付きテーブルが含まれています。行制限の定義を修正してください。(CSM 00002)

原因

行制限に定義されているテーブルがデータファンデーションにありません。

対処方法

データセキュリティプロファイル行制限を編集し、参照テーブルを変更します。

チェック済みデータセキュリティプロファイル "{0}" の行制限には、未定義の制限付きテーブルが含まれています。新しい制限付きテーブルを定義してください。(CSM 00003)

原因

行制限に定義された制限付きテーブルが空です。

対処方法

データセキュリティプロファイル行制限を編集し、参照テーブルを変更します。

チェック済みデータセキュリティプロファイル "{0}" のテーブルマッピングには、データファンデーションで定義されていない元のテーブル "{1}" が含まれています。元のテーブルの定義を確認してください。(CSM 00004)

原因

テーブル置換に定義されている元のテーブルがデータファンデーションにありません。

対処方法

データセキュリティプロファイルテーブル置換を編集し、元のテーブルへの参照を修正します。

チェック済みデータセキュリティプロファイル "{0}" のテーブルマッピングには、未定義の置換テーブルが含まれています。元のテーブル "{1}" に対する新しい有効な置換テーブルを定義してください。(CSM 00005)

原因

テーブル置換に定義されているテーブルが、データファンデーションまたはデータソースにありません。

対処方法

データセキュリティプロファイルテーブル置換を編集し、置換テーブルへの参照を修正します。

チェック済みデータセキュリティプロファイル "{0}" のテーブルマッピングには、エイリアスである置換テーブル "{1}" が含まれています。エイリアステーブルは、置換テーブルとしてサポートされていません。(CSM 00006)

原因

置換として定義されているテーブルが、データファンデーションのエイリアステーブルです。エイリアステーブルは、置換テーブルとして使用できません。

対処方法

データセキュリティプロファイルテーブル置換を編集し、データファンデーションで標準テーブルを定義するか、またはデータベーステーブルを置換テーブルとして定義します。

チェック済みデータセキュリティプロファイル "{0}" のテーブルマッピングには、派生テーブルである置換テーブル "{1}" が含まれています。派生テーブルは、置換テーブルとしてサポートされていません。(CSM 00007)

原因

置換として定義されているテーブルが、データファンデーションの派生テーブルです。派生テーブルは、置換テーブルとして使用できません。

対処方法

データセキュリティプロファイルテーブル置換を編集し、データファンデーションで標準テーブルを定義するか、またはデータベーステーブルを置換テーブルとして定義します。

チェック済みデータセキュリティプロファイル "{0}" の接続マッピングには、データファンデーションでデータソースとして定義されていない元の接続が含まれています。元の接続の定義を確認してください。(CSM 00008)

原因

接続置換で参照されている元の接続が、データファンデーションで接続として定義されていません。

対処方法

データファンデーションで定義された接続を確認してから、データセキュリティプロファイル接続置換を編集し、元の接続をデータファンデーションで定義された接続に変更します。

チェック済みデータセキュリティプロファイル "{0}" の接続マッピングには、未定義の元の接続が含まれています。元の接続を再定義してください。(CSM 00009)

原因

接続置換で参照されている元の接続が無効です。

対処方法

データセキュリティプロファイル接続置換を編集し、元の接続を有効な接続に変更します。

チェック済みデータセキュリティプロファイル "{0}" の接続マッピングには、未定義の置換接続が含まれています。元の接続 "{1}" に対する新しい有効な置換接続を定義してください。(CSM 00010)

原因

置換接続が無効です。

対処方法

データセキュリティプロファイル接続置換を編集し、置換接続を有効な接続に変更します。

データセキュリティプロファイル "{0}" の行制限の SQL の WHERE 句が不完全です。行を制限する有効な SQL 文を入力してください。(CSM 00011)

原因

行制限のための SQL 式が無効です。

対処方法

データセキュリティプロファイル行制限を編集し、WHERE 式の有効性を確認します。

データセキュリティプロファイル "{0}" の行制限条件の SQL の WHERE 句が有効ではありません。有効な SQL 文を入力してください。(CSM 00012)

原因

行制限のための SQL 式が無効です。

対処方法

データセキュリティプロファイル行制限を編集し、WHERE 式の有効性を確認します。

ビジネスセキュリティプロファイル "{0}" には、無効なユニバース参照が含まれています。新しいユニバースにビジネスセキュリティプロファイル "{0}" を再定義してください。(CSM 00101)

原因

ユニバースが無効です。

対処方法

ビジネスセキュリティプロファイルで参照されているユニバースの有効性を確認します。

ビジネスセキュリティプロファイル "{0}" は、ユニバース "{1}" から削除されている拒否されたオブジェクトを参照しています。ビジネスセキュリティプロファイルを編集して、[クエリの作成] パネルからオブジェクトを削除してください。(CSM 00102)

原因

[クエリの作成] 設定で拒否されたビジネスオブジェクトが、ユニバースにありません。

対処方法

ビジネスセキュリティプロファイルの [クエリの作成] 設定を編集し、拒否されたオブジェクトを削除または変更します。

ビジネスセキュリティプロファイル "{0}" は、ユニバース "{1}" から削除されている許可されたオブジェクトを参照しています。ビジネスセキュリティプロファイルを編集して、[データの表示] パネルからオブジェクトを削除してください。(CSM 00103)

原因

[データの表示] 設定で許可されたビジネスオブジェクトが、ユニバースにありません。

対処方法

ビジネスセキュリティプロファイルの [データの表示] 設定を編集し、許可されたオブジェクトを削除または変更します。

ビジネスセキュリティプロファイル "{0}" は、ユニバース "{1}" から削除されている拒否されたビューを参照しています。ビジネスセキュリティプロファイルを編集して、[クエリの作成] パネルからビューを削除してください。(CSM 00104)

原因

[クエリの作成] 設定で拒否されたビジネスレイヤビューが、ユニバースにありません。

対処方法

ビジネスセキュリティプロファイルの [クエリの作成] 設定を編集し、拒否されたビューを削除または変更します。

ビジネスセキュリティプロファイル "{0}" は、ユニバース "{1}" から削除されている許可されたビューを参照しています。ビジネスセキュリティプロファイルを編集して、[クエリの作成] パネルからビューを削除してください。(CSM 00105)

原因

[クエリの作成] 設定で許可されたビジネスレイヤビューが、ユニバースにありません。

対処方法

ビジネスセキュリティプロファイルの [クエリの作成] 設定を編集し、許可されたビューを削除または変更します。

ビジネスセキュリティプロファイル "{0}" は、ユニバース "{1}" から削除されている拒否されたオブジェクトを参照しています。ビジネスセキュリティプロファイルを編集して、[データの表示] 設定からオブジェクトを削除してください。(CSM 00106)

原因

[データの表示] 設定で拒否されたビジネスオブジェクトが、ユニバースにありません。

対処方法

ビジネスセキュリティプロファイルの [データの表示] 設定を編集し、拒否されたオブジェクトを削除または変更します。

ビジネスセキュリティプロファイル "{0}" は、ユニバース "{1}" から削除されている許可されたオブジェクトを参照しています。ビジネスセキュリティプロファイルを編集して、[データの表示] パネルからオブジェクトを削除してください。(CSM 00107)

原因

[データの表示] 設定で許可されたビジネスオブジェクトが、ユニバースにありません。

対処方法

ビジネスセキュリティプロファイルの [データの表示] 設定を編集し、許可されたオブジェクトを削除または変更します。

ビジネスセキュリティプロファイル "{0}" は、ユニバース "{1}" から削除されているフィルタを参照しています。ビジネスセキュリティプロファイルを編集して、[フィルタ] パネルからフィルタを削除してください。(CSM 00108)

原因

ビジネスセキュリティプロファイルの [フィルタ] 設定で定義されているフィルタが、ユニバースにありません。

対処方法

ビジネスセキュリティプロファイルの [フィルタ] 設定を編集し、参照フィルタを変更します。

ビジネスセキュリティプロファイル "{0}" には、無効なクエリ定義のフィルタ "{1}" が含まれています。ビジネスセキュリティプロファイルで正しいクエリ定義のフィルタを再定義してください。(CSM 00109)

原因

ビジネスセキュリティプロファイルの [フィルタ] 設定で定義されているフィルタが無効です。

対処方法

ビジネスセキュリティプロファイルの [フィルタ] 設定を編集し、フィルタ定義を確認します。

ビジネスセキュリティプロファイル "{0}" は、ユニバース "{1}" から削除されている名前付きセットを参照しています。ビジネスセキュリティプロファイルを編集して、[フィルタ] パネルから名前付きセットを削除してください。(CSM 00110)

原因

ビジネスセキュリティプロファイルの [フィルタ] 設定で定義されている名前付きセットが、ユニバースにありません。

対処方法

ビジネスセキュリティプロファイルの [フィルタ] 設定を編集し、有効な名前付きセットを参照します。

ビジネスセキュリティプロファイル "{0}" には、階層の割り当てがない名前付きセット "{1}" が含まれています。ビジネスセキュリティプロファイルで正しい階層の名前付きセットを再定義してください。(CSM 00111)

原因

ビジネスセキュリティプロファイルの [フィルタ] 設定で定義されている名前付きセットに、階層が定義されていません。

対処方法

ビジネスセキュリティプロファイルの [フィルタ] 設定を編集し、名前付きセット定義を確認します。

ビジネスセキュリティプロファイル "{0}" には、ユニバース "{2}" から削除された階層の名前付きセット "{1}" が含まれています。ビジネスセキュリティプロファイルで正しい階層の名前付きセットを再定義してください。(CSM 00112)

原因

ビジネスセキュリティプロファイルの [フィルタ] 設定で定義されている名前付きセットが、存在しない階層で定義されています。

対処方法

ビジネスセキュリティプロファイルの [フィルタ] 設定を編集し、名前付きセット定義を確認します。

データアクセスエラーメッセージ

データアクセスエラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

- ・ データベース (DA) エラーメッセージ
- ・ データプロバイダ (DMA) エラーメッセージ
- ・ ファイル (DPP) に関するエラーメッセージ
- ・ 接続 (DPQ) に関するエラーメッセージ
- ・ ストアドプロシージャ (DPS) エラーメッセージ
- ・ SQL (QPF) エラーメッセージ
- ・ サーバ (DWZ) エラーメッセージ
- ・ SQL クエリ (QP) に関するエラーメッセージ
- ・ データプロバイダ (VBA) に関するエラーメッセージ

7.1 データベース (DA) エラーメッセージ

データベースエラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

範囲	カテゴリ
DA0005 - DA0010	データベースエラー

接続エラーまたは SQL 文エラー: (DA0005)

原因

関連する .sbo ファイル内の日付書式を変更した後、Connection Server で接続エラーまたは SQL 文エラーが発生することがあります。これは、.sbo ファイルに設定されている書式が、データベース内の設定と異なる場合に発生することがあります。

対処方法

Oracle NLS_DATE_FORMAT パラメータがデータアクセスの .sbo ファイルで設定した日付書式に設定されていることを確認します。詳しい説明は、Oracle の資料を参照してください。.sbo ファイルに定義されているパラメータとその変更方法の詳細については、データアクセスガイドを参照してください。

原因

Oracle データアクセスドライバが、移動、削除、名前を変更されたか、破損しています。

対処方法

Oracle データアクセスドライバを再インストールしてください。

BLOB 列は 1 行以上フェッチできません。(DA0009)**原因**

リクエストには、1 つまたは複数のバイナリラージオブジェクト (BLOB) の取得が含まれています。これらのオブジェクトは複数行にまたがっています。使用する会社用データベースでは、複数行にまたがるオブジェクトの取得をサポートしていません。

対処方法

BusinessObjects のカスタマサポートにお問い合わせください。

ユニバースのオブジェクトがいくつか存在しないか、または曖昧です。このユニバースにクエリは実行できません。(DA0010)**原因**

このメッセージは、ユニバース上でクエリを実行しようとしたときに、そのクエリにデータソースに存在しないオブジェクトが含まれている場合に表示されます。

対処方法

クエリから存在しないオブジェクトを削除します。次の手順を実行します。

- 1 存在しないオブジェクトを判断するには、エラーメッセージの[詳細]タブを選択します。
- 2 [データ]の[データ表示]オプションを使用して、欠落したオブジェクトをクエリから削除します。

7.2 データプロバイダ (DMA) エラーメッセージ

データプロバイダエラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

範囲	カテゴリ
DMA0002 - DMA 0008	データプロバイダ

階層構造名が不正です (DMA0002)

原因

階層の名前に既存の階層名を指定すると、このメッセージが表示されます。

対処方法

新しい階層に一意の名前を指定します。

エクスポート失敗 (DMA0005)

原因

このエラーメッセージは、次のファイルエクスポートオプションを選択した時に、操作が失敗すると表示されます。

- ・ [ローカルファイル形式にエクスポート] -- dBaseまたはExcelファイルへのエクスポートでは、エクスポート先のファイルが使用できない、Microsoft DAOの内部エラー(ISAMドライバの不在など)、空き容量の不足、などが原因となる一般的なエクスポートエラーが考えられます。

テキストファイルへのエクスポートでは、エクスポート先のファイルが使用できない、空き容量の不足、などが原因となる一般的なエクスポートエラーが考えられます。

- ・ [DDEにコピー] -- DDE (Windowsクリップボード)へのエクスポートでは、ほとんどがメモリの不足による一般的なエクスポートエラーです。
- ・ [RDBMSにエクスポート] -- BusinessObjects接続を使ったエクスポートでは、不適切なミドルウェア設定または接続、データベースサーバの停止、接続するデータベースのテーブルに対する変更権がない、などが原因となる一般的なエクスポートエラーが考えられます。[RDBMSにエクスポート]の場合は、詳細エラー情報を示すミドルウェアからのメッセージに続いて、このエラーメッセージが表示されます。

対処方法

選択したエクスポートオプションをチェックし、次の中から対応する措置を行います。

チェックしたオプション	措置
ローカルファイル形式にエクスポート	エクスポート先ファイルが使用できること、空き容量が十分にあることを確認します。問題がなければ、ISAMドライバがない、などMicrosoft DAOの内部エラーを調べてください。
DDE にコピー	メモリが十分にあることを確認します。
RDBMS にエクスポート	先に表示されるミドルウェアのエラーメッセージで、より詳しい情報を参照します。

原因

BusinessObjectsからMicrosoft Excelにデータをエクスポートしようとしたが、データにMicrosoft Excelの予約語となる特殊文字を使った名前のオブジェクトが含まれています。

対処方法

次の方法で、データをエクスポートします。

- 1 [ローカルファイル形式にエクスポート]オプションの代わりに、[DDE にコピー]をクリックします。

この操作で、Microsoft Windowsのクリップボードにデータがコピーされます。

- 2 Excelを起動し、[形式を選択して貼り付け]コマンドを使って、目的のセルにデータを貼り付けます。

これで、オブジェクト名が正しく表示されます。

また、可能な場合にはBusinessQueryを使用することもできます。BusinessObjectsデータも受付け、正しく表示します。

このデータプロバイダの編集には、BusinessObjects のインストールされていないコンポーネントが必要です。システム管理者に連絡してください(DMA0006)

原因

BusinessObjectsレポートで、コンピュータにインストールされていないコンポーネントを必要とするデータプロバイダを編集しようとすると、このエラーメッセージが表示されます。

対処方法

システム管理者に、不足しているコンポーネントを特定し、インストールするよう依頼します。

例

OLAPサーバを使用するデータプロバイダを編集しようとしたが、専用のOLAPアクセスパックがコンピュータにインストールされていません。

次のデータプロバイダを最新表示できませんでした: (DMA0007)

原因

Essbase 製品:使用するテーブルの別名に括弧がついている場合。

対処方法

テーブルの別名に括弧を使用することはできません。システム管理者に連絡してください。

原因

他のすべての BusinessObjects 製品: 値を選択するプロンプトを持つドキュメントを最新表示すると、[値を入力または選択]ダイアログボックスが表示されます。値を選択しないで、[値を入力または選択]ダイアログボックスで[キャンセル]をクリックし、データプロバイダの最新表示を中止した場合にメッセージが表示されます。

対処方法

これはエラーではありません。データプロバイダの最新表示を中止したため、レポートに新しいデータを表示できないことを知らせるメッセージです。

変数が原因で、データプロバイダを最新表示できませんでした。(DMA0008)

原因

このエラーメッセージは次の場合に表示されます。ドキュメントの最新表示を開始後、データプロバイダに含まれる変数(@Variable、@Prompt、@Script)が解決できないと、このメッセージが表示されます。この場合、データプロバイダの最新表示は完了できません。

対処方法

クエリの変数を調べ、必要に応じて変更します。この操作は[SQL文の直接入力]エディタを使って、またはユニバースデザイナーの場合はDesignerで行います。変数の正しい構文についての詳細は、『ユニバースデザインツールユーザガイド』を参照してください。

7.3 ファイル(DPP)に関するエラーメッセージ

ファイルエラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

範囲	カテゴリ
DPP0001 - DPP0002	ファイルエラー

ファイルを開くことができません。(DPP0001)

原因

個人用データファイルとして指定した次のファイルが開けない場合に、このエラーメッセージが表示されます。

- ・ dBase
- ・ Excel
- ・ テキスト

ファイルが削除または移動されたか、名前が変更されたか、破損しています。また、ファイルがアクセスが制限されたフォルダにあるなどの理由で、使用できない可能性もあります。

対処方法

ファイルの状態をチェックします。

ストアドプロシージャを使用する権限がありません。(DPP0002)**原因**

ストアドプロシージャの削除後に、ストアドプロシージャを使って作成したドキュメントを開こうとしました。

対処方法

ストアドプロシージャが再作成された場合は、ドキュメントのみを使用できます。

7.4 接続(DPQ)に関するエラーメッセージ

接続エラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

範囲	カテゴリ
DPQ0001 - DPQ0006	接続

接続が定義されていません。(DPQ0001)**原因**

[SQL文の直接入力]エディタで作成したクエリを実行しようとする、このエラーメッセージが表示されます。これは、クエリを使ってアクセスするデータベースとBusinessObjectsとの接続が定義されていないために、レポートのデータにアクセスできないことが原因です。

対処方法

[SQL文の直接入力]エディタからデータベース接続を作成するか、Designer または Supervisor でデータベースへの接続を新たに定義するようデータベース管理者に依頼する必要があります。

新規接続は、[SQL文の直接入力]エディタで[新規接続の作成]ボタンをクリックし、表示される[接続の追加]ダイアログボックスを使って作成できます。

サーバが応答しません。(DPQ0003)

原因

このエラーメッセージは、ドキュメントを最新表示したときに表示されます。考えられる原因は次の3つです。

- ・ ミドルウェアが正しく設定されていない。
- ・ 接続パラメータが無効です。
- ・ データベースサーバが停止している。

対処方法

[接続テスト]ダイアログボックスの[詳細]ボタンをクリックします。データベースまたはミドルウェアのエラーメッセージを書き留めて、データベース管理者に連絡します。

接続の問題: (DPQ0005)

原因

[SQL文の直接入力]エディタで作成したクエリを実行しようとする、このエラーメッセージが表示されます。接続とは、データベースへのアクセスを供給する一連のパラメータのことです。接続が正しく定義されていない場合に、このエラーメッセージが表示されます。

対処方法

[SQL文の直接入力]エディタを使ってデータベースへの接続を定義した場合には、これを編集する必要があります。接続の定義は、[SQL文の直接入力]エディタの[接続]一覧から接続を選択し、[接続の編集]ボタンをクリックして行います。

[SQL文の直接入力]エディタで定義した接続以外を使用している場合は、DesignerまたはSupervisorでデータベースへの接続を編集するようデータベース管理者に依頼する必要があります。

が存在しません。(DPQ0006)

原因

[SQL文の直接入力]エディタで作成したSQLスクリプトを実行しようとする、このエラーが発生します。SQLデータプロバイダが使用するデータベースへの接続情報を見つけれられないため、このエラーメッセージを表示します。

対処方法

SQLスクリプトが使用するデータベース接続を調べ、接続が正しく定義され、有効であることを確認します。

データベース接続が存在しない場合は、[SQL文の直接入力]エディタで接続を定義できます。

データベース接続が[SQL文の直接入力]エディタで定義した接続の場合は、必要に応じて[SQL文の直接入力]エディタの[接続]一覧から接続を選択し、[接続の編集]ボタンをクリックして接続を編集します。

自分で定義した接続でない場合は、Designer でデータベースへの接続を編集するようデータベース管理者に依頼する必要があります。

7.5 ストアドプロシージャ(DPS)エラーメッセージ

ストアドプロシージャエラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

範囲	カテゴリ
DPS0001 - DPS0002	ストアドプロシージャ

このストアドプロシージャは削除されました。(DPS0001)

原因

このエラーメッセージは、削除されたストアドプロシージャを使用しようとしたとき、またはストアドプロシージャを使用するためのアクセス権がないときに表示されます。ストアドプロシージャは、次のように使用できます。

- ・ データを返す RDBMS に保存された SQL スクリプト
- ・ データを返す JavaBean で定義されたプロシージャ

システム管理者は、ストアドプロシージャへの接続を定義し、その接続をユーザに割り当てることができます。

対処方法

接続定義を更新または置き換える必要があります。

ストアドプロシージャを使用する権限がありません。(DPS0002)

原因

このエラーメッセージは、システム管理者が許可していないストアドプロシージャをデータプロバイダとして使用しようとしたときに表示されます。ストアドプロシージャは、データを返す RDBMS に保存された SQL スクリプトです。

対処方法

システム管理者に連絡して、このストアドプロシージャの使用許可を依頼します。

7.6 SQL (QPF) エラーメッセージ

SQL エラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

範囲	カテゴリ
QPF0001	SQL

承認されている SQL コマンドは「選択」のみです。(QPF0001)

原因

SQLが(おそらく手動で)変更され、Selectコマンドが別のコマンドに置き換えられていると、このエラーが発生します。レポートの生成にはSQLのSelectコマンドが必要です。

対処方法

SQLにSelectコマンドを追加して、レポートを再生成する必要があります。この操作は、[クエリパネル]または[SQL文の直接入力]エディタで行うことができます。BusinessObjectsは、コメントを最初のSQLコマンドとして受け付けません。

7.7 SQL クエリ (QP) に関するエラーメッセージ

SQL クエリエラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

範囲	カテゴリ
QP0001 - QP0027	SQL クエリ

SQL 文生成中にエラーが発生しました。(QP0001)

原因

このエラーはクエリの実行中に起こります。SQL 内のエラーまたはデータベースとの接続の問題が原因と考えられます。

対処方法

SQLをチェックします。SQLが正しい場合は、接続をテストします。

SQL 文生成中に内部メモリエラーが発生しました。(QP0002)

原因

このエラーは、SQLの生成に十分なメモリがないときに発生します。

対処方法

開いている他のアプリケーションをすべて閉じ、クエリを再度実行します。

SQL 文の生成中にメモリエラーが発生しました。(QP0003)

原因

このエラーは、SQLの生成に十分なメモリがないときに発生します。

対処方法

開いている他のアプリケーションをすべて閉じ、クエリを再度実行します。

オブジェクトのこの組み合わせは成立しません。(QP0004)

原因

ユニバースの定義に次のいずれかの問題があると、このエラーメッセージが表示されます。

- ・ 互換性のないオブジェクトがあるユニバースで、ユニバースデザイナーが各コンテキストに対し複数のSQL文を許可するオプションを設定しない。
- ・ ユニバースにコンテキストがなく、クエリがループを生成した。
- ・ クエリオブジェクトで、Aggregate Aware 関数に必要な可能なすべての SQL が除外されました。
- ・ ユニバースに各コンテキストに対して複数のテーブルを参照するオブジェクトが含まれている。

対処方法

ユニバースデザイナーが、Designerを使ってユニバースに適切な変更を行う必要があります。

外部結合に整合性がありません。(QP0005)

原因

このエラーメッセージは、ユニバース定義に問題がある場合に表示されます。データベース内のテーブル間の外部結合の組み合わせが間違っています。

対処方法

ユニバースデザイナーが、Designerを使ってユニバースに適切な変更を行う必要があります。

デカルト積は使用できません。(QP0006)

原因

デカルト積とは、複数のテーブルが結合によってリンクされていないクエリの結果です。実行した場合には、レポートに各テーブル行の可能な組み合わせの結果が表示されます。ユニバース作成者が、ユニバースの作成時にデカルト積を許可しないよう設定しました。

対処方法

ユニバースデザイナーが、Designerを使ってユニバースに適切な変更を行う必要があります。デカルト積を許可するか、データベース内のテーブル間に必要なリンクを作成することができます。

クエリがテーブルを参照していません。(QP0007)

原因

このエラーメッセージは、ユニバース定義に問題がある場合に表示されます。ユニバースに単体では使用できないオブジェクトがあり、このオブジェクトを認識できるSQL文がありません。

対処方法

ユニバースデザイナーが、Designerを使ってユニバースに適切な変更を行う必要があります。詳しい説明は、『Designer ガイド』を参照してください。

削除されたテーブルへの参照があります。(QP0008)

原因

データベースの更新後にSQL文を再生成したとき、ユニバースが変更されていると、このエラーが発生します。ユニバースが削除されたテーブルを参照しているため、SQL文を実行できません。

対処方法

ユニバースのデザイナーは、Designerを使ってユニバース内のすべてのオブジェクトがテーブルにリンクされるよう、ユニバースを変更する必要があります。

クエリ内に無効なオブジェクトがあります。(QP0009)

原因

クエリ内のオブジェクトがユニバースから削除されていると、このエラーメッセージが表示されます。

対処方法

ユニバースのデザイナーが、Designerを使ってオブジェクトをユニバースに戻すか、オブジェクトをクエリから削除することで対処できます。

クエリ内に無効なプロパティがあります。(QP0010)

原因

このエラーメッセージは、定義済み条件を含んだクエリを[クエリパネル]から実行したときに表示されます。クエリの条件オブジェクトの1つがユニバースに存在しないため、クエリが実行できず、エラーメッセージが表示されます。

対処方法

ユニバースとその条件オブジェクトについて、ユニバースのデザイナーに問い合わせます。ユニバースのデザイナーは、Designerを使って、定義済み条件として動作するオブジェクトをクラスごとに定義できます。ユニバースのデザイナーに条件オブジェクトを再定義するよう依頼するか、条件をクエリから削除する必要があります。条件オブジェクトの定義に関する詳細は、『Designer ガイド』を参照してください。

.PRM ファイルが見つかりません。(QP0011)

原因

.prm ファイルが見つかりません。.prm ファイルには、ユニバースの作成と管理、およびクエリの生成に必要なパラメータがすべて保存されています。このエラーは、製品が正しくインストールされていないことを示しています。

対処方法

製品を再インストールします。

複合条件によりデカルト積が作成されました。(QP0013)

原因

このエラーは、複合条件の一部として計算を挿入したときに発生します。計算に、リンクされていないテーブルを参照するオブジェクトが使用されています。デカルト積とは、複数のテーブルが結合によってリンクされていないクエリの結果です。実行した場合には、レポートに各テーブル行の可能な組み合わせの結果が表示されます。

対処方法

ユニバースのデザイナーは、Designerを使って計算内のオブジェクトが参照するテーブルをリンクすることができます。また、クエリから条件を削除することでも対処できます。

複合条件内にループがあります。(QP0014)**原因**

このエラーは、複合条件の一部として計算を挿入したときに発生します。計算に、ループを形成するテーブルオブジェクトが使用されています。

対処方法

ユニバースのデザイナーは、Designerを使って、ループが形成されないようクエリ内のオブジェクトが参照するテーブルをリンクする必要があります。また、クエリから条件を削除することでも対処できます。

クエリが複雑すぎます。互換性のないオブジェクトを含んだサブクエリがあります。(QP0015)**原因**

複数のサブクエリを含む複合クエリで、サブクエリ内のオブジェクトが他のサブクエリ内のオブジェクトと互換性がない場合に、このエラーが発生します。

対処方法

複合クエリのサブクエリを調べ、すべてのサブクエリのすべてのオブジェクトに互換性があることを確認します。

サーバが応答しません。(QP0016)**原因**

[クエリパネル]からクエリを実行した時に、サーバからデータが何も返されないと、このエラーメッセージが表示されます。考えられる原因は次の3つです。

- ・ ミドルウェアが正しく設定されていない。
- ・ 接続パラメータが無効です。
- ・ データベースサーバが停止している。

対処方法

[接続テスト]ダイアログボックスの[詳細]ボタンをクリックします。データベースまたはミドルウェアのエラーメッセージを書き留めて、データベース管理者に連絡します。

SELECT 句の列が結果オブジェクトと一致しません。(QP0017)

原因

このエラーは通常、[SQL文の直接入力]エディタでSQLを手動で変更したあとに発生します。Select句のフィールド数が、[クエリパネル]内のオブジェクト数と比較して、多すぎるか少なすぎるのが原因です。

対処方法

Select句内のフィールド数と[クエリパネル]内のオブジェクト数が一致するよう、SQLを編集する必要があります。

変数に構文エラーがあります。(QP0018)

原因

このエラーは、ユニバースに正しく定義されていない @Prompt または @Variable がクエリのオブジェクトに含まれている場合に発生します。

対処方法

ユニバースのデザイナーは、Designerを使ってユニバース内の @Prompt または @Variable を再定義する必要があります。

@Prompt の構文

構文は、次の通りです。

```
@Prompt('message',[type],[lov],[MONO|MULTI],[FREE|CONSTRAIN])
```

以下は各要素の説明です。

- ・ message: メッセージボックスに表示するテキストを一重引用符で囲んで指定します。
- ・ type: 'A' (英数字)、'N' (数値)、'D' (日付) のいずれかの型を指定します。
- ・ lov: 次のどちらかの方法で値の一覧を指定します。
 - ・ 値を直接指定する場合は単一引用符で囲み、カンマで区切ります。
 - ・ クラスとオブジェクトを指定する場合は、単一引用符で囲み、¥ で区切ります。
- ・ MONO: 唯一の値だけを受け付けます。MULTI: 複数の値を受け付けます。
- ・ FREE: 自由に値を入力できます。これに対し、CONSTRAIN は一覧からの選択しかできません。

注

最後の 4 つの引数は省略できますが、引数を指定しない場合でも区切り記号のカンマは入力する必要があります。

@Variable の構文

構文は、次の通りです。

```
@Variable('myname')
```

変数名は次のいずれかです。

- ・ @Prompt 関数を使って作成された対話型オブジェクトのメッセージテキスト、つまり @Prompt 関数の 1 番目の引数
- ・ BOUSER などの BusinessObjects システム変数。この変数は、ユーザIDを構成するユーザ名とパスワードをそれぞれ返します。これ以外にも、RDBMSとの接続に使用するシステム変数があります。

@Promptまたは@Variableの正しい構文に関する詳しい説明は、『Designer ガイド』を参照してください。

オブジェクトを使う権限がありません。(QP0019)

原因

他のユーザが作成したドキュメントを開こうとしたときに、アクセス権のないオブジェクトがドキュメントに含まれていると、このエラーが発生します。

対処方法

オブジェクトへのアクセス権は、スーパーバイザまたは管理者が設定します。

アグリゲート認識の解決に失敗しました。(QP0020)

原因

@Aggregate_Aware関数を使って定義したメジャーオブジェクトの定義が正しくないと、SQLの生成中にこのエラーが発生します。アグリゲート認識を設定するには、メジャーオブジェクトが正しく定義されている必要があります。アグリゲート認識により、SQLトランザクションのパフォーマンスが向上します。定義が正しくないと、SQLを生成できません。

対処方法

ユニバースのデザイナーが、@Aggregate_Aware関数を使って定義したメジャーオブジェクトをチェックし、構文が正しいことを確認する必要があります。

@Aggregate_Awareの構文

@Aggregate_Aware関数の構文は、次の通りです。

```
@Aggregate_Aware (sum(agg_table_1, ... sum(agg_table_n))
```

agg_table_1が最高位レベルの集計を設定するテーブルで、agg_table_nは最下位レベルのテーブルです。引数には、すべての集計テーブルの名前を入力する必要があります。また、テーブル名の順序にも注意してください。優先順位は、左から右です。

またデザイナーは、ユニバースに各集計テーブルの非互換オブジェクトおよび非互換定義済み条件の一覧があることも確認しておく必要があります。

アグリゲート認識と@Aggregate_Aware関数の詳しい説明は、『Designer ガイド』を参照してください。

メジャーの条件が曖昧です。削除するか分析範囲を取り消してください。(QP0021)

原因

分析範囲をより詳細なレベルまで拡張するには、階層の下位レベルのオブジェクトをクエリに追加します。SQLは、Group By句を使って同期したサブクエリを生成します。演算子[等しい(=)]、[以外]、[より大きい(>)]、[より小さい(<)]、[以上(≥)]、[以下(≤)]は、同期したサブクエリを生成できますが、演算子[範囲内]、[パターンと一致]、[リスト内]では、同期したサブクエリを生成できません。この場合、SQLを生成できません。

対処方法

クエリを変更するか、分析範囲を削除します。

結果オブジェクトが少なくとも 1 つ含まれるまでは新規タブを作成できません。(QP0022)

原因

2つのクエリを組み合わせる場合、1つ目のクエリから結果オブジェクトがすべて削除されていると、このエラーメッセージが表示されます。

対処方法

1つ目のクエリに、少なくとも1つの結果オブジェクトを配置する必要があります。

サブクエリ同士は組み合わせられません。(QP0023)

原因

クエリのサブクエリを別のクエリのサブクエリと組み合わせようとすると、このエラーメッセージが表示されます。この操作は許可されていません。

このクエリは削除できません。まず条件を削除してください。(QP0025)

原因

サブクエリを持ったクエリを、サブクエリを削除せずに削除しようとすると、このメッセージが表示されます。

対処方法

このクエリを削除するには、まずサブクエリを削除しなければなりません。

使用されていないオブジェクトをクエリから削除しました。(QP0027)

原因

このエラーメッセージは、ユニバースデザイナーが削除したオブジェクトを含むクエリから、SQLを生成しようとしたときに表示されます。

対処方法

削除されたオブジェクトを除外して、クエリを再構築します。

データフェデレーション (DFA) のエラーメッセージ

データフェデレーションのエラーメッセージには、以下が含まれます。

範囲	カテゴリ
DFA0003 - DFA80007	データフェデレーションエラー

データフェデレーションドライバが見つかりません。(DFA 0003)

原因

データフェデレーションドライバが見つかりません。

対処方法

インストール時の問題データフェデレーション管理ツールを再インストールします。

カタログのメタデータの取得中に問題が発生しました。(DFA 00010)

原因

カタログ取得時に問題が発生しました。

対処方法

データフェデレーションサービスをホスト中の Adaptive Processing Server のログファイルのトレースをチェックします。

次の URL のドライバプロパティを取得できません: '{0}' (DFA 0030)

原因

URL のドライバプロパティを取得できません。

対処方法

インストール時の問題データフェデレーション管理ツールを再インストールします。

内部エラーが発生しました。(DFA 20001)

原因

不明なエラーが発生しました。

対処方法

`//components/datafederator/trunk/PI/query_server/src/com/businessobjects/datafederator/server/params/resource/messages_parameters_dev.properties`

カタログのメタデータの取得中に問題が発生しました。(DFA 30001)

原因

カタログ取得時に問題が発生しました。

対処方法

データフェデレーションサービスをホスト中の Adaptive Processing Server のログファイルのトレースをチェックします。

データフェデレーションサービスをホストするサーバに接続できません。(DFA 40001)

原因

データフェデレーションサービスをホストするサーバに接続できません。

対処方法

データフェデレーションサービスとネットワークに問題がないことを確認します。

データフェデレーションドライバが見つかりません。(DFA 40002)

原因

データフェデレーションドライバが見つかりません。

対処方法

インストール時の問題データフェデレーション管理ツールを再インストールします。

次の URL のドライバプロパティを取得できません: '{0}' (DFA 40003)

原因

インストールが壊れている可能性があります。

対処方法

インストール時の問題データフェデレーション管理ツールを再インストールします。

接続 ID の取得中にエラーが発生しました。(DFA 40004)

原因

接続 ID を取得できません。

対処方法

データフェデレーションサービスへの接続を確認してください。

データフェデレーションクエリエンジンでクエリの説明中にエラーが発生しました。(DFA 50001)

原因

データフェデレーションサービスでエラーが発生しました。

対処方法

クエリを実行できるかどうかを確認してください。詳細については、データフェデレーションのログファイルを参照してください。

データフェデレーションサービスから関数の一覧を取得できません。(DFA 50002)

原因

データフェデレーションサービスでエラーが発生しました。

対処方法

データフェデレーションサービスに再接続してみます。詳細については、データフェデレーションのログファイルを参照してください。

データフェデレーションクエリエンジンでクエリの実行中にエラーが発生しました。(DFA 50003)

原因

データフェデレーションサービスでエラーが発生しました。

対処方法

クエリが正しいかどうかを確認します。

データフェデレーションサービスから返された XML 結果で XPath クエリを実行中にエラーが発生しました。(DFA 50004)

原因

データフェデレーションサービスが読み取りできない XML 結果を返しました。

対処方法

データフェデレーション管理ツールとデータフェデレーションサービスのバージョンに互換性があることを確認します。詳細については、データフェデレーションのログファイルを参照してください。

データフェデレーションサービスから返された XML の解析中にエラーが発生しました。(DFA 50005)

原因

データフェデレーションサービスが不正な XML 結果を返しました。

対処方法

詳細については、データフェデレーションのログファイルを参照してください。

クエリの準備中にエラーが発生しました。(DFA 50006)

原因

データフェデレーションサービスでエラーが発生しました。

対処方法

データフェデレーションサービスへの接続を確認します。詳細については、データフェデレーションのログファイルを参照してください。

システムプロパティを取得できません。(DFA 60001)

原因

接続取得時の問題。

対処方法

データフェデレーションサービスをホスト中の Adaptive Processing Server のログファイルのトレースをチェックします。

クエリのキャンセル中にエラーが発生しました。(DFA 50007)

原因

データフェデレーションサービスでエラーが発生しました。

対処方法

データフェデレーションサービスへの接続を確認します。詳細については、データフェデレーションのログファイルを参照してください。

表示する行が多すぎます。表示できる最大数は '999' です。(DFA 50008)

原因

入力したクエリ履歴サイズ数が大きすぎます。

対処方法

"QUERY_HISTORY_SIZE" システムパラメータを 999 より小さい数値に設定してください。

コネクタ '{0}' の設定をリセットできません。(DFA 60002)

原因

データフェデレーションサービスでエラーが発生しました。

対処方法

データフェデレーションサービスへの接続を確認します。詳細については、データフェデレーションのログファイルを参照してください。

コネクタ '{0}' の設定を取得できません。(DFA 60003)

原因

データフェデレーションサービスでエラーが発生しました。

対処方法

データフェデレーションサービスへの接続を確認します。詳細については、データフェデレーションのログファイルを参照してください。

コネクタ '{0}' の設定を更新できません。(DFA 60004)

原因

データフェデレーションサービスでエラーが発生しました。

対処方法

データフェデレーションサービスへの接続を確認します。詳細については、データフェデレーションのログファイルを参照してください。

コネクタ '{0}' を Ping できません。(DFA 60005)

原因

データフェデレーションサービスでエラーが発生しました。

対処方法

データフェデレーションサービスへの接続を確認します。詳細については、データフェデレーションのログファイルを参照してください。

コネクタ '{0}' 機能を取得できません。(DFA 60006)

原因

データフェデレーションサービスでエラーが発生しました。

対処方法

データフェデレーションサービスへの接続を確認します。詳細については、データフェデレーションのログファイルを参照してください。

データフェデレーションサービスから統計情報を取得できません。(DFA 70001)

原因

データフェデレーションサービスでエラーが発生しました。

対処方法

データフェデレーションサービスへの接続を確認します。詳細については、データフェデレーションのログファイルを参照してください。

統計情報を更新できません。(DFA 70002)

原因

データフェデレーションサービスでエラーが発生しました。

対処方法

データフェデレーションサービスへの接続を確認します。詳細については、データフェデレーションのログファイルを参照してください。

システムパラメータを取得できません。(DFA 80002)

原因

データフェデレーションサービスでエラーが発生しました。

対処方法

データフェデレーションサービスへの接続を確認します。詳細については、データフェデレーションのログファイルを参照してください。

セッションパラメータを取得できません。(DFA 80003)

原因

データフェデレーションサービスでエラーが発生しました。

対処方法

データフェデレーションサービスへの接続を確認します。詳細については、データフェデレーションのログファイルを参照してください。

スタートアップパラメータを取得できません。(DFA 80004)

原因

データフェデレーションサービスでエラーが発生しました。

対処方法

データフェデレーションサービスへの接続を確認します。詳細については、データフェデレーションのログファイルを参照してください。

システムパラメータ '{0}' を更新できません。(DFA 80005)

原因

システムパラメータ更新時に、データフェデレーションサービスでエラーが発生しました。

対処方法

システムパラメータ値の有効性を確認してください。詳細については、データフェデレーションのログファイルを参照してください。

セッションパラメータ '{0}' を更新できません。(DFA 80006)

原因

セッションパラメータ更新時に、データフェデレーションサービスでエラーが発生しました。

対処方法

セッションパラメータ値の有効性を確認してください。詳細については、データフェデレーションのログファイルを参照してください。

システムパラメータのデフォルト値を復元できません。(DFA 80007)

原因

デフォルト値リストア時に、データフェデレーションサービスでエラーが発生しました。

対処方法

データフェデレーションサービスへの接続を確認します。詳細については、データフェデレーションのログファイルを参照してください。

ドキュメントとユニバース交換エラーメッセージ

ドキュメントとユニバース交換エラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

- ・ カテゴリ(CAT)に関するエラーメッセージ
- ・ ドキュメント交換(DX)エラーメッセージ
- ・ ユニバース交換(UX)エラーメッセージ

9.1 カテゴリ(CAT)に関するエラーメッセージ

カテゴリエラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

範囲	カテゴリ
CAT0001	カテゴリエラー

カテゴリ名に無効な文字が含まれています。有効な文字は次のとおりです。(CAT0001)

原因

新しいカテゴリに名前をつけようとしたが、無効な文字が含まれています。

対処方法

有効な文字だけを使用して、カテゴリ名を再入力します。使用できる文字は、a-z、A-Z、0-9、¥、-、_、\$、日本語(ひらがな、全角カタカナ、半角カタカナ、漢字、ただし特殊文字を除く)、および半角スペース(先頭を除く)です。

9.2 ドキュメント交換(DX)エラーメッセージ

ドキュメント交換エラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

範囲	カテゴリ
DX0001 - DX 00050	ドキュメント交換エラー

一時ファイルを作成できません。(DX0001)

原因

このエラーメッセージは、ドキュメントをリポジトリに送信しようとした時に表示されます。BusinessObjectsは常に、ファイルをローカルコンピュータに一時的に保存してからリポジトリに送信します。一時ファイルは、次のフォルダに保存されます。

My Documents¥BusinessObjects Documents¥UserDocs

このディスクへの書き込み権がないか、ディスクがいっぱいになっています。

対処方法

[ごみ箱]を空にします。必要に応じて余分なファイルまたは不要なファイルを削除して、再び[ごみ箱]を空にします。ルートドライブ C:¥ に対して読み取り権しか許可されていない場合は、システムまたはネットワーク管理者に、ルートドライブ C:¥ に対するフルコントロールのアクセス権を許可するよう依頼します。

このワークステーションのファイルにはセキュリティ設定を適用できません。(DX0002)

原因

ドキュメントを保存する前に会社用ドキュメントに公開しようとしてしました。ローカルバージョンのドキュメントをセキュリティ保護するには、まずドキュメントを保存する必要があります。保存しない場合は、リポジトリに送信したバージョンでローカルドキュメントを上書きしない限り、そのドキュメントのセキュリティ設定は適用されません。

対処方法

公開前に、ドキュメントをローカルに保存します。

RSS ファイルにアクセスできません。(DX0003)

原因

このエラーは、セキュリティドメインテーブルが別のデータベースに移行されたときに発生します。結果として、ユニバースの接続パラメータが無効になっています。

対処方法

デザイナーが、以下の操作で接続を復元します。

- 1 [ツール]>[接続]を選択し、ユニバースに新しい接続を作成します。

- 2 [ファイル]>[パラメータ]を選択し、作成した接続をユニバースに割り当てます。
- 3 ユニバースを保存します。
- 4 [ファイル]>[エクスポート]コマンドで、ユニバースをリポジトリにエクスポートします。

不正な SQL 文が使用されました。(DX0004)

原因

会社用データベースへのアクセス中に、BusinessObjectsに例外エラーが発生しました。

対処方法

BusinessObjects のカスタマサポートにお問い合わせください。

インポート中にエラーが発生しました。(DX0005)

原因

リポジトリからドキュメントを取得中にエラーが発生しました。インポートは以下のいずれかの理由で中止されました。

- ・ ネットワークエラーが発生した。
- ・ ドキュメントドメインのあるサーバが停止している。

対処方法

リポジトリのあるサーバに“ping”を実行し、ネットワーク接続を検証します。ネットワークが正常なら、データベース管理者がデータベースミドルウェア (Net8 for Oracle など) を使ってリポジトリデータベースが応答するかをチェックします。

インポート中にエラーが発生しました。(DX0007)

原因

リポジトリからドキュメントを取得中にエラーが発生しました。インポートは以下のいずれかの理由で中止されました。

- ・ ネットワークエラーが発生した。
- ・ ドキュメントドメインのあるサーバが停止している。

対処方法

リポジトリのあるサーバに“ping”を実行し、ネットワーク接続を検証します。ネットワークが正常なら、データベース管理者がデータベースミドルウェア (Net8 for Oracle など) を使ってリポジトリデータベースが応答するかをチェックします。

〈ドキュメント〉のインポート中に不明なエラーが発生しました。インポートはキャンセルされました。〈ドキュメント〉をインポートできません。(DX0009)

原因

正常にリポジトリにエクスポートされ、ユーザが問題なく受信できるドキュメントを開こうとすると、このエラーメッセージが表示されることがあります。このエラーは、クライアントコンピュータの文字セットが、データベースと異なる場合に発生します。ミドルウェアの設定だけでなく、文字セットを環境変数として定義する必要があります。

対処方法

クライアントコンピュータの文字セットを、データベースと同じにします。

データベースの設定に合わせ、クライアントコンピュータにDB2CODEPAGE変数を設定します。変数と設定内容については、データベース管理者に問い合わせてください。最も一般的な値は850ですが、特定の言語を使用している場合は値が異なることがあります。

サーバではなく、クライアント側の設定を変更する点に注意してください。環境変数にDB2CODEPAGEを追加する場所は、お使いのオペレーティングシステムにより異なります。

- ・ Windows 2000 の場合:環境変数は、[マイコンピュータ]>[プロパティ]>[詳細]>[環境変数]にあります。
- ・ Windows NT (3.51 および 4.0) の場合:環境変数は、[マイコンピュータ]>[プロパティ]>[環境]タブにあります。

設定が終了したら、再度ドキュメントをリポジトリにエクスポートし、それをインポートします。これで、エクスポートされたドキュメントと同じ状態で情報を読み取れます。

〈ドキュメント〉を閉じることができません。インポートはキャンセルされました。〈ドキュメント〉をインポートできません。(DX0010)

原因

このメッセージは、値の一覧(LOV)を持つユニバースを開こうとしたときに表示される場合があります。LOVはオブジェクトに関連付けられたデータ値が入っているファイルです。

LOVファイルが開かれたまま、ドキュメントドメインの接続が切断されました。

対処方法

ドキュメントドメインのあるサーバが異なる場合は、そのサーバに"ping"を実行し、ネットワーク接続を検証します。ネットワークが正常に動作している場合は、データベース管理者がデータベースミドルウェア(Oracle用Net8など)を使用して、リポジトリデータベースの応答をチェックする必要があります。

ドキュメントドメインが壊れています。Supervisor に連絡してください。

〈ドキュメント〉に関連したファイルを作成できません。インポートはキャンセルされました。〈ドキュメント〉をインポートできません。(DX0011)

原因

リポジトリからドキュメントをインポートしようとしたますが、ファイルをローカルディスクに書き込めませんでした。以下の原因が考えられます。

- ・ Windows アクセス権。Windows 管理者が、ドキュメントをインポートするフォルダに必要な読み取り/書き込み権を許可していない可能性があります。
- ・ ファイルをインポートするのに十分なディスク空き容量がない。

対処方法

次の操作を行います。

- ・ Windows管理者に依頼し、ファイルをインポートするシステム上のフォルダへのフルコントロールのアクセス権を許可してもらいます。
- ・ アプリケーションを終了し、ディスク容量を確保し、不要なファイルを削除して、[ごみ箱]を空にします。ファイルを再インポートします。
- ・ ドキュメントのインポート先を変更します。

以前のファイルを削除できません。インポートはキャンセルされました。〈ドキュメント〉をインポートできません。(DX0012)

原因

リポジトリからドキュメントを再インポートしようとした場合に、このエラーメッセージが表示される場合があります。システムにドキュメントの古いバージョンが存在する場合は、新しいバージョンをエクスポートする前に古いバージョンを削除する必要がありますが、ドキュメントの古いバージョンを削除できませんでした。次の原因が考えられます。

- ・ ファイルまたはフォルダへの書き込み権がない。
- ・ ファイルが開いているか、他のアプリケーションで使用されている。

対処方法

次の操作を行います。

- ・ 実行中のアプリケーションをすべて終了し、もう一度ドキュメントをインポートします。
- ・ Windows管理者に、ファイルまたはフォルダへのフルコントロールのアクセス権を許可するよう依頼します。

〈ドキュメント〉に書き込めません。インポートはキャンセルされました。〈ドキュメント〉をインポートできません。(DX0014)

原因

データベースを変換したり、セーフリカバリを実行して新しいキーファイルを作成した後にレポートをインポートしようすると、このメッセージが表示される場合があります。

対処方法

キーファイルを再作成すると、セキュリティドメインへの接続だけが再構築されます。ドキュメントドメインとユニバースドメインへの接続は変更されません。したがって、以下のいずれかの操作が必要になります。

- ・ 新しいデータベースにアクセスするよう、接続を編集する。
- ・ 新しいデータベースにアクセスするよう、エイリアスを編集する。
- ・ 新しいドキュメントドメインとユニバースドメインを作成し、そこに情報をインポートする。新しいドメインが正常に動作することが確認できたら、古いドメインを削除します。

ファイルは削除できません。(DX0017)

原因

リポジトリからドキュメントを削除またはインポートするときに、このメッセージが表示される場合があります。

対処方法

ドキュメントファイル(.rep)が開かれていると考えられます。ドキュメントを閉じ、もう一度操作を行います。

ファイル名はこのワークステーションでは使えないファイル名です。変更してください。(DX0018)

原因

リポジトリからドキュメントを受信しようとしたましたが、使用中のプラットフォームとは互換性がないファイル名が使われています。

対処方法

ドキュメント名を、使用するプラットフォームに対応した名前に変更して再度エクスポートします。その後、再度ドキュメントを取得します。

セキュリティファイル〈ドキュメント〉のエクスポートが要求されましたが、この操作は許可されていません。〈ドキュメント〉のエクスポートは中止されました。(DX0022)

原因

ドキュメントをリポジトリに送信しようとしたときに、このメッセージが表示される場合があります。

対処方法

自分のプロファイルに特に制限がない場合は、「c:\temp」フォルダをチェックします。

- 1 「c:\temp」フォルダ内の不要なドキュメントを削除します(可能な場合には、「Temp」フォルダを空にします)。
- 2 コンピュータを再起動します。
- 3 ドキュメントをリポジトリに再送信します。

〈ドキュメント〉のエクスポート中に不明なエラーが発生しました。処理を中止しました。〈ドキュメント〉はエクスポートされませんでした。(DX0024)

原因

リポジトリのテーブル容量が不足しています。ドキュメントを保存する空き容量がありません。

対処方法

データベース管理者にテーブル容量を増加するよう依頼します。

原因

リポジトリのあるシステムの空きディスク容量が不足しています。

対処方法

ネットワーク管理者またはシステム管理者が、システムのディスク空き容量を確保する必要があります。

〈ドキュメント〉のエクスポート中にデータベースエラーが発生しました。処理を中止しました。〈ドキュメント〉はエクスポートされませんでした。(DX0025)

原因

リポジトリのテーブル容量が不足しています。ドキュメントを保存する空き容量がありません。

対処方法

データベース管理者にテーブル容量を増加するよう依頼します。

原因

リポジトリのあるシステムの空きディスク容量が不足しています。

対処方法

システム管理者またはネットワーク管理者が、システムのディスク空き容量を確保する必要があります。

原因

obj_xドキュメントに対してテーブルが小さすぎます。

対処方法

データベース管理者にobj_xドキュメント用のテーブルを大きくするよう依頼します。

〈ドキュメント〉のエクスポート中にブレイクが発生しました。〈ドキュメント〉はエクスポートされませんでした。(DX0026)

原因

リポジトリへのドキュメントのエクスポート中に、ネットワークエラーまたはリポジトリサーバの問題によりエクスポートが中断されました。

対処方法

リポジトリのあるサーバに“ping”を実行し、ネットワーク接続を検証します。ネットワークが正常なら、データベース管理者がデータベースミドルウェア (Net8 for Oracle など) を使ってリポジトリデータベースが応答するかをチェックします。

エラーの修正後、ドキュメントを再エクスポートします。

〈ドキュメント〉に関連付けられたファイルを開くことができません。〈ドキュメント〉はエクスポートされませんでした。(DX0027)

原因

ドキュメントをリポジトリにエクスポートしようとしたますが、ファイルを開くことができません。ファイルが破損している可能性があります。

対処方法

別のファイルをエクスポートしてみます。エクスポートできない場合、使用しているリポジトリの詳細を、スーパーバイザに問い合わせてください。

dll をロードできません。Microsoft Exchangeが正しくインストールされているかチェックしてください。(DX0037)

原因

要求された.dllファイルは削除されたか、破損しています。

対処方法

Microsoft Exchangeが正しくインストールされているかチェックしてください。問題が解消しない場合は、Microsoft Exchangeの再インストールが必要になる場合があります。

〈ドキュメント〉に関連付けられたファイルを開くことができません。(DX0040)

原因

メールでドキュメントを送信しようとしたますが、送信するファイルを開くことができません。次の原因が考えられます。

- ・ ファイルが破損している。
- ・ ファイルが、停止もしくはネットワークに接続していないコンピュータ上にある。
- ・ 共有ディスク上にあるファイルを、他のユーザまたはアプリケーションが使用している。

対処方法

送信するファイルがアクセスできる場所にあるか、ファイルを実際に開くことができるかを送信前にチェックします。

メッセージを送信できません。(DX0041)

原因

メール(MAPI)でドキュメントを送信しようとしたますが、BusinessObjectsはメーリングアプリケーションを起動できませんでした。

対処方法

メーリングアプリケーションが起動しない理由として、.dllファイルが見つからないか、設定が不完全なことが考えられます。アプリケーションを再インストールします。

このドキュメントのプロパティを取得できませんでした。(DX0044)

原因

ドキュメントはドキュメントドメインに保存されていますが、プロパティがセキュリティドメインに保存されています。ドキュメントをインポートまたはエクスポートする場合には、ドキュメントとドキュメントのプロパティを両方とも転送する必要があります。このエラーメッセージは、セキュリティドメインのあるコンピュータへの接続が動作していないか、コンピュータ自体が停止している場合に表示されることがあります。

対処方法

セキュリティドメインが異なるサーバ上にある場合、そのサーバに“ping”を実行し、ネットワーク接続を検証します。ネットワークが正常なら、データベース管理者がデータベースミドルウェア (Net8 for Oracle など) を使ってリポジトリデータベースが応答するかをチェックします。

DB エラー (DX0045)

原因

このエラーは、ドキュメントをインポート、エクスポート、または最新表示したときに発生することがあります。データウェアハウスに問題があります。

対処方法

このメッセージのエラー情報を書き留め、使用するデータベースの供給元から提供されるトラブルシューティングに関する資料を参照してください。

ドキュメントドメインが応答しません。(DX0046)

原因

Windowsに、設定されたさまざまなサーバシステムを実行する十分なメモリがありません。

対処方法

システム要件を確認し、BusinessObjectsに十分なメモリ容量があるかチェックします。他のアプリケーションを終了し、メモリを解放することもできます。不要なファイルを削除し、[ごみ箱]を空にします。

原因

リポジトリにエラーが発生しているか、破損しています。

対処方法

BusinessObjects 管理者に連絡してください。

このドキュメントをインポートするには新しいバージョンの BusinessObjects が必要です。(DX0047)

原因

BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム 6 より前のバージョンの BusinessObjects を使用しています。そのため、バージョン 6 で作成したドキュメントをインポートできません。

対処方法

BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム 6 のドキュメントを使用するには、BusinessObjects をバージョン 6.x に更新する必要があります。

ドキュメントの削除に失敗しました。(DX 00050)

原因

ドキュメント交換または会社用リポジトリでドキュメントを削除しようとしたが、プロセスが中断されたか、サーバが応答していません。

対処方法

再度ドキュメントの削除を行います。再度エラーメッセージが表示される場合は、ログアウトしてからログインし直して、プロセスを再試行します。

9.3 ユニバース交換(UX)エラーメッセージ

ユニバース交換エラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

範囲	カテゴリ
UX0001 - UX0071	ユニバース交換エラー

9.3.1 UX0001 - UX0019

ユニバースをエクスポートしましたが、エラーを含んでいる可能性があります。このユニバースのデザイナーに連絡してください。(UX0001)

原因

ユニバースは正常にエクスポートされましたが、BusinessObjectsがユニバースの構造またはコンテンツに矛盾を検出しました。

対処方法

ユニバースの整合性をチェックして問題を解決し、ユニバースを再エクスポートします。

使用できるユニバースドメインがありません。スーパーバイザに連絡してください。(UX0010)

原因

OBJ_M_RESLINKテーブル内に接続情報行がないため、リポジトリにドキュメントまたはユニバースをエクスポートできませんでした。

対処方法

エラーの修正後、ドキュメントを再エクスポートします。それでも問題が解決しない場合は、BusinessObjects のカスタマサポートに連絡してください。

このユニバースドメインにはユニバース〈ユニバース〉がありません。(UX0011)

原因

派生ユニバース(他のユニバースにリンクされたユニバース)をインポートしようとしていました。

リンクユニバースとは、パラメータ、クラス、オブジェクト、結合を共通コンポーネントとして共有するユニバースです。リンクされた複数のユニバースの内、1つはカーネルユニバースと呼ばれ、ほかは派生ユニバースと呼ばれます。

このメッセージは、カーネルユニバースがユニバースドメインから削除され、セキュリティドメインでは削除されていない場合に表示されます。

対処方法

カーネルユニバースの場所を確認して、ユニバースドメインに再エクスポートします。リンクユニバースの詳しい説明は、『Designer ガイド』を参照してください。

ファイル<名前>がローカルフォルダにありません。(UX0012)

原因

リポジトリから派生ユニバースを再インポートしようとしたますが、ローカルシステムにこのユニバースの古いバージョンだけが見つかり、マスタユニバースの古いバージョンを見つけることができませんでした。マスタユニバースがローカルシステムから削除されたのが原因だと考えられます。

対処方法

システムから古いバージョンのユニバースを削除し、ユニバースをもう一度インポートします。

「ユニバーステーブルの列を受信できませんでした。関連付けられたユニバース接続が無効です。」が表示されることがあります。(UX0013)

原因

ユニバースをインポートしようとしたますが、接続が無効なためDesignerは必要な列を受信できませんでした。

対処方法

サーバが応答しません。接続をチェックし、必要があれば設定を変更してユニバースの構造を最新表示します。

原因

ユニバースをインポートしようとしたますが、現在のDesignerセッションの開始以降に、スーパーバイザがこのユニバースを削除しました。

対処方法

ユニバースをインポートするには、ユニバースデザイナーがユニバースをリポジトリに再エクスポートする必要があります。

ユニバースに関連付けられた接続が定義されていません。接続を定義してください。(UX0015)

原因

リポジトリ内のデータにアクセスしようとしたますが、ユニバースドメインとセキュリティドメインとのリンクが壊れています。ユニバースドメインには、もうアクセスできません。

対処方法

システム管理者に連絡してください。

ローカルの接続を更新できませんでした。(UX0016)

原因

リポジトリへの接続を更新しようとしたが、ネットワークエラーが発生したか、リポジトリデータベースのあるコンピュータが停止しています。このメッセージは、ドキュメントの送受信など、リポジトリへの接続を初期化する操作でも、表示される場合があります。

対処方法

リポジトリのあるサーバに“ping”を実行し、ネットワーク接続を検証します。ネットワークが正常なら、データベース管理者がデータベースミドルウェア (Net8 for Oracle など) を使ってリポジトリデータベースが応答するかをチェックします。

9.3.2 UX0020 – UX0039

ユニバースを開くことができません。(UX0023)

原因

ユニバースをインポートしようとしたが、ユニバースが破損しています。

対処方法

ユニバースのローカルバージョンを削除し、リポジトリからユニバースをもう一度インポートして開いてみます。

原因

ユニバースのコンポーネントが破損しています。

対処方法

この問題を解決するには、ユニバースデザイナーが正常に作動するバージョンのユニバースをリポジトリにエクスポートする必要があります。

リポジトリをロードできません。(UX0028)

原因

リポジトリ内のデータにアクセスしようとしたが、BusinessObjectsはファイルkgtrep50.dllをロードできませんでした。セキュリティドメインへの接続に問題があります。

対処方法

リポジトリのあるサーバに“ping”を実行し、ネットワーク接続を検証します。ネットワークが正常なら、データベース管理者がデータベースミドルウェア (Net8 for Oracle など) を使ってリポジトリデータベースが応答するかをチェックします。

現在のリポジトリを解放できません。(UX0029)

原因

Designerは、リポジトリに接続するために初期化したリソースの一部を解放することができません。

対処方法

Designerを再起動します。

このユニバースファイル名は存在しません。(UX0032)

原因

ユニバースをインポートしようとしたますが、ユニバースファイルがユニバースフォルダから移動、削除されたか、名前が変更されています。このフォルダは次のフォルダにあります。

\$INSTALLDIR¥BusinessObjects 6.0¥Universes

対処方法

「Universe」フォルダ内のユニバースファイルにアクセスできるか、ファイルを実際に開くことができるかを確認します。ユニバースが見つからない場合は、他のデザイナにも問い合わせ、可能性のある場所を探します。

このユニバースドメインは存在しません。(UX0033)

原因

ユニバースをインポートしようとしたますが、スーパーバイザによりユニバースドメインが削除されています。

対処方法

リポジトリに関する情報をスーパーバイザに問い合わせます。ユニバースドメインを作り直す必要があるかもしれません。

このユニバース ID はリポジトリに存在しません。(UX0034)

原因

派生ユニバース(他のユニバースにリンクされたユニバース)をインポートしようとした。

リンクユニバースとは、パラメータ、クラス、オブジェクト、結合を共通コンポーネントとして共有するユニバースです。リンクされた複数のユニバースの内、1つはカーネルユニバースと呼ばれ、ほかは派生ユニバースと呼ばれます。

このメッセージは、カーネルユニバースがリポジトリから削除されている場合に表示されます。

対処方法

カーネルユニバースの場所をチェックし、このユニバースをリポジトリに再エクスポートします。リンクユニバースの詳しい説明は、『Designer ガイド』を参照してください。

このユニバース名は存在しません。(UX0036)

原因

ユニバースをインポートしようとしたが、このユニバースはスーパバイザまたは該当する権限のあるデザイナーにより移動、削除されたか、名前が変更されています。

対処方法

スーパバイザ、および該当する権限を持ったデザイナーに問い合わせます。リポジトリにユニバースを再エクスポートする必要があるかもしれません。

リポジトリが応答しません。(UX0037)

原因

リポジトリへの接続に問題があると、このメッセージが表示されます。ネットワークエラーが発生したか、リポジトリデータベースのあるコンピュータが停止しています。このメッセージは、ドキュメントの送受信やBroadcast Agentへの送信など、リポジトリへの接続を初期化する操作でも、表示される場合があります。

対処方法

リポジトリのあるサーバに“ping”を実行し、ネットワーク接続を検証します。ネットワークが正常なら、データベース管理者がデータベースミドルウェア (Net8 for Oracle など) を使ってリポジトリデータベースが応答するかをチェックします。

ユニバースドメインが応答しません。(UX0038)

原因

リポジトリのユニバースドメインのあるサーバが停止しているか、ネットワーク接続が動作していません。

対処方法

リポジトリのあるサーバに“ping”を実行し、ネットワーク接続を検証します。ネットワークが正常なら、データベース管理者がデータベースミドルウェア (Net8 for Oracle など) を使ってリポジトリデータベースが応答するかをチェックします。

原因

リポジトリのユニバースドメインに情報交換に関する問題がある場合に、このメッセージが表示されます。これはリポジトリデータベースのテーブルが破損しているためです。

対処方法

スーパバイザがリポジトリを作成し直す必要があります。

このコンテキスト名は存在しません。(UX0039)

原因

Designerの実行中にユニバースをインポートまたはエクスポートしようとしたが、ユニバース内のコンテキストにアクセスできませんでした。

対処方法

この問題を解決するには、以下の手順を行います。

- 1 ユニバースのソースを開きます。
- 2 [ツール]>[コンテキストの検出]コマンドを選択して、ユニバースのコンテキストの候補を一覧表示します。
- 3 ユニバースに[整合性のチェック]を実行します。
- 4 リポジトリに修正したバージョンをエクスポートします。

9.3.3 UX0040 – UX0049

同一のデータアカウントにドキュメントドメインがありません。値の一覧をエクスポートできません。(UX0040)

原因

ドキュメントドメインとユニバースドメインは同一のデータアカウントに定義されていますが、値の一覧(LOV)テーブルに問題があります。

LOV はオブジェクトに関連付けられたデータ値が入っているファイルです。

LOVは、ドキュメントドメインのOBJ_X_DOCUMENTSテーブルに保存されます。ドキュメントをエクスポートするには、ユニバースドメインにも同じテーブルが必要ですが、ユニバースドメインにこのテーブルがありません。

対処方法

LOV テーブルを手動で作成するか、スーパバイザが同一データベースのユニバースドメインにテーブルを作成します。

例

開発、テスト、本稼働ドメインと、開発、テスト、本稼働リポジトリがあるとします。LOVファイルのあるオブジェクトを使用して、ユニバースを作成しました。すべてのオブジェクトを、使用前に最新表示して、ユニバースと一緒にエクスポートします。DesignerではLOVは正常に表示されますが、ユニバースをエクスポートする場合には上記のエラーメッセージが表示されます。

ドキュメントドメインのアカウントが異なります。値の一覧をインポートできません。(UX0041)

原因

Designerでは、ユニバースをインポートする場合にこのメッセージが表示される場合があります。BusinessObjectsでは、ユニバースをインポートした場合([ツール]>[ユニバース]をクリック)や[値の一覧](LOV)を表示しようとした場合([ツール]>[ユニバース]>[値の一覧]をクリック)にこのメッセージが表示される場合があります。

ユニバースとともにリポジトリに存在するはずのLOVを検出できないと、このメッセージが表示されます。

対処方法

このエラーを解消するには、ユニバースのLOVをひとつだけエクスポートします。つまり、エクスポート前にどれか1つのLOVを最新表示し、その lov ファイルを作成します。これにより、LOVに関連付けられたユニバースIDがドキュメントドメインに保存され、認識されるようになります。

LOVをユニバースと一緒にインポートできるようにするには、[ユニバースと一緒にエクスポート]オプションを設定したオブジェクトのLOVをすべてエクスポートする必要があります。

値の一覧をエクスポートできません。(UX0042)

原因

一部のデータベースではデータの種類の制限があるため、ドキュメントドメイン(ドキュメント交換)、ドキュメント(.rep)ファイルのインポートやエクスポートはサポートされていません。このため、リポジトリのドキュメントドメインに保存されている値の一覧(LOV)を持つユニバースをリポジトリにエクスポートできません。

対処方法

電子メールやフロッピーディスクなど、別の方法でLOVファイルを配布し、ユニバースに関連付けられているLOVファイルを以下のフォルダにコピーします。

\$INSTALLDIR¥BusinessObjects 6.0¥Universes¥<ユニバースドメイン名>¥<ユニバース名>

またスーパーバイザは、現在のデータベースにあるセキュリティドメインを削除せずに、他のデータベース(Oracle、SQL Server、MS Accessなど)にユニバースドメインやドキュメントドメインを作成することができます。

ユニバースドメイン内の値の一覧を更新できません。(UX0043)

原因

値の一覧(LOV)は、オブジェクトに関連付けられたデータ値が含まれているファイルで、ドキュメントドメイン内のテーブルに保存されます。このメッセージは、オブジェクトに関連付けられたLOV (Designerで[ユニバースと一緒にエクスポート]オプションを設定されたLOV)を持つユニバースをエクスポートしたときに、ユニバースドメインとドキュメントドメインのデータアカウントが異なると、表示されます。

対処方法

ユニバースと一緒に LOV をエクスポートするには、ユニバースドメインとドキュメントドメインが同じデータアカウントになればなりません。ユニバースドメインと同じデータアカウントにドキュメントドメインを作成する必要があります。

値の一覧をインポートできません。(UX0044)

原因

値の一覧(LOV)はオブジェクトと関連付けられたデータ値を含むファイルで、ドキュメントドメインに保存されます。このメッセージは、ユニバースと一緒にLOVをインポートしようとしたときに、ユニバースドメインとドキュメントドメインのデータアカウントが異なると、表示されます。

対処方法

ユニバースと一緒に LOV をインポートするには、ユニバースドメインとドキュメントドメインが同じデータアカウントになればなりません。スーパーバイザが、ユニバースドメインと同じデータアカウントにドキュメントドメインを作成する必要があります。

インクリメンタルエクスポートは使用できません。ユニバース全体をエクスポートしますか?(UX0045)

原因

大幅な変更を加えたユニバースをリポジトリにエクスポートしようとしたが、一部の変更が正しく保存またはエクスポートされませんでした。

対処方法

[はい]をクリックし、ユニバース全体をリポジトリにエクスポートします。

ユニバースをロックできません。(UX0046)

原因

通常、ユニバースのロックはDesignerの[インポート/エクスポート]ダイアログボックスで設定します。ユニバースをロックすると、1人のデザイナーだけがユニバースを更新、編集できるようになります。このエラーメッセージは、ユニバースをロックできない場合に表示されます。次の原因が考えられます。

- ・すでに他のデザイナーがユニバースをロックしている。
- ・ユニバースドメインにアクセスできない。

対処方法

このユニバースへのアクセス権を持つ他のデザイナーを探し、ユニバースのロックを解除するよう依頼します。

ユニバースドメインをホストするサーバが異なる場合、そのサーバに“ping”を実行し、ネットワーク接続を検証します。ネットワークが正常なら、データベース管理者がデータベースミドルウェア (Net8 for Oracle など) を使ってリポジトリデータベースが応答するかをチェックします。

ユニバースを保存できません。(UX0047)

原因

Designerでエクスポートする前に、あらかじめユニバースを保存する必要がありますが、ユニバースを保存するディスクへのアクセス権が読み取り専用であるか、ディスクがいっぱいになっています。

対処方法

以下の操作を行います。

- ・[ごみ箱]を空にします。必要に応じて余分なファイルまたは不要なファイルを削除して、再び[ごみ箱]を空にします。
- ・読み取り権しか許可されていない場合は、Windows管理者にフルコントロールのアクセス権を許可するよう依頼します。
- ・書き込み権を持つ他のフォルダまたはコンピュータに、ユニバースを保存します。Designerの[ファイル]>[名前を付けて保存]コマンドを選択し、ユニバースを他の場所に保存します。

以前の<ユニバース>を削除できません。(UX0048)

原因

リポジトリにユニバースを再エクスポートしようとしたとき、またはリポジトリからユニバースを再インポートしようとしたときに、このメッセージが表示されることがあります。リポジトリにユニバースの古いバージョンが存在する場合は、新しいバージョンをエクスポートまたはインポートする前に古いバージョンを削除する必要がありますが、以下の場所にあるユニバースの古いバージョンにアクセスできない場合に、このメッセージが表示されます。

- ・リポジトリ(エクスポート)
- ・ローカルシステム(インポート)

対処方法

エクスポートの場合は、以下の操作を行います。

- ・ユニバースドメインが他のユーザによってロックされている可能性がある場合は、エクスポートをもう一度実行します。この問題が頻繁に起こる場合は、リポジトリデータベースが行レベルでのロックをサポートしてい

るかどうか確認します。サポートしている場合、データベース管理者は手動でこの機能を有効にする必要があります。

- ・ サーバに“ping”を実行し、ユニバースドメインのあるコンピュータが応答するか確認します。ネットワークが正常に動作している場合は、データベース管理者がデータベースミドルウェア(Net8など)を使用して、リポジトリデータベースの応答をチェックする必要があります。

インポートの場合は、ディスクへの権限をチェックします。読み取り権しか許可されていない場合は、Windows 管理者にフルコントロールのアクセス権を許可するよう依頼します。

〈文字〉を〈文字〉と置換しました。(UX0049)

原因

ユニバースをインポートしましたが、ユニバースのクラス、コンテキスト、またはオブジェクト定義に不正な文字が含まれています。デフォルトでは、BusinessObjectsは自動的に不正な文字を空白と置き換えます。

対処方法

作業を続けることはできますが、インポートしたユニバースは、リポジトリ内のユニバースと同一ではないことに注意してください。

9.3.4 UX0050 – UX0059

ターゲットフォルダまたはユニバースファイルを作成できません。(UX0050)

原因

リポジトリからユニバースをインポートしようとしたますが、ローカルディスクへの書き込み権がないか、ディスクがいっぱいになっています。

対処方法

[ごみ箱]を空にします。必要に応じて余分なファイルまたは不要なファイルを削除して、再び[ごみ箱]を空にします。ルートドライブ C:¥ に対して読み取り権しか許可されていない場合は、Windows 管理者に、ルートドライブ C:¥ に対するフルコントロールのアクセス権を許可するよう依頼します。

DB エラー(UX0051)

原因

このエラーは、ユニバースをインポートまたはエクスポートしようとしたときに、発生する場合があります。BusinessObjectsではなく、使用するデータウェアハウスに問題があります。

対処方法

このメッセージのエラー情報を書き留め、使用するデータベースの供給元から提供されるトラブルシューティングに関する資料を参照してください。

値の一覧ファイルを作成できません。(UX0052)

原因

値の一覧(LOV)は、オブジェクトに関連付けられたデータ値が含まれているファイルで、ドキュメントドメイン内のテーブルに保存されます。このメッセージは、オブジェクトに関連付けられたLOV ([ユニバースと一緒にエクスポート]オプションを設定されたLOV)を持つユニバースをエクスポートしたときに、ユニバースドメインとドキュメントドメインのデータアカウントが異なると、表示されます。

対処方法

ユニバースと一緒にLOVをエクスポートするには、ユニバースドメインとドキュメントドメインが同じデータアカウントになればなりません。ユニバースドメインと同じデータアカウントにドキュメントドメインを作成する必要があります。

原因

BusinessObjectsは、ドキュメントドメインにLOVを作成できませんでした。ドキュメントドメインのあるサーバが停止しているか、ネットワーク接続が動作していないことが考えられます。ドキュメントドメインテーブルが破損しているか、ディスクの空き容量が不足していることも考えられます。

対処方法

ドキュメントドメインのあるコンピュータに十分なディスク空き容量があるかどうかをチェックします。不要なファイルを削除し、[ごみ箱]を空にします。

それ以外の場合は、スーパーバイザがドキュメントドメインとの接続をテストする必要があります。それでも問題が解決しない場合は、スーパーバイザがリポジトリを作成し直す必要があります。

値の一覧ファイルを開くことができません。(UX0053)

原因

値の一覧(LOV)はオブジェクトと関連付けられたデータ値を含むファイルで、ドキュメントドメインに保存されます。このメッセージは、LOVを持つユニバースを開こうとしたときに表示される場合があります。ドキュメントドメインテーブルが壊れている可能性があります。

対処方法

システム管理者に連絡してください。

値の一覧ファイルを閉じることができません。(UX0054)

原因

値の一覧(LOV)はオブジェクトと関連付けられたデータ値を含むファイルで、ドキュメントドメインに保存されます。このメッセージは、LOVを持つユニバースを開いた後で表示される場合があります。LOVファイルが開かれたまま、ドキュメントドメインの接続が切断されました。

対処方法

ドキュメントドメインが異なるサーバ上にある場合、そのサーバに“ping”を実行し、ネットワーク接続を検証します。ネットワークが正常なら、データベース管理者がデータベースミドルウェア (Net8 for Oracle など) を使ってリポジトリデータベースが応答するかをチェックします。

システム管理者に連絡してください。ドキュメントドメインが破損している可能性があります。

以前の値の一覧ファイルを削除できません。(UX0055)

原因

値の一覧(LOV)はオブジェクトと関連付けられたデータ値を含むファイルで、ドキュメントドメインに保存されます。リポジトリにユニバースを再エクスポートしようとしたときに、このメッセージが表示されることがあります。リポジトリにユニバースの古いバージョンが存在する場合は、LOVファイルの新しいバージョンをエクスポートする前に古いバージョンを削除する必要がありますが、ドキュメントドメインにアクセスできないため、LOVファイルの古いバージョンを削除できませんでした。

対処方法

次の操作を行います。

- ・ ドキュメントドメインが現在他のユーザによってロックされている可能性がある場合、もう一度スケジューラされているタスクを実行します。この問題が頻繁に起こる場合は、リポジトリデータベースが行レベルでのロックをサポートしているかどうか確認します。行レベルのロックをサポートしている場合、手動でこの機能を有効にする必要があります。
- ・ サーバに“ping”を実行し、ネットワーク接続を検証します。ネットワークが正常なら、データベース管理者がデータベースミドルウェア (Net8 for Oracle など) を使ってリポジトリデータベースが応答するかをチェックします。

値の一覧ファイルに書き込めません。(UX0057)

原因

値の一覧(LOV)はオブジェクトと関連付けられたデータ値を含むファイルで、ドキュメントドメインに保存されます。リポジトリにユニバースをエクスポートしようとしたときに、このメッセージが表示されることがあります。LOVファイルに書き込めないことが原因です。書き込みに必要な権限がないか、ドキュメントドメインテーブルの容量がいっぱいになっているか、ドキュメントドメインのあるシステムのディスク空き容量が不足していることが考えられます。

対処方法

次の操作を行います。

- ・ ドキュメントドメインのあるディスクに対して読み取り権しか許可されていない場合は、Windows管理者にフルコントロールのアクセス権を許可するよう依頼します。
- ・ データベース管理者に、ドキュメントドメインテーブルの容量を増やすよう依頼します。
- ・ ドキュメントドメインマシンの空き容量を確保してください。不要なファイルを削除し、[ごみ箱]を空にします。ユニバースを再度エクスポートします。

値の一覧ファイルからデータを取得できません。(UX0058)

原因

値の一覧(LOV)はオブジェクトと関連付けられたデータ値を含むファイルで、ドキュメントドメインに保存されます。このメッセージは、LOVを持つユニバースを開こうとしたときに表示される場合があります。ドキュメントドメインテーブルが壊れている可能性があります。

対処方法

システムスーパーバイザに連絡してください。

RSS ファイルにアクセスできません。(UX0059)

原因

使用するデータベースの種類別に.rssファイルが設定されています。このファイルには必要な接続情報が含まれており、以下のデータベースサブフォルダに保存されています。

`$INSTALLDIR¥BusinessObjects 6.0¥dataAccess¥RDBMS¥legacy¥ <データベース名>`

このメッセージは、BusinessObjectsがデータベースフォルダで.rssファイルを検出できないため、データベースへの接続を確立できない場合に表示されます。

対処方法

.rssファイルのバックアップをデータベースフォルダにコピーします。バックアップがない場合は、スーパーバイザがSupervisorで接続を再作成する必要があります。

9.3.5 UX0060 – UX0071

不正な SQL を使用しました。(UX0060)

原因

値の一覧(LOV)はオブジェクトと関連付けられたデータ値を含むファイルで、ドキュメントドメインに保存されます。このメッセージは、SQLエディタに入力したSQL文で定義されたLOVを持つユニバースにアクセスしようとしたときに表示されることがあります。会社用データベースと互換性がないSQLを使用した可能性があります。

対処方法

会社用データベースがサポートするSQLのバージョンをチェックします。

原因

会社用データベースへのアクセス中に、BusinessObjectsに例外エラーが発生しました。

対処方法

BusinessObjects のカスタマサポートにお問い合わせください。

メモリが不足しています。(UX0061)

原因

Windowsに、設定されたさまざまなサーバシステムを実行する十分なメモリがありません。

対処方法

システム要件を確認し、BusinessObjectsに十分なメモリ容量があるかチェックします。他のアプリケーションを終了し、メモリを解放することもできます。不要なファイルを削除し、[ごみ箱]を空にします。

トランザクションを開始して<ユニバース>をエクスポートすることができません。セキュリティドメインに問題があります。(UX0062)

原因

ユニバースをリポジトリにエクスポートしようとしたますが、セキュリティドメインにアクセスできないか、セキュリティドメインが壊れています。

対処方法

セキュリティドメインが異なるサーバ上にある場合、そのサーバに“ping”を実行し、ネットワーク接続を検証します。ネットワークが正常なら、データベース管理者がデータベースミドルウェア (Net8 for Oracle など) を使ってリポジトリデータベースが応答するかをチェックします。

問題を解決できない場合は、システムスーパーバイザに連絡してください。

トランザクションを開始して<ユニバース>をエクスポートすることができません。ドキュメントドメインに問題があります。(UX0063)

原因

ユニバースをリポジトリにエクスポートしようとしたますが、ドキュメントドメインにアクセスできないか、ドキュメントドメインが壊れています。

対処方法

ドキュメントドメインが異なるサーバ上にある場合、そのサーバに“ping”を実行し、ネットワーク接続を検証します。ネットワークが正常に動作している場合は、データベース管理者がデータベースミドルウェア(Oracle用Net8など)を使用して、リポジトリデータベースの応答をチェックする必要があります。

問題を解決できない場合は、システムスーパーバイザに連絡してください。

以前の<名前>の情報を取得できません。(UX0064)

原因

リポジトリにユニバースを再エクスポートしようとしたときに、このメッセージが表示されることがあります。リポジトリにユニバースの古いバージョンがあるため、値の一覧(LOV)の古いバージョンもドキュメントドメインにあるはずですが、LOV はオブジェクトに関連付けられたデータ値が入っているファイルです。

ドキュメントドメイン内に古いバージョンのLOVを見つけることができない場合に、このメッセージが表示されます。スーパーバイザがLOVファイルを移動、削除したか、名前を変更したためと考えられます。

対処方法

ファイルの古いバージョンがドキュメントドメインにまだあるか確認します。

問題を解決できない場合は、システムスーパーバイザに連絡してください。

以前の<名前>を削除できません。(UX0065)

原因

リポジトリにユニバースを再エクスポートしようとしたときに、このメッセージが表示されることがあります。リポジトリにユニバースの古いバージョンがあるため、値の一覧(LOV)の古いバージョンもドキュメントドメインにあるはずですが、LOV はオブジェクトに関連付けられたデータ値が入っているファイルです。

このファイルは新しいLOVをエクスポートする前に削除する必要がありますが、ドキュメントドメインから古いバージョンのLOVを削除できない場合に、このメッセージが表示されます。ドキュメントドメインのあるディスクへの書き込み権がないことが考えられます。

対処方法

ドキュメントドメインのあるディスクに対して読み取り権しか許可されていない場合は、Windows管理者にフルコントロールのアクセス権を許可するよう依頼します。

トランザクションを終了できないため、〈ユニバース〉をエクスポートできません。ドキュメントドメインに問題があります。(UX0066)

原因

リポジトリにユニバースのエクスポートを開始しましたが、ドキュメントドメインにアクセスできないか、ドキュメントドメインが壊れているため、操作を完了できませんでした。

対処方法

ドキュメントドメインが異なるサーバ上にある場合、そのサーバに“ping”を実行し、ネットワーク接続を検証します。ネットワークが正常なら、データベース管理者がデータベースミドルウェア (Net8 for Oracle など) を使ってリポジトリデータベースが応答するかをチェックします。

問題を解決できない場合は、システムスーパーバイザに連絡してください。

トランザクションを終了できないため、〈ユニバース〉をエクスポートできません。セキュリティドメインに問題があります。(UX0067)

原因

リポジトリにユニバースのエクスポートを開始しましたが、セキュリティドメインにアクセスできないか、セキュリティドメインが壊れているため、操作を完了できませんでした。

対処方法

セキュリティドメインが異なるサーバ上にある場合、そのサーバに“ping”を実行し、ネットワーク接続を検証します。ネットワークが正常に動作している場合は、データベース管理者がデータベースミドルウェア(Net8など)を使用して、リポジトリデータベースの応答をチェックする必要があります。

問題を解決できない場合は、システムスーパーバイザに連絡してください。

値の一覧ファイルのエクスポート中にデータベースエラーが発生しました。(UX0068)

原因

このメッセージは、BusObj.exeタスク(ドキュメント送信や更新のためのリポジトリへのアクセス)の終了時に表示されます。リポジトリデータベースのユーザアクセスの設定に問題があります。

対処方法

データベース管理者に、データベースに空きがあり、壊れていないことを確認してもらいます。

値の一覧のエクスポートを中断しました。(UX0069)

原因

値の一覧(LOV)はオブジェクトと関連付けられたデータ値を含むファイルで、ドキュメントドメインに保存されます。ユニバースのエクスポート中にドキュメントドメインとの接続が切断されると、このメッセージが表示されます。

対処方法

サーバに“ping”を実行し、ネットワーク接続を検証します。ネットワークが正常に動作している場合は、データベース管理者がデータベースミドルウェア(Oracle用Net8など)を使用して、リポジトリのドキュメントドメインの応答をチェックする必要があります。

ユニバースは既にドメインに存在します。上書きしますか?(UX0071)

原因

エクスポートしようとしたユニバースと同じ名前のユニバースが、すでにユニバースドメインにエクスポートされています。■ B

対処方法

既存のユニバースを更新する場合は、ユニバースドメインにあるユニバースを上書きできます。エクスポートするユニバースが内容の異なる新しいユニバースの場合は、ユニバース名を一意的な名前に変更し、再エクスポートします。

Enterprise アプリケーションエラー

10.1 Enterprise アプリケーション – SAP (EAS) エラー

Enterprise アプリケーションの SAP エラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

範囲	カテゴリ
EAS 10001 - EAS10010	セキュリティアクセスエラー
EAS 30001	その他のエラー

10.1.1 EAS 10001 – 10010

メソッド `CSecSAPR3Binding::GetUsersInternal()` 内でクラス `CSecRfcRemoteUsersActGrp` を使用したユーザー一覧の取得中に失敗しました。エラーコード: %1。説明: %2。(EAS 10001)

原因

必要な転送が SAP システムにインポートされていません。

対処方法

SAP システムに正しく対応したバージョン専用の転送をインポートします。

メソッド `CSecSAPR3Binding::GetParentsInternal()` 内でクラス `CSecRfcBapiGetUserDetail` を使用したユーザロール一覧の取得中に失敗しました。エラーコード: %1。説明: %2。(EAS 10002)

原因

必要な転送が SAP システムにインポートされていません。

対処方法

SAP システムに正しく対応したバージョン専用の転送をインポートします。

メソッド `CSecSAPR3Binding::GetChildrenInternal()` 内でクラス `CSecRfcBapiUserGetlist` を使用したロールメンバー一覧の取得に失敗しました。エラーコード: %1。説明: %2。(EAS 10003)

原因

必要な転送が SAP システムにインポートされていません。

対処方法

SAP システムに正しく対応したバージョン専用の転送をインポートします。

メソッド `CSecSAPR3Binding::VerifyGroupMembership()` 内でクラス `CSecRfcBapiGetUserDetail` を使用したロールメンバーシップの検証に失敗しました。エラーコード: %1。説明: %2。(EAS 10004)

原因

必要な転送が SAP システムにインポートされていません。

対処方法

SAP システムに正しく対応したバージョン専用の転送をインポートします。

ユーザ %1 が必要なロールのいずれにも所属しないためログオンに失敗しました -- %2 (EAS 10005)

原因

必要な転送が SAP システムにインポートされていません。

対処方法

SAP システムに正しく対応したバージョン専用の転送をインポートします。

ユーザ名の一部として SAP システムが渡されず、デフォルトのシステムが定義されていません。ユーザ認証情報の検証を続行できません。(EAS 10006)

原因

セントラル管理コンソール (CMC) で `secSAPR3` セキュリティプラグインのデフォルトシステムが設定されていません。

対処方法

CMC で `secSAPR3` セキュリティプラグインのデフォルトシステムを設定します。

SAP システム %1 で sac ライブラリが見つからないためログオンに失敗しました。(EAS 10007)

原因

セントラル管理コンソール (CMC) で指定されている場所に SNC ライブラリが見つかりませんでした。

対処方法

CMC で SNC ライブラリへの正しいパスが設定されていることを確認します。

要求されたログオンタイプに必要な SNC がいないため、ログオンに失敗しました。(EAS 10008)

原因

セントラル管理コンソール (CMC) で secSAPR3 セキュリティプラグインの SNC が有効になっていますが、その他の設定が正しくありません。

対処方法

CMC で SNC secSAPR3 セキュリティプラグインの設定を検証し、正しいことを確認します。

システム %1 で使用される SNC モードの取得中に例外を受け取りました。(EAS 10009)

原因

セントラル管理コンソール (CMC) で secSAPR3 セキュリティプラグインの SNC 設定が正しく設定されていません。

対処方法

CMC で secSAPR3 セキュリティプラグインの SNC 設定を再設定します。

システム %1 で使用される保護の SNC 品質値の取得中に例外を受け取りました。(EAS 10010)

原因

セントラル管理コンソール (CMC) で secSAPR3 セキュリティプラグインの SNC 設定が正しく設定されていません。

対処方法

CMC で secSAPR3 セキュリティプラグインの SNC 設定を再設定します。

10.1.2 EAS 30001

ロールのフォルダ階層の同期中にエラーが発生しました: %1 (EAS 30001)

原因

ユーザはレポートを公開する権限を持っていません。

対処方法

セントラル管理コンソール (CMC) で、レポートの公開を担当するユーザに正しい権限を割り当てます。権限の割り当ての詳細については、<http://help.sap.com/> から入手できる『SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム管理者ガイド』を参照してください。

公開 (FBE) エラー

公開エラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

範囲	カテゴリ
FBE 40000 – FBE 49999	公開エラー
FBE 60000 – FBE 69999	公開エラー

11.1 FBE 40000 – 49999

メソッド {0} は NULL に設定されたパラメータ {1} で呼び出されました。このパラメータを初期化してください。(FBE42001)

原因

これは内部エラーです。

対処方法

SAP BusinessObjects のカスタマサポートにお問い合わせください。

クラス {0} のポスト処理プラグインが見つかりませんでした。パブリケーションを適切に設定しましたか?(FBE42003)

原因

ポスト処理プラグインモジュールをロードできませんでした。

対処方法

パブリケーションが正しく設定されていることを確認します。

アーティファクトファイルをダウンロードできません。FRS がアクセス可能で、ファイルアクセス権限が適切に設定されていますか?(FBE42008)

原因

一部のオブジェクトが削除されているか、そのセキュリティ権限が変更されているために、パブリケーションジョブがオブジェクトを取得できません。

対処方法

すべての静的ドキュメントが存在し、適切なセキュリティ権限があることと、File Repository Server が実行中であることを確認します。

パブリケーションの OnPostProcessPersonalizedDocs プラグインがマージ形式 (CeMergedFormat) に対して定義されていません: {0}。パブリケーションを適切に設定しましたか?(FBE42009)

原因

パブリケーションが正しく設定されていません。

対処方法

パブリケーションの設定をチェックします。

アーティファクトを ZIP ファイル {0} にマージしようとして IO エラーが発生しました。ファイルアクセス権限が適切に設定されていますか?(FBE42014)

原因

一部のオブジェクトが削除されているか、そのセキュリティ権限が変更されているために、パブリケーションジョブがオブジェクトを取得できません。

対処方法

すべての静的ドキュメントが存在し、適切なセキュリティ権限があることと、File Repository Server が実行中であることを確認します。

ID {0} のパブリケーションインスタンスはすでに処理され、最初の実行が完了するまで再起動できません。(FBE42016)

原因

このエラーは、複数のパブリケーションジョブサービスがエラー後に同じジョブを再実行しようとするものの、ジョブを実行できるサービスが 1 つだけの場合に発生します。

対処方法

操作は必要ありません。パブリケーションジョブは別のサービスで実行中です。

空のグローバル配信ルール式が指定されています。パブリケーションを正しく設定していますか?(FBE42017)

原因

グローバル配信ルールの設定に使用されるドキュメントがスケジュールされていますが、公開処理を開始する時期を決定する式がドキュメントにありません。

対処方法

グローバル配信ルールの設定を確認します。

CUID {0} のグローバル配信ルールドキュメントは無効です。パブリケーションを正しく設定していますか?(FBE42018)

原因

グローバル配信ルールの設定に使用されるドキュメントに問題がありました。

対処方法

ドキュメントが有効で、File Repository Server が実行されていることを確認します。

ID {0} のパブリケーションがソースドキュメントにアクセスできません。パブリケーションを適切に設定しましたか?(FBE42033)

原因

パブリケーションのソースドキュメントがパブリケーションの実行中にパブリケーションから削除されたか、セキュリティ設定が変更されアクセスできなくなりました。

対処方法

パブリケーションのソースドキュメントをチェックします。

ID {0} のドキュメントは IPublicationInfo インタフェースを使用せず、このパブリケーションと共に処理できません。(FBE42034)

原因

これは内部エラーです。

対処方法

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームを再インストールします。

BusinessObjects レポートエンジンは指定されたレポートタイプ {0} を処理できませんでした。(FBE42042)

原因

パブリケーションの中に、サポートされていないタイプのソースドキュメントがあります。インストールに問題がある可能性があります。

対処方法

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームを再インストールします。

配布中に CUID {0} の静的ドキュメントが見つかりません。パブリケーションを適切に設定しましたか?(FBE42044)

原因

一部のオブジェクトが削除されているか、そのセキュリティ権限が変更されているために、パブリケーションジョブがオブジェクトを取得できません。

対処方法

すべての静的ドキュメントが存在し、適切なセキュリティ権限があることと、File Repository Server が実行中であることを確認します。

配布中に ID {0} のパブリケーション アーティファクトが見つかりません。(FBE42045)

原因

一部のオブジェクトが削除されているか、そのセキュリティ権限が変更されているために、パブリケーションジョブがオブジェクトを取得できません。

対処方法

すべての静的ドキュメントが存在し、適切なセキュリティ権限があることと、File Repository Server が実行中であることを確認します。

prog ID {0} の出力先プラグインが見つかりません。パブリケーションを適切に設定しましたか?(FBE42046)

原因

出力先プラグインをロードできません。ファイルがインストールから削除されている可能性があります。

対処方法

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームを再インストールします。

データプロバイダのデータに最後に処理された受信者 {0} が見つかりません。最後に実行されてからデータベースが変更された場合は、パブリケーションを再スケジュールしてください。(FBE42048)

原因

パブリケーション処理中にデータプロバイダからのデータが変更されました。

対処方法

データプロバイダの最新の更新を反映するようにパブリケーションを再スケジュールします。

クラス {0} のポスト配布プラグインを実行できませんでした。プラグインを適切に設定しましたか?(FBE42049)

原因

配布は完了しましたが、配布後に実行したプラグインに問題があります。

対処方法

カスタムポスト配布プラグインを修正します。

MHTML ドキュメントをマージできません。(FBE42050)

原因

mHTML ドキュメントの作成時に問題が発生しました。

対処方法

mHTML 形式の設定を確認します。

MHTML ドキュメントの HTML 部分が見つかりません。(FBE42051)

原因

MHTML ドキュメントの作成時に問題が発生しました。

対処方法

mHTML 形式の設定を確認します。

ID {1} のプロファイルに対して ID {0} のプリンシパルから有効なプロファイル値を見つけることができませんでした。(FBE42052)

原因

プロファイル値は、各受信者または受信者の各グループに対して指定できます。プロファイル値が指定されていない、またはオプションが正しく設定されていない場合は、受信者にフィルタが適用されていないデータのビューが表示されます。

対処方法

各受信者に対してプロファイル値を指定します。

グローバル配信ルールドキュメントのスケジューリングに失敗しました。(FBE42055)

原因

パブリケーションジョブの開始時に、グローバル配信ルールが TRUE かどうかをチェックするために、グローバル配信ルールの設定に使用されるドキュメントがスケジュールされます。このスケジューリングジョブが失敗すると、パブリケーションは失敗します。

対処方法

パブリケーションログファイルを確認して、ジョブが失敗した理由を調べます。グローバル配信ルールの設定に使用されるドキュメントが、パブリケーションとは独立して正常にスケジュールできることを確認します。

ソースドキュメントへのアクセス権限が不十分なため、ID {1} のパブリケーションの ID {0} のドキュメントをスケジュールできません。(FBE42056)

原因

ソースドキュメントをスケジュールするために必要な権限がユーザにありません。

対処方法

ソースドキュメントをスケジュールする権限をユーザに付与します。

ユーザまたはグループ ID {1} およびプロファイル ID {2} のドキュメントタイプ "{0}" のプロファイルフィルタ式が見つかりません。管理者がセントラル管理コンソールのプロファイルのドキュメントタイプ "{0}" のフィルタ式を設定していることを確認してください。(FBE42057)

原因

パブリケーションで使用されるソースドキュメントタイプに定義されているフィルタ式がプロファイルにありません。

対処方法

セントラル管理コンソールの[プロファイル]エリアで、パブリケーションに使用されるプロファイルを選択します。ソースドキュメントタイプに対応するプロファイルのフィルタ式を入力します。

MHTML ドキュメントをダウンロードできません。管理者に連絡して、Central Management Server と Input/Output File Repository Server サーバが正しく実行されていることを確認してください。(FBE42058)

原因

パブリケーションサービスがコンテンツのダウンロードと、電子メールインスタンスへの埋め込みに失敗しました。

対処方法

管理者は、Central Management Server と Input File Repository Server および Output File Repository Server が正常に動作していることを確認します。

CMS に管理ログをアップロードできませんでした: {0} (FBE42059)

原因

システムによる CMS (Central Management Server) への管理ログファイルのアップロードが失敗しました。パブリケーションの実行中、2 分ごとにログファイルをアップロードしようとします。

対処方法

Adaptive Processing Server ログファイルをチェックして詳細なログエントリを確認します。

Enterprise ユーザ名 "{1}" が動的受信者 "{0}" に指定されていましたが、このユーザ名の Enterprise ユーザは存在しません。(FBE42060)

原因

Enterprise ユーザ名が動的受信者に指定されましたが、そのユーザ名の Enterprise ユーザが存在しません。

対処方法

動的受信者ソースのユーザ名を修正します。

ID "{0}" の動的受信者として複数の Enterprise ユーザ名が指定されていました。1 つの動的受信者に対しては、1 つの Enterprise ユーザ名しか指定できません。(FBE42061)

原因

動的受信者ソースに同じ受信者 ID の行が複数含まれますが、これらの行は異なる Enterprise ユーザ名を指定します。受信者 ID に関連付けられるのは、1 つの Enterprise ユーザ名のみです。

対処方法

動的受信者ソースの問題を修正します。

ID "{0}" のパブリケーション処理の待機中に、予期せずタスクが中断されました。(FBE42062)

原因

処理を待っている間に想定外のタスクの中止が発生しました。

対処方法

パブリケーションに失敗した場合は、サーバが実行されていることを確認してパブリケーションを再試行します。

ID "{0}"、名前 "{1}"、種類 "{2}" のドキュメントのプロセスに対するサービスインスタンスが見つかりませんでした。(FBE42063)

原因

パブリケーションの中のドキュメントの 1 つを処理するためのサービスインスタンスが見つかりません。

対処方法

適切なサービスがデプロイされているか、システム管理者にお問い合わせください。

ID "{2}" のサーバでホストされる ID "{0}"、名前 "{1}" のサービスで、maxJobs プロパティが指定されません。(FBE42064)

原因

パブリケーションに必要なサーバのサービスコンテナが見つかりませんでした。

対処方法

パブリケーションに失敗した場合は、サーバが実行されていることを確認してパブリケーションを再試行します。

ID "{0}"、名前 "{1}" のサービスのサービスホストが見つかりません。(FBE42066)

原因

パブリケーションで使用されるサービスのサービスホストが見つかりませんでした。

対処方法

パブリケーションに失敗した場合は、サーバが実行されていることを確認してパブリケーションを再試行します。

ジョブステータスの StatusMonitor クエリは ID "{0}" のジョブの結果を返しません。オブジェクトは削除されていますか?(FBE42067)

原因

パブリケーションインスタンスまたは子オブジェクトが見つかりませんでした。削除された可能性があります。

対処方法

パブリケーションインスタンスを再スケジュールします。

11.2 FBE 60000 – 69999

InfoStore サービスが見つかりません。CMS は実行され、正しく設定されていますか?(FBE 60002)

原因

Central Management Server の InfoStore サービスにアクセスできません。

対処方法

CMS に接続できることと、CMS が実行中であることを確認します。

SDKException がキャッチされました。CMS は実行され、正しく設定されていますか?(FBE 60003)

原因

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム SDK がエラーを返しました。

対処方法

CMS に接続できることと、CMS が実行中であることを確認します。

パブリケーションインスタンス '{0}' のパブリケーション送信元 ID を決定できません (ID: {1}) – 処理を続行できません。パブリケーションを適切に設定しましたか?(FBE 60004)

原因

パブリケーションがどのユーザ認証情報で実行されているか特定できませんでした。

対処方法

パブリケーションが正しく設定されていることと、パブリケーションを実行する権限があることを確認します。

送信先 {0} への配布は失敗しました。受信者: {1}、ドキュメントスコープ: {2}。{3} (FBE 60013)

原因

公開サービスは、パブリケーションを受信者に配布できませんでした。

対処方法

パブリケーションで出力先が正しく設定されていることを確認します。受信者の電子メールアドレス、SMTP サーバ設定、FTP 設定、ディスク設定をチェックして、正しいことを確認します。

ID {0} のスコープバッチ内で配布可能なドキュメントが見つかりません。パブリケーションの設定をチェックし、CMS が実行されているか確認してください。(FBE 60016)

原因

公開サービスは、受信者に配布するパブリケーションドキュメントを見つけることができませんでした。パブリケーション処理の中間結果が正しく生成されなかったか、パブリケーションが正しく設定されていない可能性があります。

対処方法

パブリケーションが正しく設定されていることと、CMS が実行中であることを確認します。

サポートされない出力先の種類: {0}。パブリケーションを正しく設定していますか?(FBE 60019)

原因

パブリケーションで不明な出力先が指定されました。

対処方法

パブリケーションの設定をチェックして、必要に応じて修正します。

SLID {0} のスコープバッチでポスト配布イベントハンドラを完了できませんでした。パブリケーションを正しく設定していますか?(FBE 60022)

原因

ポスト配信パブリケーション拡張の実行に失敗しました。

対処方法

パブリケーションの設定をチェックして、パブリケーション拡張が正しく設定されていることを確認します。

SI_ID {1}、スコープ {2} のスコープバッチの ID {0} の静的ドキュメントが見つかりません。(FBE 60025)

原因

パブリケーションの処理中、静的ソースドキュメントが見つかりませんでした。

対処方法

パブリケーションの設定をチェックして、参照されるすべてのドキュメントが CMS リポジトリ内に存在することを確認します。

ID {2} で、スコープ {3} のスコープバッチでソースドキュメント SI_ID が {0}、フォーマットが {1} のパブリケーションドキュメントが見つかりません。(FBE 60026)

原因

パブリケーションの処理中、ソースドキュメントが見つかりませんでした。

アクション

パブリケーションの設定をチェックして、参照されるすべてのドキュメントが CMS リポジトリ内に存在することを確認します。

プラグイン {0} のプラグイン設定が無効です。パブリケーションを正しく設定していますか?(FBE 60027)

原因

パブリケーションで指定されたパブリケーション拡張が正しく設定されていませんでした。

対処方法

パブリケーションに使用されるパブリケーション拡張が正しく設定されていることを確認します。

スコープバッチ {1} のポスト配布プラグイン {0} が実行できませんでした。[受信者 "{2}" ~ "{3}"]。(FBE 60029)

原因

ポスト配信パブリケーション拡張の実行が失敗しました。

対処方法

パブリケーションの設定をチェックして、パブリケーション拡張が正しく設定されていることを確認します。

ID {1} のスコープバッチオブジェクトの ID {0} のアーティファクトには、View/ViewInstance 権限を付与できません。すべて正しく設定されていますか?(FBE 60033)

原因

公開サービスは、パブリケーションインスタンスにアクセス権を設定できませんでした。

対処方法

パブリケーションを実行しているユーザが、アクセス権を設定するための適切な権限を持っていることを確認します。

ID {0} で、スコープ {1} のスコープバッチ内で配布ドキュメントは見つかりません。(FBE 60034)

原因

公開サービスは、配布するドキュメントを見つけられませんでした。

対処方法

パブリケーションが正しく設定されていることを確認します。

Enterprise 受信者 "{0}" (ID {1}) にパブリケーションを購読する権限がないため、アーティファクトを配布できません。この権限が与えられるように、BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム管理者に問い合わせてください。(FBE 60036)

原因

公開者は、システムがパブリケーションインスタンスを配信できるよう、パブリケーションに指定されたすべての Enterprise 受信者に対し別の出力先へスケジュールする権限を持っている必要があります。

対処方法

公開者に、パブリケーションに指定されたすべての Enterprise 受信者に対する、別の出力先へスケジュールする権限を付与します。または、公開者は、この権限が付与されていない Enterprise 受信者を削除できます。

配布ジョブの完了を待機しています。ジョブ ID: %1、名前: %2、種類: %4 の状態の %3 (FBE 60037)

原因

パブリケーションジョブは現在インスタンスを配布中です。

対処方法

これはエラーではないので、操作は必要ありません。

SMTP オプションの宛先アドレスと CC アドレスが指定されていません。アドレスを指定せずに電子メールを配信すると失敗します。宛先アドレスと CC アドレスには、電子メールアドレスまたは %SI_EMAIL_ADDRESS% プレースホルダのいずれかを含める必要があります。(FBE 60038)

原因

パブリケーションに定義されている電子メール出力先オプションに To または CC 電子メールアドレスが含まれていません。このため、電子メールの配信に失敗する可能性があります。

対処方法

パブリケーションの電子メール出力先オプションの設定時に、電子メールアドレスを追加するか、%SI_EMAIL_ADDRESS% プレースホルダを To または CC フィールドに追加します。

%SI_EMAIL_ADDRESS% プレースホルダを置き換えようとしたが、ユーザ名が "{0}" の受信者の電子メールアドレスが空であるか見つかりません。(FBE 60039)

原因

出力先オプションフィールドで %SI_EMAIL_ADDRESS% プレースホルダが使用されていますが、受信者の 1 人に対して電子メールアドレスが提供されていませんでした。

対処方法

受信者が Enterprise 受信者の場合、CMC を使用してそのユーザの電子メールアドレスを入力します。受信者が動的受信者の場合、[動的受信者] セクションで [電子メールアドレス] が動的受信者ソースの列にマップされ、その列に空のエントリがないことを確認します。

監査が有効であるため、スコープバッチとアーティファクトのクリーンアップをスキップしています。(FBE 60040)

原因

監視が有効になっている場合は、インスタンスクリーンアップは機能しません。

対処方法

監査を無効化するか、パブリケーションのインスタンスクリーンアップを無効化します。

MHTMLドキュメントをダウンロードできません。管理者に連絡して、Central Management Server と Input/Output File Repository Server サーバが正しく実行されていることを確認してください。(FBE 60041)

原因

パブリケーションサービスが、コンテンツのダウンロードと、電子メールインスタンスへの埋め込みに失敗しました。

対処方法

Central Management Server と Input File Repository Server および Output File Repository Server が動作していることを確認します。

ID {1} のグローバル配信ルールドキュメントに指定された式 {0} が無効です。グローバル配信ルールチェックを続行できません。パブリケーションは正しく設定されていますか?(FBE 60100)

原因

グローバル配信ルールの設定に使用されるドキュメントに無効な式が含まれています。

対処方法

パブリケーションの設定を確認し、有効な配信ルール式をドキュメントに入力します。

ID {0} のパブリケーショングローバル配信ルールドキュメントが無効です。パブリケーションは正しく設定されていますか?(FBE 60101)

原因

公開サービスは、グローバル配信ルール設定に指定されたドキュメントを見つけることができませんでした。

対処方法

指定されたドキュメントが CMS に存在することを確認します。

ID {0} のグローバル配信ルールドキュメントをスケジュールできませんでした: {1} (FBE 60105)

原因

公開サービスは、グローバル配信ルール設定に使用されるドキュメントをスケジュールできませんでした。

対処方法

公開者のユーザアカウントに、ドキュメントのスケジュールに必要な権限があることを確認します。

ID {0} のグローバル配信ドキュメントをクエリできません。(FBE 60106)

原因

公開サービスは、グローバル配信ルール設定に使用されるドキュメントを取得できませんでした。

対処方法

ドキュメントの表示権限を持っていることを確認します。

グローバル配信ルールジョブの完了を待機しています。ジョブ ID: %1、名前: %2、種類: %4 の状態の %3 (FBE 60107)

原因

パブリケーションジョブは、現在グローバル配信ルールを評価しています。

対処方法

これはエラーではないので、操作は必要ありません。

ポスト処理プラグインでエラーが発生しました。プラグインクラス {0} をインスタンス化できません。(FBE 60208)

原因

ポスト処理プラグインモジュールをロードできませんでした。

対処方法

パブリケーションが正しく設定されていることを確認します。

公開サービスは開始されていないか、パブリケーションジョブの実行中に再開されています。(FBE 60211)

原因

公開サービスが起動していないか、公開ジョブの実行中に再起動しました。公開サービスをホストするサーバが停止しているか、再起動されました。

対処方法

公開サービスをホストするサーバが実行されていることを確認します。サーバログに致命的なエラーがないかチェックします。パブリケーションインスタンスを再試行します。

WebI パブリケーションでは、“すべての受信者のデータベースフェッチ”および“受信者ごとのデータベース フェッチ”のバースト方法のみサポートされます。(FBE 60212)

原因

Interactive Analysis ドキュメントのパブリケーションで、サポートされていないレポートのバースト方法が使用されています。

対処方法

[詳細設定] セクションで、レポートのバースト方法を変更します。

このパブリケーションは、システムにはもう存在しない ID {0} のプロファイルオブジェクトを参照します。(FBE 60213)

原因

このパブリケーションは、システムにすでに存在していないプロファイルオブジェクトを参照しています。

対処方法

無効なプロファイルオブジェクトを使用しないよう、パブリケーションのパーソナライゼーション設定を編集します。

ID {1}、スコープ {2} のスコープバッチの ID {0} の静的ドキュメントが見つかりません。(FBE 60216)

原因

パブリケーションの処理中に、パブリケーション内に指定されている静的ドキュメントのインスタンスが見つかりませんでした。

対処方法

パブリケーションのスケジュールを再試行するか、SAP BusinessObjects の技術サポートにお問い合わせください。

ID {2} で、スコープ {3} のスコープバッチでソースドキュメント ID が {0}、フォーマットが {1} のパブリケーションドキュメントは見つかりません。(FBE 60217)

原因

パブリケーションの処理中に、ソースドキュメントのインスタンスが見つかりませんでした。

対処方法

パブリケーションを再試行するか、SAP BusinessObjects の技術サポートにお問い合わせください。

ID {2} で、ID {1} のスコープバッチのプラグインアーティファクト {0} は、出力先を指定していません。(FBE 60218)

原因

パブリケーションの処理中に、出力先情報を含まないプラグインアーティファクトが生成されました。

対処方法

パブリケーションプラグインの開発者の場合、これがプラグインでのエラーの原因になることがあります。それ以外の場合は、内部処理エラーになります。ベンダまたは SAP Business Objects のサポートにお問い合わせください。

ID {2} のスコープバッチに対する ID {1} のアーティファクト {0} には、配布するのに十分な情報が含まれていません。(FBE 60219)

原因

パブリケーションの処理中に、配信のための十分な情報がないまま、アーティファクトまたはプラグインアーティファクトが生成されました。

対処方法

パブリケーションプラグインの開発者の場合、これがプラグインでのエラーの原因になることがあります。それ以外の場合は、内部処理エラーになります。ベンダまたは SAP Business Objects のサポートにお問い合わせください。

ID {0} のスコープバッチのドキュメントオブジェクトを取得中にエラーが発生しました。(FBE 60220)

原因

パブリケーションの処理で、配信のためのドキュメントの取得中にエラーが発生しました。

対処方法

これは内部処理エラーです。ベンダまたは SAP BusinessObjects のサポートにお問い合わせください。

このパブリケーションでサポートされていないバーストモードが選択されました。(FBE 60224)

原因

このパブリケーションに選択されたレポートバーストモードはサポートされていません。

対処方法

パブリケーションのレポートバーストモードを変更します。

{0} パブリケーションは、“すべての受信者のデータベースフェッチ” バースト方法をサポートしていません。(FBE 60225)

原因

[すべての受信者のデータベースフェッチ] レポートバーストモードはこのパブリケーションタイプではサポートされていません。

対処方法

パブリケーションのレポートバーストモードを変更します。

{0} パブリケーションは、“受信者のバッチごとのデータベースフェッチ” バースト方法をサポートしていません。(FBE 60226)

原因

[受信者のバッチごとのデータベースフェッチ] レポートバーストモードはこのパブリケーションタイプではサポートされていません。

対処方法

パブリケーションのレポートバーストモードを変更します。

{0} パブリケーションは、“受信者ごとのデータベースフェッチ” バースト方法をサポートしていません。(FBE 60227)

原因

[受信者ごとのデータベースフェッチ] レポートバーストモードはこのパブリケーションタイプではサポートされていません。

対処方法

パブリケーションのレポートバーストモードを変更します。

{0} パブリケーションは、選択したバースト方法をサポートしていません。(FBE 60228)

原因

選択されたレポートバーストモードは、不明か、このパブリケーションタイプではサポートされていません。

対処方法

パブリケーションのレポートバーストモードを変更します。

プリンシパル {0} の再配布を実行できません。このプリンシパルは元のパブリケーション受信者ではありません。(FBE 60314)

原因

パブリケーションジョブを再実行する前に、パブリケーションに新しい受信者が追加されました。

対処方法

新しい受信者に配信するための新しいパブリケーションジョブをスケジュールします。

動的受信者 {0} の再配布を実行できません。これらの受信者は元のパブリケーション受信者ではありません。(FBE 60315)

原因

パブリケーションジョブを再実行する前に、パブリケーションに新しい受信者が追加されました。

対処方法

新しい受信者に配信するための新しいパブリケーションジョブをスケジュールします。

ユーザまたはグループ '{1}' (ID: {2}) とプロファイル '{3}' (ID: {4}) に対して、ドキュメントの種類 "{0}" のプロファイルフィルタ式が見つかりません。管理者がセントラル管理コンソールで、プロファイルのドキュメントの種類 "{0}" に対するフィルタ式を設定したか確認してください。(FBE 60317)

原因

パブリケーションのソースドキュメントタイプに定義されているフィルタ式がプロファイルにありません。たとえば、ユーザが Interactive Analysis ドキュメントを使用してパブリケーションを実行していますが、プロファイルには有効な Interactive Analysis フィルタ式が定義されていません。

対処方法

セントラル管理コンソールの [プロファイル] エリアで、パブリケーションが使用するプロファイルを選択し、ソースドキュメントタイプに対応する構文を使ってフィルタ式を入力します。

パブリケーションをスケジュールしたユーザは、ID が {0} の Enterprise 受信者主体に対する表示権限がありません。(FBE 60318)

原因

パブリケーションを実行するには、公開者は、パブリケーションに指定されたすべての Enterprise 受信者に対し表示権限を持っている必要があります。

対処方法

公開者に、すべての Enterprise 受信者に対する表示権限を付与します。

パブリケーションをスケジュールしたユーザには、ID が {0} の除外された Enterprise 受信者主体に対する表示権限がありません。(FBE 60319)

原因

パブリケーションを実行するには、公開者は、除外されたすべての Enterprise 受信者に対する表示権限を持っている必要があります。

対処方法

公開者に、除外されたすべての Enterprise 受信者に対する表示権限を付与します。

パブリケーションをスケジュールしたユーザには、ID が {0} のプロフィールに対する表示権限がありません。(FBE 60320)

原因

パブリケーションを実行するには、公開者は、パブリケーションによって使用されるすべてのプロフィールに対し表示権限を持っている必要があります。

対処方法

公開者に、パブリケーションによって使用されるすべてのプロフィールに対する表示権限を付与します。

パブリケーションをスケジュールしたユーザには、主体 '{1}' (ID {2}) の親グループである、ID が {0} のグループに対する表示権限がありません。このグループおよびその親グループのプロファイル値は適用されません。(FBE 60321)

原因

公開者に、パブリケーション受信者が所属するグループの 1 つに対する表示権限がありません。このグループおよび親グループに適用されるプロファイル値は使用されません。

対処方法

公開者に、パブリケーション受信者が属するすべてのグループに対する表示権限を付与します。プロファイル値が、影響があるグループに適用されない場合は、この警告を無視できます。

パブリケーションごとの受信者制限 {0} に達しました。ID {2} のユーザ {1} は処理されませんでした。(FBE 60322)

原因

パブリケーション当たりの受信者制限に達しました。制限を超えたユーザは処理されませんでした。

対処方法

パブリケーションの受信者数を減らすか、ライセンスを取得して受信者制限を増やします。

アーティファクトがデフォルトの Enterprise の場所に配布されなかったため、ID {0} のパブリケーションインスタンスを再配布できません。(FBE 60323)

原因

パブリケーションに、出力先として設定されている、デフォルトの Enterprise の場所がありません。

対処方法

[デフォルトの Enterprise の場所] をパブリケーションの出力先として設定し、必要に応じて後でインスタンスを再配布できるようにパブリケーションの実行をスケジュールします。

SL_ID {0} の正確なパブリケーションまたは SL_ID {1} の正確なスコープバッチ (あるいはその両方) が見つかりません。パブリケーションは正しく設定され、CMS は実行されていますか?(FBE 60400)

原因

一部のオブジェクトが削除されているか、セキュリティ権限が変更されているため、パブリケーションジョブがオブジェクトを取得できません。

対処方法

すべての静的ドキュメントが存在し、適切なセキュリティ権限があることと、File Repository Server が実行中であることを確認します。

ポスト処理中に例外がキャッチされました。(FBE 60401)

原因

ポスト処理段階でエラーが発生しました。

対処方法

パブリケーションサービスと File Repository Server が実行中であることを確認します。

ポスト処理パブリケーションイベントハンドラを取得できません。ポスト処理はスキップされます。(FBE 60402)

原因

パブリケーションには、PDF の照合またはインスタンスを ZIP ファイルとしてパッケージ化するなどのポスト処理ステップがある場合がありますが、このパブリケーションではポスト処理ステップが指定されていないか、無効です。

対処方法

ポスト処理ステップが必要ない場合は、これは操作の必要がない通常の状態である可能性があります。そうでない場合は、パブリケーションのプロパティ設定をチェックします。

SLID {0} のスコープバッチ内でスコープが見つかりません。すべて正しく設定されていますか?(FBE 60404)

原因

削除されているか、セキュリティ権限が変更されたため、パブリケーションジョブが特定のオブジェクトを取得できません。

対処方法

すべての静的ドキュメントが存在し、ユーザがそれらに対し必要な権限を持っていることを確認します。File Repository Server が実行されていることを確認します。

ポスト処理プラグインでエラーが発生しました。プラグインクラス {0} は例外をスローしました。(FBE 60405)

原因

ポスト処理ステップでエラーが発生しました。

対処方法

カスタムのポスト処理プラグインをインストールして使用している場合、カスタムプラグインの例外を修正します。標準のポスト処理プラグインを使用している場合は、これが原因で例外は発生しません。カスタマサポートにお問い合わせください。

ポスト処理プラグインクラス {0} は NULL またはゼロの info オブジェクトのセットを返しました。(FBE 60406)

原因

ポスト処理ステップで結果が生成されませんでした。

対処方法

カスタムのポスト処理プラグインをインストールして使用している場合、カスタムプラグインの問題を修正します。標準のポスト処理プラグインを使用された場合、これが原因で空の結果になることはありません。カスタマサポートにお問い合わせください。

指定されたクラス名 {0} と一致するポスト処理プラグインが見つかりません。(FBE 60408)

原因

パブリケーションでポスト処理プラグインが指定されていません。

対処方法

パブリケーションが正しく設定されていることを確認します。

プラグイン生成のアーティファクトが作成されましたが、IPublicationInfo を実装していません。アーティファクトは適切に配布されない可能性があります: タイトル = '{0}'、種類 = '{1}' (FBE 60409)

原因

これは内部エラーです。

対処方法

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームを再インストールします。

ポスト処理プラグインクラス {0} で作成されたプラグイン生成のアーティファクトをコミット中に例外がキャッチされました。(FBE 60410)

原因

パブリケーションジョブの結果を保存できませんでした。

対処方法

File Repository Server が実行されていることを確認します。

ポスト処理プラグインクラス {1} の progID {0} のプラグインで生成したアーティファクトを作成中に例外がキャッチされました。(FBE 60411)

原因

このエラーメッセージは、インストールが破損していることが原因である可能性があります。

アクション

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームを再インストールします。

次のコンテキストのアーティファクトと静的ドキュメントを取得中に例外が発生しました: ScopeBatch = {0}、送信先 = {1}、プラグインクラス = {2} (FBE 60412)

原因

一部のオブジェクトが削除されたか、その権限が変更されたため、パブリケーションジョブはオブジェクトを取得できません。

対処方法

すべての静的ドキュメントが存在し、ユーザがそれらに対し適切な権限を持っていることを確認します。File Repository Server が実行されていることを確認します。

次のコンテキストでアーティファクトと静的ドキュメントをソースドキュメントの順序に従って並べ替えているときに例外が発生しました: ScopeBatch = {0}、出力先 = {1}、プラグインクラス = {2} (FBE 60413)

原因

パブリケーションが正しく設定されていません。

アクション

パブリケーションが正しく設定されていることを確認します。

パブリケーションのソースドキュメントを取得しようとしたときに例外が発生しました。(FBE 60414)

原因

一部のオブジェクトが削除されているか、そのセキュリティ権限が変更されているために、パブリケーションジョブがオブジェクトを取得できません。

対処方法

すべての静的ドキュメントが存在し、ユーザがそれらに対し適切なセキュリティ権限を持っていることを確認します。File Repository Server が実行されていることを確認します。

パブリケーションのソースドキュメントとしてリストされていない、SLID: {0} のスコープレベルのドキュメントをポスト処理はスキップしています。パブリケーションを正しく設定していますか?(FBE 60415)

原因

これは内部エラーです。

対処方法

SAP BusinessObjects のカスタマサポートにお問い合わせください。

ドキュメントジョブ "{2}" (ID: {0}) のスケジュールに失敗しました: {1} (FBE 60502)

原因

パブリケーション内のドキュメントで処理が失敗しました。処理の失敗の原因には、未定義のパラメータ、不正な設定のデータベース接続、または一部のオブジェクトやフォルダに対するパブリケーションの権限が不十分であることなどがあります。

対処方法

ドキュメントを単独でスケジュールして、正常に実行されることを確認します。パブリケーション内のソースドキュメントに対して、同じ設定を適用します。

パブリケーション内にはスケジュール可能なドキュメントがありません。(FBE 60503)

原因

一部のオブジェクトが削除されているか、そのセキュリティ権限が変更されているために、パブリケーションジョブがオブジェクトを取得できません。

対処方法

すべての静的ドキュメントが存在し、適切なセキュリティ権限があることと、File Repository Server が実行中であることを確認します。

パブリケーションのドキュメントの一覧には空の値が含まれています。すべて正しく設定されていますか?(FBE 60504)

原因

一部のオブジェクトが削除されているか、そのセキュリティ権限が変更されているために、パブリケーションジョブがオブジェクトを取得できません。

対処方法

すべての静的ドキュメントが存在し、適切なセキュリティ権限があることと、File Repository Server が実行中であることを確認します。

ドキュメント '{0}' は、無効なパブリケーションドキュメントなので公開できません。(FBE 60505)

原因

パブリケーションの一部でないドキュメントが、処理のためにパブリケーションサービスに送信されました。

対処方法

インストールが破損している可能性があります。SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームを再インストールします。

ドキュメントのフィールドマッピングをターゲットドキュメントに追加できません。すべて正しく設定されていますか?(FBE 60506)

原因

動的受信者のパーソナライゼーション設定の指定中に、動的受信者ソースの列が正しくマップされませんでした。

対処方法

動的受信者ソースにパーソナライゼーションに必要な情報が含まれ、データベース列が存在してスペルが正しく、セマンティックレイヤがデータソースから読み取れ、パーソナライゼーションに必要なデータがレポートに表示されていることを確認します。

ドキュメント '{0}' には、状態情報を含む 1 つのインスタンスが含まれていません。インスタンスが 0 または 1 より大きいのか、インスタンスを取得できません。(FBE 60507)

原因

一部のオブジェクトが削除されているか、そのセキュリティ権限が変更されているために、パブリケーションジョブがオブジェクトを取得できません。

対処方法

すべての静的ドキュメントが存在し、適切なセキュリティ権限があることと、File Repository Server が実行中であることを確認します。

スケジューリングジョブの完了を待機しています。ジョブ ID: %1、名前: %2、種類: %4 の状態の %3 (FBE 60509)

原因

パブリケーションジョブは現在レポートを処理しています。

対処方法

これはエラーではないので、操作は必要ありません。

ドキュメントジョブ "{0}" (ID {1}) の実行中の警告: {2} (FBE 60510)

原因

ドキュメントジョブの実行中に警告が発生しました。

対処方法

特定の警告メッセージについては、ドキュメントを参照してください。

ドキュメント "{0}" (ID {1}): {2} の処理中にエラーが発生しました (FBE 60512)

原因

ドキュメントジョブが完了しましたが、処理中にエラーが発生しました。

対処方法

ソースドキュメントがパブリケーションの外で正しく処理されているか確認します。

ドキュメント処理中の警告 "{0}" (ID {1}): {2} (FBE 60513)

原因

ドキュメントジョブが完了しましたが、処理中に警告が発生しました。

対処方法

ソースドキュメントがパブリケーションの外で正しく処理されているか確認します。

パラメータが無効なため、ドキュメント処理を開始できませんでした (FBE 60600)

原因

ドキュメント処理エンジン内の基本パラメータが NULL です。

対処方法

SAP BusinessObjects のカスタマサポートにお問い合わせください。

プラグインの種類 {0} はパブリケーションの処理を実行できませんでした。 (FBE 60601)

原因

デスクトッププラグインにパブリケーション情報が含まれていません。

対処方法

パブリケーションが正しく設定されていることを確認します。

{0} 例外、メッセージ: {1} (FBE 60602)

原因

重大な例外が発生しました。プロセッサが停止しようとしているか、プロセッサに問題があるか、または SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームインストールに問題がある可能性があります。

対処方法

SAP BusinessObjects のカスタマサポートにお問い合わせください。

GUI エラーメッセージ

その他のエラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

- ・ GUI(GUI)に関するエラーメッセージ
- ・ GUI(USU)に関するエラーメッセージ

12.1 GUI(GUI)に関するエラーメッセージ

GUI エラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

範囲	カテゴリ
GUI0003 - GUI0006	GUI

ファイル名に使えない文字が含まれています。(GUI0003)

原因

使用できない文字を含んだ名前を付けてユニバースを保存しようとしてしました。使用できる文字は、次の通りです。

- ・ BusinessObjectsリポジトリのあるデータベースで利用できる文字セット
- ・ スーパーバイザがSupervisorモジュールでリポジトリに利用できる文字として設定した文字セット

対処方法

名前を変更してユニバースを保存します。問題が解決しない場合は、BusinessObjectsスーパーバイザに連絡し、ユニバースに利用できる文字セットを確認します。

ファイルが見つかりません。ファイル名が正しいかどうか確認してください。(GUI0005)

原因

存在しないファイル名を指定して、BusinessObjectsレポートを開こうとしてしました。

対処方法

正しいファイル名を入力するか、[ファイルを開く]ダイアログボックスで[1レベル上へ]ボタンを使って階層を移動してレポートを検索します。

〈名前〉 パスが見つかりません。パス名が正しいかどうか確認してください。(GUI0006)

原因

不正なパス名を指定してBusinessObjectsレポートを開こうとしました。レポートは指定した場所にありません。

対処方法

[ファイルを開く]ダイアログボックスで、[1レベル上へ]ボタンを使って階層を移動してレポートを検索します。

インフォメーションデザインツール (IDT) のエラーメッセージ

インフォメーションデザインツール (IDT) のエラーメッセージには、以下のカテゴリが含まれます。

数値の範囲	カテゴリ
00xxx	セキュリティログイン、認証、CMS およびセッション
023xx	フレームワーク - ユニバースおよびリソースへのアクセス
06xxx	ユニバースのセキュリティプロファイルへのアクセス
095xx	変換
15xxx	一般接続

13.1 00 メッセージ (セキュリティログイン、認証、CMS およびセッション)

リポジトリのフォルダ {0} におけるリソースの公開または共有中に問題が発生しました。(IDT 00420)

原因

考えられる原因:

- ・ CMS セッションが適切に開始されませんでした。
- ・ CMS セッションがアクティブでなくなりました。
- ・ リポジトリのフォルダ名が無効です。
- ・ CMS で必要な権限が付与されていません。

対処方法

- ・ 他のツールを使ってリポジトリにアクセスして、CMS プロセスが正しく動作しているか確認します。
- ・ セッションを閉じてからもう 1 度開きます。
- ・ リソース名に無効な文字が含まれていないか確認します。
- ・ リポジトリアクセス権によって、このフォルダ内のリソースの公開や共有が許可されているか確認します。

フォルダ {0} でユニバースファイルを作成できません。(IDT 00425)

原因

考えられる原因:

- ・ CMS セッションが適切に開始されませんでした。
- ・ CMS セッションがアクティブでなくなりました。
- ・ ユニバース名が無効です。
- ・ CMS で必要な権限が付与されていません。

対処方法

- ・ 他のツールを使ってリポジトリにアクセスして、CMS プロセスが正しく動作しているか確認します。
- ・ セッションを閉じてからもう 1 度開きます。
- ・ ユニバース名に無効な文字が含まれていないか確認します。
- ・ リポジトリアクセス権によって、このフォルダ内の公開が許可されているか確認します。

リポジトリのリソース {0} へのアクセス中にエラーが発生しました。(IDT 00630)

原因

考えられる原因:

- ・ CMS セッションが適切に開始されませんでした。
- ・ CMS セッションがアクティブでなくなりました。
- ・ アクセスしようとしたリソースが見つかりません。

対処方法

- ・ 他のツールを使ってリポジトリにアクセスして、CMS プロセスが正しく動作しているか確認します。
- ・ セッションを閉じてからもう 1 度開きます。
- ・ リソースファイルがリポジトリに存在することを確認します。

リポジトリからユニバース {0} の取得中にエラーが発生しました。(IDT 00631)

原因

考えられる原因:

- ・ CMS セッションが適切に開始されませんでした。
- ・ CMS セッションがアクティブでなくなりました。
- ・ アクセスしようとしたユニバースが見つかりません。

対処方法

- ・ 他のツールを使ってリポジトリにアクセスして、CMS プロセスが正しく動作しているか確認します。
- ・ セッションを閉じてからもう 1 度開きます。
- ・ ユニバースがまだリポジトリに存在することを確認します。

13.2 02 メッセージ (フレームワーク)

リソース {0} へのアクセス中にエラーが発生しました。(IDT 02300)

原因

考えられる原因:

- ・ ユニバース、またはそのセキュリティプロファイルの 1 つがリポジトリで見つかりません。
- ・ ユニバースまたはセキュリティプロファイルが壊れている可能性があります。
- ・ インフォメーションデザインツールとリポジトリのバージョンが異なる可能性があります。

対処方法

- ・ 公開されたリソースまたはセキュリティエディタビューを最新表示します。
- ・ ユニバースの作成者に再公開するよう依頼します。セキュリティプロファイルを削除して再作成します。
- ・ インフォメーションデザインツールとリポジトリのインストール間で、パッチレベルが一致することを確認します。

ユニバース {0} の取得中にエラーが発生しました。(IDT 02311)

原因

考えられる原因:

- ・ リポジトリでユニバースが見つかりません。
- ・ ユニバースが壊れている可能性があります。
- ・ インフォメーションデザインツールとリポジトリのバージョンが異なる可能性があります。

対処方法

- ・ 公開されたリソースまたはセキュリティエディタビューを最新表示します。
- ・ ユニバースの作成者に再公開するよう依頼します。
- ・ インフォメーションデザインツールとリポジトリのインストール間で、パッチレベルが一致することを確認します。

13.3 06 メッセージ (セキュリティプロファイル)

データセキュリティプロファイル接続 {0} の保存中にエラーが発生しました。(IDT 06103)

原因

データセキュリティプロファイルに割り当てた接続がもう存在しないか、壊れている可能性があります。

対処方法

接続がまだ存在し正しく動作することを確認します。そうでない場合は再作成します。

データセキュリティプロファイル {0} の作成中にエラーが発生しました。(IDT 06120)

原因

考えられる原因:

- ・ CMS セッションが適切に開始されませんでした。
- ・ CMS セッションがアクティブでなくなりました。
- ・ リソース名が無効です。
- ・ CMS で必要な権限が付与されていません。

対処方法

- ・ 他のツールを使ってリポジトリにアクセスして、CMS プロセスが正しく動作しているか確認します。
- ・ セッションを閉じてからもう 1 度開きます。
- ・ リソース名に無効な文字が含まれていないか確認します。
- ・ リポジトリアクセス権によって、このフォルダ内のリソースの公開や共有が許可されているか確認します。

データセキュリティプロファイル集計オプション {0} の保存中にエラーが発生しました。(IDT 06130)

原因

考えられる原因:

- ・ CMS セッションが適切に開始されませんでした。
- ・ CMS セッションがアクティブでなくなりました。
- ・ CMS で必要な権限が付与されていません。

対処方法

- ・ 他のツールを使ってリポジトリにアクセスして、CMS プロセスが正しく動作しているか確認します。
- ・ セッションを閉じてからもう 1 度開きます。
- ・ リポジトリへのアクセス権でユニバースのセキュリティプロファイル集計オプションの変更が許可されているか確認します。

セキュリティプロファイル {0} のユーザまたはグループへの割り当て中にエラーが発生しました。(IDT 06150)

原因

考えられる原因:

- ・ セキュリティプロファイルはもう存在しません。
- ・ セキュリティプロファイルが壊れています。
- ・ 割り当てられたユーザまたはグループが存在しません。
- ・ このユーザまたはグループにユニバースセキュリティプロファイルを割り当てるために必要な権限がありません。

対処方法

- ・ セキュリティエディタビューを最新表示して、セキュリティプロファイルがまだ存在することを確認します。
- ・ セキュリティプロファイルを削除して再作成します。
- ・ セキュリティエディタビューを最新表示して、ユーザまたはグループがまだ存在することを確認します。
- ・ リポジトリへのアクセス権で、このセキュリティプロファイルをユーザまたはグループに割り当てられるか確認します。

ユニバース {0} のセキュリティプロファイルの取得中にエラーが発生しました。(IDT 06200)

原因

考えられる原因:

- ・ CMS セッションが適切に開始されませんでした。
- ・ CMS セッションがアクティブでなくなりました。
- ・ アクセスしようとしているセキュリティプロファイルはもう存在しません。

対処方法

- ・ 他のツールを使ってリポジトリにアクセスして、CMS プロセスが正しく動作しているか確認します。
- ・ セッションを閉じてからもう 1 度開きます。
- ・ セキュリティエディタビューを最新表示して、セキュリティプロファイルがリポジトリに存在するかどうかを確認します。

ユニバース {0} のセキュリティの取得中にエラーが発生しました。(IDT 06201)

原因

考えられる原因:

- ・ セキュリティプロファイルはもう存在しません。
- ・ セキュリティプロファイルが壊れています。
- ・ 割り当てられたユーザまたはグループが存在しません。
- ・ インフォメーションデザインツールとリポジトリのバージョンが異なる可能性があります。

対処方法

- ・ セキュリティエディタビューを最新表示して、最新のセキュリティプロファイルを取得します。
 - ・ ユニバースのセキュリティプロファイルを削除して再作成します。
 - ・ インフォメーションデザインツールとリポジトリのインストール間で、パッチレベルが一致することを確認します。
- 1 セキュリティエディタビューを最新表示して最新のセキュリティプロファイルを取得します。
 - 2 ユニバースのセキュリティプロファイルを削除して再作成します。
 - 3 インフォメーションデザインツールとリポジトリの間で、パッチレベルが一致することを確認します。

データセキュリティプロファイル {0} へのアクセス中にエラーが発生しました。(IDT 06202)

原因

考えられる原因:

- ・ CMS セッションが適切に開始されませんでした。
- ・ CMS セッションがアクティブでなくなりました。
- ・ アクセスしようとしているデータセキュリティプロファイルはもう存在しません。

対処方法

- ・ 他のツールを使ってリポジトリにアクセスして、CMS プロセスが正しく動作しているか確認します。
- ・ セッションを閉じてからもう 1 度開きます。
- ・ セキュリティエディタビューを最新表示して、最新のセキュリティプロファイルを取得します。

ユニバース {0} のビジネスセキュリティプロファイルの取得中にエラーが発生しました。(IDT 06203)

原因

考えられる原因:

- ・ セキュリティプロファイルはもう存在しません。
- ・ セキュリティプロファイルが壊れています。
- ・ ユニバースまたはそのセキュリティプロファイルを表示するために必要な権限がありません。

対処方法

- ・ セキュリティエディタビューを最新表示して、セキュリティプロファイルがまだ存在することを確認します。
- ・ セキュリティプロファイルを削除して再作成します。
- ・ リポジトリへのアクセス権で、ユニバースとそのセキュリティの表示が許可されているか確認します。

ユニバース {0} のデータセキュリティプロファイル集計オプションの取得中にエラーが発生しました。(IDT 06204)

原因

考えられる原因:

- ・ 集計オプションが存在しません。
- ・ オプションが壊れています。
- ・ このユニバースまたはそのセキュリティを表示するために必要な権限がありません。

対処方法

- ・ セキュリティエディタビューを最新表示して、最新の集計オプションを取得します。
- ・ 可能な場合は、ユニバースを削除して再公開します。
- ・ リポジトリへのアクセス権で、このユニバースとそのセキュリティの表示が許可されているか確認します。

ユニバース {0} のビジネスセキュリティプロファイル集計オプションの取得中にエラーが発生しました。
(IDT 06205)

原因

考えられる原因:

- ・ 集計オプションが存在しません。
- ・ オプションが壊れています。
- ・ このユニバースまたはそのセキュリティを表示するために必要な権限がありません。

対処方法

- ・ セキュリティエディタビューを最新表示して、最新の集計オプションを取得します。
- ・ 可能な場合は、ユニバースを削除して再公開します。
- ・ リポジトリへのアクセス権で、このユニバースとそのセキュリティの表示が許可されているか確認します。

セキュリティプロファイル {0} に割り当てられたユーザまたはグループの取得中にエラーが発生しました。
(IDT 06210)

原因

考えられる原因:

- ・ セキュリティプロファイルはもう存在しません。
- ・ セキュリティプロファイルが壊れています。
- ・ 割り当てられたユーザまたはグループが存在しません。
- ・ ユニバース、そのセキュリティ、または割り当てられたユーザやグループを表示するために必要な権限がありません。

対処方法

- ・ セキュリティエディタビューを最新表示して、セキュリティプロファイルがまだ存在することを確認します。
- ・ セキュリティプロファイルを削除して再作成します。
- ・ セキュリティエディタビューを最新表示して、ユーザまたはグループがまだ存在することを確認します。
- ・ リポジトリへのアクセス権で、このセキュリティプロファイル、そのセキュリティプロファイル、および割り当てられたユーザとグループの表示が許可されているか確認します。

13.4 095 メッセージ (変換)

ユニバースファイルは、より新しい製品バージョンを使用して生成する必要があります。ユニバースファイルパス: {0}。(IDT 09501)

原因

変換しようとしているユニバースが、XI 3.0 よりも古いバージョンの BusinessObjects Suite によって生成されました。インフォメーションデザインツールでユニバースを変換できません。

対処方法

ユニバースデザインツール (バージョン BI 4) でユニバースを開き、再保存します。インフォメーションデザインツールで変換を再実行します。

ユニバースファイルを開くことができません。このファイルが破損していないことを確認してください。(IDT 09502)

原因

ユニバースファイルが壊れている可能性があります。

対処方法

ユニバースデザインツールでユニバースを開いてユニバースが有効であることを確認し、再保存します。

OLAP ユニバースの変換はサポートされていません。(IDT 09503)

原因

ユニバースは OLAP ユニバースです。OLAP ユニバースはインフォメーションデザインツールで変換できません。

対処方法

インフォメーションデザインツールで OLAP ユニバースを再作成します。

ストアドプロシージャを使用するユニバースの変換はサポートされていません。(IDT 09504)

原因

ユニバースにストアドプロシージャが含まれています。ストアドプロシージャユニバースはインフォメーションデザインツールで変換できません。

対処方法

インフォメーションデザインツールでユニバースを再作成します。

保護されているユニバースのファイルからの変換はサポートされていません。代わりに CMS オプションからの変換を使用してください。(IDT 09505)

原因

保護されているユニバースのファイルからの変換はサポートされていません。

対処方法

代わりに CMS オプションからの変換を使用してください。

ユニバースを変換できません。ユニバースにはユニバースデザインツールで接続が割り当てられている必要があります。(IDT 09506)

原因

変換しようとしているユニバースに接続がありません。

対処方法

ユニバースデザインツールで有効な接続を設定し、ユニバースを保存します。変換を再実行します。

Data Federator 接続を使用したユニバースの変換はサポートされていません。(IDT 09507)

原因

変換しようとしているユニバースは、データフェデレーションサービスのソースで定義されています。ユニバースはインフォメーションデザインツールを使用して変換できません。

対処方法

インフォメーションデザインツールでユニバースを再作成します。

CMS からコアユニバース %s を読み取れません。(IDT 09508)

原因

エラーが発生したためユニバースを読み取れませんでした。

対処方法

コアユニバースが正しくエクスポートされていることを確認します。

CMS からユニバースを読み取れません。(IDT 09509)

原因

エラーが発生したためユニバースを読み取れませんでした。

対処方法

ユニバースが正しくエクスポートされていることを確認します。

パスワードで保護されたユニバースの変換はサポートされていません。ユニバースデザインツールでパスワードを削除してください。(IDT 095010)

原因

パスワードで保護されたユニバースの変換はサポートされていません。

対処方法

ユニバースデザインツールでパスワードを削除してください。変換を再実行します。

このユーザのプロファイルではユニバースを変換できません。(IDT 095011)

原因

このユーザのプロファイルではユニバースを変換できません。

対処方法

必要なリポジトリへのアクセス権をシステム管理者に確認します。

13.5 15 メッセージ (一般接続)

CMS から接続を取得できません。CMS に接続が存在し、権限があるかどうかを確認してください。(IDT 15025)

原因

CMS から接続を取得できません。

対処方法

接続が CMS に存在し、その取得に必要な権限があるかどうか確認します。

Information Engine Services (IES) のエラーメッセージ

Information Engine Services のエラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

範囲	カテゴリ
IES 00001 – IES 10903	Information Engine Services のエラーメッセージ

14.1 Information Engine Services (IES) のエラーメッセージ

ユニバースで使用できなくなったオブジェクトがあります。(IES 00001)

原因

ユニバース内の1つあるいは複数のオブジェクトがドキュメントで使用できなくなりました。

対処方法

クエリの中のオブジェクトを使用可能なオブジェクトと比較して、クエリから不足しているオブジェクトを削除します。

現在のユーザプロファイルでは利用できないオブジェクトがあるので、このドキュメントを最新表示できません。(IES 00002)

原因

クエリに含まれるオブジェクトのデータにアクセスするユーザ権限が認められていません。これらのオブジェクトのデータにアクセスすることが許可されていないため、レポートを最新表示できません。

対処方法

管理者に依頼し、これらのオブジェクトにアクセスできるようユーザプロファイルを変更してもらいます。

ユニバースで使用できなくなった定義済みのフィルタがあります。(IES 00003)

原因

ユニバースオブジェクトをクエリオブジェクトと比較します。権限がない場合は、ユニバース作成者かシステム管理者に問い合わせてください。

対処方法

ユニバースオブジェクトをクエリオブジェクトと比較します。権限がない場合は、ユニバース作成者かシステム管理者に問い合わせてください。

ユニバースで使用できなくなったデータベーステーブルがあります。(IES 00004)

原因

ユニバースの1つあるいは複数のデータベーステーブルが使用できなくなりました。テーブル名が変更されたか、データベースからテーブルが削除された可能性があります。

対処方法

ユニバース作成者に依頼して、ユニバースを最新表示し、存在しないテーブルを削除するか、テーブル名を更新します。

プロンプトの定義が無効です。(IES 00005)

原因

プロンプトの構文が正しくないか、プロンプトがユニバースから削除されたオブジェクトを参照しています。

対処方法

ユニバース作成者にプロンプトを確認するよう依頼します。

アグリゲート認識オブジェクトの定義が無効です。(IES 00006)

原因

クエリ内の1つまたは複数のオブジェクトで集計認識が使用されていますが、ユニバース内の集計認識構文が無効です。

対処方法

ユニバース作成者に、集計認識構文を確認するよう依頼します。

フィルタに不正な値があるので、クエリを実行できません。(IES 00007)

原因

フィルタに不正なオペランドがあります。たとえば、空の定数が指定されたフィルタや数値を予想するフィルタに英数字の値が指定されている場合です。

対処方法

フィルタを修正します。

クエリに互換性のないオブジェクトが含まれているため、このクエリを実行することができません。(IES 00008)

原因

ユニバースで各コンテキストまたはメジャーに複数の SQL 文が許可されないため、クエリに組み合わせ、または同期化できないデータセットを返すオブジェクトが含まれています。

対処方法

ユニバース作成者に以下を実行するよう依頼します。

- ・ 各コンテキストおよびメジャーに複数の SQL 文を許可します。
- ・ 非互換オブジェクトを含む新しいコンテキストを作成します。

詳細フィルタに互換性のないオブジェクトが含まれているので、クエリを実行できません。(IES 00009)

原因

詳細フィルタで互換性のないオブジェクトが使用されています。

対処方法

互換性のあるオブジェクトのみ使用するよう詳細フィルタを変更します。

ユニバースの GROUP BY 文に複雑な表現式を使用することはできません。(IES 00010)

原因

クエリに式あるいはエイリアスを使った GROUP BY 句が指定されています。ユニバースでは、GROUP BY 句にこのような表現式は指定できません。動作特性は次のパラメータによって決まります。

```
<Parameter Name="GROUPBY_EXCLUDE_COMPLEX">Y</Parameter>
```

使用する RDBMS の PRM ファイル

対処方法

- ・ 式やエイリアスを使ったオブジェクトが含まれないようクエリを変更する。
- ・ 使用している RDBMS で複雑な GROUP BY 式がサポートされている場合は、ユニバース作成者に GROUPBY_EXCLUDE_COMPLEX パラメータの値を N に変更するよう依頼します。

オブジェクト {obj_list} に複数の属性が含まれています。この構文は、サポートされなくなりました。(IES 00011)

原因

クエリに含まれる 1 つあるいは複数のオブジェクトの定義に連結演算子ではなく、カンマ(“,”)が使われています。この構文は、サポートされなくなりました。

対処方法

ユニバース作成者に、以下のいずれかの対策を取るよう依頼します。

- ・ 2 つのオブジェクトのデータの連結にカンマを使っているオブジェクトを、RDBMS の標準連結演算子を使用して再度定義直す。
- ・ 以下の行をターゲット RDBMS の PRM ファイルに追加します。

```
<Parameter Name = "REPLACE_COMMA_BY_SEPARATOR"=Y>
```

これにより、オブジェクトの定義でカンマを連結構文で 사용할 できるようになります。

- ・ ユニバースで、REPLACE_COMMA_BY_CONCAT の値を Yes に設定する。

このクエリはデカルト積を作成するため実行することができません。(IES 00012)

原因

このクエリはデカルト積を生成します。デカルト積は、クエリに含まれるオブジェクトが参照するテーブルから、可能なすべての行の組み合わせを返し、正しいことはまれです。

対処方法

ユニバース作成者に、以下のいずれかの対策を取るよう依頼します。

- ・ 適切な結合および制限を含めるようユニバーステーブルスキーマを変更して、デカルト積を予防します。
- ・ 許容できる場合は、デカルト積を返すようユニバースを設定します。

SQL の生成に失敗しました。(IES 00013)

原因

クエリ SQL の生成中にエラーが発生しました。

対処方法

ユニバース作成者に SQL を確認するよう依頼します。

アグリゲート認識の解決に失敗しました。(IES 00014)

原因

クエリオブジェクトで、Aggregate Aware 関数に必要な可能なすべての SQL が除外されました。

対処方法

ユニバース作成者に、オブジェクト間の非互換性を取り除くよう依頼します。

同じテキストにもかかわらず、プロンプトは、異なる値のオペランド、または値の数を使用しています。(IES 00015)

原因

クエリに、同じメッセージを表示する複数のプロンプトが含まれています。通常、同じメッセージのプロンプトが組み合わせられますが、1つの値の入力を要求するものと、複数の値の入力を要求するものが混在していると、組み合わせることができません。

対処方法

すべてのプロンプトが1つの値を、または複数の値を要求するようプロンプトを変更します。

クエリにサポートされない @script() 関数が含まれています。(IES 00016)

原因

このドキュメント用のクエリが生成した SQL に @Script() 関数が含まれていますが、この関数はサポートされていません。

対処方法

ユニバース作成者に @Script() 関数を削除するよう依頼します。

次のオブジェクトを結果オブジェクトとして使用することはできません: {obj_list}。(IES 00017)

原因

クエリに、クエリ内で結果オブジェクトとして使用できないオブジェクトが含まれています。

対処方法

オブジェクトを削除するか、ユニバース作成者に、クエリ内の結果オブジェクトとしてオブジェクトを含めることを許可するよう依頼します。

次のオブジェクトはクエリフィルタとして使用できません: {obj_list}。(IES 00018)

原因

クエリに、クエリフィルタとして有効でないオブジェクトが、クエリフィルタとして使用するために含まれています。

対処方法

オブジェクトを削除するか、ユニバース作成者に、クエリフィルタとしての使用を許可するよう依頼します。

クエリフィルタに含まれている値が多すぎます。(IES 00019)

原因

クエリフィルタに含まれている値の数が多すぎます。

対処方法

最大値よりも小さい値を選択します。

クエリによって生成された SQL は無効です。(IES 00020)

原因

クエリによって生成された SQL は無効です。

対処方法

ユニバース作成者に SQL を確認するよう依頼します。

クエリの 1 つに互換性のないオブジェクトが含まれているため、この複合クエリを実行することができません。(IES 00021)

原因

複合クエリの中のクエリに、互換性のないオブジェクトが含まれています。

対処方法

非互換オブジェクトを削除します。

クエリが WHERE 句でテーブルを参照していません。(IES 00022)

原因

生成された SQL の WHERE 句がテーブルを参照しません。

対処方法

クエリがテーブルを参照するように変更します。

無効なサブクエリです。(IES 00023)

原因

クエリに無効なサブクエリが含まれています。データを取得できないか、結果オブジェクトが定義されていません。

対処方法

サブクエリを変更します。

サブクエリ内のオブジェクトタイプに互換性がありません。(IES 00024)

原因

サブクエリに非互換オブジェクトが含まれています。

対処方法

互換性のないオブジェクトタイプを削除します。

クエリは複雑すぎるため、サンプリング関数を適用できません。(IES 00025)

原因

クエリが複雑すぎるため、サンプリング関数を適用できません。

対処方法

クエリを単純化してみます。

オプションプロンプトの SQL を再生成できませんでした -- 1 つ以上の必須プロンプトがスキップされました。(IES 00026)

原因

オプションのプロンプトに関連する SQL が再生成できませんでした。

対処方法

ユニバース作成者にお問い合わせください。

クエリからオプションプロンプトを削除すると、新しいプロンプトが生成されます。これにより、サポートできない複雑さが生じます。(IES 00027)

原因

オプションプロンプトが原因でクエリを処理できません。

対処方法

オプションプロンプトをクエリから削除します。

キー日付パラメータに値が指定されていません。(IES 00028)

原因

キー日付けパラメータに値が指定されていません。

対処方法

キー日付の値を指定します。

書き込み権のあるユーザーがすでにこのユニバースを開いています。(IES 00029)

原因

書き込み権限を持つ別のユーザがすでにこのユニバースを開いているため、ユニバースを開けませんでした。

対処方法

管理者に連絡してください。

式 '%1%' (場所 %2%) で構文エラーが発生しました。(IES 10001)

原因

数式の示された場所に構文エラーがあります。

対処方法

式を訂正します。

関数辞書の初期化中にエラーが発生しました。(IES 10002)

原因

関数の辞書を開始できませんでした。

対処方法

管理者に連絡してください。

オブジェクト '%1%' (場所: '%2%') がレポート内で一意ではありません。(IES 10005)

原因

オブジェクトの名前は、レポートにある他のオブジェクトにすでに使用されています。

対処方法

オブジェクトに完全修飾オブジェクト名を使用します。

オブジェクト '%1%' (場所: '%2%') がレポートに存在しません。(IES 10006)

原因

構文が、レポートにもう存在しないオブジェクトを参照しています。

対処方法

このオブジェクトへの参照を構文から削除してください。

整数 '%1%' (場所 '%2%') が長すぎます。(IES 10013)

原因

式の整数が最大制限を超えています。

対処方法

式を編集します。

数 '%1%' (場所 '%2%') に、使用している地域設定と互換性のない形式が含まれています。(IES 10014)

原因

数値{数値}の形式が、使用しているコンピュータの地域設定と一致しません。

対処方法

使用しているコンピュータの地域設定が一致するように、数値の形式を変更してください。

'%1%' (場所 '%2%') の後に引用符がありません。(IES 10016)

原因

式に閉じ引用符がありません。

対処方法

閉じ引用符を追加してください。

入力または出力コンテキストでディメンションの一覧が空です。(IES 10032)

原因

入出力コンテキスト内のディメンションのリストが空になっています。

対処方法

ディメンションのリストを指定してください。

変数 '%1%' は、依存式または '%2%' にリンクされている変数を持っているため、削除できません。(IES 10033)

原因

この変数は他の変数または式に参照されているため、削除できません。

対処方法

変数を削除する前に、参照元の変数または式を削除してください。

すでに存在する変数名を使用して、変数を作成、または変数名を更新しようとしてしました。(IES 10034)

原因

新しい変数の名前、または変更する名前として、既に存在する変数名を使おうとしてしました。

対処方法

まだ存在しない変数名を選択してください。

日付または時刻の形式 '%1%' (場所 '%2%') が有効ではありません。(IES 10035)

原因

式に、無効な日付と時間の形式(例: "bb/MM/yyyy")が含まれています。

対処方法

式に有効な日付/時間形式を指定します。

式、または部分式 (場所 '%2%') が有効ではありません。(IES 10036)

原因

式に、無効な表現式または補助表現式が含まれています。

対処方法

有効な表現式または補助表現式を指定します。

'%1%' 関数の式または部分式 (場所 '%2%') で、無効なデータ型が使用されています。(IES 10037)

原因

式に、無効なデータ型が含まれています。(例えば、日付を要求する関数に文字列を渡そうとしました。)

対処方法

式に有効なデータ型を使用します。

変数名に、無効な文字 '%1%' (場所: '%2%') が見つかりました。(IES 10038)

原因

変数名の文字[文字]が無効です。

対処方法

変数名から[文字]を削除します。

変数 '%1%' の数式に、同じショート名を持つ変数への参照が含まれています。(IES 10040)

原因

変数の式が、同じショートネームを持つ他の変数を参照しています。

対処方法

変数の式が、同じショートネームを持つ他の変数を参照しています。

場所 '%2%' に、誤った比較演算子 (<, >, <>, <=, >=, =) が複数使用されています。(IES 10041)

原因

複数の比較演算子が正しく使用されていません。(例:if(1<2=3;0;-1))

対処方法

比較演算子が正しく使用されるよう、式の構造を変更してください。

式が '%1%' を参照している変数をその変数 '%1%' 自体の式が参照しているため、循環参照が発生しています。(IES 10042)

原因

式に循環参照が含まれています。

対処方法

循環参照を削除してください。

関数 '%1%' には引数がないか、または場所 %2% で閉じる括弧がありません。(IES 10061)

原因

式に引数または閉じ括弧がありません。

対処方法

引数または閉じ括弧を追加します。

リスト '%1%' (場所 %2%) に ';' または閉じる括弧がありません。(IES 10064)

原因

式にセミコロンまたは閉じ括弧がありません。

対処方法

セミコロンまたは閉じ括弧を追加します。

'%1%' (場所 %2%) にオブジェクト識別子がありません。(IES 10069)

原因

式にオブジェクト識別子がありません。

対処方法

式を訂正します。

場所 %2% のリセットコンテキストが正しくありません。(IES 10072)

原因

式には不正なリセットコンテキストが含まれます。

対処方法

リセットコンテキストを修正します。

オブジェクト '%1%' (場所 %2%) に互換性がありません。(IES 10077)

原因

式に互換性のないオブジェクトが含まれています。

対処方法

式を訂正します。

文字列 '%1%' (場所 %2%) が無効です。(IES 10082)

原因

式に無効な文字列が含まれています。

対処方法

文字列を修正します。

変数 '%1%' の資格を変更できません。(IES 10083)

原因

変数の資格を変更することはできません。たとえば、定義に集計が含まれている場合は、ディメンションに対するメジャーを変更できません。

対処方法

適切な資格で新しい変数を作成します。

定義の設定が無効です。(IES 10086)

原因

クエリに無効なセット定義が含まれています。

対処方法

クエリを確認します。

カスタム関数をロードできませんでした。(IES 10100)

原因

カスタム関数ライブラリは、適切に定義されていないためロードすることができませんでした。これは、無効な XML、重複関数名、または重複関数 ID が原因である可能性があります。

対処方法

トレースログで詳細を調べて、その詳細を管理者に提供してください。

使用するデータベースサーバは Both および Except 演算子をサポートしていません。(IES 10701)

原因

このドキュメントのベースとなっているデータベースは Both および Except 演算子をサポートしていません。このため、クエリにフィルタを定義するときは、Both または Except 演算子は使用できません。

対処方法

クエリフィルタから演算子を削除してください。

フィルタが結果オブジェクトと互換性のないオブジェクトで定義されています。(IES 10702)

原因

クエリフィルタの 1 つがオブジェクトで定義されましたが、このオブジェクトはクエリによって返されたすべての結果オブジェクトと互換性がありません。

対処方法

クエリフィルタまたは結果オブジェクトを削除してください。

'{object}' に基づくクエリフィルタの数値が無効です。(IES 10703)

原因

クエリフィルタに無効な数値を指定しました。

対処方法

クエリフィルタを編集し、有効な数値を指定します。

プロンプト '{prompt}' のデータが無効です。(IES 1070) (IES 10704)

原因

クエリフィルタに無効な日付を指定しました。

対処方法

クエリフィルタを編集し、有効な日付を指定します。

プロンプト '{prompt}' には無効な数値が含まれています。(IES 10705)

原因

プロンプトに無効な数値を指定しました。

対処方法

有効な数値を指定します。

プロンプト '{prompt}' のデータが無効です。(IES 10706)

原因

プロンプトに無効な日付を指定しました。

対処方法

プロンプトを編集し、有効な日付を指定します。

サーバがクエリの SQL を構築できません。(IES 10707)

原因

データベースに対して実行するようにクエリを SQL に変換できません。

対処方法

クエリを再構築するか、管理者に連絡してください。

プロンプト '{PromptName}' のオブジェクト '{ObjName}' は値の一覧を表示できません。クエリをプロンプトから削除するか、管理者に連絡して、オブジェクトのプロパティタブの [一覧から選択] オプションをクリアしてください。(IES 10708)

原因

プロンプト内のオブジェクトが、値の一覧を表示できなくなりました。

対処方法

プロンプトを削除するか、管理者に一覧から選択されていない値のプロンプトでの受け入れを許可するよう依頼します。

このドキュメントを最新表示する権限がありません。(IES 10801)

原因

現在のユーザプロファイルでは、このドキュメントのクエリに含まれているオブジェクトのいずれかのデータを表示することができません。

対処方法

最新表示をキャンセルするか、ドキュメントの最新表示に必要なセキュリティ権限を管理者に依頼してください。

クエリ SQL には {nbWanted} 列ではなく {nbHaving} 列があります。(IES 10810)

原因

クエリによって生成された SQL の列数が無効です

対処方法

管理者に連絡してください。

クエリ内の列のデータ型が無効です。(IES 10811)

原因

クエリ内の列のデータ型が無効です。

対処方法

管理者に連絡してください。

カスタム SQL にオプションのプロンプトがありません。(IES 10812)

原因

オプションプロンプトは、カスタム SQL ではサポートされていません。

対処方法

オプションプロンプトを削除します。

互換性のないオブジェクトは複合クエリで使用できません。(IES 10820)

原因

複合クエリに非互換オブジェクトが含まれています。

対処方法

複合クエリを編集し、非互換オブジェクトを削除します。

'{dp_name}' データプロバイダ内のサブクエリに、見つからないオブジェクトがあります。(IES 10830)

原因

{dp_name} データプロバイダのサブクエリで、クエリ SQL の生成に必要なオブジェクトが見つかりません。

対処方法

サブクエリを編集し、欠落しているオブジェクトを追加します。

{dp_name}' データプロバイダ内の順位に、フィルタが適用されたオブジェクトが見つかりません。(IES 10831)

原因

順位で、フィルタが適用されたオブジェクトが見つかりません。

対処方法

順位を編集し、フィルタが適用されたオブジェクトを追加します。

'{dp_name}' データプロバイダ内の順位に、順位に基づくオブジェクトが見つかりません。(IES 10832)

原因

順位で、順位に基づくオブジェクトが見つかりません。

対処方法

順位を編集し、順位を基にしたオブジェクトを追加します。

ドキュメントをロードできません。(IES 10833)

原因

Interactive Analysis ドキュメントをロードできませんでした。

対処方法

管理者に連絡してください。

追加のコンテキスト解決はオプションのプロンプトでサポートされません。(IES 10834)

原因

クエリ内のオプションプロンプトは、サポートされていない追加のクエリコンテキスト解決を生成します。

対処方法

オプションプロンプトを削除するか、必須にします。

列 "{col_name}" に無効なデータがあります。(IES 10840)

原因

クエリが参照しているデータベース列に無効なデータが含まれています。

対処方法

管理者に連絡してください。

列 "{col_name}" に無効な UTF-8 文字列があります。(IES 10841)

原因

クエリが参照しているデータベース列に無効なデータが含まれています。

対処方法

管理者に連絡してください。

クエリの作成や更新に必要なファイルがファイルシステムにありません。ファイル "{filename}" が見つかりません。(IES 10850)

原因

システムでファイル {filename} が見つかりません。

対処方法

{filename} の場所を確認するか、管理者に連絡してください。

個人用データプロバイダでエラーが発生しました: {message}。(IES 10853)

原因

個人用データプロバイダにデータを供給するファイルが壊れているか、ありません。

対処方法

ファイルが存在し、それにエラーがないことを確認します。

Excel 個人用データプロバイダを作成したり、更新したりできません: ファイルパスが無効です。(IES 10870)

原因

ファイルシステムで Excel ファイルが見つかりませんでした。

対処方法

管理者に連絡してください。

Excel 個人用データプロバイダを作成したり、更新したりできません: 指定範囲を取得できません。(IES 10872) (IES 10871)

原因

ワークブックが保護されているため、Excel 個人用データプロバイダを作成または更新することができませんでした。

対処方法

Excel ワークブックの保護を解除するか、Excel ファイルにアクセスできない場合は管理者に連絡してください。

Excel 個人用データプロバイダを作成したり、更新したりできません: ワークブックを開くことができません。(IES 10872)

原因

Excel ファイルを開くことができませんでした。

対処方法

Excel ファイルを確認するか、管理者に連絡してください。

Excel 個人用データプロバイダを作成したり、更新したりできません: 指定範囲を取得できません。(IES 10873)

原因

指定したセルの範囲からデータを取得できませんでした。

対処方法

Excel ファイルを確認するか、管理者に連絡してください。

Excel 個人用データプロバイダを作成したり、更新したりできません: ファイルからデータを取得できません。(IES 10874)

原因

Excel ファイルからデータを取得できませんでした。

対処方法

ファイルを確認するか、管理者に連絡してください。

Excel 個人用データプロバイダを作成したり、更新したりできません: ファイルからデータを取得できません。(IES 10875)

原因

Excel ファイルからデータを取得できませんでした。

対処方法

ファイルを確認するか、管理者に連絡してください。

Excel 個人用データプロバイダを作成したり、更新したりできません: データセットでの反復子を構築できません。(IES 10876)

原因

Excel ファイルからのデータの取得中にエラーが発生しました。

対処方法

ファイルを確認するか、管理者に連絡してください。

Excel 個人用データプロバイダを作成したり、更新したりできません: 利用できるワークシートがありません。(IES 10877)

原因

Excel ファイルでワークシートが見つかりませんでした。

対処方法

ファイルを確認するか、管理者に連絡してください。

Excel 個人用データプロバイダを作成したり、更新したりできません: ワークシートのリストを取得できません。(IES 10878)

原因

Excel ファイルからワークシートのリストを取得できませんでした。

対処方法

ファイルを確認するか、管理者に連絡してください。

Excel 個人用データプロバイダを作成したり、更新したりできません: 選択した範囲から無効なデータを取得しました。(IES 10879)

原因

Excel ファイルの範囲から取得したデータが無効です。

対処方法

ファイルを確認するか、管理者に連絡してください。

Excel 個人用データプロバイダを作成したり、更新したりできません: 選択したワークシートが無効です。(IES 10880)

原因

Excel ワークシートが無効です。

対処方法

Excel ファイルを確認するか、管理者に連絡してください。

Excel 個人用データプロバイダを作成したり、更新したりできません: データサンプリングの取得中にエラーが発生しました。(IES 10881)

原因

Excel ファイルからのデータの取得中にエラーが発生しました。

対処方法

ファイルを確認するか、管理者に連絡してください。

Excel 個人用データプロバイダを作成したり、更新したりできません: データ反復子の作成中にエラーが発生しました。(IES 10882)

原因

Excel ファイルからのデータの取得中にエラーが発生しました。

対処方法

管理者に連絡してください。

Excel 個人用データプロバイダを作成したり、更新したりできません: データの取得中にエラーが発生しました。(IES 10883)

原因

Excel ファイルからのデータの取得中にエラーが発生しました。

対処方法

管理者に連絡してください。

Excel 個人用データプロバイダを作成したり、更新したりできません: 内部エラーが発生しました。(IES 10884)

原因

Excel ファイルからのデータの取得中にエラーが発生しました。

対処方法

管理者に連絡してください。

Excel 個人用データプロバイダを作成したり、更新したりできません: 範囲選択が無効です。(IES 10885)

原因

選択された範囲が無効であるため、Excel ファイルからのデータの取得中にエラーが発生しました。

対処方法

ファイルを確認するか、管理者に連絡してください。

Excel 個人用データプロバイダを作成したり、更新したりできません: 範囲選択がワークシートと一致していません。(IES 10886)

原因

選択された範囲がワークシートと一致しないため、Excel ファイルからのデータの取得中にエラーが発生しました。

対処方法

ファイルを確認するか、管理者に連絡してください。

異なる種類を持つ別のクエリのオブジェクトを参照するオブジェクトの条件。(IES 10887)

原因

別のクエリ内のオブジェクトのデータ型が、条件内のオブジェクトのデータ型と異なります。

対処方法

条件を訂正してください。

存在しない別のクエリのオブジェクトを参照するオブジェクトの条件。(IES 10888)

原因

条件によって参照されているオブジェクトまたはクエリが存在しません。

対処方法

条件を訂正してください。

クエリに循環依存があります。(IES 10889)

原因

クエリに循環依存関係があります。

対処方法

クエリを編集して循環依存関係を削除してください。

データベースエラー: {error_db}。(IES 10901)

原因

データベースがメッセージに表示されているエラーを返しました。

対処方法

発生したエラーの詳細についてはシステム管理者にお問い合わせください。

クエリが固定時間制限を超過: {error_db}。(IES 10902)

原因

時間がかかりすぎたため、クエリがデータを返せませんでした。

対処方法

クエリをもう一度実行します。問題が解決しない場合は、管理者に連絡してください。

無効なデータベースフィールドタイプ: {db_fieldname}。(IES 10903)

原因

メッセージに表示されているデータベースフィールドに無効なデータタイプが含まれています。

対処方法

管理者に連絡してください。

インストール (INS) エラーメッセージ

インストール (INS) には、以下のエラーメッセージのカテゴリが含まれています。

範囲	カテゴリ
INS 00000 ～ 00002	インストール (INS)
INS 00286 ～ 00300	インストール (INS)
INS 00301 ～ 00305	インストール (INS)

15.1 INS 00000 ～ 00002

管理権限を持つユーザアカウントを使用してください。(INS00)

原因

ユーザアカウントに十分な権限がありません。

対処方法

管理者アカウントでログオンします。

管理権限を持つユーザアカウントを使用してください。(INS00001)

原因

ユーザアカウントに十分な権限がありません。

対処方法

管理者アカウントでログオンします。

Microsoft .NET Framework 2.0 以上をインストールしてください。(INS00002)

原因

Microsoft .NET Framework 3.5 以降がインストールされていません。

対処方法

Microsoft .NET Framework 3.5 以降をインストールします。

15.2 INS 00286 ~ 00293

この製品を BI プラットフォームサービスと同じマシンにインストールすることはできません。INS000286 (INS00286)

原因

このマシンには、情報プラットフォームサービスソフトウェアがインストールされています。

対処方法

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームをインストールする前に、情報プラットフォームサービスをアンインストールする必要があります。

管理権限を持つユーザアカウントを使用してください。INS00287

原因

Windows ユーザアカウントに十分な権限がありません。

対処方法

管理者アカウントでログオンします。

この製品をルートユーザとしてインストールすることはできません。INS00288

原因

UNIX ユーザアカウントにはルート権限があります。

対処方法

ルート権限のないユーザとしてログオンします。

再起動要求が抑制されています。インストールする前に現在のマシンを再起動してください。INS00289

原因

このマシンを再起動する要求は抑制されました。

対処方法

インストールプログラムを実行する前にこのマシンを再起動します。

先に SAP Crystal Reports Server をアンインストールしてから、同じマシンに #product.boe64_name# をインストールしてください。INS00290

原因

このマシンには、Report Application Server (RAS) がインストールされています。

対処方法

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームをインストールする前に、RAS をアンインストールする必要があります。

#product.boe64_name# はすでにこのマシンにインストールされています。INS00291

原因

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームがこのマシンにインストールされています。

対処方法

情報プラットフォームサービスをインストールする前に、SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームをアンインストールする必要があります。

この製品は、64 ビットオペレーティングシステム (OS) にインストールする必要があります。使用している OS がこの要件を満たしていることを確認してください。INS00292

原因

このオペレーティングシステムは 64 ビットではありません。

対処方法

インストールは、64 ビットオペレーティングシステムでのみ実行できます。

localhost (127.0.0.1) またはマシンのホスト名が PING に応答しません。INS00293

原因

localhost または 127.0.0.1 に接続できません。

対処方法

hosts ファイルが有効で、ローカルホストと 127.0.0.1 に接続できることを確認します。

/tmp に十分な空き領域がありません。INS000295 (INS00295)

原因

/tmp に十分な空き領域がありません。

対処方法

以下のガイドラインに従って、ディスクの空き領域を増やします。

プラットフォーム	必要なディスクの空き領域
Linux	100 MB
AIX	190 MB
Solaris	100 MB
HPUX	340 MB

UID および GID は 65536 以下である必要があります。INS000296 (INS00296)

原因

DB2 では、65536 を超える UID または GID によるインストールはサポートされていません。

対処方法

65536 未満の UID または GID を持つユーザがインストールを実行してください。

Microsoft .NET Framework 3.5 以上をインストールしてください。(INS00297)

原因

Microsoft .NET Framework 3.5 以降がインストールされていません。

対処方法

Microsoft .NET Framework 3.5 以降をインストールします。

Microsoft .NET Framework 3.0 以上をインストールしてください。(INS00298)

原因

Microsoft .NET Framework 3.0 以降がインストールされていません。

対処方法

Microsoft .NET Framework 3.0 以降をインストールします。

Microsoft Visual Studio 2005 Tools for Office Second Edition Runtime が検出されませんでした。インストールしてください。(INS00299)

原因

Microsoft Visual Studio 2005 Tools for Office Second Edition Runtime がインストールされていません。

対処方法

Microsoft Visual Studio 2005 Tools for Office Second Edition Runtime をインストールします。

Microsoft Office 2003 以上をインストールしてください。(INS00300)

原因

Microsoft Office 2003 以降がインストールされていません。

対処方法

Microsoft Office 2003 以降をインストールします。

15.3 INS 00301 ~ 00305

この更新は検出されなかった #productname# #product_version# #product_patch# をターゲットにしています。(INS00301)

原因

Microsoft SharePoint 2007 がインストールされていません。

対処方法

Microsoft SharePoint 2007 をインストールします。

#productname# #product_version# はこの更新より新しいバージョンのため適用できません。継続しないことを推奨します。(INS00302)

原因

Windows SharePoint Service Administration サービスが実行されていません。

対処方法

Windows SharePoint Service Administration サービスを起動します。

この更新は検出されなかった #productname# #product_version# をターゲットにしています。(INS00303)

原因

Microsoft .NET Framework 2.0 以降がインストールされていません。

対処方法

Microsoft .NET Framework 2.0 以降をインストールします。

Microsoft Office 2003 の更新 (KB907417) (INS00304)

原因

Microsoft Office がインストールされていません。

対処方法

Microsoft Office をインストールします。

この製品をインストールする前に、Microsoft Visual Studio 2010 をインストールしてください。(INS00305)

原因

Microsoft Visual Studio 2010 がインストールされていません。

対処方法

Microsoft Visual Studio 2010 をインストールします。

ライフサイクルマネジメントコンソールのエラーメッセージ

ライフサイクルマネジメントコンソールのエラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

範囲	カテゴリ
LMC00001 - LMC00008 LMS00001 - LMS00027 LMS0022 LMS00101 - LMS00109	ライフサイクルマネジメントの エラーメッセージ
VDC00001 - VDC00010 VDS00001 - VDS00029	Visual Difference のエラー メッセージ

16.1 ライフサイクルマネジメントのエラーメッセージ

LCM CMS が NULL か、ログインされていません (LMC 00001)

原因

LCM CMS の詳細が入力されていないか、ログインしていません。

対処方法

LCM CMS の詳細を入力するか、LCM CMS にログインします。

CMS が NULL か、ログインされていません。CMS はソースと出力先のどちらかになります (LMC 00002)

原因

CMS (ソース/出力先) の詳細が入力されていないか、ログインしていません。

対処方法

CMS(ソース/出力先)の詳細を入力するか、ソース/出力先 CMS にログインします。

ユーザ名が NULL または空です (LMC 00003)

原因

ユーザ名が入力されていません。

対処方法

有効なユーザ名を入力します。

パスワードが NULL または空です (LMC 00004)

原因

パスワードが入力されていません。

対処方法

正しいパスワードを入力します。

エクスポートするリソースがありません (LMC 00005)

原因

BIAR ファイルが見つからないか、空です。

対処方法

有効なBIAR ファイルを選択します。

ソース CMS が NULL か、ログインされていません (LMC 00006)

原因

ソース CMS の詳細が入力されていないか、ログインしていません。

対処方法

ソース CMS の詳細を入力するか、ソース CMS にログインします。

出力先 CMS が NULL か、ログインされていません (LMC 00007)

原因

出力先 CMS の詳細が入力されていないか、ログインしていません。

対処方法

出力先 CMS の詳細を入力するか、出力先 CMS にログインします。

出力先はソースと同じ場所にはできません。(LMC 00008)

原因

ソース CMS が出力先 CMS と同じです。

対処方法

ソース CMS とは異なる出力先 CMS を選択します。

BusinessObjects LifeCycle Manager へのログインに失敗しました。(LMS 00001)

原因

ユーザ名とパスワードの両方またはいずれかが無効である可能性があります。

対処方法

有効なユーザ名/パスワードを入力します。

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームライフサイクルマネジメントコンソールからのログオフに失敗しました。(LMS 00002)

原因

CMS がダウンしている可能性があります。

対処方法

なし

ジョブにゼロより小さい親 ID が含まれています。このジョブは無効です。(LMS 00003)

原因

ジョブの親 ID が無効です。

対処方法

ジョブの有効な親 ID を入力します。

ジョブを作成できませんでした。スタックトレースを参照してください (LMS 00004)

原因

LCM CMS がダウンしている可能性があります。その他の原因については、スタックトレースを参照してください。

対処方法

LCM CMS を再起動するか、スタックトレースを参照してそれに従って修正します。

ジョブを保存できませんでした (LMS 00005)

原因

LCM CMS がダウンしている可能性があります。その他の原因については、スタックトレースを参照してください。

対処方法

LCM CMS を再起動するか、スタックトレースを参照してそれに従って修正します。

既存のジョブからジョブを作成できませんでした (LMS 00006)

原因

ジョブが存在しない可能性があります。

対処方法

有効なジョブを選択します。

CMS (ソース/出力先) にログインできませんでした (LMS 00007)

原因

ユーザ名とパスワードの両方またはいずれかが無効である可能性があります。

対処方法

有効なユーザ名/パスワードを入力します。

CMS (ソース/出力先) からログオフできませんでした (LMS 00008)

原因

CMS がダウンしている可能性があります。

対処方法

なし

ジョブが正常に進行しませんでした (LMS 00009)

原因

正確な原因については、スタックトレースを参照してください。

対処方法

スタックトレースを参照し、適切な操作を実行します。

ジョブが実行できなかった理由を特定するため、スタックトレースをチェックしてください (LMS 00010)

原因

スケジュールプロセスがダウンしている可能性があります。

対処方法

スケジュールプロセスを再起動します。

ジョブをスケジュールできませんでした (LMS 00011)

原因

スケジュールプロセスがダウンしている可能性があります。

対処方法

スケジュールプロセスを再起動します。

ジョブを取得できません。有効な LCM ジョブを選択してください。 (LMS 00012)

原因

ジョブが存在しない可能性があります。

対処方法

有効なジョブを選択します。

名前でジョブを取得できません (LMS 00013)

原因

その名前のジョブが存在しない可能性があります。

対処方法

有効なジョブ名を入力します。

ジョブ履歴を取得できませんでした。(LMS 00014)

原因

ジョブ履歴が存在しない可能性があります。

対処方法

なし

指定された一連の依存関係から一意のリソースを取得できません。(LMS 00015)

原因

一意のリソースが存在しないか、依存関係が無効である可能性があります。

対処方法

一意のリソースが存在することを確認するか、有効な依存関係を入力します。

CUID = {0} の InfoObject を取得できません。(LMS 00016)

原因

InfoObject が存在しない可能性があります。

対処方法

有効な InfoObject を選択します。

クエリ {0} が失敗しました。(VDS 00013) (LMS 00017)

原因

ユーザーに必要な権限がない可能性があります。その他の原因については、スタックトレースを参照してください。

対処方法

必要な権限を持つユーザーを入力するか、スタックトレースを参照してそれに従って修正します。

リソースの一覧をジョブから削除できません。(LMS 00018)

原因

リソースが存在しない可能性があります。

対処方法

有効なリソースを選択します。

有効なイベントの設定中にエラーが発生しました。スタックトレースを参照してください。(LMS 00019)

原因

監査サービスがダウンしている可能性があります。

対処方法

監査サービスを再起動します。

サポートされている監査イベントを取得中にエラーが発生しました。スタックトレースを参照してください (LMS 00020)

原因

サポートされている監査イベントが存在しないか、監査サービスがダウンしている可能性があります。

対処方法

監査サービスを再起動します。

有効な監査イベントを取得中にエラーが発生しました。スタックトレースを参照してください (LMS 00021)

原因

有効な監査イベントが存在しないか、監査サービスがダウンしている可能性があります。

対処方法

監査サービスを再起動します。

LCM アプリケーションで一般的な例外が発生しました。詳細については、スタックトレースを参照してください。(LMS 00022)

原因

正確な原因については、スタックトレースを参照してください。

対処方法

スタックトレースを参照し、適切な操作を実行します。

管理者によってユーザアクセスが拒否されたため、ソース CMS にログインできませんでした。(LMS 00023)

原因

管理者によってシステムへのアクセスが拒否されました。

対処方法

システム管理者に連絡してください。

ユーザが管理者によってアクセスを拒否されたため、出力先 CMS にログインできませんでした (LMS 00024)

原因

管理者によってシステムへのアクセスが拒否されました。

対処方法

システム管理者に連絡してください。

リソースをインポートするための LCMBIAR ファイルの場所が存在しないか無効です。(LMS 00025)

原因

LCMBIAR ファイルの場所が無効です。

対処方法

有効な LCMBIAR ファイルの場所を入力します。

LCMBIAR ファイルへのリソースのエクスポート先が見つからないか無効です。(LMS 00026)

原因

LCMBIAR ファイルのエクスポート先が無効です。

対処方法

LCMBIAR ファイルの有効なエクスポート先を選択します。

選択したジョブは NULL または無効です。有効な LCM ジョブを選択してください。(LMS 00027)

原因

選択されたジョブが無効です。

対処方法

有効なジョブを選択します。

バージョン管理ツールにリソースを追加できませんでした (LMS 00101)

原因

LCM VMS サービスまたは VMS サービスがダウンしている可能性があります。

対処方法

LCM VMS サービスまたは VMS サービスを再起動します。

リソースのチェックアウトに失敗しました。(LMS 00103)

原因

LCM VMS サービスまたは VMS サービスがダウンしている可能性があります。

対処方法

LCM VMS サービスまたは VMS サービスを再起動します。

改訂履歴を取得できませんでした。(LMS 00104)

原因

LCM VMS サービスまたは VMS サービスがダウンしている可能性があります。

対処方法

LCM VMS サービスまたは VMS サービスを再起動します。

バージョン管理から改訂を取得できませんでした。(LMS 00105)

原因

LCM VMS サービスまたは VMS サービスがダウンしている可能性があります。

対処方法

LCM VMS サービスまたは VMS サービスを再起動します。

最新の改訂を取得できませんでした (LMS 00106)

原因

LCM VMS サービスまたは VMS サービスがダウンしている可能性があります。

対処方法

LCM VMS サービスまたは VMS サービスを再起動します。

ワークスペースの改訂を取得できませんでした。(LMS 00107)

原因

LCM VMS サービスまたは VMS サービスがダウンしている可能性があります。

対処方法

LCM VMS サービスまたは VMS サービスを再起動します。

バージョン管理システムを取得できませんでした。スタックトレースを参照してください。(LMS 00108)

原因

LCM CMS がダウンしている可能性があります。

対処方法

LCM CMS を再起動します。

リポジットバージョンを取得できませんでした (LMS 00109)

原因

LCM VMS サービスまたは VMS サービスがダウンしている可能性があります。

対処方法

LCM VMS サービスまたは VMS サービスを再起動します。

有効な監査イベントをクリア中にエラーが発生しました。スタックトレースを参照してください。(LMS 0022)

原因

LCM アプリケーションオブジェクト内に監査イベントのプロパティバッグが存在しない可能性があります。

対処方法

なし

16.2 Visual Difference のエラーメッセージ

SAP BusinessObjects Visual Difference Server にログインできませんでした。(VDS 00001)

原因

無効なユーザ名またはパスワードです。

対処方法

有効なユーザ名またはパスワードを入力します。

BusinessObjects Visual Difference からログオフできませんでした。(VDS 00002)

原因

CMS がダウンしている可能性があります。

対処方法

しばらくしてから再試行してください。

CMS の一覧の取得中にエラーが発生しました。(VDS 00003)

原因

CMS の一覧を保存しているファイルが壊れている可能性があります。

対処方法

CMS の一覧を再作成します。

CMS (ソースまたは出力先) にログインできませんでした。(VDS 00004)

原因

無効なユーザ名またはパスワードです。

対処方法

有効なユーザ名またはパスワードを入力します。

CMS (ソースまたは出力先) からログオフできませんでした。(VDS 00005)

原因

CMS がダウンしている可能性があります。

対処方法

しばらくしてから再試行してください。

ジョブのスケジュール中にエラーが発生しました (VDS 00006)

原因

十分な権限がないため、ジョブを保存できませんでした。

対処方法

正しい権限を設定します。

Visual Difference Server で一般的な例外が発生しました。詳細については、スタックトレースを参照してください。(VDS 00007)

原因

正確な原因については、スタックトレースを参照してください。

対処方法

スタックトレースを参照し、適切な操作を実行します。

比較アクションに失敗しました。(VDS 00008)

原因

Visual Difference サービスがダウンしている可能性があります。その他の原因については、ログを参照してください。

対処方法

Visual Difference サービスを再起動するか、ログを参照してそれに従って修正します。

ファイル "{0}" の初期化に失敗しました。(VDS 00009)

原因

FRS がダウンしている可能性があります。

対処方法

FRS を再起動します。

ファイル "{0}" へのオブジェクト一覧の設定に失敗しました。(VDS 00010)

原因

ファイルが無効か、書き込み権限がありません。

対処方法

有効なファイルを選択するか、書き込み権限を設定します。

プログラム ID = {0} の Info オブジェクトの作成に失敗しました。(VDS 00012)

原因

プログラム ID がすでに存在します。

対処方法

なし

CUID = {0} の InfoObject を取得できません。(VDS 00013)

原因

InfoObject が無効です。

対処方法

有効な InfoObject を選択します。

si_id = {0} の Info オブジェクトの作成に失敗しました。(VDS 00014)

原因

InfoObject を作成できませんでした。

対処方法

なし

プロパティ {0} に値 {1} を設定できませんでした。(VDS 00015)

原因

プロパティまたは値が無効です。

対処方法

プロパティまたは値を確認します。

プロパティ {0} の値を取得できませんでした。(VDS 00016)

原因

プロパティが存在しない可能性があります。

対処方法

プロパティを確認します。

監査ハンドラを取得中にエラーが発生しました。スタックトレースを参照してください。(VDS 00017)

原因

監査サービスがダウンしている可能性があります。

対処方法

監査サービスを再起動します。

監査イベントを追加中にエラーが発生しました。スタックトレースを参照してください。(VDS 00018)

原因

監査サービスがダウンしている可能性があります。

対処方法

監査サービスを再起動します。

監査イベント詳細を追加中にエラーが発生しました。スタックトレースを参照してください。(VDS 00019)

原因

監査サービスがダウンしている可能性があります。

対処方法

監査サービスを再起動します。

監査イベントのコミット中にエラーが発生しました。スタックトレースを参照してください。(VDS 00020)

原因

監査サービスがダウンしている可能性があります。

対処方法

監査サービスを再起動します。

有効なイベントの設定中にエラーが発生しました。スタックトレースを参照してください。(VDS 00021)

原因

監査サービスがダウンしている可能性があります。

対処方法

監査サービスを再起動します。

サポートされている監査イベントを取得中にエラーが発生しました。スタックトレースを参照してください。(VDS 00022)

原因

監査イベントが無効か、監査サービスがダウンしている可能性があります。

対処方法

監査サービスを再起動します。

有効な監査イベントを取得中にエラーが発生しました。スタックトレースを参照してください。(VDS 00023)

原因

有効な監査イベントが存在しないか、監査サービスがダウンしている可能性があります。

対処方法

監査サービスを再起動します。

監視イベントの種類の確認中にエラーが発生しました。スタックトレースを参照してください (VDS 00024)。

原因

監査サービスがダウンしている可能性があります。

対処方法

監査サービスを再起動します。

イベントオブジェクトを取得中にエラーが発生しました。スタックトレースを参照してください。(VDS 00025)

原因

イベントオブジェクトが存在しないか、監査サービスがダウンしている可能性があります。

対処方法

監査サービスを再起動します。

有効な監査イベントをクリア中にエラーが発生しました。スタックトレースを参照してください。(VDS 00026)

原因

LCM アプリケーションオブジェクト内に監査イベントのプロパティバッグが存在しない可能性があります。

対処方法

なし

ログオントークンの生成中にエラーが発生しました。スタックトレースを参照してください。(VDS 00027)

原因

CMS がダウンしている可能性があります。

対処方法

CMS を再起動します。

管理者がユーザへのアクセスを拒否したため、ソース CMS にログインできませんでした。(VDS 00028)

原因

管理者によってシステムへのユーザアクセスが拒否されました。

対処方法

システム管理者に連絡してください。

管理者がユーザへのアクセスを拒否したため、出力先 CMS にログインできませんでした。(VDS 00029)

原因

管理者によってシステムへのユーザアクセスが拒否されました。

対処方法

システム管理者に連絡してください。

VisualDiff CMS が NULL か、ログインされていません。(VDC 00001)

原因

VisualDiff CMS の詳細が入力されていないか、ユーザがログインしていません。

対処方法

VisualDiff CMS の詳細を入力するか、VisualDiff CMS にログインします。

ユーザ名が NULL または空です。(VDC 00002)

原因

ユーザ名が無効です。

対処方法

有効なユーザ名を入力します。

パスワードが NULL または空です。(VDC 00003)

原因

パスワードが無効です。

対処方法

有効なパスワードを入力します。

認証が NULL または空です。(VDC 00004)

原因

認証が入力されていません。

対処方法

認証を入力します。

フォルダ名はすでに存在しています。(VDC 00005)

原因

フォルダ名がすでに存在します。

対処方法

一意のフォルダ名を入力します。

CMS が NULL か、ログインされていません。CMS はソースと出力先のどちらかになります。(VDC 00007)

原因

CMS (ソース/出力先) の詳細が入力されていないか、ログインしていません。

対処方法

CMS (ソース/出力先) の詳細を入力するか、ソース CMS にログインします。

ソース CMS が NULL か、ログインされていません。(VDC 00008)

原因

ソース CMS の詳細が入力されていないか、ログインしていません。

対処方法

ソース CMS の詳細を入力するか、ソース CMS にログインします。

出力先 CMS が NULL か、ログインされていません。(VDC 00009)

原因

出力先 CMS の詳細が入力されていないか、ログインしていません。

対処方法

出力先 CMS の詳細を入力するか、出力先 CMS にログインします。

指定された形式ごとに日付を解析中にエラーが発生しました。(VDC 00010)

原因

スケジューラの日付セット書式が無効です。

対処方法

有効な書式で日付を設定します。

値の一覧に関するエラーメッセージ

17.1 値の一覧(LOV)に関するエラーメッセージ

値の一覧(LOV)エラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

範囲	カテゴリ
LOV0001 - LOV0002	値の一覧(LOV)

選択した値が多すぎます。(LOV0001)

原因

[クエリパネル]の値の一覧で、使用できる数より多い値を選択しようとしてしました。デフォルトでは、同時に選択できる値は99個までです。

対処方法

選択する値の数を99個以下にします。

原因

選択した値の数は99個以下ですが、上記のエラーメッセージが表示されました。これは、データベースに対応するprmファイルに制限が設定されていることを意味します。この制限は、MAX_INLIST_VALUESパラメータとして表示されます。

対処方法

このパラメータを削除するか、値を大きくします。

このユニバースを使用する権限がありません。(LOV0002)

原因

値の一覧が割り当てられているユニバースを使おうとしてしましたが、使用権がありませんでした。

対処方法

BusinessObjectsスーパーバイザに連絡し、使用できるユニバースを確認します。

17.2 値の一覧 (VAR)に関するエラーメッセージ

値の一覧 (VAR) エラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

範囲	カテゴリ
VAR0001	値の一覧(LOV)

構文エラー (VAR0001)

原因

区切り記号を使って複数の値を入力する必要があるプロンプトを使用した条件を含んだクエリを実行しましたが、区切り記号の使い方が間違っています。区切り記号は、通常セミコロン(;)またはカンマ(,)です。区切り記号は、Windows [コントロールパネル]の[地域]のオプションで設定されています。

このエラーは、間違った区切り記号の使用によるものです。プロンプトの最初に区切り記号を入力したか、2つの値の間に誤って区切り記号を2回入力した可能性があります。

対処方法

[値の入力または選択]ダイアログボックスで、それぞれの値を区切り記号で確実に区切り、値を再入力します。

Live Office (LO) エラー

Live Office エラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

範囲	カテゴリ
LO 01001 - LO 26627	Live Office エラー

18.1 LO 01000 - LO 01999

アプリケーションの準備ができていません。後でもう一度実行してください。(LO 01001)

原因

Microsoft Office アプリケーションはデータを受け付ける準備ができていません。

対処方法

後で再試行します。

最新表示時にエラーが発生しました。(LO 01003)

原因

このエラーは、次の理由で発生した可能性があります。

- 1 レポートが壊れている。
- 2 MS Word のヘッダまたはフッタ、Office 2007 PowerPoint スライドマスタなどのサポートされていない領域に Live Office オブジェクトが挿入された。
- 3 サーバにアクセスできない。

対処方法

- 1 BI 起動パッドでドキュメントを開き、有効であることを確認します。有効な場合は、Live Office の [オプション] ダイアログボックスで SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームに対してログオフおよびログオンしてから再試行するか、Microsoft Office アプリケーションを再起動してから再試行します。

- 2 Live Office オブジェクトをサポートされない領域に挿入しないようにします。
- 3 ネットワーク接続を修正するか、サーバを起動します。
- 4 エラー詳細で、詳細を確認します。

このドキュメントをアップグレードできませんでした。(LO 01004)

原因

このエラーは、以前のバージョンの Live Office で作成した Office ドキュメントをアップグレードする場合に発生します。このエラーは、次の理由による可能性があります。

- 1 レポートが壊れている。
- 2 MS Word のヘッダまたはフッタ、Office 2007 PowerPoint スライドマスタなどのサポートされていない領域に Live Office オブジェクトが挿入された。
- 3 サーバにアクセスできない。

対処方法

それぞれの原因に対して、次の操作を行います。

- 1 BI 起動パッドでドキュメントを開き、有効であることを確認します。有効な場合は、Live Office の [オプション] ダイアログボックスで SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームに対してログオフおよびログオンしてから再試行するか、Office アプリケーションを再起動してから再試行します。
- 2 Live Office オブジェクトをサポートされない領域に挿入しないようにします。
- 3 ネットワーク接続を修正するか、サーバを起動します。
- 4 エラー詳細で、詳細を確認します。

データの損失を防ぐために、Microsoft Excel ではワークシートからコンテンツを含むセルをシフトできません。(LO 01005)

原因

考えられるデータの損失を防ぐために、Microsoft Office Excel は空白でないセルをワークシートからシフトできません。

対処方法

ワークシートからシフトできるセルにデータがない場合、Excel が空白でないのみならずセルをリセットできます。それには、CTRL +End を押してワークシート上の空白でない最後のセルを探します。このセルと、このセルと最後の行および列の間にあるすべてのセルを削除してから保存します。

18.2 LO 02000 – LO 02999

セッションの作成に失敗しました。Web サービス接続を確認してください。(LO 02001)

原因

Live Office は SAP BusinessObjects Web サービスに接続することができません。ネットワーク接続が使用できないか、SAP BusinessObjects Web サービスが応答していません。

対処方法

サーバに “ping” を実行してネットワーク接続を確認します。ネットワークが正常に動作している場合は、CMC にログオンして、Web サービスが正常に動作していることを確認します。

Web サービスに接続するときにエラーが発生しました。(LO 02002)

原因

Live Office は SAP BusinessObjects Web サービスに接続することができません。ネットワーク接続が使用できないか、SAP BusinessObjects Web サービスが応答していません。

対処方法

サーバに “ping” を実行してネットワーク接続を確認します。ネットワークが正常に動作している場合は、CMC にログオンして、Web サービスが正常に動作していることを確認します。

Web サービスに接続するときにエラーが発生しました。(LO 02003)

原因

Live Office は SAP BusinessObjects Web サービスに接続することができません。ネットワーク接続が使用できないか、SAP BusinessObjects Web サービスが応答していません。

対処方法

サーバに “ping” を実行してネットワーク接続を確認します。ネットワークが正常に動作している場合は、CMC にログオンして、Web サービスが正常に動作していることを確認します。

Web サービスに接続するときにエラーが発生しました。(LO 02004)

原因

Live Office は SAP BusinessObjects Web サービスに接続することができません。ネットワーク接続が使用できないか、SAP BusinessObjects Web サービスが応答していません。

対処方法

サーバに “ping” を実行してネットワーク接続を確認します。ネットワークが正常に動作している場合は、CMC にログオンして、Web サービスが正常に動作していることを確認します。

Web サービスに接続するときにエラーが発生しました。(LO 02005)

原因

Live Office は SAP BusinessObjects Web サービスに接続することができません。ネットワーク接続が使用できないか、SAP BusinessObjects Web サービスが応答していません。

対処方法

サーバに “ping” を実行してネットワーク接続を確認します。ネットワークが正常に動作している場合は、CMC にログオンして、Web サービスが正常に動作していることを確認します。

ファイルを開くときにエラーが発生しました。(LO 02006)

原因

開いた Office ドキュメントが SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームから削除されているか、CMS と Web サービスにアクセスできません。

対処方法

- ・ Live Office の [オプション] ダイアログボックスで、SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームからログオフしてから再度ログオンします。
- ・ Office アプリケーションを閉じてから、再起動します。
- ・ BI 起動パッドで、ドキュメントが存在することを確認します。
- ・ サーバに “ping” を実行して、ネットワーク接続が正常に動作していることを確認します。また、CMC にログオンして、CMS と Web サービスが稼働していることをチェックします。

ファイルを保存するときにエラーが発生しました。(LO 02007)

原因

このエラーは、次の理由による可能性があります。

- ・ 保存先のフォルダ内でオブジェクトを変更するために必要な権限を持っていない。
- ・ CMS と Web サービスにアクセスできない。
- ・ 開いた Office ドキュメントが SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームから削除されています。

対処方法

- ・ Live Office の [オプション] ダイアログボックスで、SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームからログオフおよびログオンしてから、保存を再試行します。
- ・ Office アプリケーションを再起動して、保存を再試行します。
- ・ フォルダにアクセスするために必要な権限を持っていることを確認します。
- ・ サーバに ping を実行し、ネットワーク接続を検証します。ネットワークが正常に動作している場合は、CMC にログオンして、CMS と Web サービスが稼働中であることを確認します。
- ・ Office ドキュメントが BI 起動パッド内に存在することを確認します。

Crystal レポートのプロパティを探すときにエラーが発生しました。(LO 02008)

原因

Crystal レポートは使用できません。Crystal レポートは存在しないか、特定の場所から削除されたか、または SAP BusinessObjects Web サービスへの接続を使用できません。

対処方法

- ・ サーバにアクセスでき、Web サービスが正常に実行されていることを確認します。
- ・ BI 起動パッドで、ドキュメントが存在することを確認します。
- ・ Live Office でオブジェクトを選択し、[Web ブラウザでオブジェクトを表示] をクリックして、そのオブジェクトが開けることを確認します。開けない場合は、Live Office の [オプション] ダイアログボックスで、SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームからログオフしてから再度ログオンします。また、Office アプリケーションを閉じてから、再起動します。

サーバが使用できません。ネットワーク接続とサーバのステータスを確認してください。(LO 02009)

原因

Live Office は SAP BusinessObjects Web サービスに接続することができません。ネットワーク接続が使用できないか、SAP BusinessObjects Web サービスが応答していません。

対処方法

サーバに “ping” を実行してネットワーク接続を確認します。ネットワークが正常に動作している場合は、CMC にログオンして、Web サービスと CMS が正常に動作していることを確認します。

レポートを開いているときにエラーが発生しました。このレポートは存在していないか、ユーザがレポートを開くための十分な権限を持っていないか、または BusinessObjects Web サービスに接続できません。(LO 02010)

原因

Live Office キャッシュからドキュメントを開くことはできません。ドキュメントが存在しない、レポートに対して十分な権限を持っていない、あるいは SAP BusinessObjects Web サービスに接続できません。

対処方法

ドキュメントが存在し、BI 起動パッドで十分な権限を持っているか確認します。その場合は、Office アプリケーションを閉じてから起動し、再試行します。

レポートを保存中にエラーが発生しました。レポートは存在しないか、BusinessObjects Web サービスに接続できません。(LO 02011)

原因

Live Office キャッシュにドキュメントを保存できません。ドキュメントが存在しないか、SAP BusinessObjects Web サービスに接続できません。

対処方法

ドキュメントが BI 起動パッド内に存在するか確認します。その場合は、Office アプリケーションを閉じてから起動し、再試行します。

レポートの最新表示中にエラーが発生しました。(LO 02012)

原因

このエラーは、次の理由による可能性があります。1) Word のヘッダやフッタ、Office 2007 PowerPoint スライドマスタなど、サポートされていない領域にある描画 Live Office オブジェクト、2) レポートが壊れている、3) サーバにアクセスできない。この一覧にない場合、詳細エラーをチェックします。

対処方法

原因 1) に対しては、Live Office オブジェクトをサポートされていない領域に描画しないようにします。原因 2) に対しては、BI 起動パッドからチェックして、ドキュメントが有効であることを確認します。有効な場合は、Live Office の [オプション] ダイアログを使用して BOE に対してログオフおよびログオンしてから再試行するか、Office アプリケーションを再起動してから再試行します。原因 3) に対しては、ネットワーク接続を修正するか、サーバを起動します。前述の原因に該当しない場合は、詳細エラーコードを使用して解決方法を見つけるか、詳細の指示に従います。

行セットデータを挿入したときにエラーが発生しました。(LO 02013)

原因

このエラーは、次の理由による可能性があります。1) Word のヘッダやフッタ、Office 2007 PowerPoint スライドマスタなど、サポートされていない領域にある描画 Live Office オブジェクト、2) レポートが壊れている、3) サーバにアクセスできない。この一覧にない場合、詳細エラーをチェックします。

対処方法

原因 1) に対しては、Live Office オブジェクトをサポートされていない領域に描画しないようにします。原因 2) に対しては、BI 起動パッドからチェックして、ドキュメントが有効であることを確認します。有効な場合は、Live Office の [オプション] ダイアログを使用して BOE に対してログオフおよびログオンしてから再試行するか、Office アプリケーションを再起動してから再試行します。原因 3) に対しては、ネットワーク接続を修正するか、サーバを起動します。前述の原因に該当しない場合は、詳細エラーコードを使用して解決方法を見つけるか、詳細の指示に従います。

レポートパーツを挿入したときにエラーが発生しました。(LO 02014)

原因

このエラーは、次の理由による可能性があります。1) Word のヘッダやフッタ、Office 2007 PowerPoint スライドマスタなど、サポートされていない領域にある描画 Live Office オブジェクト、2) レポートが壊れている、3) サーバにアクセスできない。この一覧にない場合、詳細エラーをチェックします。

対処方法

原因 1) に対しては、Live Office オブジェクトをサポートされていない領域に描画しないようにします。原因 2) に対しては、BI 起動パッドでチェックして、ドキュメントが有効であることを確認します。有効な場合は、Live Office の [オプション] ダイアログを使用して BOE に対してログオフおよびログオンしてから再試行するか、Office アプリケーションを再起動してから再試行します。原因 3) に対しては、ネットワーク接続を修正するか、サーバを起動します。前述の原因に該当しない場合は、詳細エラーコードを使用して解決方法を見つけるか、詳細の指示に従います。

ページセグメントを挿入したときにエラーが発生しました。(LO 02015)

原因

このエラーは、次の理由による可能性があります。1) MS Word のヘッダやフッタ、Office 2007 PowerPoint スライドマスタなど、サポートされていない領域にある描画 Live Office オブジェクト、2) レポートが壊れている、3) サーバにアクセスできない。この一覧にない場合、詳細エラーをチェックします。

対処方法

原因 1) に対しては、Live Office オブジェクトをサポートされていない領域に描画しないようにします。原因 2) に対しては、BI 起動パッドでチェックして、ドキュメントが有効であることを確認します。有効な場合は、Live Office の [オプション] ダイアログを使用して BOE に対してログオフおよびログオンしてから再試行するか、Office アプリケーションを再起動してから再試行します。原因 3) に対しては、ネットワーク接続を修正するか、サーバを起動します。前述の原因に該当しない場合は、詳細エラーコードを使用して解決方法を見つけるか、詳細の指示に従います。

クロスタブを挿入したときにエラーが発生しました。(LO 02016)

原因

このエラーは、次の理由による可能性があります。1) MS Word のヘッダやフッタ、Office 2007 PowerPoint スライドマスタなど、サポートされていない領域にある描画 Live Office オブジェクト、2) レポートが壊れている、3) サーバにアクセスできない。この一覧にない場合、詳細エラーをチェックします。

対処方法

原因 1) に対しては、Live Office オブジェクトをサポートされていない領域に描画しないようにします。原因 2) に対しては、BI 起動パッドでチェックして、ドキュメントが有効であることを確認します。有効な場合は、Live Office の [オプション] ダイアログを使用して BOE に対してログオフおよびログオンしてから再試行するか、Office アプリケーションを再起動してから再試行します。原因 3) に対しては、ネットワーク接続を修正するか、

サーバを起動します。前述の原因のいずれにも該当しない場合は、詳細レポートのエラーコードを使用して解決方法を見つけるか、詳細の指示に従います。

Microsoft Office ドキュメントでエラーが発生しました。(LO 02017)

原因

Office SDK でエラーが発生しました。

対処方法

Office アプリケーションを閉じて、再起動します。その後、再度試してください。問題が解決しない場合は、Live Office のログファイルを保存して、SAP BusinessObjects カスタマサポートにお問い合わせください。

BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームのクエリでエラーが発生しました。(LO 02018)

原因

ネットワーク接続がないか、SAP BusinessObjects Web サービスがダウンしているため、SAP BusinessObjects Web サービスに接続できません。

対処方法

サーバに “ping” を実行してネットワーク接続を確認します。ネットワークが正常に動作している場合は、CMC にログオンして、Web サービスが稼働しているかチェックします。

Web サービスに接続するときにエラーが発生しました。(LO 02019)

原因

ネットワーク接続がないか、SAP BusinessObjects Web サービスがダウンしているため、SAP BusinessObjects Web サービスに接続できません。

対処方法

サーバに “ping” を実行してネットワーク接続を確認します。ネットワークが正常に動作している場合は、CMC にログオンして、Web サービスが稼働しているかチェックします。

Web サービスに接続するときにエラーが発生しました。(LO 02020)

原因

ネットワーク接続がないか、SAP BusinessObjects Web サービスがダウンしているため、SAP BusinessObjects Web サービスに接続できません。

対処方法

サーバに “ping” を実行してネットワーク接続を確認します。ネットワークが正常に動作している場合は、CMC にログオンして、Web サービスが稼働しているかチェックします。

データソースが見つかりませんでした。(LO 02021)

原因

Crystal レポートが使用できません。存在しないか、削除されています。

対処方法

ドキュメントが BI 起動パッドに存在しているかどうか確認するか、Live Office の [Web ブラウザでオブジェクトを表示] をクリックして存在しているか確認します。

データソースが見つかりませんでした。(LO 02022)

原因

Interactive Analysis ドキュメントが使用できません。存在しないか、削除されています。

対処方法

ドキュメントが BI 起動パッドに存在しているかどうか確認するか、Live Office の [Web ブラウザでオブジェクトを表示] をクリックして存在しているか確認します。

データソースが見つかりませんでした。(LO 02023)

原因

変更または削除されたため、ユニバースが存在しません。

対処方法

同じユーザアカウントを使用して BI 起動パッドへログオンし、ユニバースが使用できるかチェックします。

レポートの最新のインスタンスが見つかりませんでした。(LO 02024)

原因

スケジュールされた有効なドキュメントを見つけることができません。

対処方法

BI 起動パッドへログオンし、レポートのインスタンスが正常にスケジュールされているかチェックします。インスタンスが適切なレポートタイプであることを確認します。

レポートパーツビューアを初期化したときにエラーが発生しました。(LO 02025)

原因

レポートが壊れている、SAP BusinessObjects Web サービスへの接続に失敗した、または一部のビューアファイルに不一致があります。

対処方法

BI 起動パッドからドキュメントをチェックし、有効であることを確認します。解決しない場合は、Live Office の [オプション] ダイアログを使用して BOE に対してログオフおよびログオンしてから再試行するか、Office アプリケーションを閉じて再起動してから再試行します。サーバにアクセスでき、Web サービスが稼働していることを確認します。問題が解決しない場合は、Live Office を再インストールします。

レポートパーツビューアでオブジェクトを選択したときにエラーが発生しました。(LO 02026)

原因

レポートが壊れている、SAP BusinessObjects Web サービスへの接続に失敗した、または一部のビューアファイルに不一致があります。

対処方法

BI 起動パッドからドキュメントをチェックし有効であることを確認します。それでも解決しない場合は、Live Office の [オプション] ダイアログを使用して BOE に対してログオフおよびログオンしてから再試行するか、Office アプリケーションを閉じて再起動してから再試行します。サーバにアクセスでき、Web サービスが稼働していることを確認します。問題が解決しない場合は、Live Office を再インストールします。

レポートパーツを選択してください。(LO 02027)

原因

ビューア内でオブジェクトを選択していません。

対処方法

Live Office オブジェクトを選択してから、この機能を使用します。

リポジトリエクスプローラを初期化したときにエラーが発生しました。(LO 02028)

原因

リポジトリエクスプローラのコントロールをロードできません。SAP BusinessObjects Web サービスに接続できないか、一部のファイルに不一致があります。

対処方法

Office アプリケーションを閉じて再起動してから再試行します。サーバに “ping” を実行してネットワーク接続を確認します。ネットワークが正常に動作している場合は、CMC にログオンして、Web サービスが稼働しているかチェックします。問題が解決しない場合は、Live Office を再インストールします。

ビューアコントロールでエラーが発生しました。(LO 02029)

原因

レポートパーツビューアでレポートを表示しようとしているときにエラーが発生しました。ドキュメントが使用できない、あるいは一部のサーバがダウンしているか、一部のファイルに不一致があります。

対処方法

BI 起動パッドからドキュメントをチェックし有効であることを確認します。それでも解決しない場合は、Live Office の [オプション] ダイアログを使用して BOE に対してログオフおよびログオンしてから再試行するか、Office アプリケーションを閉じて再起動してから再試行します。サーバにアクセスでき、Web サービスが稼働していることを確認します。問題が解決しない場合は、Live Office を再インストールします。

パラメータコントロールでエラーが発生しました。(LO 02030)

原因

ドキュメントが使用できない、または壊れている、あるいは一部のサーバがダウンしているか、一部のファイルに不一致があります。

対処方法

BI 起動パッドからドキュメントをチェックし有効であることを確認します。それでも解決しない場合は、Live Office の [オプション] ダイアログを使用して BOE に対してログオフおよびログオンしてから再試行するか、Office アプリケーションを閉じて再起動してから再試行します。サーバにアクセスでき、Web サービスが稼働していることを確認します。問題が解決しない場合は、Live Office を再インストールします。

プロンプトダイアログからエラーが発生しました。(LO 02031)

原因

ドキュメントが使用できない、または壊れている、あるいは一部のサーバがダウンしています。

対処方法

BI 起動パッドからドキュメントをチェックし有効であることを確認します。それでも解決しない場合は、Live Office の [オプション] ダイアログを使用して BOE に対してログオフおよびログオンしてから再試行するか、Office アプリケーションを閉じて再起動してから再試行します。

クエリパネルの指定でエラーが発生しました。(LO 02032)

原因

ユニバースが使用できないまたは壊れているか、一部のサーバがダウンしています。

対処方法

BI 起動パッドからユニバースをチェックし有効であることを確認します。それでも解決しない場合は、Live Office の [オプション] ダイアログを使用して BOE に対してログオフおよびログオンしてから再試行するか、Office アプリケーションを閉じて再起動してから再試行します。サーバにアクセスでき、Web サービスが稼働していることを確認します。問題が解決しない場合は、Live Office の QP ウィザードを使用して、クエリをもう一度作成します。

フィールドの値を参照するときにエラーが発生しました。(LO 02035)

原因

このフィールドの値を取得できません。Crystal レポートが使用できないか、Crystal レポートサービスが実行されていません。

対処方法

ドキュメントが BI 起動パッドに存在するか確認します。サーバに "ping" を実行してネットワーク接続を確認します。ネットワークが正常に動作している場合、CMC にログオンして、Web サービスと Report Application Server が稼働しているかチェックします。

現在のドキュメントにオブジェクトがないため、Live Office オブジェクトのプロパティダイアログボックスを表示できません。(LO 02038)

原因

破損した Live Office オブジェクトの [プロパティ] ダイアログを表示しています。ユーザが Live Office オブジェクトを手動で変更したことが原因で、このエラーが発生した可能性があります。

対処方法

Live Office の [オブジェクトに移動] メニューの下にあるすべてのメニュー項目をクリックし、破損した Live Office オブジェクトを削除するか、Live Office オブジェクトを手動で削除してから Live Office の [オブジェクトに移動] メニューの下にあるメニュー項目をクリックします。

Web Intelligence ドキュメントのクエリの指定が無効です。(LO 02039)

原因

Office ドキュメントが壊れているか、Live Office クライアントのバージョンと SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームのバージョンに不一致があります。

対処方法

BI 起動パッドからドキュメントをチェックし有効であることを確認します。それでも解決しない場合は、Live Office の [オプション] ダイアログで BOE に対してログオフおよびログオンしてから再試行するか、Office アプリケーションを閉じて再起動してから再試行します。Live Office クライアントのバージョンと SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームのバージョンが一致していることを確認します。問題が解決しない場合は、Office ドキュメントを再作成します。

ログオン中にエラーが発生しました。(LO 02040)

原因

このエラーは、次の理由で発生した可能性があります。1) ログオン情報が正しくない、2) SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームサーバが動作していない、または Web サービスがダウンしているか、ローカルネットワーク接続が使用できない、3) 下位バージョンの Web サービスに接続している。この一覧にない場合、詳細エラーをチェックします。

対処方法

原因 1) に対しては、有効なログオン情報を入力します。原因 2) に対しては、サーバに "ping" を実行してネットワーク接続を確認します。ネットワークが正常に動作している場合は、CMC にログオンして、Web サービスが稼働しているかチェックします。問題があった場合は、ネットワーク接続を修正するか、サーバを起動します。原因 3) に対しては、正しい Web サービス URL を入力します。前述の原因に該当しない場合は、詳細エラーコードを使用して解決方法を見つけるか、詳細の指示に従います。

Live Office が正しくインストールされていません。AssemblyInfo.xml で {0} の定義が見つかりません。(LO 02041)

原因

Live Office のインストールが破損しています。

対処方法

Live Office を再インストールして再試行します。

Live Office が正しくインストールされていません。{0} のデフォルトコンストラクタの反映中にエラーが発生しました。(LO 02042)

原因

Live Office のインストールが破損しています。

対処方法

Live Office を再インストールして再試行します。

Live Office が正しくインストールされていません。クラス {0} のロード中にエラーが発生しました。(LO 02043)

原因

Live Office のインストールが破損しています。

対処方法

Live Office を再インストールして再試行します。

挿入ウィザードの初期化中にエラーが発生しました。Web サービス接続を確認してください。(LO 02044)

原因

Office ドキュメントが読み取り専用であるか、レポートが壊れています。

対処方法

Office ドキュメントが書き込み可能であることを確認します。古いオブジェクトを削除してから再インストールします。

パラメータの更新に失敗しました。(LO 02045)

原因

入力した値のタイプが、想定される値のタイプと一致していません。

対処方法

正しい値を入力します。

入力したパラメータは、必要なパラメータの種類と一致しません。(LO 02046)

原因

入力されたパラメータが、想定されるパラメータタイプと一致していません。

対処方法

パラメータタイプに一致する値を入力してください。

Live Office オブジェクトのレポートタイプに対応するインスタンスが見つかりません。(LO 02047)

原因

BI 起動パッド内にインスタンスがありません。

対処方法

対応するレポートタイプのインスタンスが BI 起動パッドに存在するか確認します。存在しない場合は、Live Office オブジェクトの対応するレポートタイプのインスタンスを再スケジュールします。

18.3 LO 26000 – LO 26999

Live Office でエラーが発生しました。(LO 26000)

原因

SAP BusinessObjects Live Office Web サービスで予期しないエラーが発生しました。

対処方法

再試行するか、Office アプリケーションを再起動してください。

SAP BusinessObjects Live Office を使用するための有効なライセンスがありません。SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームのシステム管理者に連絡してください。(LO 26003)

原因

SAP BusinessObjects Live Office Web サービスを使用するための有効なライセンスがありません。

対処方法

システム管理者に連絡して、キーコードが存在し最新であるかチェックします。

正しくないバージョンの SAP BusinessObjects Web サービスに接続しているか、または Web サービスの展開が壊れている可能性があります。(LO 26002)

原因

正しくないバージョンの SAP BusinessObjects Web サービスに接続しているか、または Web サービスの展開が壊れています。

対処方法

互換性のあるバージョンの Web サービスに接続していることを確認します。問題が解決しない場合は、SAP BusinessObjects 管理者に連絡してください。

SAP BusinessObjects Live Office Web サービスでエラーが発生しました。(LO 26004)

原因

SAP BusinessObjects Live Office Web サービスで予期しないエラーが発生しました。

対処方法

再試行するか、Office アプリケーションを再起動します。

XML の解析に失敗しました。(LO 26005)

原因

Live Office クライアントのバージョンが SAP BusinessObjects Web サービスより新しいバージョンです。

対処方法

互換性のあるバージョンの Live Office クライアントをインストールして、再試行します。

クライアントの XML がサーバの XML よりも新しいバージョンです (LO 26006)

原因

Live Office クライアントのバージョンが SAP BusinessObjects Web サービスより新しいバージョンです。

対処方法

互換性のあるバージョンの Live Office Web サービスを使用するか、前のバージョンの Live Office があればそれを有効にします。

BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームへの接続が失われました。もう一度ログオンしてください。(LO 26007)

原因

ネットワーク接続がないか、SAP BusinessObjects Web サービスがダウンしているため、SAP BusinessObjects Web サービスに接続できません。

対処方法

ネットワーク接続を修復して、再試行します。問題が解決しない場合は、SAP BusinessObjects 管理者に連絡して、サーバが稼働しているかチェックします。

現在の最新表示オプションには保存データが必要ですが、そのデータは存在しません。(LO 26008)

原因

現在の最新表示オプションには、存在しないレポートインスタンスが必要です。

対処方法

オブジェクトの最新表示オプションを変更するか、保存したデータを使用してレポートをもう一度公開します。

Web サーバのメモリが不足しています。システム管理者に連絡してください。(LO 26009)

原因

Web サーバのメモリが足りません。

対処方法

システム管理者に連絡して、Web サーバの設定をチェックします。Web サーバを再起動して、再試行します。

検索サービスで問題が発生しました。検索操作が間違っています。(LO 26010)

原因

検索サービスが応答していません。

対処方法

検索サービスが停止していないか確認してください。

Live Office で問題が発生したため、要求されたアクションを完了できません。(LO 26300)

原因

Live Office で問題が発生したため、要求されたアクションを実行できません。ご不便をおかけして申し訳ありません。

対処方法

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームサーバに対してログオフしてからもう一度ログインして、ドキュメントを再度開きます。

現在の最新表示オプションにはレポートインスタンスが必要ですが、インスタンスはありません。(LO 26301)

原因

現在の最新表示オプションには、存在しないレポートインスタンスが必要です。

対処方法

オブジェクトの最新表示オプションを変更するか、CMC を使用して新しいインスタンスをスケジュールします。

レポート接続 "{0}-{1}" が存在しません。(LO 26302)

原因

Interactive Analysis ドキュメントが使用できません。存在しないか、削除されています。

対処方法

ドキュメントが BI 起動パッドに存在するか確認するか、Live Office で [保存場所の設定] を使用してレポートソースを再定義します。

Interactive Analysis レポートエンジン Web サービスに接続できません (LO 26303)

原因

ネットワーク接続がないか、SAP BusinessObjects Web サービスがダウンしているため、SAP BusinessObjects Web サービスに接続できません。

対処方法

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームサーバへのネットワーク接続が動作していることを確認します。ネットワークが正常に動作している場合は、CMC にログオンして、Interactive Analysis Report Server が稼働しているかチェックします。

Interactive Analysis レポートエンジン Web サービスに接続できません (LO 26304)

原因

ネットワーク接続がないか、SAP BusinessObjects Web サービスがダウンしているため、SAP BusinessObjects Web サービスに接続できません。

対処方法

サーバへのネットワーク接続が動作していることを確認します。ネットワークが正常に動作している場合は、CMC にログオンして、Web サービスが稼働しているかチェックします。

永続化ビューをロードできませんでした。(LO 26307)

原因

Office ドキュメントが壊れているか、Live Office クライアントのバージョンと SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームのバージョンに不一致があります。

対処方法

最新バージョンの Live Office をインストールして、再試行します。Web サービスとクライアントのバージョン番号に整合性があるかチェックします。これは、バージョンの不一致が原因である可能性があります。

レポートパーツのタイプが {0} から {1} に変更されました。(LO 26310)

原因

この Interactive Analysis ドキュメントが使用できないか、この Interactive Analysis ドキュメントの構造が変更されています。

対処方法

この Interactive Analysis ドキュメントをもう一度挿入して、この問題が解決したか確認してください。

クエリデータを取得できませんでした (LO 26312)

原因

この Interactive Analysis ドキュメントが使用するユニバースが変更または削除された可能性があります。

対処方法

BI 起動パッドから Interactive Analysis ドキュメントをチェックし、ユニバースデータソースを確認します。

Interactive Analysis レポートパーツ出力データを取得できなかったか、データが無効です (LO 26313)

原因

ドキュメントが使用できない、または壊れている、あるいは一部のサーバがダウンしています。

対処方法

BI 起動パッドからドキュメントをチェックし、有効であることを確認します。CMC からサーバが稼働していることをチェックします。解決しない場合は、Live Office の [オプション] ダイアログで BOE に対してログオフおよびログオンしてから再試行するか、Office アプリケーションを閉じて再起動してから再試行します。

指定されたレポートからデータを最新表示するための十分な権限がありません。(LO 26314)

原因

指定されたレポートからデータを最新表示するための十分な権限がありません。

対処方法

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム管理者に連絡して、レポートを最新表示できる権限をユーザに付与します。

ドキュメント情報を取得できませんでした。(LO 26315)

原因

ドキュメント情報を取得できませんでした。詳細については、エラーメッセージ詳細を参照してください。

対処方法

レポートエンジンサービスが実行中であることを確認して、再試行します。

Live Office オブジェクトを取得できませんでした。オンラインピクチャはサポートされていません。(LO 26318)

原因

インターネットから画像をダウンロードできませんでした。

対処方法

画像をサポートされている画像に置き換えます。

指定されたレポートからデータを取得する権限がありません。(LO 26604)

原因

指定されたレポートからデータを取得するための十分な権限がありません。

対処方法

十分な権限が与えられるように、SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム管理者に問い合わせてください。

Live Office ビューが破損しています。(LO 26605)

原因

Live Office ビューアが壊れています。

対処方法

Live Office の[オブジェクトに移動]メニューの下にあるすべての Live Office オブジェクトをクリックして、破損した Live Office オブジェクトを削除します。

最新表示に失敗しました。ビューの最新表示オプションは存在しません。(LO 26606)

原因

現在の最新表示オプションには、存在しないレポートインスタンスが必要です。

対処方法

このレポートの最新表示オプションをチェックして、再試行します。または、Live Office ビューにスケジュールされたインスタンスが存在するかチェックします。

Crystal Reports Server にアクセスできません。Crystal Reports Server の接続を確認してください。(LO 26607)

原因

Crystal レポートサーバにアクセスできません。ネットワーク接続または Crystal レポートサーバがダウンしている可能性があります。

対処方法

Crystal レポートサーバへの接続を確認します。ネットワークが正常に動作している場合は、CMC にログオンして、Crystal レポートサーバが稼働しているかチェックします。

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームのオブジェクトが見つかりません。(LO 26608)

原因

ドキュメントが使用できません。たとえば、ドキュメントが存在しなかったり、削除されていたりします。

対処方法

CMS からのレポートパスをチェックし、Live Office の SetLocation を使用してレポートソースを再定義します。または、オブジェクトを表示するための十分な権限をユーザが持っているかチェックします。

レポート接続が存在しません。(LO 26610)

原因

Crystal レポートサーバにアクセスできません。ネットワーク接続がないか、Crystal レポートサーバがダウンしている可能性があります。

対処方法

Crystal レポートサーバへの接続を確認します。ネットワークが正常に動作している場合は、CMC にログオンして、Web サービスが稼働しているかチェックします。

パラメータ値“{0}”を“{2}”ロケール内の“{1}”に解析できませんでした。(LO 26611)

原因

この値は、このフィールドの必要な値のタイプと一致しません。

対処方法

値を必要なタイプに変更して、再試行します。

Crystal レポートを解析できませんでした。(LO 26612)

原因

ドキュメントが BI 起動パッド内に存在しないか、SAP BusinessObjects Web サービスに接続できません。

対処方法

ドキュメントが BI 起動パッド内に存在するか確認します。存在する場合は、Office アプリケーションを閉じてからもう一度起動し、再試行します。

お使いの Live Office クライアントのバージョンが、SAP BusinessObjects Web サービスのバージョンと一致していません。(LO 26613)

原因

Live Office クライアントが SAP BusinessObjects Web サービスと一致しません。

対処方法

正しいバージョンの Live Office クライアントをインストールして、再試行します。

Crystal Reports Server にアクセスできません。Crystal Reports Server の接続を確認してください。
(LO 26614)

原因

Crystal レポートサーバにアクセスできません。ネットワーク接続または Crystal レポートサーバがダウンしている可能性があります。

対処方法

Crystal レポートサーバへの接続を確認します。ネットワークが正常に動作している場合は、CMC にログオンして、Crystal レポートサーバが稼働しているかチェックします。

ビューの表示に失敗しました。レポート CUID {0} が見つかりません。(LO 26615)

原因

レポートが見つかりません。このレポートは存在しない可能性があります。

対処方法

CMC を使用して、レポートが存在することを確認します。レポートインスタンスまたは保存されたデータがソースレポートから削除されていないことを確認します。

セルはすでに存在します。(LO 26616)

原因

既存のオブジェクトを上書きしてしまうため、新しいビューは挿入できません。

対処方法

別のセルを選択して、再試行します。

入力された値は必要なフィルタタイプではありません。(LO 26617)

原因

フィルタが無効です。フィルタタイプが値のタイプと一致しません。

対処方法

CMC を使用してフィルタを変更するか、Live Office のフィルタ設定を変更します。

レポートを開けませんでした。(LO 26619)

原因

Crystal レポートサーバにアクセスできません。ネットワーク接続または Crystal レポートサーバがダウンしているか、レポートが存在しない可能性があります。

対処方法

Crystal レポートサーバへの接続を確認します。ネットワークが正常に動作している場合は、CMC にログオンして、Crystal レポートサーバが稼働しているかチェックします。

永続化ビューをロードできませんでした。(LO 26620)

原因

Live Office クライアントのバージョンが SAP BusinessObjects Live Office Web サービスバージョンと一致しません。

対処方法

最新バージョンの Live Office Web サービスをインストールして、再試行します。SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム Web サービスおよびクライアントのバージョン番号を確認します。このエラーは、下位互換性の問題が原因で発生する可能性があります。

この種類のレポートオブジェクトはサポートされていません。(LO 26621)

原因

この種類のレポートオブジェクトはサポートされていません。

対処方法

別のレポートパーツオブジェクトを挿入します。

指定されたレポートパーツを最新表示できませんでした。指定されたデータコンテキストが存在するか確認してください: {0}。(LO 26626)

原因

指定されたレポートパーツを取得できませんでした。このレポートパーツは存在しない可能性があります。

対処方法

BI 起動パッドでレポートを表示して、レポートパーツが見つからないかチェックします。

見つからないパーツ: (LO 26627)

原因

指定された TopN レポートパーツを取得できませんでした。このレポートパーツは存在しない可能性があります。

対処方法

BI 起動パッドでレポートを表示して、レポートパーツが見つからないかチェックするか、別のレポートパーツを選択して再試行します。

現在のバージョンは SAP KeyDate 機能をサポートしていません。(LO 26630)

原因

現在のバージョンは、SAP のキー日付機能をサポートしていません。

対処方法

1. 新しいバージョンにアップグレードする。
2. キー日付ユニバースのある Interactive Analysis レポートは使用しない。
3. キー日付のないレポートに場所を設定する。

Crystal Reports Java 形式はサポートされていません。(LO 26631)

原因

Crystal Reports for Enterprise を使用して作成された Crystal レポートはサポートされていません。

対処方法

別のレポートを選択してください。

メタデータブリッジおよびユニバースビルダ (MDB) エラーメッセージ

メタデータブリッジおよびユニバースビルダには、次のエラーメッセージカテゴリがあります。

範囲	カテゴリ
MDB 00001	メタデータブリッジおよびユニバースビルダ

このユニバースは解析できません。¥nユニバースデザインの確認が必要な場合があります。(MDB 00001)

原因

オブジェクトを解析できないため、ブリッジはユニバースを生成できません。

対処方法

ユニバース設計を確認して、オブジェクトを簡素化します。

SAP BusinessObjects Mobile (MOB) のエラーメッセージ

SAP BusinessObjects Mobile エラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

範囲	カテゴリ
MOB 00001 – MOB 00305 MOB 02003 – MOB 02121	Mobile サーバのエラーメッセージ
MOB 10001 – MOB 10909	Mobile クライアントのエラーメッセージ
MOB 20001 – MOB 20016	Mobile サーバ設定ツールのエラーメッセージ

20.1 Mobile サーバのエラーメッセージ

認証情報: {0} が無効です。ログイン情報が正しいことを確認してください。(MOB 00001)

原因

認証情報が無効です。

対処方法

接続設定を確認し、有効な情報を使用してログインします。

{0} 認証により、ログオンできませんでした。ログイン情報が正しいことを確認してください。(MOB 00002)

原因

認証情報が無効です。

対処方法

指定した認証の種類に対して有効なユーザ名とパスワードを入力します。

{0} ドキュメントを開けませんでした。(MOB 00005)

原因

ドキュメントトランスレータが見つかりません。Enterprise 管理者にお問い合わせください。

対処方法

指定したドキュメントの種類に対してドキュメントトランスレータが使用できることを確認します。

ドキュメントがサーバに存在しません。(MOB 00006)

原因

すでにサーバ上で削除されたドキュメントを開こうとしています。

対処方法

ドキュメント一覧を最新表示し、サーバから最新のドキュメント一覧を取得します。

コマンドの作成中に内部サーバエラーが発生しました。管理者に連絡してください。(MOB 00009)

原因

メッセージクラスの種類のカストが無効なため、コマンドを作成できません。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

クライアントから受信した情報に基づいてセッションを作成できませんでした。(MOB 00010)

原因

クライアントから受信した情報のセッションを作成できませんでした。

対処方法

再度ログインします。

ドキュメントのプロンプトが見つかりません。(MOB 00011)

原因

ドキュメントのプロンプトが見つかりません。

対処方法

詳細については、ドキュメント設計者に問い合わせてください。

Central Management Server からの情報の取得中に内部サーバエラーが発生しました。(MOB 00012)

原因

Central Management Server (CMS) からの情報の取得中に、内部サーバエラーが発生しました。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

クライアント要求の処理中に内部サーバエラーが発生しました。(MOB 00014)

原因

クライアント要求でクラス情報が見つかりませんでした。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

ドキュメントを開く際に内部サーバエラーが発生しました。サーバでクラス {0} が見つかりませんでした。(MOB 00015)

原因

WebParser.jar 内にクラスが見つかりません。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

内部エラーが発生しました。- {0} サービスが見つかりませんでした。(MOB 00018)

原因

アクセスしようとしているサービスが見つかりません。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

{0} サービスの作成中に内部エラーが発生しました。(MOB 00019)

原因

サービスの作成中に内部エラーが発生しました。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

クライアント要求の処理中に内部サーバエラーが発生しました。(MOB 00020)

原因

リモートメソッドの呼び出しに失敗しました。引数のタイプと引数の名称の値が同じである必要があります。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

クライアント要求の処理中に内部サーバエラーが発生しました。(MOB 00021)

原因

リモートメソッドの呼び出しに失敗しました。宣言されたメソッドで使用できる引数は、論理型、Int 型、Double 型、または java.lang.String 型のみです。それ以外のデータ型はサポートされていません。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

クライアント要求の処理中に内部サーバエラーが発生しました。(MOB 00022)

原因

MobiVaultusServer.jar 内の command_factories.properties ファイルが壊れています。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

クライアント要求の処理中に内部サーバエラーが発生しました。(MOB 00023)

原因

リモートメソッドの呼び出しに失敗しました。従来の型の 1 つに渡された引数を変換できません。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

ドキュメントアラートを購読する権限がありません。(MOB 00024)

原因

ドキュメントアラートを購読する権限がありません。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

デバイスのローカルストアにドキュメントを保存する権限がありません。[ローカルコピーの保存] オプションを選択せずに、アラートを購読することができます。(MOB 00026)

原因

デバイスのローカルストアにドキュメントを保存する権限がありません。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

デバイスのローカルストアにドキュメントを保存する権限がありません。(MOB 00027)

原因

デバイスのローカルストアにドキュメントを保存する権限がありません。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

検索の実行中に内部サーバエラーが発生しました。(MOB 00028)

原因

検索の実行中に内部サーバエラーが発生しました。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

クライアント要求の処理中に内部サーバエラーが発生しました。(MOB 00029)

原因

要求されたメソッドは存在しません。詳細については、ログを参照してください。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

セッションの期限が切れています。再度ログインしてください。(MOB 00030)

原因

クライアントからのログイン認証情報の受信中にセッションの有効期限が切れました。

対処方法

アプリケーションを終了して、再度ログインします。

セッションの期限が切れています。再度ログインしてください。(MOB 00031)

原因

クライアントからログイン認証情報の受信中に内部サーバエラーが発生しました。

対処方法

アプリケーションを終了し、もう一度ログインします。

受信したセッションデータの確認中に、メッセージブッシュが失敗しました。(MOB 00050)

原因

ネットワークを使用できないため、メッセージブッシュが失敗しました。

対処方法

受信したセッションデータの形式を確認します。

クライアント要求の処理中に内部サーバエラーが発生しました。(MOB 00060)

原因

要求されたアクションをサーバで公開できなかったため、内部サーバエラーが発生しました。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

クライアント要求の処理中に内部サーバエラーが発生しました。(MOB 00080)

原因

内部エラーのため、コマンドの実行に失敗しました。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

クラス {0} のインスタンスの作成中に内部サーバエラーが発生しました。(MOB 00110)

原因

無効な情報のため、クラスのリモート呼び出しに失敗しました。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

クライアント要求の処理中に内部サーバエラーが発生しました。(MOB 00130)

原因

無効なメソッド情報のため、メソッドのリモート呼び出しに失敗しました。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

内部サーバエラーが発生しました。ファイル {0} が見つからないか、サーバでファイルが破損しています。(MOB 00300)

原因

要求されたファイルが見つからないか、ファイルが破損しています。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

セッションの期限が切れています。ドキュメントを開くには再ログインしてください。(MOB 02003)

原因

セッションの有効期限が切れている。

対処方法

setInfoObjects メソッドおよび setSession メソッドが openDocumentInstance の前に呼び出されているか確認し、再度ログインします。

パラメータの範囲が無効であるため、プロンプトの実行が失敗しました。(MOB 02017)

原因

プロンプト値のパラメータの範囲には 2 つのパラメータが含まれている必要があります。

対処方法

有効な範囲値を入力してプロンプトを実行します。

URL {0} に無効な文字が含まれているため、要求されたアクションを実行できません。(MOB 02090)

原因

URL に無効な文字が含まれています。

対処方法

ドキュメントのデザイナーにお問い合わせください。

プロンプト値が無効です。適切な書式の日付を入力してください。(MOB 02100)

原因

文字列を日付の書式に変換できませんでした。

対処方法

プロンプトに入力した日付が有効な書式であることを確認します。

無効な <href> タグの構文のため、要求されたアクションを実行できません。(MOB 02120)

原因

HTML の <href> タグの構文が無効です。

対処方法

ドキュメントのデザイナーにお問い合わせください。

20.2 Mobile クライアントのエラーメッセージ

要求されたフォルダが見つかりません。(MOB 10004)

原因

要求されたフォルダはサーバ上で削除された可能性があります。

対処方法

要求されたフォルダがリポジトリ内で使用できるか確認します。

要求されたアクションを実行できません。(MOB 10005)

原因

サーバから受信したデータが無効なため、要求されたアクションを実行できません。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

ローカルドキュメントを開けません。(MOB 10006)

原因

サーバから受信したデータが無効なため、要求されたアクションを実行できません。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

進行中の操作を突然キャンセルしました。(MOB 10007)

原因

ユーザが操作をキャンセルしました。

対処方法

対処の必要はありません。

ログイン認証情報が無効です。正しい認証情報を使用してログインしてください。(MOB 10008)

原因

ログイン認証情報が無効です。

対処方法

有効な認証情報を使用してログインします。

ログイン時にエラーが発生しました。(MOB 10009)

原因

ネットワークを使用できないため、エラーが発生しました。

対処方法

再度ログインします。

レポートが見つかりません。(MOB 10010)

原因

要求されたレポートはリポジトリ内に見つかりません。

対処方法

要求されたレポートがリポジトリ内で使用できるか確認します。

データ接続を更新できませんでした。(MOB 10011)

原因

データ接続を更新できませんでした。

対処方法

アプリケーションを終了し、もう一度ログインします。

デバイスの電子メールアカウントが見つかりません。(MOB 10012)

原因

電子メールアカウントがデバイス上に見つかりません。

対処方法

デバイス上で電子メールアカウントを設定します。

デバイスプラットフォームが要求されたアクションをサポートしていません。(MOB 10013)

原因

デバイスプラットフォームが要求されたアクション (メール/呼び出し/URL) をサポートしていません。

対処方法

デバイスプラットフォームが要求されたアクションをサポートしているか確認します。

通話を発信できません。(MOB 10030)

原因

デバイスプラットフォームが呼び出しアクションをサポートしていません。

対処方法

デバイスプラットフォームが要求されたアクションをサポートしているか確認します。

内部エラーが発生したため、レポートを最新表示できません。(MOB 10031)

原因

内部エラーのため、レポートを最新表示できません。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

内部エラーが発生したため、アプリケーションを終了できませんでした。(MOB 10032)

原因

同期プロセスのキャンセル中に内部エラーが発生しました。

対処方法

アプリケーションを終了して、再試行します。

フォルダで {0} ドキュメントを検索できませんでした。(MOB 10033)

原因

要求されたレポートはフォルダ内に見つかりません。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

要求されたフォルダでフォルダを検索できませんでした。(MOB 10034)

原因

要求されたフォルダでフォルダの検索が失敗しました。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

要求されたアクションを実行できませんでした。(MOB 10035)

原因

通信サービスが初期化されていません。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

ドキュメントを電子メールとして送信する権限がありません。(MOB 10037)

原因

ドキュメントを電子メールとして送信する権限がありません。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

内部エラーが発生しました。通知を送信できません。(MOB 10039)

原因

アラートの種類は警告、エラー、または情報である必要があります。その他のすべての種類はサポートされていません。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

SAP BusinessObjects Mobile アプリケーションにログオンする権限がありません。(MOB 10040)

原因

SAP BusinessObjects Mobile アプリケーションにログオンする権限がありません。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

クライアントが画面 {0} をサポートしていません。(MOB 10042)

原因

サポートされていない画面をクライアントアプリケーションから取得しようとしています。

対処方法

作成している画面がクライアントでサポートされているか確認します。

要求されたナビゲーション方向はサポートされていません。(MOB 10043)

原因

Mobile アプリケーションは 上/下/左/右方向のみをサポートしています。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

ドキュメントインスタンス情報を取得できません。(MOB 10044)

原因

ドキュメントインスタンス情報を取得できません。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

{0} クラスのリモート呼び出し中に内部エラーが発生しました。(MOB 10045)

原因

クラスのインスタンスを作成できませんでした。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

レポートを開いているときに内部エラーが発生しました。(MOB 10046)

原因

レポートを解析できませんでした。オブジェクト参照が DOM のハッシュテーブル内に見つかりません。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

レポートを開いているときにエラーが発生しました。(MOB 10047)

原因

サーバから受信したチャートのデータが無効です。オブジェクトチャート内のサイクルが検出されました。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

フォルダを開けません。(MOB 10048)

原因

Enterprise リポジトリからドキュメントインスタンスの一覧の情報を取得できません。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

ドキュメントに埋め込まれたアクション URL の書式が正しくありません。(MOB 10050)

原因

ドキュメントに埋め込まれたアクション URL の書式が正しくありません。

対処方法

ドキュメントのデザイナーにお問い合わせください。

要求されたアクションを実行できませんでした。(MOB 10071)

原因

ドキュメントの同期が進行中のため、要求されたアクションを実行できませんでした。

対処方法

同期が完了してからアクションを実行します。

許可されていない操作 (MOB 10081)

原因

通信サービスが初期化されていません。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

サーバからのデータの読み込み中に内部エラーが発生しました。(MOB 10090)

原因

サーバからデータを読み取り中に内部エラーが発生しました。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

ネットワークエラーが発生したため、ローカルストアを修復できません。(MOB 10100)

原因

ネットワークエラーのため、完全なデータ復旧を実行できません。

対処方法

Mobile サーバに接続できるか確認します。

レポートの要求されたページがサーバに見つかりません。(MOB 10110)

原因

レポートの要求されたページは削除された可能性があるため、サーバ上に見つかりません。

対処方法

リポジトリをチェックして、要求されたページが存在するか確認します。

内部エラーが発生しました。アプリケーションを開始できませんでした。(MOB 10120)

原因

Service Binder 情報が見つかりません。J2MEServiceBinderImpl クラスを開始できません。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

画面での UI コントロールの管理中にエラーが発生しました。(MOB 10130)

原因

サポートされていないコントロールを追加または置換中に、エラーが発生しました。

対処方法

追加または置換するコントロールがプラットフォームでサポートされているか確認します。

認証情報が無効です。(MOB 10140)

原因

認証情報が無効です。

対処方法

指定した認証情報に対してユーザ名とパスワードが有効か確認します。

内部エラーが発生しました。(MOB 10150)

原因

取得したデータ形式が無効です。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

データ同期中にエラーが発生しました。(MOB 10160)

原因

データの同期中にエラーが発生しました。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

ログインに失敗しました。再度ログインしてください。(MOB 10170)

原因

ネットワークを使用できないため、サーバに接続できません。

対処方法

ネットワークに接続していることを確認し、もう一度ログインします。

同期プロセスが進行中であるため、ドキュメントを削除できません。(MOB 10180)

原因

同期プロセスが進行中のため、ドキュメントを削除できません。

対処方法

同期が完了してからドキュメントを削除します。

レポートを開いているときに内部エラーが発生しました。(MOB 10190)

原因

オブジェクト参照を DOM のハッシュテーブルに復元できませんでした。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

内部エラーが発生したため、SMS を送信できませんでした。(MOB 10200)

原因

内部エラーのため、SMS を送信できませんでした。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

要求されたアクションはサポートされていません。(MOB 10210)

原因

要求されたアクションはサポートされていません。

対処方法

ドキュメントのデザイナーにお問い合わせください。

アプリケーションを起動できませんでした。(MOB 10220)

原因

MIDlet 情報がないため、アプリケーションを開始できませんでした。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

ログインに失敗しました。Mobile サーバに接続できません。(MOB 10230)

原因

ログインに失敗しました。Mobile サーバに接続できません。

対処方法

Mobile サーバが動作しているか、Mobile サーバを正しく設定しているか確認します。

オフラインモードであるため、サーバから情報を取得できません。(MOB 10300)

原因

オフラインモードであるため、サーバから情報を取得できません。

対処方法

アプリケーションにログインします。

Mobile サーバに接続できません。(MOB 10400)

原因

ネットワークに問題があるため、Mobile サーバとの通信中にエラーが発生しました。

対処方法

ネットワーク接続を確認します。

画面での UI コントロールの管理中にエラーが発生しました。(MOB 10500)

原因

サポートされていないコントロールを追加または置換中に、エラーが発生しました。

対処方法

追加または置換するコントロールがプラットフォームでサポートされているか確認します。

インプットが選択されていません。要求はキャンセルされました。(MOB 10600)

原因

画面で入力を選択されていません。

対処方法

必要な入力を選択します。

要求されたアクションの実行中に内部エラーが発生しました。(MOB 10700)

原因

モバイルデバイスでユーザインタフェース (画面) を初期化中に、エラーが発生しました。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

セッションの期限が切れています。再度ログインしてください。(MOB 10800)

原因

セッションの期限が切れているか、ネットワークが使用できません。

対処方法

再度ログインします。

要求された操作はサポートされていません。(MOB 10900)

原因

サポートされていないレポートの一部を表示しようとしています。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

クエリテクニックエラー

クエリテクニックのエラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

範囲	カテゴリ
QTJ00500 – QTJ00520	クエリエラー

予期しない列挙形 {0} です。(QTJ 00501)

原因

宣言されたものの、処理されていない新しい列挙型がありました。

対処方法

正しい列挙型を宣言したか確認します。互換性のないオブジェクトタイプは通常、このエラーの原因となります。

ネストされた @aggregate_aware 関数はサポートされていません。(QTJ 00510)

原因

ネストされた @Aggregate_Aware 関数がクエリに含まれています。この操作はサポートされていません。

対処方法

ネストされた @Aggregate_Aware オブジェクトへの参照を削除します。

循環参照: @Select および @Where の呼び出しを確認してください (QTJ 00511)

原因

式内の @Select または @Where の呼び出しがそれ自体を参照しています。この操作は許可されていません。

対処方法

@Select および @Where の呼び出しの定義をチェックして、スクリプトを修正します。

@Select 参照が正しくありません。

@Select 宣言の定義を確認してください。(QTJ 00512)

原因

@Select 文にエラーが含まれています。

対処方法

クエリおよび @Select 文をチェックし、すべてのエラーを修正します。

@Where 参照が正しくありません。

@Where 宣言の定義を確認してください。(QTJ 00513)

原因

クエリ内の @Where 文にエラーが含まれています。

対処方法

クエリおよび @Where 文に、エラーまたは非互換がないか確認します。

@Prompt 参照が正しくありません。@Prompt 宣言の有効性を確認してください。@Prompt エディタを使用してください。(QTJ 00514)

原因

クエリ内の @Prompt 文にエラーが含まれています。

対処方法

クエリおよび @Prompt 文に、エラーまたは非互換がないか確認します。

階層参照が不正です。(QTJ 00515)

原因

クエリ内で宣言された階層にエラーが含まれています。

対処方法

クエリ式にエラーがないか確認します。

Query as a Web Service (QWS) エラーメッセージ

Query as a Web Service エラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

範囲	カテゴリ
00001-00011	QWS
02718-02719	QWS

ヘルプファイルが見つかりません:¥n{0} (QWS 00001)

原因

ヘルプファイルが想定される場所にインストールされていません。

アクション

QaaWS 製品を再インストールします。

サーバ名と証明書名が一致しません (QWS 00002)

原因

エラーは、サーバ上の HTTPS の設定および証明書の有効性とリンクされています。

アクション

サーバ名と証明書の有効性をチェックします。

HTTPS 証明書の発行者は信頼できません (QWS 00003)

原因

エラーは、サーバ上の HTTPS の設定および証明書の有効性とリンクされています。

アクション

サーバ名と HTTPS 証明書の有効性をチェックします。

指定した Web サービス URL は更新されていません。管理者に問い合わせるか、Query as a Web Service のマニュアルを参照してください。(QWS 00004)

原因

QaaWS Web サービスがサーバ上にインストールされていません。

アクション

QaaWS Web サービスがサーバ上にインストールされていることをチェックします。

XML コンテンツのクエリの指定が無効です (QWS 00005)

原因

コンシューマアセンブリが壊れているか、互換性がないため、CMS に保存されているクエリをロードできません。

アクション

Web Service DSWS ファイルまたは *.dll ファイルが壊れていないことと、無効なバージョンでないことをチェックします。壊れている場合は、再インストールする必要があります。

結果オブジェクトのデータ型は認識されません: {0} (QWS 00006)

原因

Query as a Web Service がサポートするのは、時間、文字列、数値のデータ型のみです。

アクション

データソースをチェックして、サポートされている上の一覧にデータ型が準拠していることを確認します。

サーバにログオンする必要があります (QWS 00007)

原因

Web サービスを呼び出そうとしていますが、ログインしていません。

アクション

まず Query as a Web Service をホストしているサーバにログインする必要があります。

レポートエンジン Web サービスのプロキシが使用できません。Web サービスの呼び出しは成功していません。(QWS 00008)

原因

Query as a Web Service を呼び出そうとしていますが、サーバに接続していません。

アクション

ネットワークに接続していることを確認し、少し待ってから、もう一度実行します。

プロンプト選択中のエラー (QWS 00009)

原因

Query as a Web Service の呼び出しに失敗しました。これは、レポートの値の一覧 (LOV) の取得時に発生する場合があります。次の原因が考えられます。

- ・ サーバがダウンしている。
- ・ サーバがタイムアウトした。
- ・ 接続上の問題がある。

アクション

サーバがアクティブであること、タイムアウトパラメータが十分な値であること、サーバが応答していることを確認します。

コンテキストの選択中に問題が発生しました (QWS 00010)

原因

Query as a Web Service の呼び出しに失敗しました。これは、ユニバースからのクエリコンテキストの取得時によく発生します。次の原因が考えられます。

- ・ サーバがダウンしている。
- ・ サーバがタイムアウトした。
- ・ 接続上の問題がある。

アクション

サーバがアクティブであること、タイムアウトパラメータが十分な値であること、サーバが応答していることを確認します。

データソースのリストをロードできません (QWS 00011)

原因

Query as a Web Service はデータソースの一覧にアクセスできません。

アクション

アプリケーションを閉じて、再起動します。

クエリを設計または編集する権限がありません。¥¥¥n管理者に連絡してください。(QWS 02718)

原因

ログインしようとしているユーザには、Query as a Web Service にアクセスする権限がありません。

アクション

管理者に連絡して、CMC 内で対応する権限を付与してもらいます。

エクスプローラ (PS) エラーメッセージ

エクスプローラのエラーメッセージは、以下の番号カテゴリにグループ化されています。

エラーメッセージの番号範囲	説明
PS 10000 ～ PS 15010	カテゴリは、整理する目的のためだけに定義されています。エクスプローラのエラーメッセージは、カテゴリ内でテーマごとにグループ化されています。
PS 20000 ～ PS 20015	
PS 30000 ～ PS 30020	
PS 40000 ～ PS 40010	
PS 50000 ～ PS 50310	
PS 60000 ～ PS 60310	

23.1 PS 10001 – PS 15010

システムにログオンできません。(PS 10001)

原因

システムにログオンできませんでした。

対処方法

ログオン情報が正しいかどうか確認してください。

トークンが無効なので、システムにログオンできません。(PS 10002)

原因

渡されたトークンを使用してシステムにログオンできませんでした。

対処方法

ログオン情報が正しいかどうか確認してください。

ログオン認証情報が見つからないので、システムにログオンできません。(PS 10003)

原因

一部のログオン情報が見つからなかったため、システムにログオンできませんでした。

対処方法

ログオン情報が正しいかどうか確認してください。

Explorer Web アプリケーションで、受信した Web クライアント要求から Explorer サービスを取得できませんでした。(PS 10004)

原因

Polestar の Web アプリケーションが、受信した Web クライアント要求から Polestar サービスを取得できませんでした。

対処方法

Explorer サーバのバージョンと Explorer の Web アプリケーションのバージョンとの同期が取れていることを確認します。または、要求を手動で構築している場合は、定義済みの形式が正しく使用されていることを確認してください。

現在のユーザプロファイルでは、その要求を実行できません。(PS 10005)

原因

ユーザプロファイルでは、その要求の実行が許可されていません。

対処方法

そのアクションを実行するために必要な権限があることを確認してください。

Explorer でサービスを取得できませんでした。(PS 10006)

原因

Explorer でサービスを取得できませんでした。

対処方法

詳細については、詳細エラーを参照してください。

Explorer がサービスロケータを初期化できませんでした。(PS 10007)

原因

Explorer でサービスロケータを初期化できませんでした。

対処方法

詳細については、詳細エラーを参照してください。

Explorer がその設定を取得できませんでした。(PS 10008)

原因

Explorer で設定を取得できませんでした。

対処方法

詳細については、詳細エラーを参照してください。

ログオン中にエラーが発生しました。(PS 15002)

原因

対処方法

詳細については、例外の詳細を確認してください。

SSO 設定ファイルで文字列プロパティ '{0}' が見つかりません。(PS 15003)

原因

SSO 設定ファイルに文字列プロパティがありません。

対処方法

SSO 設定ファイルを編集してください。

SSO 設定ファイルで論理値プロパティ '{0}' が見つかりません。(PS 15004)

原因

SSO 設定ファイルに論理値プロパティがありません。

対処方法

SSO 設定ファイルを編集してください。

SSO 設定ファイルでリストプロパティ '{0}' が見つかりません。(PS 15005)

原因

SSO 設定ファイルにリストプロパティがありません。

対処方法

SSO 設定ファイルを編集してください。

ログオンに必要な認証情報が見つかりませんでした。(PS 15006)

原因

自動ログインに必要な情報が見つかりませんでした。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

23.2 PS 20000 ~ PS 20015

データソースファイルが見つかりませんでした。(PS 20001)

原因

データソースファイルが見つかりませんでした。

対処方法

情報スペースにリンクしているデータソースファイルが存在することを確認してください。

ユニバースの読み込み中にエラーが発生しました。(PS 20002)

原因

ユニバースを読み取るときにエラーが発生しました。

対処方法

詳細については、例外の詳細を確認してください。

CMS (Central Management Server) からのユニバースの取得中にエラーが発生しました。(PS 20003)

原因

CMS からユニバースツリーを取得するときにエラーが発生しました。

対処方法

詳細については、例外の詳細を確認してください。

情報スペースが見つかりませんでした。(PS 20004)

原因

情報スペースが見つかりませんでした。

対処方法

情報スペースが存在していること、および情報スペースにアクセスするために必要な権限を持っていることを確認してください。確認できない場合、別のユーザによって削除された可能性があります。

情報スペースのプロパティを読み込むことができません。(PS 20005)

原因

情報スペースプロパティが読み取れません。

対処方法

情報スペースが存在していること、および情報スペースにアクセスするために必要な権限を持っていることを確認してください。確認できない場合、別のユーザによって削除された可能性があります。

情報スペースを取得して [ホーム] タブに表示できません。(PS 20006)

原因

情報スペースのナビゲーションインデックス一覧を取得できません。

対処方法

詳細については、エラーの詳細を参照してください。

インデックス化を開始できません。(PS 20007)

原因

インデックス処理を開始できません。

対処方法

詳細については、エラーの詳細を参照してください。

要求されたリソースでロックを取得できません。(PS 20008)

原因

要求されたリソースのロックを取得することができません。

対処方法

詳細については、エラーの詳細を参照してください。

要求されたリソースのロックを解除できません。(PS 20009)

原因

要求されたリソースのロックを解除することができません。

対処方法

詳細については、エラーの詳細を参照してください。

ログオフ中にエラーが発生しました。(PS 20010)

原因

ログオフ中にサーバエラーが発生しました。

対処方法

詳細については、エラーの詳細を参照してください。

インデックス化タスクのスケジュール中にサーバでエラーが発生しました。(PS 20011)

原因

インデックス化タスクのスケジュール中に、サーバエラーが発生しました。

対処方法

詳細については、エラーの詳細を参照してください。

ユーザプロフィールの取得中にエラーが発生しました。(PS 20012)

原因

ユーザプロフィールの計算中に、サーバエラーが発生しました。

対処方法

詳細については、エラーの詳細を参照してください。

インデックス化タスクのキャンセル中にサーバエラーが発生しました。(PS 20013)

原因

インデックス化タスクのキャンセル中に、サーバエラーが発生しました。

対処方法

詳細については、エラーの詳細を参照してください。

23.3 PS 30000 ~ PS 30020

情報スペース名は空白にできません。(PS 30001)

原因

情報スペース名に入力が必要です。

対処方法

情報スペース名が空でないことを確認してください。

同じ名前の情報スペースがすでに存在します。(PS 30002)

原因

同じ名前の情報スペースがすでに存在します。

対処方法

この情報スペースの名前が他の既存の情報スペースの名前と異なることを確認してください。

リポジトリにアクセスできません。(PS 30003)

原因

リポジトリにアクセスできません。

対処方法

CMS が実行中であることを確認してください。

ディメンションまたはメジャーを指定せずに情報スペースを作成することはできません。(PS 30004)

原因

ディメンションまたはメジャーを指定せずに情報スペースを作成することはできません。

対処方法

情報スペースのオブジェクトに少なくとも 1 つのディメンションと 1 つのメジャーを追加したことを確認してください。

情報スペースのスケジュールのパスワードを確認できませんでした。(PS 30005)

原因

情報スペースのスケジュールのパスワードを確認できませんでした。

対処方法

情報スペースのスケジュールの認証情報が正しいことを確認してください。

オブジェクトのテスト中に、クエリが複数のレコードセットを返します。(PS 30006)

原因

クエリが複数のフローを返します。

対処方法

情報スペース定義に追加されたユニバースオブジェクトを確認して変更してください。

オブジェクトのテスト中に、クエリで Web Intelligence レポートエンジンの例外が生成されました。(PS 30007)

原因

クエリで WebI レポートエンジンの例外が生成されました。

対処方法

情報スペース定義に追加されたユニバースオブジェクトを確認して変更してください。

パブリック CMS (Central Management Server) フォルダおよびお気に入り CMS フォルダの取得中に問題が発生しました。(PS 30008)

原因

CMS のパブリックフォルダおよびお気に入りフォルダを取得しているときに、問題が発生しました。

対処方法

例外の詳細を確認してください。

情報スペースの一覧の取得中に問題が発生しました。(PS 30009)

原因

情報スペース一覧を取得しているときに、問題が発生しました。

対処方法

例外の詳細を確認してください。

情報スペースのスケジュールの詳細の取得中に問題が発生しました。(PS 30010)

原因

情報スペースのスケジュール情報を取得しているときに、問題が発生しました。

対処方法

例外の詳細を確認してください。

指定したフォルダに情報スペースを保存する権限がありません。(PS 30011)

原因

指定したフォルダに情報スペースを保存する権限がありません。

対処方法

別のフォルダを選択してください。

次のオブジェクトは使用できません。プロンプトはサポートされていません。(PS 30012)

原因

プロンプトがサポートされていないため、次のオブジェクトを使用できません。

対処方法

情報スペース定義に追加されたユニバースオブジェクトを確認して変更してください。

続行するには、コンテキストを選択する必要があります。(PS 30013)

原因

コンテキストを選択してから続行する必要があります。

対処方法

コンテキスト参照ボタンをクリックし、コンテキストを選択したことを確認してください。

指定したフォルダの情報スペースを削除する権限がありません。(PS 30015)

原因

指定したフォルダの情報スペースを削除する権限がありません。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

この情報スペースを削除する権限がありません。(PS 30016)

原因

この情報スペースを削除する権限がありません。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

このスプレッドシートを使用することはできません。(PS 30017)

原因

ワークブックのスプレッドシートにデータがないか、またはデータが最初の行にありません。

対処方法

シートをチェックし、最初の行のセルが入力済みであることを確認します。

ディメンションがないため、このスプレッドシートを使用することはできません。(PS 30019)

原因

ファセットを作成するディメンションがあるシートが含まれていないため、この Excel ファイルを使用できません。

対処方法

各シートをチェックし、ディメンションが含まれていることを確認するか、または各シートに少なくとも 1 つのラベルが含まれるように情報スペースを設定します。

23.4 PS 40000 ~ PS 40010

検索が失敗しました。(PS 40001)

原因

検索に失敗しました。

対処方法

詳細については、エラーの詳細を参照してください。

検索インデックスの最新バージョンをロードできません。(PS 40002)

原因

検索インデックスの最新バージョンをロードできません。

対処方法

詳細については、エラーの詳細を参照してください。

検索を実行できません。一致する結果項目が多すぎます。(PS 40003)

原因

検索を実行できません。一致する結果項目が多すぎます。

対処方法

検索条件を絞り込んでください。

23.5 PS 50000 ~ PS 50310

その他の値を取得できません。(PS 50001)

原因

その他の値を取得できません。

対処方法

詳細については、エラーの詳細を参照してください。

チャートを生成できません。(PS 50002)

原因

チャートを生成できません。

対処方法

詳細については、エラーの詳細を参照してください。

メジャーの一覧を取得できません。(PS 50003)

原因

メジャーの一覧を取得できません。

対処方法

詳細については、エラーの詳細を参照してください。

[閲覧] タブ内でファセットを取得できません。(PS 50004)

原因

ナビゲーションツリーを取得できません。

対処方法

詳細については、エラーの詳細を参照してください。

データテーブル値を取得できません。(PS 50005)

原因

データテーブル値を取得できません。

対処方法

詳細については、エラーの詳細を参照してください。

情報スペースの閲覧を開始できません。(PS 50006)

原因

情報スペースの閲覧を開始できません。

対処方法

詳細については、エラーの詳細を参照してください。

情報スペースのナビゲーションインデックスの最新バージョンをロードできません。(PS 50007)

原因

情報スペースのナビゲーションインデックスの最新バージョンをロードできません。

対処方法

最新のインデックス処理が失敗した可能性があるため、新しいインデックスバージョンを作成するために情報スペースの定義を確認する必要があります。

情報スペースの閲覧を停止できません。(PS 50008)

原因

情報スペースの閲覧を終了できません。

対処方法

詳細については、エラーの詳細を参照してください。

検索を実行できません。一致する結果項目が多すぎます。(PS 50009)

原因

検索を実行できません。一致する結果項目が多すぎます。

対処方法

検索条件を絞り込んでください。

検索を実行できません。一致する結果項目が多すぎます。(PS 50010)

原因

検索を実行できません。一致する結果項目が多すぎます。

対処方法

検索条件を絞り込んでください。

データが含まれていないため、情報スペースの閲覧を開始できません。(PS 50011)

原因

情報スペースの閲覧を開始できません。データがありません。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

エクスポート要求の実行中にサーバエラーが発生しました。(PS 50100)

原因

エクスポート要求の実行中に、サーバエラーが発生しました。

対処方法

詳細については、エラーの詳細を参照してください。

エクスポート結果の取得中にサーバエラーが発生しました。(PS 50101)

原因

エクスポート結果の取得中に、サーバエラーが発生しました。

対処方法

詳細については、エラーの詳細を参照してください。

エクスポートタスクのキャンセル中にサーバエラーが発生しました: 要求でタスク識別子が指定されていません。(PS 50102)

原因

エクスポートタスクのキャンセル中に、サーバエラーが発生しました。要求でタスク識別子が入力されていません。

対処方法

Explorer サーバのバージョンと Explorer の Web アプリケーションのバージョンとの同期が取れていることを確認してください。または、要求を手動で構築している場合は、要求の構文が正しいことを確認してください。

エクスポート形式がサーバで認識されません。(PS 50103)

原因

エクスポート形式がサーバで認識されません。

対処方法

Explorer サーバのバージョンと Explorer の Web アプリケーションのバージョンとの同期が取れていることを確認してください。または、要求を手動で構築している場合は、指定したエクスポート形式がサポートされていることを確認してください。

エクスポート要求の出力先がサーバで認識されません。(PS 50104)

原因

エクスポート要求の出力先がサーバで認識されません。

対処方法

Explorer サーバのバージョンと Explorer の Web アプリケーションのバージョンとの同期が取れていることを確認してください。または、要求を手動で構築している場合は、指定したエクスポート形式がサポートされていることを確認してください。

指定したエクスポート形式と出力先には互換性がありません。(PS 50105)

原因

エクスポート形式と指定された出力先に互換性がありません。

対処方法

Explorer サーバのバージョンと Explorer の Web アプリケーションのバージョンとの同期が取れていることを確認してください。または、要求を手動で構築している場合は、指定したエクスポート形式がサポートされていることを確認してください。

データプロバイダとの対話中にサーバエラーが発生しました。(PS 50106)

原因

データプロバイダとの対話中に、サーバエラーが発生しました。

対処方法

詳細については、エラーの詳細を参照してください。

エクスポートエンジンで受信した一部のデータが不正であるか、サポートされていません。または、要求が正しい構文ではありません。(PS 50107)

原因

エクスポートエンジンで受信した一部のデータが不正であるか、サポートされていません。または、要求が正しい構文ではありません。

対処方法

Explorer サーバのバージョンと Explorer の Web アプリケーションのバージョンとの同期が取れていることを確認してください。または、要求を手動で構築している場合は、指定したエクスポート形式とエクスポート先の種類、および選択した設定がサポートされていることと、要求が正しい構文であることを確認してください。

データプロバイダとの対話中にサーバエラーが発生しました。(PS 50108)

原因

データプロバイダとの対話中に、サーバエラーが発生しました。現在の閲覧ステータスはサポートされていません。

対処方法

別に選択したパスを使用して試行できます。詳細については、エラーの詳細を参照してください。

現在のデータセットはこのエクスポートには大きすぎます。(PS 50109)

原因

現在のデータセットが大きすぎてエクスポートできません。

対処方法

一部の選択を追加または変更して、エクスポートするデータセットを縮小してください。

プロンプト入力の処理中にサーバエラーが発生しました。(PS 50200)

原因

プロンプト入力の処理中に、サーバエラーが発生しました。

対処方法

詳細については、エラーの詳細を参照してください。

プロンプトの分析中にサーバエラーが発生しました。(PS 50201)

原因

プロンプトの分析中に、サーバエラーが発生しました。

対処方法

詳細については、エラーの詳細を参照してください。

プロンプト入力の送信中にサーバエラーが発生しました。(PS 50202)

原因

プロンプト入力の送信中に、サーバエラーが発生しました。

対処方法

詳細については、エラーの詳細を参照してください。

一部のプロンプト入力が見つかりません。(PS 50203)

原因

一部のプロンプト入力不足しています。

対処方法

詳細については、エラーの詳細を参照してください。

プロンプト入力が無効です。(PS 50204)

原因

プロンプト入力が無効です。

対処方法

詳細については、エラーの詳細を参照してください。

プロンプト入力の保存中にサーバエラーが発生しました。(PS 50205)

原因

プロンプト入力の保存中に、サーバエラーが発生しました。

対処方法

詳細については、エラーの詳細を参照してください。

選択したオブジェクトには互換性がありません。(PS 50206)

原因

選択したオブジェクトに互換性がありません。

対処方法

詳細については、エラーの詳細を参照してください。

情報スペースをロードできませんでした。(PS 50300)

原因

情報スペースをロードできませんでした。

対処方法

管理者に問い合わせ、情報スペースが使用できるかまたは情報スペースにアクセスできるか確認してください。

情報スペースのインデックスをロードできませんでした。(PS 50301)

原因

情報スペースのインデックスをロードできませんでした。

対処方法

管理者に問い合わせ、情報スペースのインデックスが使用できるか確認してください。

データプロバイダセッションを初期化できませんでした。(PS 50302)

原因

データプロバイダセッションを初期化できませんでした。

対処方法

管理者に問い合わせ、情報スペースのデータプロバイダが使用できるか、情報スペースのデータプロバイダが設定されているか確認してください。

情報スペースは、存在していないデータソースに基づいています。(PS 50303)

原因

情報スペースは、存在していないデータソースに基づいています。

対処方法

管理者に問い合わせ、情報スペースの定義をチェックして対応するインデックスが使用できるか確認してください。

情報スペースにファセットが含まれていません(PS 50304)

原因

情報スペースにファセットが含まれていません。

対処方法

管理者に問い合わせ、情報スペースの定義をチェックして対応するインデックスが使用できるか確認してください。

情報スペースにデータが含まれていません。(PS 50305)

原因

情報スペースにデータが含まれていません。

対処方法

管理者に問い合わせ、情報スペースの定義をチェックして対応するインデックスが使用できるか確認してください。

オブジェクトレベルセキュリティを適用できませんでした。(PS 50306)

原因

オブジェクトレベルセキュリティを適用できませんでした。

対処方法

管理者に問い合わせ、情報スペースの定義をチェックして対応するインデックスが使用できるか確認してください。

パーソナライゼーション設定を適用できませんでした。(PS 50307)

原因

パーソナライゼーション設定を適用できませんでした。

対処方法

管理者に問い合わせ、情報スペースの定義をチェックして対応するインデックスが使用できるか確認してください。

基になるデータアクセスレイヤへの要求に失敗しました。(PS 50308)

原因

基になるデータアクセスレイヤへの要求に失敗しました。

対処方法

管理者に問い合わせ、情報スペースの定義をチェックして対応するインデックスが使用できるか確認してください。

23.6 PS 60000 ~ PS 60310

呼び出されたメソッドはこの終了値をサポートしていません。(PS 60001)

原因

呼び出されたメソッドはこの終了値をサポートしていません。

対処方法

適切なメソッドを使用して正しい終了値を呼び出すようにします。

呼び出されたメソッドにはトークンが必要です。(PS 60002)

原因

呼び出されたメソッドには、ヘッダまたはクッキーに渡されるトークンが必要です。

対処方法

ヘッダまたはクッキーにトークンを渡していることを確認します。

応答の解析中に、Web アプリケーションでエラーが発生しました。(PS 60003)

原因

バックエンドからの応答の解析中に、Web アプリケーションでエラーが発生しました。

対処方法

Web アプリケーションとバックエンドサーバのバージョンが一致しているか確認します。

呼び出された終了値は存在しません。(PS 60004)

原因

呼び出された終了値は存在しません。

対処方法

正しい URL を呼び出しているか確認します。

要求によって、解析の問題が発生しました。(PS 60101)

原因

要求の形式が正しくありません。

対処方法

要求が、終了タグを含む XML の形式であること、およびサポートされていない文字が使用されていないことを確認します。

要求内にパラメータがありません。(PS 60102)

原因

要求内にパラメータがありません。

対処方法

要求に必要なパラメータが含まれていること、およびパラメータが正しく定義されていることを確認します。

要求の形式が正しくありません。(PS 60103)

原因

要求の形式が正しくありません。

対処方法

要求が、終了タグを含む XML の形式であること、サポートされていない文字が使用されていないこと、およびパラメータが正しく定義されていることを確認します。

情報スペースのデータチャンクの作成中または更新中にエラーが発生しました。(PS 60201)

原因

情報スペースのデータチャンクの作成中または更新中に、エラーが発生しました。

対処方法

データチャンク ID が正しいか、または FRS が使用できるか確認します。

情報スペースを開こうとしてエラーが発生しました。情報スペースのインデックス化に失敗しました。(PS 60301)

原因

スペースのインデックス化に失敗しました。

対処方法

情報スペースの定義およびデータセットが有効であることを確認します。問題が解決しない場合は、管理者に連絡してください。

レポート変換ツール(RCT)に関するエラーメッセージ

レポート変換ツールエラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

範囲	カテゴリ
RCT 00001 - 00032	レポート変換ツール

不明なエラーです(RCT 00001)

原因

レポート変換ツールは、解決できないエラーを検出しました。

対処方法

BusinessObjects 管理者に連絡してください。

ユーザが変換をキャンセルしました。(RCT 00011)

原因

換算がユーザによって取り消されました。

対処方法

換算がユーザによって取り消されたため、何もしません。

変換サーバの開始中にエラーが発生しました。(RCT 00013)

原因

換算プロセスを起動できません。

対処方法

1. CMS がオンで、実行中であることを確認します。2.RCT アプリケーションを再起動し、再度、換算プロセスを起動します。3. 問題が解決しない場合は、BusinessObjects 管理者に連絡してください。

公開に失敗しました(RCT 00014)

原因

レポート変換ツールは、変換したレポートを公開できませんでした。出力先 CMS がダウンしている可能性があります。

対処方法

- 1 出力先 CMS が実行中であることを確認します。
- 2 再度、換算プロセスを実行します。

ソースサーバが見つからないかダウンしている可能性があります。(RCT 00016)

原因

ソースサーバが見つかりません、またはサーバがダウンしています。

対処方法

1. ソースサーバ IP/ホスト名が正しく入力されていることを再チェックします。
2. ソース CMS がオンで、実行中であることを再チェックします。

出力先サーバが見つからないかダウンしている可能性があります。(RCT 00017)

原因

出力先サーバが見つかりません、またはサーバがダウンしています。

対処方法

1. 出力先サーバ IP/ホスト名が正しく入力されていることを再チェックします。
2. 出力先 CMS がオンで、実行中であることを再チェックします。

ソースのユーザ名が無効です。(RCT 00018)

原因

入力したソースユーザ名が不正です。

対処方法

有効なユーザ名を入力します。

出力先のユーザ名が無効です。(RCT 00019)

原因

入力した出力先ユーザ名が不正です。

対処方法

有効なユーザ名を入力します。

ソースのパスワードが無効です。(RCT 00020)

原因

入力したソースパスワードが不正です。

対処方法

有効なパスワードを入力します。

出力先のパスワードが無効です。(RCT 00021)

原因

入力した出力先パスワードが不正です。

対処方法

有効なパスワードを入力します。

ソースのログイン、パスワード、またはポートが正しくありません。(RCT 00022)

原因

ソースログインがサーバで認識されません。

対処方法

BusinessObjects 管理者に連絡してください。

ログインするには、管理者またはソースセントラル管理コンソールで定義されているレポート変換ツールユーザグループのメンバーである必要があります。

出力先のログイン、パスワード、またはポートが正しくありません。(RCT 00023)

原因

出力先ログインがサーバで認識されません。

対処方法

BusinessObjects 管理者に連絡してください。

ログインするには、管理者または出力先セントラル管理コンソールで定義されているレポート変換ツールユーザグループのメンバーである必要があります。

無効なソースです (RCT 00024)

原因

ソースマシンは XI 4.0 以降のバージョンにはできません。それ以前のバージョンにする必要があります。

対処方法

正しいソースマシン情報を入力します。

無効な出力先です (RCT 00025)

原因

出力先マシンは XI 4.0 以降のバージョンにする必要があります。

対処方法

正しい出力先マシン情報を入力します。

接続を選択して監査を続行するか、チェックボックスを選択解除してください。(RCT 00026)

原因

監査の接続が選択されていません。

対処方法

接続を選択して続行、またはチェックボックスをオフにします。

次のファイルを開くことができません。(RCT 00027)

原因

この XML ファイルに保存された Desktop Intelligence レポートの一覧は無効になります。Desktop Intelligence ドキュメントの一部またはすべてがソースリポジトリから削除、またはドキュメント ID が変更されます。

対処方法

XML ファイルを手動で開き、ファイル内で使用可能なすべてのドキュメント ID が、ソースリポジトリでも使用できることを確認します。使用できない場合は、その特定のドキュメントのドキュメントタグを削除するか、または XML 内のドキュメント ID を変更して、ソースリポジトリで使用可能な正しいドキュメント ID を参照します。

ファイルが見つかりません。ファイル名を確認してください。(RCT 00028)

原因

入力したファイル名が見つかりません。

対処方法

有効なファイル名を入力します。

ファイル名が無効です。(RCT 00029)

原因

入力したファイル名が無効です。

対処方法

有効なファイル名を入力します。

無効な ROC ファイルです。有効な ROC ファイルを選択してください。(RCT 00030)

原因

ファイルが有効な roc ファイルではありません。

対処方法

有効な roc ファイルを選択します。

ファイルが無効です。(ファイルが破損している可能性があります)有効な ROC ファイルを選択してください。(RCT 00031)

原因

roc ファイルが壊れています。

対処方法

壊れていない roc ファイルを選択します。

ファイル名が無効です。(RCT 00032)

原因

入力したファイル名が無効です。

対処方法

有効なファイル名を入力します。

RESTful Web サービス (RWS) のエラーメッセージ

RESTful Web サービスのエラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

範囲	カテゴリ
RWS 00002 – RWS 00010	RESTful Web サービス
RWS 000011 – RWS 000026	RESTful Web サービス
RWS 000031 – RWS 000051	RESTful Web サービス
RWS 00052 – RWS 00075	RESTful Web サービス
RWS 000076 – RWS 000079	RESTful Web サービス

25.1 RWS 00002 – RWS 00010

一般サーバエラー。(RWS 00002)

原因

BIP RESTful Web サービスで不明なエラーが発生しました。

対処方法

サーバログで詳細を確認してください。

クライアント入力エラー。(RWS 00003)

原因

BIP RESTful Web サービスに対するクライアントの入力に不明のエラーがあります。

対処方法

呼び出そうとしているリソースのドキュメンテーションを参照して、入力が有効かどうか確認してください。

禁止 (RWS 00004)

原因

このリソースはアクセスされない可能性があります。

対処方法

リソースにアクセスする権限があることを確認します。

見つかりません (RWS 00005)

原因

特定のリソースが見つかりませんでした。リソースが存在していないか、リソースを表示する権限がありません。

対処方法

使用した URL が正しいことを確認します。InfoObject を表示しようとする場合は、セントラル管理コンソール (CMC) を使用して、そのオブジェクトを表示する権限があることを確認します。

サービスを作成できません。詳細については、サーバログを参照してください。(RWS 00006)

原因

BIP RESTful Web サービスは要求されたサービスを作成できませんでした。

対処方法

Constructor.newInstance について JavaDoc を検証します。この例外と Constructor.newInstance が生成する例外の原因をクロスチェックします。

サービス呼び出し中に不明なエラーが発生しました。詳細については、サーバログを参照してください。(RWS 00007)

原因

サービス起動中に BIP RESTful Web サービスで不明なエラーが発生しました。

対処方法

BIP RESTful Web サービスを含む Web アプリケーションサーバのログで詳細を確認します。

HTTP ヘッダには X-SAP-LogonToken 属性が含まれていません。(RWS 00008)

原因

要求されたリソースに対するアクセスでは、認証済みである必要があります。

対処方法

要求のヘッダに X-SAP-LogonToken を渡してください。ログオンリソースを使用してこれを生成します。

リソースが見つかりません: {0} (RWS 00009)

原因

特定のリソースが見つかりませんでした。リソースが存在していないか、リソースを表示する権限がありません。

対処方法

使用した URL が正しいことを確認します。InfoObject を表示しようとする場合は、セントラル管理コンソール (CMC) を使用して、そのオブジェクトを表示する権限があることを確認します。

要求されたオブジェクトに対してリソースがサポートされていません。(RWS 00010)

原因

サポートされていない InfoObject のリソースにアクセスしようとしていました。たとえば、フォルダの Crystal Reports サービスにアクセスしようすると、この例外が発生します。

対処方法

サポートされていないオブジェクトでこのメソッドを呼び出さないでください。有効なリンクにのみアクセスしてください。

25.2 RWS 000011 – RWS 000026

セッショントークンのタイムアウト値 {0} は無効です。(RWS 000011)

原因

BIP RESTful Web サービスの設定が無効なため、ログオントークンを作成できませんでした。

対処方法

システム管理者に連絡して、BIP RESTful Web サービスの適切なセッショントークンタイムアウト値をセントラル管理コンソール (CMC) で設定してください。

ID {0} の Info オブジェクトが見つかりません。(RWS 000012)**原因**

InfoObject が見つかりませんでした。存在すると思われる場合は、表示権限があることを確認しましたか？

対処方法

セントラル管理コンソール (CMC) を使用して、InfoObject が存在し、それを表示する権限があることを確認します。

重複するオブジェクト (RWS 000013)**原因**

重複したオブジェクトが検出されました。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

{0} という名前の関係はありません。(RWS 000015)**原因**

InfoObject で関係が見つかりませんでした。

対処方法

ルートオブジェクトを参照して、使用されている URL が BIP RESTful Webservice によって生成されたものであることを確認します。URL が本当に有効な場合、権限を確認して、関係を表示する適切な権限があることを検証しましたか？

サーバセッションは PJS Service Bean から使用できません。(RWS 000016)**原因**

Adaptive Processing Server が BIP RESTful Web サービスにサーバセッションを渡していません。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

エンコードに失敗しました。(RWS 000017)

原因

BIP RESTful Web サービスは、オブジェクトをユーザが読み取り可能な形式 (XML など) にエンコードするコーデックを使用します。エンコーディングエラーが発生しました。

対処方法

このエラーの原因となったパラメータに関する詳細をログで確認してください。問題が解決しない場合は、SAP BusinessObjects サポートにお問い合わせください。

{0} が NULL です。(RWS 000018)

原因

BIP RESTful Web サービスは、オブジェクトをユーザが読み取り可能な形式 (XML など) にエンコードするコーデックを使用します。実行中に値を参照できませんでした。

対処方法

このエラーの原因となったパラメータに関する詳細をログで確認してください。問題が解決しない場合は、SAP BusinessObjects サポートにお問い合わせください。

不正な引数: {0} (RWS 000019)

原因

BIP RESTful Web サービスは、オブジェクトをユーザが読み取り可能な形式 (XML など) にエンコードするコーデックを使用します。実行中に不正な引数が検出されました。

対処方法

このエラーの原因となったパラメータに関する詳細をログで確認してください。問題が解決しない場合は、SAP BusinessObjects サポートにお問い合わせください。

{0} 型の値はシリアル化できません。(RWS 000020)

原因

BIP RESTful Web サービスは、オブジェクトをユーザが読み取り可能な形式 (XML など) にエンコードするコーデックを使用します。値をシリアル化できませんでした。

対処方法

このエラーの原因となったパラメータに関する詳細をログで確認してください。問題が解決しない場合は、SAP BusinessObjects サポートにお問い合わせください。

終端がない文字列です。(RWS 000021)

原因

BIP RESTful Web サービスは、オブジェクトをユーザが読み取り可能な形式 (XML など) にエンコードするコーデックを使用します。終端がない文字列が見つかりました。

対処方法

このエラーの原因となったパラメータに関する詳細をログで確認してください。問題が解決しない場合は、SAP BusinessObjects サポートにお問い合わせください。

不正な形式の日付: {0}。(RWS 000022)

原因

BIP RESTful Web サービスは渡された日付をエンコード/デコードできませんでした。

対処方法

このエラーの原因となったパラメータに関する詳細をログで確認してください。問題が解決しない場合は、SAP BusinessObjects サポートにお問い合わせください。

不正な形式の時間: {0}。(RWS 000023)

原因

BIP RESTful Web サービスは渡された時間をエンコード/デコードできませんでした。

対処方法

このエラーの原因となったパラメータに関する詳細をログで確認してください。問題が解決しない場合は、SAP BusinessObjects サポートにお問い合わせください。

不正な形式の日時: {0}。(RWS 000024)

原因

BIP RESTful Web サービスは渡された日時をエンコード/デコードできませんでした。

対処方法

日時が ATOM 標準で認識される形式 (RFC 4287) であることを確認してください。このエラーの原因となったパラメータに関する詳細をログで確認してください。問題が解決しない場合は、SAP BusinessObjects サポートにお問い合わせください。

{0} 型の値は非シリアル化できません。(RWS 000025)

原因

BIP RESTful Web サービスは、オブジェクトをユーザが読み取り可能な形式 (XML など) にエンコードするコーデックを使用します。デコーディングエラーが発生しました。

対処方法

このエラーの原因となったパラメータに関する詳細をログで確認してください。問題が解決しない場合は、SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

属性名を取得できません。名前が null または空です。(RWS 000026)

原因

BIP RESTful Web サービスは、オブジェクトをユーザが読み取り可能な形式 (XML など) にエンコードするコーデックを使用します。ユーザが読み取り可能な形式を読み取り/書き込み中に解析エラーが発生しました。

対処方法

このエラーの原因となったパラメータに関する詳細をログで確認してください。問題が解決しない場合は、SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

25.3 RWS 000031 – RWS 000051

モデルエラーです。(RWS 000031)

原因

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

setter がありません。(RWS 000032)

原因

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

getter にはパラメータ {0} を使用できません。(RWS 000033)**原因**

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

setter は 1 つのパラメータ {0} だけを持つ必要があります。(RWS 000034)**原因**

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

setter {0} は getter {1} のタイプと異なります。(RWS 000035)**原因**

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

ソース: {0} + 出力先: {1}。(RWS 000036)**原因**

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

参照型の等号は実装されていません。(RWS 000037)

原因

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

ハッシュベースのコレクション形式の使用は実装されていません。(RWS 000038)

原因

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

クラス {0} はモデルクラスではありません。(RWS 000039)

原因

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

プロパティ '{0}' は次の 2 つのフィールドにバインドできません: {1} および {2}。(RWS 000040)

原因

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

属性 '{0}' は 2 つの get (set) メソッドにバインドできません: {1} および {2}。(RWS 000041)

原因

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

モデルに少なくとも 1 つの書き込み専用属性が含まれています。名前: {0}、メソッド: {1}。(RWS 000042)

原因

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

クラス {0} にはパラメータなしでアクセスできるコンストラクタはありません。(RWS 000043)

原因

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

構成プロパティ {1} のオブジェクト {0} が null です。(RWS 000044)

原因

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

プロパティ '{0}' を {2} 型のフィールド {1} に導入できませんでした。(RWS 000045)

原因

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

プロパティ名はすでに存在します: {0} (RWS 000046)

原因

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

GUID にパス区切り '/' を含めることはできません (RWS 000047)

原因

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

クラス {0} に型がありません (RWS 000048)

原因

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

空のフィルタ。(RWS 000049)

原因

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

フィルタは他のフィルタ文字と共に '{0}' を使用できません。(RWS 000050)

原因

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

重複する {0} インスタンスが作成されました。(RWS 000051)

原因

BIP RESTful Web サービスコードには、日常の操作を管理するためのシングルトンオブジェクトがあります。重複するシングルトンオブジェクトが作成されました。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

25.4 RWS 00052 – RWS 00075

不正な要求です。(RWS 00052)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

対処方法

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.4 節を参照してください。

権限なし (RWS 00053)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

対処方法

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.4 節を参照してください。

支払が必要です。(RWS 00054)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

対処方法

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.4 節を参照してください。

禁止 (RWS 00055)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

対処方法

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.4 節を参照してください。

見つかりません。(RWS 00056)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

対処方法

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.4 節を参照してください。

メソッドは使用できません (RWS 00057)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

対処方法

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.4 節を参照してください。

受け入れられません。(RWS 00058)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

対処方法

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.4 節を参照してください。

プロキシ認証が必要です。(RWS 00059)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

対処方法

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.4 節を参照してください。

要求がタイムアウトしました。(RWS 00060)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

対処方法

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.4 節を参照してください。

競合 (RWS 00061)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

対処方法

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.4 節を参照してください。

消失 (RWS 00062)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

対処方法

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.4 節を参照してください。

長さが必要です。(RWS 00063)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

対処方法

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.4 節を参照してください。

長さが必要です。(RWS 00063)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

対処方法

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.4 節を参照してください。

前提条件に失敗しました。(RWS 00064)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

対処方法

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.4 節を参照してください。

要求エンティティが大きすぎます。(RWS 00065)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

対処方法

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.4 節を参照してください。

要求 URI が長すぎます。(RWS 00066)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

対処方法

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.4 節を参照してください。

サポートされていないメディアタイプです。(RWS 00067)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

対処方法

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.4 節を参照してください。

要求された範囲が完全ではありません。(RWS 00068)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

対処方法

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.4 節を参照してください。

予想に失敗しました。(RWS 00069)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

対処方法

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.4 節を参照してください。

内部サーバエラーです。(RWS 00070)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

対処方法

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.5 節を参照してください。

実装されていません。(RWS 00071)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

対処方法

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.5 節を参照してください。

不正なゲートウェイです。(RWS 00072)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

対処方法

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.5 節を参照してください。

サービスは利用できません。(RWS 00073)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

対処方法

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.5 節を参照してください。

ゲートウェイがタイムアウトしました。(RWS 00074)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

対処方法

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.5 節を参照してください。

サポートされていない HTTP バージョンです。(RWS 00075)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

対処方法

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.5 節を参照してください。

25.5 RWS 000076 – RWS 000079

セッションがすでにこのリクエストに関連付けられているためログインを続行できません。(RWS 000076)

原因

セッションがすでに要求に関連付けられているのに、BIP RESTful Web サービスにログインしようとしてしました。

対処方法

ログインリソースを使用するときは、BIP RESTful Web サービスにセッションを渡さないようにします。

選択した認証スキーマは現在サポートされていません。(RWS 000077)

原因

選択された認証スキーマは、BI プラットフォーム RESTful Web サービスではサポートされていません。

対処方法

X-SAP-LogonToken メカニズムを使用して認証情報を渡すか、HTTP BASIC 認証 (RFC 2617 参照) を使用します。

認証情報をデコードできませんでした。(RWS 000078)

原因

BI プラットフォーム RESTful Web サービスに渡された認証情報をデコードできませんでした。

対処方法

認証情報を使用する前に、それが正常にエンコードされていることを確認します。HTTP BASIC 認証を使用している場合は、RFC 2617 で指定された形式にエンコードされていることを確認します。

入力を確認してください。(RWS 000079)

原因

要求の内容が正しく書式設定され、必須フィールドがすべて含まれることを確認してください。

対処方法

要求の内容が正しく書式設定されていることを確認した後で、要求を再送信します。通常は、GET を使用して要求をどの形式に書式設定すべきか指定します。この情報のドキュメンテーションについても同様に確認します。

トランスレーションツールエラーメッセージ (TMT および UTM)

トランスレーションツールエラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

- ・ トランスレーションマネジメントツール (TMT) のエラーメッセージ
- ・ トランスレーションマネージャ (UTM) のエラーメッセージ

26.1 トランスレーションマネジメントツール (TMT) のエラー

トランスレーションマネジメントツールのエラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

範囲	カテゴリ
TMT10000 - TMT20100	トランスレーションマネジメントツールのエラー

オブジェクトタイプは翻訳できません (TMT10000)

原因

このタイプのオブジェクトは翻訳できません。

対処方法

そのオブジェクトの種類の翻訳可能プロパティを有効化し、対応するトランスレーションサーバプラグインをデプロイします。

タイプ "{0}" の翻訳プラグインが定義されていません (TMT10010)

原因

トランスレーションサーバプラグインがそのオブジェクトの種類に対して定義されていません。

対処方法

オブジェクトの種類に対応するトランスレーションサーバプラグインをデプロイします。

タイプ "{0}" の翻訳プラグインをロードできません (TMT10020)

原因

プラグインのコンポーネントのロード中に、エラーがいくつか発生しました。

対処方法

オブジェクトの種類に対応するトランスレーションサーバプラグインをテストして再デプロイします。

"{0}" は読み取り専用オブジェクトです (TMT10030)

原因

オブジェクトは読み取り専用です(例: デフォルトのカスタムの役割)。

対処方法

読み取り専用オブジェクトは翻訳できません。

予期しない I/O 例外です (TMT10040)

原因

予期しないエラーが発生しました。

対処方法

操作を再度行います。

"{0}" を翻訳する権限がありません (TMT10050)

原因

ユーザは、オブジェクトを翻訳する権限を持っていません。この操作を実行するには、ユーザは編集または翻訳の権限を持つ必要があります。

対処方法

ユーザのオブジェクトに対する編集または翻訳の権限を割り当てます。権限を割り当てない場合、ユーザは、このオブジェクトに読み取り専用モードでのみアクセスできます。

ユーザアクセス権が無効です (TMT 20050)

原因

ユーザはドキュメントを表示、翻訳、または編集する権限を持っていません。

対処方法

CMC でユーザの権限を確認します。

このドキュメントを使用する権限がありません。¥n¥nこのドキュメントは別の CMS に属しています。インポート元と同じ CMS に接続する場合を除いて、このドキュメントを開くことができません。(TMT 20070)

原因

別の CMS で許可されているため、ドキュメントを開くことができません。

対処方法

正しい CMS にログインして再度実行します。

26.2 トランスレーションマネジメントツール (UTM) のエラー

トランスレーションマネジメントツールのエラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

範囲	カテゴリ
UTM20001 - UTM20060	トランスレーションマネジメントツールのエラー

PropertyInfo が無効です: {0}¥nラベル 'PropertyInfo' を NULL にすることはできません。(UTM 20001)

原因

プロパティ情報を取得できません。

対処方法

ユニバースファイルを確認して開き、再試行します。

ロケールが無効です: ロケールが NULL です (UTM 20010)

原因

トランスレーションマネジメントツールは、ドキュメントまたはユニバースを取得できません。ロケールを取得できません。

対処方法

ユニバースまたはドキュメントが壊れている可能性があります。そのドキュメントを作成するのに使用したツールを使用して開き、ドキュメントが有効であることを確認します。別の名前で保存し、トランスレーションマネジメントツールからもう一度取得してみます。

ルートが無効です: ルートエンティティが NULL です (UTM 20020)

原因

ルートエンティティを取得できません。

対処方法

ルートエンティティを確認し、再試行します。

無効なドキュメント: ドキュメントが NULL です (UTM 20030)

原因

トランスレーションマネジメントツールは、ドキュメントまたはユニバースを取得できません。

対処方法

ユニバースまたはドキュメントが壊れている可能性があります。ユニバースデザインツールまたは Web Intelligence を使用して開き、ドキュメントが有効であることを確認します。別の名前で保存し、トランスレーションマネジメントツールからもう一度取得してみます。

EntityInfo が無効です: EntityInfo が NULL です (UTM 20040)

原因

EntityInfo を取得できません。

対処方法

EntityInfo を確認し、再試行します。

ユーザアクセス権が無効です (TMT 20050)

原因

ユーザは、トランスレーションマネージャを使用する権限、またはドキュメントやユニバースを表示または編集する権限を持っていません。

対処方法

管理者に問い合わせるか、CMC で、トランスレーションマネジメントツールの使用の権限またはドキュメントやユニバースの表示や編集の権限があることを確認します。

ドキュメントのバージョンが無効です。¥nこのドキュメントは古いバージョンの Universe Designer で生成された可能性があります。¥nユニバースを XI 3.0 または XI 3.1 の Designer を使ってこのドキュメントを開いてから保存して、移行してください。(UTM 20060)

原因

このドキュメントは、Designer の以前のバージョンによって生成された可能性があります。

対処方法

- ・ これが XI R2 または XI ユニバースの場合は、XI 3.0 Designer を使用して開き、保存することにより、移行します。
- ・ これが古いバージョンのユニバースである場合は、インポートウィザードを使用して移行します。

このドキュメントを使用する権限がありません。¥n¥nこのドキュメントは別の CMS に属しています。インポート元と同じ CMS に接続する場合を除いて、このドキュメントを開くことができません。(UTM 20070)

原因

このドキュメントは他の CMS で許可されているため、開くことができません。

対処方法

正しい CMS にログインして再度実行します。

ユニバースエラーメッセージ

ユニバースエラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

- ・ ユニバース管理 (UNM) に関するエラーメッセージ
- ・ ユニバース (UNV) に関するエラーメッセージ

27.1 ユニバース管理 (UNM) に関するエラーメッセージ

ユニバース管理エラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

範囲	カテゴリ
UNM0001 - UNM0016	ユニバース管理エラー

互換性のチェックが必要 (UNM0001)

原因

ユニバースに、次のような要素が含まれています。

- ・ オブジェクト、条件、結合の SQL 定義の不正なシンタックス
- ・ ループ
- ・ 孤立テーブル
- ・ 不足しているまたは不正なカーディナリティ

対処方法

ユニバースに[整合性のチェック]を実行します。これでユニバースの構造が、対応するデータベースと一致しているかを確認できます。

数値書式が不正です (UNM0002)

原因

入力したSQL式に構文エラーがあります。数値書式が不正です。

対処方法

数値を再入力し、式を再送信します。

クォーテーション "... " がありません (UNM0003)

原因

入力したSQL式に構文エラーがあります。式にシングルクォーテーションマークがありません。

対処方法

シングルクォーテーションマークを入力し、式を再送信します。

ダブルクォーテーション "... " がありません (UNM0004)

原因

入力したSQL式に構文エラーがあります。式にダブルクォーテーションマークがありません。

対処方法

ダブルクォーテーションマークを入力し、式を再送信します。

閉じ括弧 {...} がありません (UNM0005)

原因

入力したSQL式に構文エラーがあります。式に右括弧がありません。

対処方法

右括弧を入力し、式を再送信します。

関数名の後に開き括弧がありません (UNM0006)

原因

入力したSQL式に構文エラーがあります。式に左括弧がありません。

対処方法

左括弧を入力し、式を再送信します。

閉じ括弧がありません (UNM0007)

原因

入力したSQL式に構文エラーがあります。式に右括弧がありません。

対処方法

右括弧を入力し、式を再送信します。

パラメータがありません (UNM0008)

原因

入力したSQL式に構文エラーがあります。式に必要なパラメータがありません。

対処方法

パラメータを入力し、式を再送信します。

パラメータ数が不正です (UNM0009)

原因

入力したSQL式に構文エラーがあります。式のパラメータが、不足しているか、多過ぎます。

対処方法

パラメータを正しく入力し、式を再送信します。

不正な文字です (UNM0010)

原因

入力したSQL式に構文エラーがあります。フィールド文の1つに、使用できない文字が含まれています。

対処方法

構文をチェックし、修正した後、式を再送信します。

不正なインデントです (UNM0011)

原因

入力したSQL式に構文エラーがあります。フィールド文の1つに、不正なインデントが使用されています。

対処方法

構文をチェックし、修正した後、式を再送信します。

使用できないオペランドです (UNM0012)

原因

入力したSQL式に構文エラーがあります。現在のSQL関数と互換性のないオペランドが使用されています。

対処方法

SQLをチェックし、修正した後、式を再送信します。

変数定義にループがあります (UNM0013)

原因

入力したSQL式に構文エラーがあります。解決できないループが使用されています。

対処方法

構文をチェックし、修正した後、式を再送信します。

戻り値がユーザオブジェクトの型と対応しません。(UNM0014)

原因

入力したSQL式に構文エラーがあります。ユーザオブジェクトの定義に整合性がありません。

対処方法

構文をチェックし、修正した後、式を再送信します。

構文エラー (UNM0015)

原因

オブジェクト名に次のような特殊文字が使用されていると、このエラーメッセージが表示されます。[] = & @ × \$ % , ; ! ß £ ~ § µ + ' () { } -

対処方法

オブジェクト名に含まれる特殊文字を削除します。

同じ名前のユーザオブジェクトは作成できません。(UNM0016)**原因**

すでに他のユーザオブジェクトに付けられている名前で、ユーザオブジェクトを作成しようとした。

対処方法

ユーザオブジェクトに一意の名前を指定して、式を再送信します。

27.2 ユニバース(UNV)に関するエラーメッセージ

ユニバースエラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

範囲	カテゴリ
UNV0017 - UNV0049	ユニバースエラー

サーバが応答しません。(UNV0017)**原因**

接続に対する“ping”、ユニバース構造の最新表示、ドキュメントの最新表示などのアクションを実行してデータベースにアクセスするときに、このメッセージが表示される場合があります。

対処方法

サーバに“ping”を実行してネットワーク接続を確認します。ネットワークが正常なら、データベース管理者が Net8 for Oracle などのデータベースミドルウェアを使用してリポジトリデータベースが応答するかどうかをチェックします。

27.2.2 サーバが応答しません(UNV0018)

原因

接続されていない(サーバがダウンしているか、接続が失われた)データベースにアクセスしようとしたときに、このメッセージが表示されることがあります。

対処方法

サーバに“ping”を実行してネットワーク接続を確認します。ネットワークが正常なら、データベース管理者がデータベースミドルウェア (Net8 for Oracle など) を使ってリポジトリデータベースが応答するかをチェックします。

このエイリアス名はテーブルで使われています。(UNV0031)**原因**

エイリアスとして使用する名前がテーブルの名前として既に使用されています。ユニバースで同一名は使用できません。

対処方法

エイリアスに別の名前を使用し、再試行します。

関連付けられたテーブルがありません。(UNV0032)**原因**

使用しようとしているテーブルのテーブル ID が見つかりません。

対処方法

もう一度試してみます。問題が解決しない場合は、インポートプロセス中に問題が発生した可能性があります。ユニバースをもう一度インポートし、再試行します。

このオブジェクトは既に存在します。(UNV0035)**原因**

作成しようとしているオブジェクトは、クラスに既に存在します。クラスが異なる場合には、同じ名前を使用できません。

対処方法

既存のオブジェクトの名前を変更するか、新規オブジェクトに他の名前を付けます。既存オブジェクトの名前を変更すると、このオブジェクトを使用するドキュメントが正しく最新表示されない場合があります。

ストラテジ接続が見つかりません。(UNV0049)

原因

リポジトリへのアクセスに外部オブジェクトストラテジを使用している場合に、このメッセージが表示されることがあります。

対処方法

.PRMファイルの[CONNECTION]セクションで参照する接続は、個人用接続として定義されている必要があります。セキュリティ接続として定義されている場合には、動作しません。セキュリティ接続ではすべてのメタデータ構造へアクセスできるため、一部ユーザにこの接続の使用が許可されていない場合があるためです。

注

外部ストラテジファイルは、以下のフォルダの下にある各サブフォルダに保存されている.PRМファイルで宣言します。

```
$INSTALLDIR¥dataAccess¥RDBMS¥legacy  
¥<database name>
```


アップグレードマネジメントツール (UMT) のエラーメッセージ

アップグレードマネジメントツール (UMT) は、次のエラーメッセージのカテゴリに分類されます。

範囲	カテゴリ
UMT 00001	アップグレードマネジメントツール (UMT)
UMT 00301 - 00304	アップグレードマネジメントツール (UMT)
UMT 10001 - 10006	アップグレードマネジメントツール (UMT)
UMT 10101 - 10105	アップグレードマネジメントツール (UMT)
UMT 20001 - 20016	アップグレードマネジメントツール (UMT)
UMT 20106 - 20112	アップグレードマネジメントツール (UMT)
UMT 20201 - 20215	アップグレードマネジメントツール (UMT)

28.1 UMT 00001

選択した新しい言語はアップグレードマネジメントツールを再起動するまで有効になりません。(UMT 00001)

原因

アップグレードマネジメントツールに対して新しい言語を選択しました。

対処方法

アップグレードマネジメントツールを再起動して、選択した言語で使用します。

28.2 UMT 00301-00304

このオブジェクトのアップグレードプロセスの中で、タイトルが "{0}"、種類が "{1}" の別のオブジェクトが作成されました。(UMT 00301)

原因

移行操作が実行されました。

対処方法

対処の必要はありません。

このオブジェクトは、タイトルが "{0}"、種類が "{1}" の別のオブジェクトのアップグレードプロセスの中で作成されました。(UMT 00302)

原因

移行操作が実行されました。

対処方法

対処の必要はありません。

アップグレード中、このオブジェクトはコミットされません。この動作は意図的なものであり、エラーではありません。(UMT 00303)

原因

移行操作が実行されました。

対処方法

対処の必要はありません。

このオブジェクトのアップグレードプロセスの中で、タイトルが "{0}"、種類が "{1}" の別のオブジェクトがコミットから除外されました。これはエラーではありません。(UMT 00304)

原因

移行操作が実行されました。

対処方法

対処の必要はありません。

28.3 UMT 10001-10006

パラメータを変更できるのは管理者のみです。(UMT 10001)

原因

ユーザアカウントに、アップグレードマネジメントツールのアプリケーションオブジェクトに対する編集権限がありません。

対処方法

セントラル管理コンソールを使用して、ユーザアカウントに編集権限を付与します。

警告が発生しました。利用可能な詳細はありません。(UMT 10002)

原因

アップグレードプロセス中に問題が発生しました。

対処方法

アップグレードマネジメントツールを再起動します。

ファイル "{0}" が見つかりません。正しいファイル名が指定されているかを確認してください。(UMT 10003)

原因

選択したファイルがありません。

対処方法

有効なファイルを選択します。

このオブジェクトはコミットから除外されました。これはアップグレードプロセスの一部で、エラーではありません。(UMT 10004)

原因

移行操作が実行されました。

対処方法

対処の必要はありません。

このオブジェクトは、タイトルが "{0}"、種類が "{1}" の別のオブジェクトのアップグレードプロセスの中で、コミットから除外されました。これはエラーではありません。(UMT 10005)

原因

移行操作が実行されました。

対処方法

対処の必要はありません。

サードパーティ認証を介してマップされたユーザおよびグループの場合は、名前 (CUID ではなく) を使用してユーザまたはグループが出力先に存在しているかどうかを検出します。(UMT 10006)

原因

サードパーティエイリアスを持つユーザおよびグループが、出力先システム上の同じ名前のユーザおよびグループにマップされています。

対処方法

対処の必要はありません。

28.4 UMT 10101-10105

システム管理者ではないユーザとして出力先 CMS にログオンしています。アクセス権限のないオブジェクトのエクスポートはできません。システム管理者としてアップグレードマネジメントツールを実行することをお勧めします。(UMT 10101)

原因

ソース CMS へのログオンに使用したユーザアカウントは、管理者グループのメンバーではありません。

対処方法

ログオフしてから、Administrator アカウントでログオンします。

システム管理者ではないユーザとして出力先 CMS にログオンしています。セキュリティ権限のため一部のオブジェクトのコミットに失敗する場合があります。(UMT 10102)

原因

出力先 CMS へのログオンに使用したユーザアカウントは、管理者グループのメンバーではありません。

対処方法

ログオフしてから、Administrator アカウントでログオンします。

システム管理者ではないユーザとしてソースおよび出力先 CMS の両方にログオンしています。アクセス権限のないオブジェクトのエクスポートまたはコミットはできません。システム管理者としてアップグレードマネジメントツールを実行することをお勧めします。(UMT 10103)

原因

ソースおよび出力先 Central Management Server へのログオンに使用したユーザアカウントは、管理者グループのメンバーではありません。

対処方法

ログオフしてから、Administrator アカウントでログオンします。

システム管理者ではないユーザとしてソース XI Release 2 CMS にログオンしています。アクセス権限のないオブジェクトのエクスポートはできません。また、ユーザのパスワードはエクスポートされません。システム管理者としてアップグレードマネジメントツールを実行することをお勧めします。(UMT 10104)

原因

ソース CMS へのログオンに使用したユーザアカウントは、管理者グループのメンバーではありません。

対処方法

ログオフしてから、Administrator アカウントでログオンします。

システム管理者ではないユーザとしてソースおよび出力先 CMS の両方にログオンしています。アクセス権限のないオブジェクトのエクスポートまたはコミットはできません。また、ユーザのパスワードはエクスポートされません。システム管理者としてアップグレードマネジメントツールを実行することをお勧めします。(UMT 10105)

原因

ソースおよび出力先 Central Management Server へのログオンに使用したユーザアカウントは、管理者グループのメンバーではありません。

対処方法

ログオフしてから、Administrator アカウントでログオンします。

28.5 UMT 20001-20016

オブジェクト ID を認識できません: {0} (UMT 20001)

原因

InfoObject の ID を処理できませんでした。

対処方法

アップグレードマネジメントツールを再起動します。

エラーが発生しました。利用可能な詳細はありません。(UMT 20002)

原因

内部エラーが発生しました。

対処方法

アップグレードマネジメントツールを再起動します。

アップグレードマネジメントツールアプリケーションプラグインの変更を適用できませんでした。エラー: {0} (UMT 20003)

原因

ユーザアカウントに、アップグレードマネジメントツールのアプリケーションオブジェクトに対する編集権限がありません。

対処方法

セントラル管理コンソールを使用して、ユーザアカウントに編集権限を付与します。

予期しないエラーが発生しました。(UMT 20004)

原因

内部エラーが発生しました。

対処方法

アップグレードマネジメントツールを再起動します。

タイプ "{0}" の予期しないエラーが発生しました。(UMT 20005)

原因

内部エラーが発生しました。

対処方法

アップグレードマネジメントツールを再起動します。

CUID "{0}" のオブジェクトをオブジェクトマネージャから取得できません。(UMT 20006)

原因

内部エラーが発生しました。

対処方法

アップグレードマネジメントツールを再起動します。

"{0}" の CUID が取得できません。エラー: {1} (UMT 20007)

原因

内部エラーが発生しました。

対処方法

アップグレードマネジメントツールを再起動します。

アップグレードマネジメントツールアプリケーションオブジェクトを取得する権限がありません。アップグレードマネジメントツールアプリケーションオブジェクトの表示権限を持つユーザとしてログオンしてください。(UMT 20008)

原因

ユーザアカウントに、アップグレードマネジメントツールのアプリケーションオブジェクトに対する表示権限がありません。

対処方法

セントラル管理コンソールを使用して、ユーザアカウントに表示権限を付与します。

アップグレードマネジメントツールの関連製品の間で内部の不一致が検出されました。オブジェクト: "{0}"、プロパティ: "{1}"、予期しない値: "{2}"。(UMT 20009)

原因

内部エラーが発生しました。

対処方法

アップグレードマネジメントツールを再起動します。

アップグレードマネジメントツールに関連するプラグイン間で内部の不一致が検出されました。プロンプト名 "{0}" は少なくともプラグイン "{1}" および "{2}" で使用されています。(UMT 20010)

原因

内部エラーが発生しました。

対処方法

アップグレードマネジメントツールを再起動します。

アップグレードマネジメントツールに関連するプラグイン間で内部の不一致が検出されました。プラグイン "{1}" のプロンプト名 "{0}" に 1 つ以上の無効な文字が含まれています。(UMT 20011)

原因

1 つまたは複数の移行プラグインが無効なため、内部エラーが発生しました。

対処方法

指定した移行プラグインを再インストールします。

バージョンチェックが失敗しました。ソースシステムまたはソース BIAR ファイルはより古いバージョンである必要があります。出力先システムは現バージョンである必要があります。(UMT 20012)

原因

デプロイメントの現在のバージョンの BIAR ファイルをアップグレード元として使用したか、またはアップグレード先としてデプロイメントの以前のバージョンに接続しようとした。

対処方法

アップグレード元としての BIAR ファイルはデプロイメントの以前のバージョンのものを使用し、アップグレード先としてデプロイメントの現在のバージョンに接続します。

バージョンチェックが失敗しました。ソースシステムは現在のバージョンである必要があります。(UMT 20013)

原因

現在のバージョン以外のソースデプロイメントに接続しようとした。

対処方法

現在のバージョンのソースデプロイメントに接続します。

バージョンチェックが失敗しました。ソースシステムのバージョンは XI Release 2 以降である必要があります。(UMT 20014)

原因

サポートされている最も古いバージョンよりも前のバージョンのソースデプロイメントに接続しようとした。

対処方法

有効なソースデプロイメントに接続します。

ブラウザでヘルプを開けませんでした。(UMT 20015)

原因

現在のマシンには Web ブラウザがインストールされていません。

対処方法

Microsoft Internet Explorer や Mozilla Firefox などの Web ブラウザをインストールします。

アップグレードマネジメントツールは現在 WinAD と連動するように設定されていません。アップグレードガイドで WinAD 認証の適切なセットアップ方法を参照してください。(UMT 20016)

原因

必要な Java システムプロパティが WinAD 設定ファイルを参照していません。

対処方法

正しい Java システムプロパティを使用して、アップグレードマネジメントツールを実行します。

28.6 UMT 20106-20112

完全アップグレードを実行するには、システム管理者としてソース CMS にログオンする必要があります。(UMT 20106)

原因

ソース Central Management Server へのログオンに使用したユーザアカウントは、管理者グループのメンバーではありません。

対処方法

ログオフしてから、管理者権限を持つアカウントでログオンします。

完全アップグレードを実行するには、システム管理者として出力先 CMS にログオンする必要があります。(UMT 20107)

原因

出力先 Central Management Server へのログオンに使用したユーザアカウントは、管理者グループのメンバーではありません。

対処方法

ログオフしてから、Administrator アカウントでログオンします。

完全アップグレードを実行するには、システム管理者としてソース XI Release 2 CMS にログオンする必要があります。(UMT 20108)

原因

ソース Central Management Server へのログオンに使用したユーザアカウントは、管理者グループのメンバーではありません。

対処方法

ログオフしてから、Administrator アカウントでログオンします。

ソース入力 File Repository Server を使用できません。ソースシステムをチェックし、FRS サーバが稼働中であることを確認してください。(UMT 20109)

原因

ソースデプロイメントで利用できる Input File Repository Server (FRS) がありません。

対処方法

ソースデプロイメントで少なくとも 1 つの FRS を開始するか、有効化します。

ソース出力 File Repository Server を使用できません。ソースシステムをチェックし、FRS サーバが稼働中であることを確認してください。(UMT 20110)

原因

ソースデプロイメントで利用できる Input File Repository Server (FRS) がありません。

対処方法

ソースデプロイメントで少なくとも 1 つの FRS を開始するか、有効化します。

出力先入力 File Repository Server を使用できません。出力システムをチェックし、FRS サーバが稼働中であることを確認してください。(UMT 20111)

原因

出力先デプロイメントで利用できる Input File Repository Server (FRS) がありません。

対処方法

出力先デプロイメントで少なくとも 1 つの FRS を開始するか、有効化します。

出力先出力 File Repository Server を使用できません。出力システムをチェックし、FRS サーバが稼働中であることを確認してください。(UMT 20112)

原因

出力先デプロイメントで利用できる Input File Repository Server (FTS) がありません。

対処方法

出力先デプロイメントで少なくとも 1 つの FRS を開始するか、有効化します。

28.7 UMT 20201-20215

無効なアップグレードモードが検知されました。許容されるモードの一覧については、文書を参照してください。(UMT 20201)

原因

有効なアップグレードモードが選択されていません。

対処方法

有効なアップグレードモードを選択します。

ソースシステム名は空にできません。(UMT 20202)

原因

ソースデプロイメントの名前が入力されていません。

対処方法

ソースデプロイメントの有効な名前を入力します。

ソースシステムユーザ名は空にできません。(UMT 20203)

原因

ソースデプロイメントのユーザ名が入力されていません。

対処方法

ソースデプロイメントの有効なユーザ名を入力します。

ソースシステム認証は空にできません。(UMT 20204)

原因

ソースデプロイメントの認証方法を入力していません。

対処方法

ソースデプロイメントの認証方法を入力します。

出力先 CMS 名は空にできません。(UMT 20205)

原因

出力先デプロイメントの名前を入力していません。

対処方法

出力先デプロイメントの有効な名前を入力します。

出力先ユーザ名は空にできません。(UMT 20206)

原因

出力先デプロイメントのユーザ名を入力していません。

対処方法

出力先デプロイメントの有効なユーザ名を入力します。

出力先認証タイプは空にできません。(UMT 20207)

原因

出力先デプロイメントの認証方法を入力していません。

対処方法

出力先デプロイメントの認証方法を入力します。

BIAR ファイルパスを空白にすることはできません。(UMT 20208)

原因

BIAR ファイルの場所または名前を入力していません。

対処方法

BIAR ファイルの有効な場所および名前を入力します。

BIAR ファイルパスに指定されたディレクトリが見つかりません。パスを確認してください。(UMT 20209)

原因

BIAR ファイルで入力された場所が見つかりません。

対処方法

指定した場所が有効であることを確認します。

BIAR ファイルパスが無効です。パスを確認してください。(UMT 20210)

原因

BIAR ファイルの場所または名前が無効です。

対処方法

BIAR ファイルの有効な場所および名前を入力します。

指定された BIAR ファイルが見つかりません。ファイルパスを確認してください。(UMT 20211)

原因

指定した BIAR ファイルが見つかりません。

対処方法

BIAR ファイルの有効な場所および名前を入力します。

ログファイルパスを空白にすることはできません。(UMT 20212)

原因

ログファイルで指定された場所が見つかりません。

対処方法

指定した場所が有効であることを確認します。

ログファイルのパスが無効です。パスを確認してください。(UMT 20213)

原因

ログファイルの場所が無効です。

対処方法

ログファイルの有効な場所を入力します。

プロンプト "{0}" は無効です。許容されるプロンプトの一覧については、文書を参照してください。(UMT 20214)

原因

無効なプロンプト名を指定しました。

対処方法

有効なプロンプト名を入力します。

ログファイルパスに指定されたディレクトリが見つかりません。パスを確認してください。(UMT 20215)

原因

ログファイルを保存するために指定されたパスに、見つからないフォルダがあります。

対処方法

正しいフォルダを含むパスを指定します。

Web Intelligence エラー メッセージ

Web Intelligenceエラー メッセージは、次のカテゴリに分類されます。

- ・ Web Intelligence Java インタフェース (WIJ) に関するエラーメッセージ
- ・ Web Intelligence HTML インタフェース (WIH) に関するエラーメッセージ
- ・ Web Intelligence デスクトップ (WIO) に関するエラーメッセージ
- ・ Web Intelligence サーバー (WIS) に関するエラー メッセージ
- ・ Web Intelligence レポート エンジン (RWI)に関するエラー メッセージ

29.1 Web Intelligence (WIJ) に関するエラーメッセージ

Web Intelligence Java インタフェースエラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

範囲	カテゴリ
WIJ 10000 - WIJ 77778	Web Intelligence Java インタフェース

式エディタを使って式を作成する必要があります。(エラー: WIJ 10000)

原因

[式エディタ] ではなく、[セルのプロパティ] を使ってセルに式を入力しました。

対処方法

[式エディタ] を起動し、[式の定義] 枠に式を定義します。

既存のドキュメントオブジェクトと同じ名前の変数を作成することはできません。新しい変数にはほかの名前を選択してください。(エラー: WIJ 10001)

原因

1 つのドキュメントに、同じ名前の複数のオブジェクトや変数を含めることはできません。

対処方法

新しい変数は、既にドキュメントに含まれているオブジェクトや変数とは異なる名前を付けて保存してください。

このレポートコンポーネントを基準に配置されているブロック、セル、またはセクションを基準として、このレポートコンポーネントを配置することはできません。ドロップダウンリストから別のブロック、セル、またはセクションを選択するか、[基準] オプションを選択解除してください。(WIJ 10500)

原因

選択したレポートコンポーネントを参照する他のレポートコンポーネントを基準にしてレポートコンポーネントを配置すると、循環状態を作成することになります。

対処方法

相対位置を削除するか、相対位置に対して別のブロック、セル、またはセクションを選択します。

Web Intelligence では Java Runtime Environment (JRE) 1.4.2_01 が必要です。現在インストールされている JRE は {0} です。1.4.2_01 にアップグレードするよう管理者に連絡してください。必要なバージョンを既にお持ちの場合は、[Java Plug-in コントロール パネル] で、デフォルトの Virtual Machine バージョンを選択してください。(WIJ 11111)

原因

Java インタフェースを使用すると、Java アプレットがコンピュータにインストールされます。レポートパネルを使用するためには、Java Runtime Environment 1.4.2_01 以降のバージョンをインストールして選択する必要があります。

対処方法

ご使用のコンピュータに Java Runtime Environment 1.4.2_01 以降が既にインストールされている場合は、Java Plug-in コントロールパネルを起動します。手順は次の通りです。

- ・ Windows のメニューで、[スタート] > [設定] > [コントロールパネル] の順に選択します。
- ・ [Java Plug-in]をダブルクリックします。
- ・ [詳細] タブで、[Java Plug-in のデフォルトを使用] を選択し、[適用] をクリックします。

または

管理者に連絡し、Java Runtime Environment 1.4.2_01 以降のインストールを依頼してください。

ドキュメントのデコード中にエラーが発生しました。BI 起動パッドでこのドキュメントを開いてみてください。開くことができない場合、詳細については管理者に連絡してください。(WIJ20000)

原因

Web Intelligence は、ドキュメントをデコードして Java レポートパネルで開くことができませんでした。

対処方法

InfoView 会社用ドキュメントあるいは個人用ドキュメントの一覧から、そのドキュメントのタイトルをクリックして InfoView でドキュメントを開きます。

開くことができない場合は、管理者に連絡してください。

ドキュメントを最新表示する際、および開く際に予期しない問題が発生しました。データソースが変更または削除されているか、ドキュメントのプロンプトの値が選択されていません。(WIJ20001)

原因

ドキュメントには [起動時に最新表示] オプションが設定されています。このエラーには、次のようないくつかの原因が考えられます。

- ・ ドキュメントの作成時以降にデータソースが変更された。
- ・ ドキュメントの作成時以降にデータソースが削除された。
- ・ 1つあるいは複数のプロンプトで、値が選択されていない。

対処方法

管理者に連絡してください。

予期しないエラーです。サーバに再接続できない場合、セッションを閉じてから再び開始します。(WIJ 20002)

原因

サーバがダウンしたか、ユーザセッションが閉じられました。

対処方法

管理者に連絡してください。

現在のレポートの最初のページを取得できません。¥nレポートの有効性を確認してください。(ERR WIJ 20003)

原因

構造エラーが含まれているため、レポートを表示できません。

対処方法

次のいずれかを実行します。

- ・ 構造表示のレポートを参照し、レポート構造を確認してください。例えば、レポートブロックが重複したり、均整のとれていないテーブル形式を作成するセルがテーブルの構造に含まれている場合にエラーが発生します。必要に応じてレポート構造を変更してください。

- ・ レポート内の構造エラーを検出するよう管理者に依頼してください。

現在のクエリには解決不能なオブジェクトが含まれています。クエリは更新されます (WIJ 20004)。

原因

クエリで解決できないオブジェクトがあります。

対処方法

関連オブジェクトがデータソースから削除されていないことを確認します。

現在のリクエストが、破損したデータを返しました。管理者に連絡してください (WIJ 20005)。

原因

返されたデータが破損しています。データソースまたはネットワークの問題が原因である可能性があります。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

アプリケーションサーバにアクセスできません。追加情報については管理者に連絡してください (WIJ 20010)。

原因

アプリケーションサーバがダウンしているか、アドレスが間違っている可能性があります。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

コピーしようとしている {0,number} MB のレポート要素は大きすぎて外部アプリケーションにエクスポートできません。使用できる最大サイズは {1,number} MB です。(エラー: WIJ 30004)

原因

コピーするレポート要素が大きすぎてコピーできません。

対処方法

レポート要素のコピーを試みないようにします。

現在のユーザプロフィールでは、ドキュメントドメインにアクセスして会社用ドキュメントを保存することはできません。このドキュメントを個人用ドキュメントとして保存するか、管理者に連絡してください。(エラー: WIJ 40000)

原因

会社のリポジトリにドキュメントを保存する権限がありません。

対処方法

ドキュメントを個人用ドキュメントとして保存するか、リポジトリにドキュメントを保存するための権限を付与してもらうように管理者に依頼します。

このドキュメントのクエリは空です。[クエリ] タブの [結果オブジェクト] 枠にオブジェクトがあることを確認してからクエリを実行してください。(エラー: WIJ 30000)

原因

クエリに結果オブジェクトが含まれていません。

対処方法

クエリを編集して結果オブジェクトを追加します。

このドキュメントに、空のクエリが少なくとも 1 つ存在します。クエリを実行する前に、各 [クエリ] タブの [結果オブジェクト] 枠にオブジェクトが含まれているかどうか確認してください。(エラー: WIJ 30001)

原因

クエリに結果オブジェクトが含まれていません。

対処方法

結果オブジェクトを空のクエリに追加します。

メモリが不足しています。ブラウザ ウィンドウのサイズを小さくするか、レポート パネルを再起動してください。(WIJ 30003)

原因

コンピュータのメモリが不足しています。ブラウザウィンドウのサイズが大きすぎるためと思われます。

対処方法

次のいずれかを実行します。

- ・ ブラウザウィンドウのサイズを小さくします。

- ・ Java インタフェースを再起動します。

ユーザプロファイルにより、個人または会社用のドキュメントを保存することはできません。詳細については、管理者に連絡してください。(WIJ 40001)

原因

管理者が定義したユーザプロファイルでは、個人用ドキュメントおよび会社用ドキュメントを保存することができません。

対処方法

InfoView で個人用ドキュメントおよび会社用ドキュメントを保存する必要がある場合は、管理者に連絡してユーザプロファイルを変更してもらいます。

お使いのバージョンの Web Intelligence リッチクライアントは最新ではないので、このシステムに接続できません (ERR WIJ 50003)。ここをクリックして Web Intelligence リッチクライアントをアップグレードする必要があります。

原因

Web Intelligence リッチクライアントのバージョンが最新ではないため、リポジトリに接続できません。

対処方法

次のリンクに従って Web Intelligence リッチクライアントのバージョンをアップグレードします。

サーバに送信された情報には無効な文字が含まれています。[元に戻す] ボタンで最新の変更内容を取り消してから、再試行してください。(エラー: WIJ 55555)

原因

アプリケーションからサーバに送信された XML にエラーがあります。

対処方法

[元に戻す] 機能を使ってドキュメントに最後に行った誤った変更を削除し、クエリを再実行するかまたはドキュメントを最新表示します。

セッションがタイムアウトしました。{ドキュメント名}.wid は Favorites¥InteractiveAnalysis に自動保存されました。[復元] をクリックしてドキュメントを取得してください。(WIJ 60001)

原因

サーバのタイムアウトにより、現在のドキュメントを Favorites¥InteractiveAnalysis フォルダに自動保存しました。

対処方法

[復元]をクリックして、自動保存されたドキュメントを取得します。

ドキュメントが自動的に復元されない場合は、フォルダから手動で取得します。自動保存されたドキュメントの名前は、元のドキュメント名に自動生成されたプレフィックスとポストフィックスが付きます。

ドキュメントを自動保存フォルダからできるだけ早く取得してください。このフォルダは、自動保存されたドキュメントの永続的な保存場所ではありません。

セッションはタイムアウトしましたが、次のセキュリティ権限が割り当てられていないため、ドキュメントを自動保存できませんでした。(WIJ 60002): {権限のリスト}

原因

次のセキュリティ権限の一部または全部がないため、ドキュメントを自動保存できませんでした。

- ・ オブジェクトの編集
- ・ オブジェクトの削除
- ・ オブジェクトの追加

対処方法

適切なセキュリティ権限を割り当てるよう、管理者に依頼してください。

サーバの問題により、ドキュメントを受信できません (WIJ 77777)。

原因

サーバがダウンしているため、ドキュメントを取得できません。

対処方法

管理者に連絡してください。

Central Management Server (CMS) が機能していません。詳細については、管理者にお問い合わせください。(WIJ 77779)

原因

Central Management Server (CMS) が動作していません。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

セッションがタイムアウトしました。Java インタフェースを閉じて、再度ログオンしてください。(WIJ 77778)

原因

システムで許可されている最大時間を超えて、Java インタフェースを使用しないで BI 起動パッドにログインしたままです。

対処方法

ログアウトしてから再度 BI 起動パッドにログインし、Java インタフェースの使用を続行します (タイムアウト以前の保存されていない変更はすべて失われます)。

BI 起動パッドにログインできる時間を延長するには、管理者にセッションタイムアウトパラメータ値を増やすように依頼してください。

29.2 Web Intelligence デスクトップ (WIO) に関するエラーメッセージ

Web Intelligence デスクトップ (リッチクライアント) に関するエラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

範囲	カテゴリ
WIO 00001 - WIS 30284	Web Intelligence デスクトップ

Web Intelligence デスクトップにログインできません。(WIO 00001)

原因

ブラウザのキャッシュは特定の状況で一杯になり、それが原因で Web Intelligence デスクトップにログインできない場合があります。

対処方法

ブラウザのキャッシュが一杯である場合は空にします。Web Intelligence デスクトップにログインできない場合は、管理者に連絡してください。

ハイパーリンクを開くことができません (WIO 00002)。

原因

- ・ ハイパーリンクの URL が正しく構築されていません。

- ・ ハイパーリンクは CMC 内のドキュメントを参照します。CMC 内のドキュメントは、以下の 2 つの理由により、Web Intelligence デスクトップから必ずしもアクセスできるわけではありません。
- ・ [完全な URL パスを使用して、ハイパーリンクを作成]設定が選択されていないため、ドキュメントのホストとなるサーバの名前がハイパーリンクで指定されていません。不完全な URL を BI 起動パッドの外部で使用した場合、無効となります。
- ・ ハイパーリンクは完全な URL で構成されていますが、Web Intelligence リッチクライアントを実行しているコンピュータから、URL で指定されているサーバへアクセスできません。

対処方法

ハイパーリンクを修正するか、または管理者に連絡してください。

使用できるメモリはこれ以上ありません。(WIS 30280) (WIO 30280)

原因

システムのメモリ不足です。

対処方法

開いているドキュメントを閉じて、メモリを解放します。

メモリが不足しているため続行できません。ドキュメントを閉じてメモリを解放してください。(WIO 30284)

原因

システムのメモリが少なくなっています。

対処方法

開いているドキュメントを閉じて、メモリを解放します。

29.3 Web Intelligence サーバー (WIS)に関するエラー メッセージ

Web Intelligence サーバー エラー メッセージは、次のカテゴリに分類されます。

範囲	カテゴリ
WIS 30000 - WIS 40000	Web Intelligence サーバー

このドキュメントのクエリは空です。(WIS30000)

原因

このドキュメントに定義されているデータがありません。

対処方法

結果オブジェクトをクエリに追加します。

ドキュメントに、空のクエリが少なくとも 1 つ存在します。(WIS 30001)

原因

このドキュメントにデータが定義されていないクエリがあります。

対処方法

結果オブジェクトをクエリに追加します。

セキュリティプロファイルに、クエリを編集する権限が含まれていません (WIS 30251)。

原因

クエリを編集する権限がありません。

対処方法

管理者に連絡し、ドキュメントのクエリの編集を許可するよう依頼します。

セキュリティプロファイルに、ドキュメントを編集する権限が含まれていません。(WIS 30252)

原因

ドキュメントを編集する権限がありません。

対処方法

管理者に連絡し、ドキュメントの編集を許可するよう依頼してください。

セキュリティプロファイルに、ドキュメントを最新表示する権限が含まれていません。(WIS 30253)

原因

ドキュメントを最新表示する権限がありません。

対処方法

管理者に連絡し、ドキュメントの最新表示を許可するよう依頼してください。

セキュリティプロファイルに、値の一覧を最新表示する権限が含まれていません。(WIS 30254)

原因

値一覧を最新表示する権限がありません。

対処方法

管理者に連絡し、ドキュメントの値一覧の最新表示を許可するよう依頼してください。

セキュリティプロファイルに、値の一覧を使用する権限が含まれていません。(WIS 30255)

原因

値一覧を使用する権限がありません。

対処方法

管理者に連絡し、ドキュメントの値一覧の使用を許可するよう依頼してください。

セキュリティプロファイルに、クエリによって生成されたスクリプトを表示する権限が含まれていません。(WIS 30256)

原因

クエリによって生成されたスクリプトを表示する権限がありません。

対処方法

管理者に連絡し、クエリのスクリプトの表示を許可するよう依頼してください。

セキュリティプロファイルに、式言語を使用する権限が含まれていません。(WIS 30257)

原因

式言語を使用、または変数を作成する権限がありません。

対処方法

管理者に連絡し、ドキュメントでの式言語の使用、および変数の作成を許可するよう依頼してください。

セキュリティプロファイルに、ドリル分析を実行する権限が含まれていません。(WIS 30258)

原因

ドリル分析を実行する権限がありません。

対処方法

管理者に連絡し、レポートのドリル分析を許可するよう依頼してください。

セキュリティプロファイルに、分析範囲を拡張する権限が含まれていません。(WIS 30259)

原因

定義済み分析範囲を超えてドリル分析を実行しようとしたが、分析範囲外でドリル分析する権限がありません。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

{api_name}APIの呼び出し中に内部エラーが発生しました。(WIS 30270)

原因

該当ドキュメントあるいはデータに関する情報が無効、または使用できません。

対処方法

管理者は、追跡機能を有効にして API 関連のトレースを検出し、このエラーの発生原因を明らかにできます。

ドキュメントが大きすぎるため、サーバで処理できません。(WIS 30271)

原因

ドキュメントを PDF 形式または Microsoft Excel 形式で表示する場合は、サーバによってバイナリベースの出力が生成され、Web ブラウザによって解釈されます。このエラーは、バイナリ出力のサイズが、サーバ管理者によって指定された最大サイズより大きい場合に発生します。

対処方法

管理者に連絡し、最大サイズを増やすよう依頼してください。

ドキュメントが大きすぎるため、サーバで処理できません。(WIS 30272)

原因

ドキュメントをHTML形式で表示する場合は、サーバによって文字ベースの出力が生成され、Webブラウザによって解釈されます。このエラーは、文字出力のサイズが、サーバ管理者によって指定された最大サイズより大きい場合に発生します。

対処方法

管理者に最大ドキュメントサイズを大きくするよう依頼してください。

クエリまたはレポートを生成できませんでした。(WIS 30351)

原因

クエリの定義に必要な手順を1つ以上完了できなかったため、レポートを生成できませんでした。これは、次のいずれかの理由によります。

- ・ ドキュメントが初期化されなかった。
- ・ データソースが有効ではない。
- ・ クエリが定義されなかった。
- ・ クエリのコンテキストがユニバースレベルで定義されていない。
- ・ プロンプトの値がユニバースレベルで指定されていない。

対処方法

管理者に連絡し、データソースへの接続を確認し、ユニバースに指定されていないコンテキストおよびプロンプト値が含まれていないことを確認するよう依頼してください。

この名前のクエリファイルは既に存在します。(WIS 30371)

原因

ドキュメント内に同じ名前のクエリが存在します。

対処方法

このクエリに別の名前を付けます。

Web Intelligence サーバのメモリ不足です。ログオフしてから、もう 1 度接続を実行してください。問題が解決しない場合は、管理者に連絡してください。(エラー: ERR_WIS_30280) (WIS 30280)

原因

サーバのメモリがいっぱいです。

対処方法

後で再度実行してください。問題が解決しない場合は、管理者に連絡してください。

Web Intelligence サーバは使用中です。変更を保存して、後でもう一度実行してください。問題が解決しない場合は、管理者に連絡してください。(エラー: ERR_WIS_30284) (WIS 30284)

原因

サーバはビジー状態です。

対処方法

変更を保存して、後で再度実行してください。問題が解決しない場合は、管理者に連絡してください。

Web Intelligence サーバがメモリ不足で、ドキュメントが閉じられています。問題が解決しない場合は、管理者に連絡してください。(エラー: ERR_WIS_30285) (WIS 30285)

原因

サーバのメモリがいっぱいです。

対処方法

後で再度実行してください。問題が解決しない場合は、管理者に連絡してください。

このドキュメントを編集できません。これは、クエリのプロパティオプションである [ほかのユーザによるクエリ編集を許可] がこのドキュメントの作成時に有効になっていなかったためです。(WIS 30381)

原因

ドキュメントの作成者が、クエリのプロパティオプション [ほかのユーザによるクエリ編集を許可] を選択しませんでした。

対処方法

次のいずれかを実行します。

- ・ ドキュメント作成者に対し、オプションを有効にしてドキュメントを保存し直すよう依頼します。
- ・ 個人用ドキュメントとしてドキュメントのコピーを保存し、そのクエリを編集します。

WIQT で内部エラーが発生しました (WIS 30551)。

原因

WIQT に予期せぬエラーが発生しました。

対処方法

管理者にお問い合わせください。

WIQT セッションがタイムアウトになりました。ログアウトし、再度 BI 起動パッドにログインしてください。(WIS 30553)

原因

システムで許可されている最大時間を超えて、Web Intelligence を使用しないで BI 起動パッドにログインしたままです。

対処方法

ログアウトしてから、再度 BI 起動パッドにログインします (タイムアウト以前の保存されていない変更はすべて失われます)。

BI 起動パッドにログインできる時間を延長するには、管理者にセッションタイムアウトパラメータ値を増やすように依頼してください。

使用できる WIQT サーバはこれ以上ありません。同時にログインできるユーザの最大数に達しています。(WIS 30554)

原因

最大ユーザ数がすでにログインしています。

対処方法

後で、再試行するか、管理者に連絡して同時にログインできるユーザの最大数を増やすよう依頼してください。

セキュリティプロファイルに、会社用ドキュメントとしてドキュメントを保存、または BI 起動パッドを使用してドキュメントを送信する権限が含まれていません。(WIS 30555)

原因

セキュリティプロファイルでは、ドキュメントを個人用または会社用として保存、またはドキュメントをスケジュールすることはできません。

対処方法

管理者に連絡し、以下を許可するよう依頼してください。

- ・ 会社用ドキュメントの保存
- ・ ドキュメントの自分のグループのユーザへの送信
- ・ ドキュメントをほかのグループのユーザへ送信

同じ名前の会社用ドキュメントがすでに存在します。セキュリティプロファイルに、他のユーザが所有する会社用ドキュメントを削除できません。(WIS 30556)

原因

セキュリティプロファイルの設定では、既存の会社用ドキュメントを上書きすることは許されていません。

対処方法

管理者に連絡し、他のユーザが保存した会社用ドキュメントの削除を許可するよう依頼してください。

リポジトリにこの名前のドキュメントはありません。ほかの名前を指定してください。(WIS 30557)

原因

以下のいずれかの理由により、リポジトリにこの名前のドキュメントはありません。

- ・ 入力したドキュメント名が正しくない。
- ・ この名前のドキュメントがリポジトリから削除された

対処方法

正しいドキュメント名かどうかを確認します。

注

削除されたドキュメントを受信することはできません。

このドキュメントには指定のアクションを実行できません。(WIS 30650)

原因

リソース不足またはアクセスの問題により、サーバが現在のタスクを完了できません。

対処方法

次のいずれかを実行します。

- ・ セッションを終了し、BI 起動パッドからログアウトしてから、再度ログインしてください。
- ・ 管理者に、セキュリティプロファイルによって、会社用リポジトリへのアクセスが許可されていることを確認するよう依頼してください。

サーバは XML ドキュメントをロードできませんでした。(WIS 30751)

原因

BusinessObjects ドキュメントを Web Intelligence 6.x に移行する場合、Web Intelligence Report Server で開くことが可能な XML ファイルが作成されます。管理コンソール上の関連モジュールは WIReportServer と呼ばれます。この場合、ドキュメントを Web Intelligence 6.x へ移行中に、Web Intelligence Report Server に予期しないエラーが発生しました。

対処方法

管理者は、追跡機能を有効にして WIReportServer に関連するトレースを検出し、このエラーの発生理由を明らかにします。この情報を管理者に連絡します。

このドキュメントの XML ファイルを開くことができません。管理者に連絡してください。(WIS 30752)

原因

Desktop Intelligence ドキュメントを Web Intelligence 6.x に移行する場合、サーバで開くことができる XML ファイルが作成されます。このエラーは、サーバが XML ファイルを開けないときに発生するため、移行は完了できません。これには、共通の原因が 2 つあります。

- ・ XML が読み取り専用である。
- ・ XML ファイルへのファイルパスが正しくない。

対処方法

この情報を管理者に連絡します。

XML ドキュメントを解析中にエラーが発生しました。管理者に連絡してください。(WIS 30753)

原因

Desktop Intelligence ドキュメントを Web Intelligence 6.x に移行する場合、サーバで開くことができる XML ファイルが作成されます。このエラーは、XML ファイルにサーバが解釈できない構造エラーが含まれる場合に発生するため、移行は完了できません。

対処方法

この問題を解決するために管理者が実行できる対策は 2 つ考えられます。

- ・ XML ファイルを XML 編集ツールで開き、ドキュメントの構造を確認する。
- ・ 追跡を有効にして WIReportServer に関連するトレースを確認する。

Web Intelligence 2.x のドキュメントは移行できませんでした。(WIS 30761)

原因

Web Intelligence 2.x ドキュメントを現在のドキュメント形式に移行中に、予期しないエラーが発生しました。

対処方法

管理者は、追跡機能を有効にして、サーバ関連のトレースを確認することで、このエラーの原因を特定できる場合があります。この情報を管理者に連絡します。

このドキュメントを移行できませんでした。元の Web Intelligence 2.x ドキュメントのクエリとレポートが同期していません。元のドキュメントを最新表示して保存し、もう一度移行してみてください。(WIS 30762)

原因

元の Web Intelligence 2.x ドキュメントで、クエリに含まれているオブジェクトとレポートに含まれているオブジェクトが一致しません。つまり、サーバはドキュメントを正しく解釈して、現在のドキュメント形式に移行できません。

対処方法

元の Web Intelligence 2.x ドキュメントのクエリおよびレポートでのデータ定義を同期させるには、以下を実行します。

- 1 Web Intelligence 2.x を使用して、もう一度元のドキュメントを開きます。
- 2 クエリを実行するか、ドキュメントのデータを最新表示します。
- 3 最新表示されたドキュメントを保存します。
- 4 移行ツールを使用して、ドキュメントの移行を再試行します。

Web Intelligence 2.x または移行ツールにアクセスできない場合は、この情報を管理者に連絡してください。

WIQT モジュールがエラーを返したため、Web Intelligence 2.x ドキュメントは移行できませんでした。管理者にお問い合わせください。(WIS 30763)

原因

WIQT プロセスでエラーが発生したため、元の Web Intelligence 2.x ドキュメントを現在のドキュメント形式に移行できませんでした。

対処方法

管理者は、追跡機能を有効にして WIQT 関連のトレースを検出し、このエラーの発生理由を明らかにできません。この情報を管理者に連絡します。

現在のユーザプロフィールでは、ドキュメントのドメインにアクセスして会社用ドキュメントを保存することはできません。このドキュメントを個人用ドキュメントとして保存するか、管理者に連絡してください。
(WIS 40000)

原因

ユーザプロフィールに、リポジトリの会社用ドキュメントのドメインにドキュメントを保存する権限は含まれていません。

対処方法

次のいずれかを実行します。

- ・ ドキュメントを個人用ドキュメントとして保存してください。
- ・ 管理者に連絡し、会社用ドキュメントのドメインへのアクセス権を依頼してください。

29.4 Web Intelligence デスクトップ HTML インタフェース (WIH) に関するエラーメッセージ

Web Intelligence デスクトップ HTML インタフェースに関するエラーメッセージには、以下が含まれます。

範囲	カテゴリ
WIH 00000 - WIH 00020	Web Intelligence デスクトップ HTML インタフェース

29.4.1 ドキュメントを保存できませんでした(WIH 00014)

原因

ドキュメントをリポジトリに保存できませんでした。このエラーは、様々な理由で発生します。たとえば、ドキュメントを保存しようとしたフォルダに対するセキュリティ権限を持たないことが考えられます。

対処方法

管理者に連絡して、ドキュメントを保存できなかった理由を調べてください。

セッションがタイムアウトしました。ドキュメント {ドキュメント名}.wid は お気に入り¥~WebIntelligence フォルダに自動保存されました。取得するには [復元] をクリックしてください。(WIH 00015)

原因

サーバのタイムアウトにより、現在のドキュメントを Favorites¥~WebIntelligence フォルダに自動保存しました。

対処方法

[復元]をクリックして、自動保存されたドキュメントを取得します。

ドキュメントが自動的に復元されない場合は、フォルダから手動で取得します。自動保存されたドキュメントの名前は、元のドキュメント名に自動生成されたプレフィックスとポストフィックスが付きます。

ドキュメントを自動保存フォルダからできるだけ早く取得してください。このフォルダ は、自動保存されたドキュメントの永続的な保存場所ではありません。

セッションはタイムアウトしましたが、次のセキュリティ権限が割り当てられていないため、ドキュメントを自動保存できませんでした。(WIH 00016): {権限のリスト}

原因

次のセキュリティ権限の一部または全部がないため、ドキュメントを自動保存できませんでした。

- ・ オブジェクトの編集
- ・ オブジェクトの削除
- ・ オブジェクトの追加

対処方法

適切なセキュリティ権限を割り当てるよう、管理者に依頼してください。

29.5 ReportEngine Web Intelligence (RWI) エラーメッセージ

ReportEngine Web Intelligence エラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

範囲	カテゴリ
RWI 00000 – RWI 00850	ReportEngine Web Intelligence

29.5.1 RWI 00000 – RWI 00314

クエリのプロンプトにユーザの入力が必要です。(RWI 00000)

原因

サーバは、リクエストに応じるためにプロンプト値が必要です。

アクション

すべての必須プロンプトの値を入力します。

クエリ用のユニバースコンテキストを選択するため、ユーザの入力が必要です。(RWI 00001)

原因

サーバは、リクエストに応じるためにコンテキストの選択が必要です。

アクション

コンテキストの選択を提供します。

引数を NULL にすることはできません。(RWI 00010)

原因

指定された引数は "NULL" です。

アクション

引数に NULL でない値を入力します。

無効な値: {0}。(RWI 00011)

原因

指定された引数値が無効です。

アクション

引数に有効な値を入力します。

引数が範囲外です。(RWI 00012)

原因

指定された引数値が許容されている範囲内にありません。

アクション

許容されている範囲内にある値を指定します。

要求されたレポートパーツを取得できません。レポートパーツの参照先が無効か、対応するデータが存在しません。(RWI 00013)

原因

1 つまたは複数のレポートパーツの参照が無効であるか、対応するデータが使用できません。

アクション

有効なレポートパーツの参照を使用していることを確認します。次に、ドキュメントのデータプロバイダが最新表示された後に、要求されたデータが使用できることを確認します。

DHTML 出力形式では同時に複数のレポートパーツを取得できません。(RWI 00014)

原因

複数のレポートパーツを DHTML 出力形式で同時に取得することはできません。

アクション

レポートパーツの参照を 1 つ入力します。

依頼検索の検索モードをオフにできません。(RWI 00015)

原因

「委任」検索として定義された値の一覧は、検索モードを無効にできません。

アクション

検索モードを無効にする前に、値の一覧が「委任検索」として定義されていないかチェックします。

指定された OutputCacheEntry インスタンスのいずれかが無効であるか、Web Intelligence サーバによってサポートされていません。(RWI 00016)

原因

サーバ出力キャッシュのプリロード中、指定された 1 つまたは複数の出力形式が無効であるか、サポートされていません。

アクション

要求された出力形式が有効でサポートされていることを確認します。

指定されたストリームから {0} バイトを読み取れませんでした。(RWI 00017)

原因

ドキュメントにリソースをアップロードするときに、指定されたデータを読み取ることができません。

アクション

指定されたパラメータが正しく一貫していることを確認します。

Web Intelligence サーバが無効な XML 出力を返しました。管理者に連絡してください。(RWI 00200)

原因

サーバが無効または間違った XML 出力を返しました。

アクション

Business Objectsのカスタマ サポートに連絡してください。

ページ番号を取得できませんでした。(RWI 00223)

原因

要求されたページは、ページ番号が無効なため取得できませんでした。

アクション

要求されたページ番号が有効であることを確認します。

レポートエンジンサーバを初期化できません。(RWI 00226)

原因

サーバとの通信を確立できませんでした。これは、ドキュメントを作成または開こうとしたときに発生する場合があります。

アクション

サーバが正しくインストールされていることを確認します。また、サーバが起動して有効になっているかチェックします。

Web Intelligence セッションがタイムアウトしたので、無効になりました。(RWI 00235)

原因

特定のドキュメントに割り当てられているサーバセッションが、明示的またはタイムアウトのために閉じられています。

アクション

ドキュメントが明示的に閉じられていないことを確認します。または、サーバセッションタイムアウト値を増やします。

サーバセッションタイムアウト値を変更する手順は、次のとおりです。

- 1 Business Intelligence プラットフォームセントラル管理コンソール (CMC) にログオンします。
- 2 [サーバ]をクリックします。
- 3 サーバカテゴリを展開し、[Web Intelligence]をクリックします。
- 4 サーバ名の下にある[WebIntelligenceProcessingServer]をダブルクリックします。[プロパティ]ウィンドウが表示されます。
- 5 [プロパティ]ウィンドウの[Web Intelligence 処理サービス]の下で、[アイドル接続タイムアウト]の値を入力します。

Web Intelligence サーバに接続できません。管理者に連絡してください。(RWI 00236)

原因

サーバと通信しようとしているときにエラーが発生しました。

アクション

管理者に連絡して、サーバが有効かつ実行中であることを確認します。また、ネットワークの問題もチェックします。

出力ストリームを書き込むことができません。管理者に連絡してください。(RWI 00237)

原因

表示リクエストへの応答としてデータを書き込んでいるときに I/O エラーが発生しました。

アクション

管理者に連絡して、指定された出力先パラメータが有効であることを確認します。

接続に失敗しました。サーバは同時接続の最大数に達しています。(RWI 00239)

原因

許容されるサーバ接続の最大数に達しました。

アクション

最大接続数サーバパラメータの値を増やすか、別のサーバインスタンスを追加します。

最大接続数の値を変更する手順は、次のとおりです。

- 1 Business Intelligence プラットフォームセントラル管理コンソール (CMC) にログインします。
- 2 [サーバ]をクリックします。
- 3 サーバカテゴリを展開し、[Web Intelligence]をクリックします。
- 4 サーバ名の下にある[WebIntelligenceProcessingServer]をダブルクリックします。[プロパティ]ウィンドウが表示されます。
- 5 [プロパティ]ウィンドウの[Web Intelligence 処理サービス]の下で、[最大接続数]の値を入力します。

サーバのバージョンとクライアントのバージョンに互換性がありません。管理者に連絡してください。(RWI 00240)

原因

サーバは、この SDK のバージョンをサポートしていません。

アクション

管理者に連絡して、サーバのバージョンが、クライアントのバージョンと互換性があることを確認します。

XML 変換機能が見つかりません。(RWI 00301)

原因

XML を HTML に変換するために使用する XSLT 変換機能をインスタンス化できません。

アクション

後で再度実行してください。

トランスレットを作成できません。(RWI 00309)

原因

XML を HTML に変換するために使用する XSLT スタイルシートをコンパイルできません。

アクション

後で再度実行してください。

ドキュメントの出力ファイルを取得できません。(RWI 00314)

原因

ドキュメントの状態をシリアル化しているときに、エラーが発生しました。これは、メモリ不足または I/O エラーが原因である可能性があります。

アクション

十分なメモリ容量があることを確認します。また、webi.properties がカスタマイズされていないかチェックします。

29.5.2 RWI 00315 – RWI 00605

XML パーサの ID を取得できません。(RWI 00316)

原因

XSLT 変換中にエラーが発生しました。これは、クライアントが指定したスタイルシートを使用して、出力を XML 形式で要求したためである可能性があります。

アクション

指定された XSLT スタイルシートが正しいことを確認します。

XML を HTML に変換できません。(RWI 00317)

原因

XSLT の変換中に、出力を HTML で要求しているときにエラーが発生しました。

アクション

後で再度実行してください。

Java Runtime Environment は UTF-8 エンコードをサポートしていません。(RWI 00321)

原因

JRE は UTF-8 エンコードをサポートしていません。

アクション

UTF-8 エンコードをサポートする JRE に切り替えます。

保存トークンからドキュメントを取得中にエラーが発生しました。(RWI 00322)

原因

ドキュメントの状態を非シリアル化しているときに、エラーが発生しました。これは、メモリ不足または I/O エラーが原因である可能性があります。

アクション

十分なメモリ容量があることを確認します。また、webi.properties がカスタマイズされていないかチェックします。

渡された古いトークンを持つドキュメントを取得できません。(RWI 00323)

原因

ドキュメントの状態を非シリアル化しているときに、エラーが発生しました。これは、ドキュメントの状態を識別するストレージトークンが、ストレージトークンスタック内で使用できなくなったことが原因である可能性があります。

アクション

webi.properties ファイルで、ストレージトークンのスタックサイズの値を増やします。また、ストレージトークンを使用する前に、有効であることを確認します。

渡された不正なトークンを持つドキュメントを取得できません。(RWI 00324)

原因

ドキュメントの状態を非シリアル化しているときに、エラーが発生しました。これは、ストレージトークンが無効であることが原因である可能性があります。

アクション

有効なストレージトークンを指定します。

現在の演算子はオペランドが多すぎます。(RWI 00501)

原因

現在の演算子では、条件またはフィルタにオペランドが多すぎて新しいオペランドを追加できません。

アクション

新しいオペランドを追加する前に、既存のオペランドを削除します。

現在の演算子はオペランドが不足しています。(RWI 00502)

原因

条件またはフィルタには、現在の演算子に関して十分なオペランドがありません。

アクション

条件またはフィルタにオペランドを追加します。

このレポートレベルで作成したフィルタではプロンプトを実行できません。(RWI 00503)

原因

レポートフィルタがプロンプトをサポートしていません。プロンプトをサポートしているのは、クエリ条件だけです。

アクション

レポートフィルタにはプロンプトを使用しないようにします。

定義済みのフィルタでは演算子やオペランドを変更することができません。(RWI 00504)

原因

定義済み条件を使用しているときは、条件またはフィルタに対して演算子を指定できません。

アクション

定義済み条件内の演算子がフィルタまたは条件を持たないことを確認します。

LIKE 演算子と NOT_LIKE 演算子は Object Type.TEXT オブジェクトでのみ適用できます。(RWI 00506)

原因

文字型でないオブジェクトに "LIKE" または "NOT_LIKE" 演算子を使用しようとしていました。

アクション

フィルタに使用されているオブジェクトが文字型でない場合は、“LIKE” と “NOT_LIKE” 演算子を使用していないことを確認します。

指定した演算子はドキュメントフィルタには適用できません。(RWI 00507)

原因

指定された演算子は、レポートフィルタと一緒に使用できません。これを一緒に使用できるのは、クエリ条件だけです。

アクション

レポートフィルタを使って作業する場合は、この演算子を使用しないようにします。

関連付けられているソースオブジェクトに LOV (値の一覧) がないため、Web Intelligence は LOV をプロンプトに添付できません。(RWI 00508)

原因

値の一覧は、定義されるプロンプトと一緒に使用できません。これは、この条件で使用されるオブジェクトに LOV は含まれないためです。

アクション

値の一覧を使用するプロンプトを要求する前に、条件内で使用するオブジェクトが値の定義済み一覧を持つことを確認します。

フィルタ条件の比較に互換性のないデータソースオブジェクトがあります。(RWI 00509)

原因

条件内で異なるタイプの 2 つのオブジェクトを比較しようとしてしました。

アクション

同じタイプのオブジェクトを使用します。

式にはレポートフィルタを作成できません。(RWI 00511)

原因

式はレポートフィルタとして使用できません。使用できるのは、データプロバイダと変数式だけです。

アクション

レポートフィルタを定義するときは、データプロバイダまたは変数式を使用します。

パーセンテージランクは 100 を超える値を持つことはできません。(RWI 00512)

原因

パーセンテージのランクを定義したときに、100 を超えるランクサイズを選んでいました。

アクション

ランクサイズが 100 未満であることを確認します。

軸では式を使用できません。(RWI 00602)

原因

軸にない式を使用して、ブレーク、計算、並べ替えを作成しようとした。

アクション

軸で利用できる式を使用します。

Y 軸に含めることができるのは係数オブジェクトのみです。(RWI 00603)

原因

メジャー タイプでない式を軸に追加しようとした。

アクション

メジャー タイプの式を指定します。

メジャーを基にセクションを作成することはできません。(RWI 00604)

原因

セクションは、メジャー タイプの式を基にすることはできません。

アクション

メジャー タイプの式をセクションの基礎として使用しないようにします。

セクションの軸に複数の表現式を追加することはできません。(RWI 00605)

原因

セクション軸は複数の式をサポートしていません。

アクション

セクション軸には複数の式を使用しないようにします。

29.5.3 RWI 00606 – RWI 00850

循環添付をファイルに含めることはできません。(RWI 00606)

原因

循環添付の原因となるレポート添付を定義しようとした。

アクション

循環添付を作成しないレポートを定義します。

式がテーブルセルの式と異なります。(RWI 00607)

原因

テーブルセルに含まれない式を指定して、テーブルセルに計算を作成しようとした。

アクション

テーブルセルに既に定義されている式を使用して計算テーブルを作成します。

異なる ReportElementContainer 内の要素に ReportElement オブジェクトをコピーすることはできません。(RWI 00608)

原因

レポート添付は、同じコンテナに属するレポート要素間でのみ定義できます。

アクション

同じコンテナに属するレポート要素間でレポート添付を作成していることを確認します。

セクションに水平添付を作成することはできません。(RWI 00609)

原因

セクション内に水平添付を作成しようとした。

アクション

セクションは最大許容幅を超えることはできないので、水平添付はセクション内に作成しないようにします。

テーブルボディからすべての行と列を削除することはできません。少なくとも 1 つの行と列を残す必要があります。(RWI 00610)

原因

テーブルボディの最終行または最終列を削除しようとしてしました。

アクション

テーブルに少なくとも 1 つの行と列があることを確認します。

この軸ではディメンションと詳細オブジェクトのみ使用できます。(RWI 00611)

原因

ディメンションおよび詳細式のタイプだけが許可されている軸に対して、使用できない型の式を追加しようとしてしました。

アクション

互換性のあるタイプの式を指定します。

ブロックの形状に基づいたブロック軸上にオブジェクトを追加することはできません。(RWI 00612)

原因

指定されたブロック軸にこれ以上式を追加できません。

アクション

これ以上式を追加しないようにします。

このレポート要素には、両面の添付ファイルを含めることができません。(RWI 00613)

原因

レポート要素は、2 つの異なるレポート要素に水平および垂直に添付できません。

アクション

レポート要素が同じレポート要素に(水平および垂直に)添付されていることを確認します。

テーブルセルがテーブルから削除されました。(RWI 00614)

原因

テーブルから削除されたテーブルセルを使用しようとした。

アクション

テーブルセルは、テーブルから削除された後は使用できません。

空のクエリは実行できません。(RWI 00701)

原因

空のクエリを実行しようとした。

アクション

クエリを実行する前に、結果オブジェクトを追加します。

最後のデータプロバイダを削除できません。(RWI 00702)

原因

ドキュメント内の最後のデータプロバイダを削除しようとした。

アクション

ドキュメントには少なくとも 1 つのデータプロバイダが必要です。

指定した名前のデータプロバイダがすでに存在します。(RWI 00703)

原因

ドキュメントに既に存在する名前をデータプロバイダに付けようとした。

アクション

ドキュメント内のデータプロバイダの名前は一意である必要があります。

標本抽出モードが有効になっていると、複合クエリの互換性がなくなります。(RWI 00706)

原因

標本抽出は複合クエリでは使用できません。

アクション

複合クエリでは標本抽出を使用しないようにします。

データソースオブジェクトを削除しようとしています、データソースの式が 2 つしかありません。(RWI 00800)

原因

2 つの式だけを含む同期化されたディメンションから 1 つの式を削除しようとした。

アクション

同期化されたディメンションが少なくとも 2 つの式を含んでいることを確認します。

既存の名前 ({0}) でリンクを作成することはできません。(RWI 00801)

原因

同期化されたディメンションを、既に存在する名前で作成しようとした。

アクション

同期化されたそれぞれのディメンションに対して、一意の名前を付けます。

新しい値の一覧が CustomSortLov でサポートされるサイズより大きい CustomSortLov は更新できません。(RWI 00825)

原因

カスタム並べ替え定義の値の一覧を、許可された以上の値で更新しようとした。

アクション

一覧内の値の数が、指定されたカスタム並べ替えの範囲内であることを確認します。

レポート式の LOV のサイズが CustomSortLov のサポートサイズより大きい場合、CustomSortLov を作成できません。(RWI 00826)

原因

カスタム並べ替え定義の値の一覧を、許可された以上の値で作成しようとした。

アクション

一覧内の値の数が、指定されたカスタム並べ替えの範囲内であることを確認します。

{0} 機能はサポートされていません。(RWI 00850)

原因

現在のコンテキストでサポートされていない特定の機能を使用しようとした。

アクション

この機能を使用する前に、この機能がサポートされていることを確認します。

29.6 カスタムデータソース (CDS) フレームワークのエラーメッセージ

カスタムデータソース (CDS) フレームワークのエラーメッセージには、以下のカテゴリが含まれます。

範囲	カテゴリ
CDS 00001 ~ CDS 00013	カスタムデータソースユーザインタフェースフレームワークのエラーメッセージ
CDS 10100 ~ CDS 10400	Web サービスカスタムデータソースプラグインのエラーメッセージ
CDS 15102 ~ CDS 15122	カスタムデータソースフレームワークのエラーメッセージ

29.6.1 カスタムデータソースユーザインタフェースフレームワークのエラーメッセージ

選択されたファイル拡張子は正しくありません。(CDS 00001)

原因

ファイルの拡張子が、予想外または以前に選択されたファイルと異なります。

対処方法

正しいファイルが選択されているか確認します。

ファイルにアクセスできません。(CDS 00002)

原因

不正なファイルパスが入力されました。

対処方法

正しいパスが入力されているか確認します。

ファイルが存在しません。(CDS 00003)

原因

指定されたパスにファイルが存在しません。

対処方法

有効なパスとファイル名が指定されたか確認します。

選択されたファイルはディレクトリです。(CDS 00004)

原因

入力されたパスは、ファイルではなくディレクトリを指しています。

対処方法

正しいファイル名を入力します。

データソースの処理中にエラーが発生しました。プラグインに無効な操作があります。(CDS 00005)

原因

プラグインがすべてのデータソースパラメータを取得できません。

対処方法

ログをチェックして、プラグインコードが正しく動作していることを確認します。

プラグインのユーザインタフェースでエラーが発生しました。(CDS 00006)

原因

プラグインユーザインタフェースでエラーが発生しました。

対処方法

ログをチェックして、プラグインコードが正しく動作していることを確認します。

更新済みの入力にアクセス中にエラーが発生しました。(CDS 00007)

原因

プラグインから取得されたデータソースパラメータへのアクセス中にエラーが発生しました。

対処方法

ログをチェックして、プラグインコードが正しく動作していることを確認します。

この名前のオブジェクトがすでに存在します。(CDS 00008)

原因

この名前を持つ別のオブジェクトが存在します。

対処方法

値が一意になるようオブジェクトの名前を変更します。

この名前のクエリがすでに存在します。(CDS 00009)

原因

この名前のクエリがもう 1 つ存在します。

対処方法

値が一意になるようクエリの名前を変更します。

インストールで問題が検出されました。確認して、もう一度実行してください。(CDS 00010)

原因

インストール中に問題が検出されました。

対処方法

インストール設定を確認します。詳細については、ドキュメンテーションを参照してください。

データソースの処理中にエラーが発生しました。(CDS 00011)

原因

データソースの特定時に問題が検出されました。

対処方法

ログを確認して、詳細エラーメッセージを取得します。

要求されたアクションを完了できませんでした。(CDS 00012)

原因

エラーが検出されました。

対処方法

ログを確認して、詳細エラーメッセージを取得します。

プラグイン表示コンポーネントを取得できませんでした。(CDS 00013)

原因

プラグインコンポーネントの取得時にエラーが発生しました。

対処方法

ログを確認して、詳細エラーメッセージを取得します。プラグインコードが正しいことを確認します。

29.6.2 Web サービスカスタムデータソースプラグインのエラーメッセージ

要求されたアクションの処理中にエラーが発生しました。(CDS 10100)

原因

要求されたアクションの処理中に予想外のエラーが発生しました。

対処方法

エンタープライズ管理者にお問い合わせください。

出力メッセージパネルで何も選択されていません。(CDS 10101)

原因

ユーザが、出力メッセージパネルからクエリ用のフィールドを選択していません。

対処方法

レポートに表示する必要のあるフィールドを、出力メッセージパネルから選択します。

Web サービスの呼び出し中にエラーが発生しました。{0}(CDS 10200)

原因

Web サービスの呼び出し中にエラーが発生しました。

対処方法

エンタープライズ管理者にお問い合わせください。

Web サービス "{0}" の実行エラー。(CDS 10201)

原因

入力パラメータが正しくないため、Web Service Endpoint を呼び出せませんでした。

対処方法

Web サービスの呼び出し中に正しい値を入力します。

Web サービスプラグインのインスタンス化中にエラーが発生しました。(CDS 10202)

原因

Web サービスプラグインの拡張記述子が、正しい dstype を返しませんでした。

対処方法

管理者に問い合わせ、問題を修正してください。

解析の例外: 入力された WSDL の種類または構造がサポートされていません。(CDS 10203)

原因

WSDL の構造が、Web サービスのカスタムデータソースプラグインによってサポートされていません。

対処方法

サポートされている WSDL についてはドキュメンテーションを参照してください。

Microsoft タイプの名前空間を参照する WSDL はサポートされていません。(CDS 10204)

原因

<http://microsoft.com/wsdl/types/> 名前空間を参照する WSDL はサポートされていません。

対処方法

WSDL を変更するか、サポートされている WSDL を選択します。

循環参照を含む WSDL はサポートされていません。(CDS 10205)

原因

WSDL タイプ定義に、循環参照が含まれています。

対処方法

WSDL を変更するか、サポートされている WSDL を選択します。

種類の定義がない WSDL はサポートされていません。(CDS 10206)

原因

WSDL の <types> タグにタイプ定義が含まれていません。

対処方法

WSDL を変更するか、サポートされている WSDL を選択します。

ターゲット URL の形式が正しくないため、SOAP 要求を送信できません。(CDS 10207)

原因

WSDL でこのサービスのために記述されている SOAP アクションターゲット URL の形式が正しくありません。

対処方法

WSDL を変更するか、サポートされている他の WSDL を選択します。

エンコードされたメッセージを使用する WSDL はサポートされていません。(CDS 10208)

原因

WSDL に、エンコードされたメッセージを予想する操作があります。

対処方法

WSDL を変更するか、サポートされている他の WSDL を選択します。

応答の解析中にエラーが検出されました。(CDS 10400)

原因

サーバからの応答の解析中にエラーが検出されました。

対処方法

製品ログを確認して、エラーの実際の原因を入手します。

29.6.3 カスタムデータソースフレームワークのエラーメッセージ

カスタムデータプロバイダを作成または更新できません: 指定されたソースから情報を取得できません。(CDS 15102)

原因

入力されたソースから情報の取得中に予想外のエラーが発生しました。

対処方法

管理者に問い合わせ、エラーを解決してください。

カスタムデータプロバイダを作成または更新できません: 指定されたソースから構造情報を取得できません。(CDS 15103)

原因

入力されたソースから構造情報の取得中に予想外のエラーが発生しました。

対処方法

プラグインのサポートに問い合わせ、プラグインが正しく動作しているか確認します。問題が解決しない場合は、SAP のサポートにお問い合わせください。

カスタムデータプロバイダを作成または更新できません: データセットで反復子を作成できません。(CDS 15104)

原因

データセットでの反復子の構築中に予想外のエラーが発生しました。

対処方法

プラグインのサポートに問い合わせ、プラグインが正しく動作しているか確認します。問題が解決しない場合は、サポートにお問い合わせください。

カスタムデータプロバイダを作成または更新できません: データソースプラグイン管理で問題が発生したため、要求されたアクションを完了できません。(CDS 15106)

原因

予期せぬエラーが発生しました。

対処方法

サポートに問い合わせ、エラーを解決してください。

このファイルでクエリを作成または更新できません: ファイルシステムにファイル "{filename}" がありません。(CDS 15107)

原因

指定された場所にファイルがありません。

対処方法

ソースファイルに指定されたファイルパスが正しいか確認します。

カスタムデータプロバイダを作成または更新できません: パスが無効です。(CDS 15108)

原因

指定されたファイルパスが正しくありません。

対処方法

ソースに指定されたパスが正しいか確認します。

カスタムデータプロバイダを作成または更新できません: 構造の取得中に無効な情報が取得されました。(CDS 15109)

原因

データプロバイダから構造情報の取得中に予想外のエラーが発生しました。

対処方法

プラグインのサポートに問い合わせ、プラグインが正しく動作しているか確認します。問題が解決しない場合は、サポートにお問い合わせください。

カスタムデータプロバイダを作成または更新できません: この要求に一致するデータソースプラグインが見つかりませんでした。(CDS 15110)

原因

プラグイン情報の取得中にエラーが発生しました。

対処方法

プラグイン実装が、必要なプラグイン情報を正しく返すか確認します。プラグインの設定方法については、ドキュメンテーションを参照してください。

カスタムデータプロバイダを作成または更新できません: この要求に一致するデータソースプラグインをインスタンス化できませんでした。(CDS 15111)

原因

プラグインのインスタンス化中にエラーが発生しました。

対処方法

プラグインの詳細情報および、プラグイン MANIFEST ファイルの モジュールパス が正しいことを確認します。プラグインの設定方法については、ドキュメンテーションを参照してください。

カスタムデータプロバイダを作成または更新できません: この要求のためのデータソースプラグインのデータプロバイダをインスタンス化できませんでした。(CDS 15112)

原因

プラグイン拡張のデータプロバイダコンポーネントのインスタンス化中にエラーが発生しました。

対処方法

プラグインのサポートに問い合わせ、プラグインが正しく動作しているか確認します。

カスタムデータプロバイダを作成または更新できません: データサンプルを取得中にエラーが発生しました。(CDS 15113)

原因

データプロバイダからのサンプルデータの取得中にプラグインでエラーが発生しました。

対処方法

プラグインのサポートに問い合わせ、プラグインが正しく動作しているか確認します。

カスタムデータプロバイダからデータを取得できません: データ反復子の作成中にエラーが発生しました。(CDS 15114)

原因

データ反復子の取得中にプラグインでエラーが発生しました。

対処方法

プラグインのサポートに問い合わせ、プラグインが正しく動作しているか確認します。

カスタムデータプロバイダからデータを取得できません: 反復子でデータを取得中にエラーが発生しました。(CDS 15115)

原因

反復子でのデータの取得中にプラグインでエラーが発生しました。

対処方法

プラグインのサポートに問い合わせ、プラグインが正しく動作しているか確認します。

カスタムデータプロバイダを作成または更新できません: 構造の取得中にデータソースプラグインによってサポートされないオブジェクトタイプが指定されました。(CDS 15116)

原因

プラグインにサポートされていないデータタイプがあります。

対処方法

サポートされているデータタイプの一覧のドキュメンテーションを参照してください。

カスタムデータプロバイダを作成または更新できません: セッションを開くときに内部エラーが発生しました。(CDS 15117)

原因

セッションを開くときにプラグインでエラーが発生しました。

対処方法

プラグインのサポートに問い合わせ、プラグインが正しく動作しているか確認します。

カスタムデータプロバイダを作成または更新できません: 指定されたパスのソースが保護されています。(CDS 15118)

原因

入力されたソースファイルがパスワードで保護されているファイルのため、プラグインが続行できませんでした。

対処方法

プラグインのドキュメンテーションを参照してください。

カスタムデータプロバイダを作成または更新できません: 指定された URL が無効です。(CDS 15119)

原因

URL が無効なためプラグインが続行できませんでした。

対処方法

プラグインのドキュメンテーションを参照してください。

カスタムデータプロバイダを作成または更新できません: 指定された URL が見つかりません。(CDS 15120)

原因

入力された URL が見つからなかったため、プラグインが続行できませんでした。

対処方法

プラグインのドキュメンテーションを参照してください。

指定されたソースのカスタムデータプロバイダと通信できません。(CDS 15121)

原因

予期せぬエラーが発生しました。

対処方法

サポートに問い合わせ、エラーを解決してください。

問題が発生しました。要求されたアクションを完了できません。(CDS 15122)

原因

予期せぬエラーが発生しました。

対処方法

サポートに問い合わせ、エラーを解決してください。

HTTP エラー

30.1 HTTP 404 エラーのトラブルシューティング

次のいずれかの理由で HTTP 404 エラーが発生する可能性があります。

- ・ 要求したページがエラーで削除されている。Web アプリケーションのデプロイメントフォルダを確認して、要求したページが存在するか確認します。
- ・ Web アプリケーションが正しく設定されていない。この Web アプリケーションの他のページにアクセスしてみてください。この Web アプリケーションにアクセスできない他のページがある場合は、Web アプリケーションの設定に問題があります。Web アプリケーションのデプロイメント手順を参照して設定ファイルが有効であることを確認するか、Web アプリケーションを再デプロイします。
- ・ システム設定が正しくない。たとえば、メモリの制限に達していたり、ODBC DSN が正しく設定されていない場合があります。その結果、例外がスローされ、必要なページが生成されていません。Web サーバのログまたは Web アプリケーションのログでエラーや例外に関するレコードがないか確認してください。
- ・ 環境変数が正しく設定されていない。この環境変数は、システム変数、または Web アプリケーションサーバで定義されている変数である可能性があります。その場合、必要なライブラリまたはクラスが見つかりません。Web サーバのログまたは Web アプリケーションのログでエラーや例外に関するレコードがないか確認してください。Web アプリケーションのデプロイメント手順を参照して、必要な手順をすべて実行しているか確認してください。
- ・ Web アプリケーションが破損している。Web サーバを再起動してください。問題が解決しない場合は、Web アプリケーションを再デプロイします。
- ・ 要求したリソースが、動的に生成された、特殊な拡張子名 (.cwr など) を使用する Web ページである場合、対応するアプリケーションマッピングが正しく設定されていないために、Web サーバが要求を処理できない場合があります。Web サーバの設定を確認してください。
- ・ 関連する Web アプリケーションがデプロイされていない、または正しく設定されていない可能性がある。Web アプリケーションのデプロイメント手順を参照して、Web アプリケーションの設定を確認してください。
- ・ 以前は正常に機能していたページが機能しなくなった場合、Web サーバ側に加えた変更が、このページまたはその親 Web アプリケーションに悪影響を与えている場合があります。たとえば、アドオン Web アプリケーションを既存の Web アプリケーションの上に適用している場合、元の設定が破損する可能性があります。Web サーバに最近加えた変更を確認してください。

30.2 HTTP 500 エラーの解決

次のいずれかの理由で HTTP 500 エラーが発生する可能性があります。

- ・ 必要なコンポーネントがインストールされていないか、正しく設定されていない。その結果、Web サーバ側で例外がスローされます。Web サーバのログまたは Web アプリケーションのログでエラーや例外に関するレコードがないか確認してください。Web アプリケーションのデプロイメント手順を参照して、必要なコンポーネントがすべてインストールされているか確認してください。
- ・ 環境変数が正しく設定されていない。この環境変数は、システム変数、または Web アプリケーションサーバで定義されている変数である可能性があります。その場合、必要なライブラリまたはクラスが見つかりません。Web サーバのログまたは Web アプリケーションのログでエラーや例外に関するレコードがないか確認してください。Web アプリケーションのデプロイメント手順を確認して、必要な手順をすべて実行しているか確認してください。
- ・ セキュリティ設定が正しく設定されていない。たとえば、必要なシステムユーザアカウントが設定されていない場合があります。Web サーバのログまたは Web アプリケーションのログでエラーや例外に関するレコードがないか確認してください。Web アプリケーションのデプロイメント手順を参照して、必要なセキュリティ設定がすべて有効であるか確認してください。
- ・ Web アプリケーションが正しく設定されていないか、破損している可能性がある。Web サーバを再起動してください。問題が解決しない場合は、Web アプリケーションを再デプロイします。
- ・ 以前は正常に機能していたページが機能しなくなった場合、Web サーバ側に加えた変更が、このページまたはその親 Web アプリケーションに悪影響を与えている場合があります。たとえば、アドオン Web アプリケーションを既存の Web アプリケーションの上に適用している場合、元の設定が破損する可能性があります。Web サーバに最近加えた変更を確認してください。
- ・ 要求したリソースが、動的に生成された、特殊な拡張子名 (.cwr など) を使用する Web ページである場合、対応するアプリケーションマッピングが正しく設定されていないために、Web サーバが要求を処理できない場合があります。Web サーバの設定を確認してください。
- ・ Web サービスが Microsoft IIS である場合は、マイクロソフトサポート技術情報の次の記事を参照してください。<http://support.microsoft.com/kb/311766>

Dashboards のエラーメッセージ

DSL の初期化に失敗しました(XLS 000001)

原因

DSL のインストールに失敗しました。

対処方法

DSL ユニバースの整合性を確認します。

DSL サービスが見つかりませんでした。SAP BusinessObjects インストールをチェックしてください。(XLS 000002)

原因

DSL サービスが見つかりません。

対処方法

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームインストールを確認します。

SAP BusinessObjects サーバに接続できませんでした。ネットワーク接続をチェックしてください。(XLS 000003)

原因

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームに接続できませんでした。

対処方法

ネットワーク接続を確認します。

データをシリアル化 (非シリアル化) できませんでした。(XLS 000004)

原因

データをシリアル化 (非シリアル化) できませんでした。

対処方法

データを確認します。

例外 {0} をシリアル化できませんでした。(XLS 000005)

原因

例外をシリアル化できませんでした。

対処方法

もう一度試してみます。

データソース ({0} - {1}) が見つかりません。(XLS 000006)

原因

ユニバースが見つかりません。

対処方法

CUID を確認します。

Dashboards DSL ライブラリをロードできませんでした。(XLS 000007)

原因

Dashboards DSL ライブラリをロードできませんでした。

対処方法

Dashboards サーバのインストールを確認します。

セッションをロードできませんでした。(XLS 000008)

原因

セッションをロードできませんでした。

対処方法

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームログインを確認します。

リクエストを処理できませんでした。(XLS 000009)

原因

要求処理エラーです。

対処方法

もう一度試してみます。

{0} infoobject が見つかりません: {1}。infoobject が存在し、それに対して権限があることを確認してください。(XLS 000010)

原因

InfoObject が見つかりませんでした。

対処方法

InfoObject が存在し、アクセス権限があることを確認します。

ユニバース {0} のデータ接続情報が見つかりません (XLS 000011)

原因

ユニバースのデータ接続が見つかりませんでした。

対処方法

ユニバースへの適切な接続が存在することを検証します。

不明なサーバエラー。後でもう一度実行してください。(XLS 000012)

原因

不明なサーバエラーです。

対処方法

サーバへのアクセスを再度試みます。

Dashboards Server の設定プロパティ {0} は無効です。(XLS 000013)

原因

Dashboards サーバ設定プロパティが無効です。

対処方法

サーバ設定プロパティが正しく定義され、入力エラーがないことを確認します。

Dashboards Server の設定ファイルが見つからないかロードできません。(XLS 000014)

原因

Dashboards サーバ設定ファイルがありません。

対処方法

サーバ設定ファイルが存在することを確認します。

クエリでサポートされていない複数の SQL 文が生成されました。クエリを変更してください。(XLS 000015)

原因

複数 SQL 文はサポートされていません。

対処方法

クエリが SQL 文を 1 つだけ生成することを確認します。

複合クエリはサポートされていません。(XLS 000016)

原因

複合クエリはサポートされていません。

対処方法

クエリに複合クエリが含まれていないことを確認します。

キャッシュファイルのパスが無効です。(XLS 000017)

原因

キャッシュファイルパスが無効です。

対処方法

キャッシュファイルパスが存在し、正しいことを検証します。

Dashboards Processing Server を初期化できませんでした。(XLS 000018)

原因

Dashboards Processing Server が初期化できませんでした。

対処方法

Dashboards Processing Server が正常に起動され実行中であることを検証します。

現在のユーザには、オブジェクト {1} に対して権限 {0} がありません (XLS 000019)

原因

オブジェクトのユーザ権限が無効です。

対処方法

現在のユーザが InfoObject に対して適切な権限を持っていることを確認します。

サーバに接続できませんでした。ログオンしてからもう一度実行してください。(XLW 000001)

原因

認証に失敗しました。

対処方法

ログイン認証情報を確認します。

サーバと通信できませんでした。もう一度試してみます。問題が解決しない場合は、システム管理者またはテクニカルサポートにお問い合わせください。(XLW 000002)

原因

セッションから XcelsiusService を取得できませんでした。

対処方法

ログインし直してみます。

プラットフォーム検索エラーメッセージ

プラットフォーム検索エラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

範囲	カテゴリ
PSS 0001 - PSS 07002	プラットフォーム検索エラー

新しいドキュメント抽出バージョンは実装されていません。システム管理者に連絡してください。(PSS 00002)

原因

内部クラス定義およびその実装と一致しないビルドに、バージョンが異なるバイナリが存在しています。このエラーは、バイナリが設定パラメータと一致しない、または設定パラメータがバックエンドで変更されたために発生した可能性があります。

対処方法

管理者に連絡してください。

不明な理由のため {0} の抽出に失敗しました。システム管理者に連絡してください。(PSS 00003)

原因

ドキュメントがサードパーティライブラリによってサポートされていないか、または捕捉されなかった例外により抽出に失敗しました。

対処方法

スタックトレースとログファイルを用意して管理者に連絡してください。

SI_ID {0} のオブジェクトの抽出中に、メモリ不足エラーが発生しました。ドキュメントのサイズを確認してください。(PSS 00004)

原因

リポジトリにアップロードされたサードパーティのドキュメントサイズが、プラットフォーム検索設定の LARGE_OBJECT_SIZE_CUTOFF として定義された限度を超えています。

対処方法

ドキュメントのサイズを縮小、または分割してから再度アップロードしてください。または、管理者に連絡して設定パラメータを変更してください。

複数のインデックスエンジンが有効になっているため、インデックス化に失敗しました (PSS 01001)。

原因

プラットフォーム検索アプリケーションの CMC アプリケーションで、複数の検索エンジンが有効化されています。

対処方法

プラットフォーム検索アプリケーションの CMC アプリケーションでは、1 つの検索エンジンのみを有効にしてください。

インデックス化に失敗しました。インデックスエンジンがすべて無効な可能性があります (PSS 01002)。

原因

プラットフォーム検索の CMC アプリケーションで、検索エンジンが有効化されていません。

対処方法

プラットフォーム検索アプリケーションの CMC アプリケーションでは、少なくとも 1 つの検索エンジンを有効にしてください。

インデックスの準備が完了していません。後でもう一度実行してください (PSS 01004)。

原因

インデックスが生成されていません。

対処方法

インデックスが生成されるまで待機する必要があります。CMC のプラットフォーム検索アプリケーションのプロパティのページを参照し、インデックス化されたドキュメント数を調べることもできます。

文字列が一般的すぎます。より具体的な文字列を指定してください。 (PSS 02001)

原因

このエラーは、唯一の検索キーワードとして "a"、"this"、"in"、ストップワード、または 1 文字などの一般文字列を使用したためと思われます。

対処方法

一般文字列を、"sales" などのより特定でき、完全な検索キーワードに置き換えてください。

注

フレーズ検索でこれらの一般文字列を使用すると、このエラーメッセージは生成されません。

検索文字列が空です。有効な検索文字列を入力してください (PSS 02003)。

原因

検索文字列が空または空白です。

対処方法

有効な検索文字列を入力してください。

検索文字列が無効です。サポートされている検索構文に関する詳細は、マニュアルを参照してください (PSS 02004)。

原因

検索文字列の構文が無効です。

対処方法

有効な検索文字列を入力してください。有効な検索構文については、『BI 起動パッドユーザガイド』の『プラットフォーム検索のテクニック』のトピックを参照してください。

サーバはビジー状態です。後でもう一度実行してください (PSS 02005)。

原因

サーバに検索リクエストを処理する十分なシステムリソースがありません。

対処方法

後でもう一度検索してください。

{0} のサマリの抽出に失敗しました。 (PSS 03002)

原因

ドキュメント集計内のプロパティ値を抽出できません。

対処方法

集計情報に抽出可能なコンテンツがあることを確認してください。

{0} のコンテンツの抽出に失敗しました。(PSS 03004)

原因

このエラーは、以下の問題が原因で発生した可能性があります。

- ・ 構造化されたサードパーティのドキュメントのヘッダ、フッタ、またはセルなどのコンポーネントの一部に、抽出不可テキストまたはオブジェクトが含まれている場合。
- ・ RTF および TXT ドキュメントに構造化されていないテキストが含まれている場合。

対処方法

ドキュメント内のすべてのコンポーネントに抽出可能テキストまたはオブジェクトが含まれているかどうかを確認してください。

ドキュメントがコメントなしの PPT である、パスワード保護されている、またはドキュメントに抽出不可能なコンテンツが含まれている可能性があるため、SLID {0} のオブジェクトを抽出できません。(PSS 03007)

原因

ドキュメントに以下のいずれかの問題があるため、プラットフォーム検索で SLID< ID> を含むオブジェクトを抽出できませんでした。

- ・ 空のコメントの PPT である
- ・ パスワードで保護されている
- ・ 抽出できないテキストまたはオブジェクトが挿入されている
- ・ サードパーティライブラリがドキュメントにアクセスできない

対処方法

ドキュメントに上記の問題がないことを確認してください。このような問題が発生した場合は、これらのコンポーネントを削除し、ドキュメントを再度アップロードしてください。

PDF に抽出不可能なコンテンツが含まれている可能性があるため、SLID {0} のオブジェクトを抽出できません。(PSS 03008)

原因

PDF ドキュメントに抽出できないテキストまたはオブジェクトが含まれています。

対処方法

ドキュメントに抽出できないテキストまたはオブジェクトが含まれていないことを確認します。

ドキュメントに抽出不可能なコンテンツが含まれている、またはドキュメントが大きすぎる可能性があるため、SL_ID {0} のオブジェクトを抽出できません。(PSS 03009)

原因

このエラーは、SL_ID<ID>を含むドキュメントに抽出できないテキストまたはオブジェクトが含まれるか、またはドキュメントサイズが大きいため発生した可能性があります。

対処方法

ドキュメントに抽出できないテキストまたはオブジェクトが含まれず、ドキュメントサイズが非常に大きくないことを確認してください。

RASFactory サービスが返されませんでした。(PSS 04001)

原因

Report Application Server (RAS) がダウンしているか、または Crystal Reports を処理する SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームに Crystal Report Server サービスを使用できません。

対処方法

Report Application Service (RAS) を実行中で、設定が正しく、Crystal Report 固有のサービスが正しく機能していることを確認してください。Crystal レポートを『BI 起動パッド』で開いてみて、RAS が使用できることを確認してください。

サポートされていない InfoObject {0} が Crystal Reports 抽出に送られました。(PSS 04003)

原因

InfoObject は、レポートとして InfoObject プロパティを含む非 Crystal レポートとして識別されます。

対処方法

ドキュメントを Crystal Report Designer で開き、再度保存します。

Crystal レポート {0} を終了できませんでした。(PSS 04005)

原因

Report Application Server (RAS) がダウン、またはレポートで使用する InfoObjects が壊れています。

対処方法

RAS が継続して実行中であることを確認します。エラーが継続する場合は、抽出用にレポートを再送信、またはシステム管理者に連絡してください。

RAS はドキュメント {0} を開くことができませんでした。(PSS 04006)

原因

InfoObject が Crystal Report オブジェクトとして識別されていません。

対処方法

適切な Crystal Report オブジェクトを、Crystal Report Designer および BI 起動パッドで開いて、表示できるリポジトリにアップロードします。

例外のため、ユニバースのコンテキストを作成できませんでした: {0}。(PSS 05001)

原因

Web Intelligence プロセッシングサーバがダウンしています。

対処方法

Web Intelligence プロセッシングサーバが実行中であることを確認します。

DataSourceElement の値を取得できませんでした。DataSourceName が作成され、接続が利用可能であることを確認してください。(PSS 05002)

原因

最初は正常に接続設定された後の、データベース接続の失敗。

対処方法

データベース接続に問題がないことを確認してください。このデータソースに作成されたデータソース名 (DSN) の接続が正しく設定されたかどうかを確認します。

ユニバース {0} のビジネスレイヤを作成できませんでした。コンテキストのエラーまたはコアサービスが使用できないことが原因である可能性があります。(PSS 05003)

原因

このエラーは、以下のいずれかの問題が原因で発生した可能性があります。

- ・ データソース詳細が Web Intelligence プロセッシングサーバから受領されていません。
- ・ データソース名 (DSN) が不正、またはデータベース接続が無効です。
- ・ Web Intelligence プロセッシングサーバがダウンしています。

対処方法

Web Intelligence プロセッシングサーバが実行中であり、DSN 接続が正常に機能していることを確認します。

Interactive Analysis 処理サーバがダウンしている可能性があります。ドキュメントインスタンスを作成できません。(PSS 06002)

原因

Web Intelligence プロセッシングサーバまたはサービスがダウンしています。

対処方法

Web Intelligence プロセッシングサーバが実行中で、Interactive Analysis ドキュメントを作成する権限があることを確認します。このドキュメントを BI 起動パッドで開いてみます。

新しいドキュメント抽出バージョンは実装されていません。システム管理者に連絡してください。(PSS 06004)

原因

プラットフォーム検索では、Interactive Analysis ドキュメントのサポートされていないバージョンでを使用したコンテンツを含むドキュメントはサポートされていません。

対処方法

Interactive Analysis ドキュメントのサポートされていないバージョンのコンテンツを削除します。

Interactive Analysis ドキュメント {0} を終了できませんでした。(PSS 06005)

原因

このエラーは Web Intelligence プロセッシングサーバがダウンしているため発生した可能性があります。

対処方法

Web Intelligence プロセッシングサーバが実行中であることを確認します。このドキュメントを BI 起動パッドで開いてみます。

Interactive Analysis 処理サーバがドキュメント {0} を開けませんでした。(PSS 06006)

原因

Web Intelligence プロセッシングサーバがダウンしています。

対処方法

Web Intelligence プロセッシングサーバが実行中で、Interactive Analysis ドキュメントを表示する権限があることを確認します。このドキュメントを BI 起動パッドで開いてみます。

Interactive Analysis ドキュメントには、正しくないユニバース接続情報が含まれています。(PSS 06007)

原因

ユニバースまたはデータベース接続情報が不正、または使用できません。

対処方法

ユニバースまたはデータベース接続情報を使用できることを確認します。

Explorer 検索サーバがダウンしている可能性があります。結果を作成できません。(PSS 07001)

原因

Explorer 検索サーバがダウンまたは無効化されています。

対処方法

Explorer 検索サーバを再起動し、実行中であることを確認します。

情報スペースの取得中に内部エラーが発生しました。(PSS 07002)

原因

このエラーは内部エラーが原因で発生した可能性があります。

対処方法

後でもう一度検索してください。

モニタリングエラーメッセージ

モニタリングエラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

範囲	カテゴリ
MON00001- MON00057	モニタリングエラー

プローブの実行中にエラーが発生しました (MON00001)

原因

プローブスケジュールサービスが実行されていないか、内部エラーの原因となる例外が発生している可能性があります。

対処方法

プローブの履歴ページのスケジュールステータスリンクまたはログファイルで詳細を確認してください。

プローブの一覧表示中にエラーが発生しました (MON00002)

原因

このエラーは、プローブの一覧を取得するクエリの失敗によって発生した可能性があります。

対処方法

詳細については、Web サーバログを参照してください。

ID {0} のファイルからプローブ結果を読み込み中にエラーが発生しました (MON00003)

原因

Input File Repository Server が実行されていない可能性があるため、プローブの実行結果レポートを取得できませんでした。

対処方法

File Repository Server が実行されているか、および実行インスタンスが履歴ページから削除されていないかを確認してください。

プロパティ/スケジュール/履歴アクションの URL の取得中にエラーが発生しました (MON00004)

原因

このエラーは、URL を取得するクエリの失敗によって発生した可能性があります。

対処方法

Web サーバログで詳細を確認してください。

プローブの一覧のページ番号付け中にエラーが発生しました (MON00006)

原因

このエラーは、ページ内の一連のプローブを取得するクエリの失敗によって発生した可能性があります。

対処方法

Web サーバログで詳細を確認してください。

{0} は有効な {1} 値ではありません (MON00007)

原因

入力パラメータとして入力された値が、期待されるデータ型（文字列値または論理値など）と異なります。

対処方法

入力パラメータとして期待されるタイプの値を入力してください。

リクエストの実行中に例外が発生しました (MON00008)

原因

このエラーは内部の問題が原因で発生した可能性があります。

対処方法

Web サーバログで詳細を確認してください。

データベースからトレンドデータの取得中にエラーが発生しました (MON00009)

原因

モニタリングサービスが実行されていないか、トレンドデータベースからのトレンドデータの取得中にエラーが発生した可能性があります。

対処方法

モニタリングサービスが実行中であることを確認してください。ログで詳細を確認してください。

監視の一覧作成中にエラーが発生しました (MON00010)

原因

このエラーは、監視の一覧を取得するクエリの失敗によって発生した可能性があります。

対処方法

Web サーバログで詳細を確認してください。

監視 {0} の詳細を取得中にエラーが発生しました (MON00011)

原因

このエラーは、監視の詳細を取得するクエリの失敗によって発生した可能性があります。

対処方法

Web サーバログで詳細を確認してください。

監視 {0} のステータスを取得中にエラーが発生しました。(MON00012)

原因

このエラーは、監視のステータスを取得するクエリの失敗によって発生した可能性があります。

対処方法

Web サーバログで詳細を確認してください。

監視 {0} の作成中にエラーが発生しました (MON00013)

原因

モニタリングサービスが実行されていないか、データベースへの監視のコミット中にクエリが失敗した可能性があります。

対処方法

モニタリングサービスを開始してください。サービスがすでに実行中である場合は、Web サーバログで詳細を確認してください。

監視 {0} の削除中にエラーが発生しました (MON00014)

原因

モニタリングサービスが実行されていないか、データベースからの監視の削除中にクエリが失敗した可能性があります。

対処方法

モニタリングサービスを開始してください。サービスがすでに実行中である場合は、Web サーバログで詳細を確認してください。

監視 {0} のコピーを作成中にエラーが発生しました (MON00015)

原因

モニタリングサービスが実行されていないか、データベースへのコピーされた監視のコミット中にクエリが失敗した可能性があります。

対処方法

モニタリングサービスを開始してください。サービスがすでに実行中である場合は、Web サーバログで詳細を確認してください。

監視 {0} を編集中にエラーが発生しました (MON00016)

原因

モニタリングサービスが実行されていないか、データベースへの修正された監視のコミット中にクエリが失敗した可能性があります。

対処方法

モニタリングサービスを開始してください。サービスがすでに実行中である場合は、Web サーバログで詳細を確認してください。

監視の一覧のページ番号付け中にエラーが発生しました (MON00017)

原因

このエラーは、ページ内の一連の監視を取得するクエリの失敗によって発生した可能性があります。

対処方法

Web サーバログで詳細を確認してください。

監視 {0} をお気に入りとして登録中にエラーが発生しました (MON00018)

原因

このエラーは、監視をお気に入りとして登録するクエリの失敗によって発生した可能性があります。

対処方法

Web サーバログで詳細を確認してください。

最近のアラートを取得中にエラーが発生しました (MON00019)

原因

モニタリングサービスが実行されていないか、実行中にエラーが発生した可能性があります。

対処方法

モニタリングサービスが実行中であることを確認してください。ログで詳細を確認してください。

監視 {0} のアラートを取得中にエラーが発生しました (MON00020)

原因

モニタリングサービスが実行されていないか、実行中にエラーが発生した可能性があります。ユーザにアラートを表示する権限がない可能性があります。

対処方法

モニタリングサービスが実行中であること、およびユーザに適切な権限があることを確認してください。詳細については、ログを確認してください。

アラートの削除中にエラーが発生しました (MON00021)

原因

ユーザにアラートを削除する権限がないか、モニタリングサービスが実行されていないか、または実行中にエラーが発生した可能性があります。

対処方法

モニタリングサービスが実行中であること、およびユーザに適切な権限があることを確認してください。詳細については、ログを確認してください。

アラートの全ページ数を取得中にエラーが発生しました (MON00022)

原因

モニタリングサービスが実行されていないか、実行中にエラーが発生した可能性があります。

対処方法

モニタリングサービスが実行中であることを確認してください。詳細については、ログを確認してください。

アラート数と共に監視を取得中にエラーが発生しました (MON00023)

原因

モニタリングサービスが実行されていないか、実行中にエラーが発生した可能性があります。

対処方法

モニタリングサービスが実行中であることを確認してください。詳細については、ログを確認してください。

アラートが確認されたプロパティを設定中にエラーが発生しました (MON00024)

原因

ユーザにアラートを確認済みとして登録する権限がないか、モニタリングサービスが実行されていないか、またはモニタリングサービスの実行中にエラーが発生した可能性があります。

対処方法

モニタリングサービスが実行中であること、およびユーザに適切な権限があることを確認してください。詳細については、ログを確認してください。

既読に変更されたアラートの設定中にエラーが発生しました (MON00025)

原因

ユーザにアラートを開封済みとして登録する権限がないか、モニタリングサービスが実行されていないか、または実行中にエラーが発生した可能性があります。

対処方法

モニタリングサービスが実行中であること、およびユーザに適切な権限があることを確認してください。詳細についてはログを確認してください。

サーバは起動していません (MON00026)

原因

AdaptiveProcessingServer (またはモニタリングサービスをホストするサーバ) が実行されていません。

対処方法

サーバを再起動します。

不明なエラーです (MON00027)

原因

不明なエラーです。

対処方法

モニタリングサービスが実行中であることを確認してください。ログファイルで詳細を確認してください。

KPI の取得中にエラーが発生しました (MON00028)

原因

このエラーは、リポジトリからの値の取得中にクエリが失敗したことによって発生した可能性があります。

対処方法

Web サーバログで詳細を確認してください。

マネージドエンティティの更新中にエラーが発生しました (MON00029)

原因

管理エンティティの最新表示中にエラーが発生しました。

対処方法

Central Management Server (CMS) を再起動します。

監視の有効化中にエラーが発生しました (MON00030)

原因

モニタリングサービスが実行されていないか、実行中にエラーが発生した可能性があります。

対処方法

モニタリングサービスが実行中であることを確認してください。ログファイルで詳細を確認してください。

タイムアウト値をゼロまたは負の値にすることはできません (MON00031)

原因

タイムアウト値としてゼロまたは負の値が入力されたため、プローブは実行されません。

対処方法

有効なタイムアウト値を入力してください。

タイムアウト値が正しくありません (MON00032)

原因

タイムアウト値が正しくないため、プローブは実行されません。

対処方法

有効なタイムアウト値を入力してください。

入力パラメータタイプ "{0}" が認識できません (MON00033)

原因

入力パラメータタイプが無効です。

対処方法

有効な入力パラメータを指定してください。有効な入力タイプは、文字列値や論理値などです。

入力パラメータが正しくありません: {0} (MON00034)

原因

入力パラメータが正しくありません。

対処方法

有効な入力パラメータを指定してください。

プローブ InfoObject の取得中にエラーが発生しました (MON00035)

原因

プローブ InfoObject の取得中にエラーが発生しました。プローブオブジェクトが削除されたか、正しくないプローブ ID が渡された可能性があります。

対処方法

適切なプローブ詳細を指定していることを確認してください。

プローブ InfoObject が見つかりませんでした (MON00036)

原因

プローブ InfoObject が見つかりません。プローブオブジェクトが削除されたか、正しくないプローブ ID が渡された可能性があります。

対処方法

プローブが使用可能で、ユーザに適切な権限があることを確認してください。

以下の引数には {0} がありません (MON00037)

原因

必須の引数がありません。

対処方法

必須の引数を指定してください。

監視 {0} の無効化または有効化中にエラーが発生しました (MON00039)

原因

モニタリングサービスが実行されていないか、クエリの失敗によって内部エラーが発生している可能性があります。

対処方法

Web サーバログで詳細を確認してください。

モニタリングサービスが開始されていないか、開始に失敗した可能性があります。サービスステータスをチェックしてください (MON00041)。

原因

モニタリングサーバまたはモニタリングサービスが実行されていない可能性があります。

対処方法

モニタリングサーバおよびモニタリングサービスが実行されていることを確認します。

プローブの実行中に例外が発生しました (MON00042)。

原因

プローブの実行中にエラーが発生しました。入力パラメータの設定が正しくないことが原因である可能性があります。

対処方法

プローブパラメータが適切に設定されているかどうか確認してください。

応答の書式設定中に例外が発生しました (MON00044)。

原因

HTTP 要求によって表示用に返された応答の形式が正しくありません。これは、要求に対する応答の作成中に例外が発生したことが原因である可能性があります。

対処方法

Web サーバログで詳細を確認してください。

ユーザの一覧表示中にエラーが発生しました (MON00045)。

原因

このエラーは、管理者とモニタリングユーザのリストを取得するクエリの失敗によって発生した可能性があります。

対処方法

Web サーバログで詳細を確認してください。

KPI の詳細の取得中にエラーが発生しました。(MON00046)

原因

このエラーは、リポジトリからの値の取得中にクエリが失敗したことによって発生した可能性があります。

対処方法

Web サーバログで詳細を確認してください。

同期されたライブデータの取得中にエラーが発生しました (MON00047)。

原因

このエラーは内部の問題が原因で発生した可能性があります。

対処方法

モニタリングサービスをホストするサーバを再起動してください。

監視ステータスの取得中にエラーが発生しました (MON00048)。

原因

このエラーは、監視のステータスを取得するクエリの失敗によって発生した可能性があります。

対処方法

Web サーバログで詳細を確認してください。

プローブの実行結果レポートの取得中にエラーが発生しました (MON00049)

原因

File Repository Server が実行されていないか、実行結果 (インスタンス) が削除された可能性があります。

対処方法

File Repository Server が実行中であることを確認するか、履歴ページを最新表示して、実行結果が削除されていないかどうかを調べます。

プローブの保存中にエラーが発生しました (MON00050)

原因

このエラーは、プローブの保存中にクエリが失敗したか、プローブが削除されたことによって発生した可能性があります。

対処方法

プローブが削除されていないことを確認してください。Web サーバログで詳細を確認してください。

プローブのプロパティの表示中にエラーが発生しました (MON00051)

原因

このエラーは、プローブプロパティの取得中にクエリが失敗したことによって発生した可能性があります。

対処方法

プローブが削除されていないこと、および Web サーバが実行中であることを確認してください。Web サーバログで詳細を確認してください。

アプリケーションのプロパティの保存中にエラーが発生しました (MON00052)。

原因

このエラーメッセージは内部の問題が原因で発生した可能性があります。

対処方法

入力された値が正しいことを確認してください。エラーが解決されない場合は、Web サーバログを確認してください。

アプリケーションのプロパティを表示中にエラーが発生しました (MON00053)。

原因

このエラーは内部の問題が原因で発生した可能性があります。

対処方法

Web サーバログで詳細を確認してください。

データベースバックアップタスクの実行中にエラーが発生しました (MON00054)

原因

モニタリングサービスが実行されていないか、内部エラーが発生している可能性があります。

対処方法

モニタリングサービスが実行中であることを確認してください。ログで詳細を確認してください。

派生メトリクスの詳細の取得中にエラーが発生しました (MON00055)

原因

モニタリングサービスが実行されていないか、派生したメトリクス式が無効であるか、または内部エラーが発生している可能性があります。

対処方法

モニタリングサービスが実行中であることを確認してください。ログファイルで詳細を確認してください。

派生メトリクスの編集中にエラーが発生しました (MON00056)

原因

モニタリングサービスが実行されていないか、内部エラーが発生している可能性があります。

対処方法

モニタリングサービスが実行中であることを確認してください。詳細については、ログを確認してください。

監視の無効化中にエラーが発生しました (MON00057)

原因

このエラーは内部の問題が原因で発生した可能性があります。

対処方法

監視リストを最新表示して、監視がすでに無効になっているかどうかを確認してください。モニタリングサービスが実行されているかどうかを確認してください。モニタリングサービスをホストするサーバを再起動することもできます。

より詳しい情報

情報リソース	場所
SAP BusinessObjects 製品情報	http://www.sap.com
SAP ヘルプ ポータル	<p>http://help.sap.com/businessobjects/ へアクセスし、[SAP BusinessObjects Overview] サイドパネルから [All Products] をクリックします。</p> <p>SAP ヘルプ ポータルでは、すべての SAP BusinessObjects 製品とそのデプロイメントについて扱った最新のドキュメンテーションにアクセスできます。PDF 版またはインストール可能な HTML ライブラリのダウンロードが可能です。</p> <p>一部のガイドは SAP サービス マーケットプレイスに格納されており、SAP ヘルプ ポータルからは入手できません。ヘルプ ポータルのガイド一覧で、そのようなガイドには SAP サービス マーケットプレイスへのリンクが付いています。保守契約を締結されたお客様には、このサイトにアクセスするための正規ユーザー ID が付与されます。ID の入手方法については、お客様担当のカスタマー サポート担当者までお問い合わせください。</p>
SAP サービス マーケットプレイス	<p>http://service.sap.com/bosap-support > ドキュメンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インストール ガイド: https://service.sap.com/bosap-instguides ・ リリース ノート: http://service.sap.com/releasenotes <p>SAP サービス マーケットプレイスには、一部のインストール ガイド、アップグレードおよび移行ガイド、デプロイメント ガイド、リリース ノート、サポート対象プラットフォームに関するドキュメントが格納されています。保守契約を締結されたお客様には、このサイトにアクセスするための正規ユーザー ID が付与されます。ID の入手方法については、お客様担当のカスタマー サポート担当者までお問い合わせください。SAP ヘルプ ポータルから SAP サービス マーケットプレイスにリダイレクトされた場合は、左側のナビゲーション ペインのメニューを使用して、アクセスするドキュメンテーションが含まれているカテゴリを探します。</p>
Docupedia	<p>https://cw.sdn.sap.com/cw/community/docupedia</p> <p>Docupedia は追加のドキュメンテーションリソース、協調的なオーサリング環境、および対話型のフィードバックチャネルを提供します。</p>

情報リソース	場所
開発者向けリソース	https://boc.sdn.sap.com/ https://www.sdn.sap.com/irj/sdn/businessobjects-sdklibrary
SAP Community Network 上の SAP BusinessObjects に関する記事	https://www.sdn.sap.com/irj/boc/businessobjects-articles これらの記事は、以前はテクニカル ペーパーという名称でした。
ノート	https://service.sap.com/notes これらのノートは、以前はナレッジ ベース記事という名称でした。
SAP Community Network 上のフォーラム	https://www.sdn.sap.com/irj/scn/forums
トレーニング	http://www.sap.com/services/education 弊社では、従来のクラス型の学習から目標を定めた eラーニング セミナーまで、学習ニーズや好みの学習スタイルに合わせたトレーニング パッケージを提供しています。
オンライン カスタマー サポート	http://service.sap.com/bosap-support SAP サポート ポータルには、カスタマー サポート プログラムとサービスに関する情報が含まれています。また、さまざまなテクニカル情報およびダウンロードへのリンクも用意されています。保守契約を締結されたお客様には、このサイトにアクセスするための正規ユーザー ID が付与されます。ID の入手方法については、お客様担当のカスタマー サポート担当者までお問い合わせください。
コンサルティング	http://www.sap.com/services/bysubject/businessobjectsconsulting コンサルタントは、初期の分析段階からデプロイメントプロジェクトの実現まで一貫したサポートを提供します。リレーショナル データベースと多次元データベース、接続、データベース設計ツール、カスタマイズされた埋め込みテクノロジーなどのトピックに関する専門的なサポートを行います。

索引

A

AOC00001 101
AOC00002 101
AOC00003 102
AOC00005 102
AOC00006 102
AOC00007 102
AOC00008 103
AOC00009 103
AOC00011 103
AOC00012 103
AOC00013 104
AOC00020 104
AOC00021 104
AOC00022 105
AOC00023 105
AOC00040 105
AOC00041 105
AOC00044 106
AOC00045 106
AOC00046 106
AOC00047 106

C

CAT0001 171
CDS 00001 463
CDS 00002 464
CDS 00003 464
CDS 00004 464
CDS 00005 464
CDS 00006 464
CDS 00007 465
CDS 00008 465
CDS 00009 465
CDS 00010 465
CDS 00011 466
CDS 00012 466
CDS 00013 466
CDS 10100 466
CDS 10101 467
CDS 10200 467
CDS 10201 467
CDS 10202 467
CDS 10203 467
CDS 10204 468
CDS 10205 468
CDS 10206 468
CDS 10207 468
CDS 10208 469

CDS 10400 469
CDS 15102 469
CDS 15103 469
CDS 15104 470
CDS 15106 470
CDS 15107 470
CDS 15108 470
CDS 15109 471
CDS 15110 471
CDS 15111 471
CDS 15112 471
CDS 15113 472
CDS 15114 472
CDS 15115 472
CDS 15116 472
CDS 15117 473
CDS 15118 473
CDS 15119 473
CDS 15120 473
CDS 15121 474
CDS 15122 474
CIM 01100 111
CIM 01101 111
CIM 01102 112
CIM 01103 112
CIM 01104 112
CIM 01105 112
CIM 01106 112
CIM 01107 113
CIM 01108 113
CIM 01109 113
CIM 01110 113
CIM 01111 114
CIM 01112 114
CIM 01113 114
CIM 01114 114
CIM 01115 115
CIM 01116 115
CIM 01117 115
CIM 01200@ 115
CIM 01300 115
CIM 01301 116
CIM 01302 116
CIM 01303 116
CIM 01304 116
CIM 01305 117
CIM 01306 117
CIM 01307 117
CIM 01400 117
CIM 01401 117
CIM 01403 118

CIM 01405 118
CIM 01406 118
CIM 01407 118
CIM 01409 119
CIM 01410 119
CIM 01411 119
CIM 01412 119
CIM 01413 119
CIM 01414 120
CIM 01415 120
CIM 01416 120
CIM 01417 120
CIM 01418 121
CIM 01419 121
CIM 01420 121
CIM 01421 121
CIM 01501 121
CIM 01502 122
CIM 01601 122
CIM 01602 122
CIM 01603 122
CIM 01604 123
CIM 01605 123
CIM 01606 123
CIM 01607 123
CIM 01608 124
CIM 01609 124
CIM 01610 124
CIM 01611 124
CIM 01612 125
CIM 01613 125
CIM 01614 125
CIM 01615 125
CIM 01616 126
CIM 01700 126
CIM 01701 126
CIM 01702 126
CIM 01703 126
CIM 01704 127
CIM 01705 127
CIM 01800 127
CIM 01801 127
CIM 02000 128
CRS 200001 129
CRS 200002 129
CRS 200003 130
CRS 200004 130
CRS 200005 130
CRS 300001 130
CRS 300002 131
CRS 300003 131

CRS 300004 131
CRS 300005 131
CRS 300006 131
CRS 300007 132
CRS 300008 132
CRS 300009 132
CRS 300010 132
CRS 300011 133
CRS 300012 133
CRS 300013 133
CRS 300014 133
CRS 300015 133
CRS 300016 134
CRS 300017 134
CRS 300018 134
CRS 300019 134
CRS 300020 135
CRS 300021 135
CRS 300022 135
CRS 300023 135
CRS 300024 136
CSM 00001 137
CSM 00002 137
CSM 00003 138
CSM 00005 138
CSM 00006 138
CSM 00007 139
CSM 00008 139
CSM 00009 139
CSM 00010 140
CSM 00011 140
CSM 00012 140
CSM 00004 138
CSM 00101 140
CSM 00102 141
CSM 00103 141
CSM 00104 141
CSM 00105 141
CSM 00106 142
CSM 00107 142
CSM 00108 142
CSM 00109 143
CSM 00110 143
CSM 00111 143
CSM 00112 143

D

DA0005 145
DA0009 146
DA0010 146
DFA 00010 163
DFA 0003 163
DFA 0030 163
DFA 20001 164
DFA 30001 164

DFA 40001 164
DFA 40002 164
DFA 40003 164
DFA 40004 165
DFA 50001 165
DFA 50002 165
DFA 50003 165
FA 50004 166
DFA 50005 166
DFA 50006 166
DFA 50007 167
DFA 50008 167
DFA 60001 166
DFA 60002 167
DFA 60003 167
DFA 60004 168
DFA 60005 168
DFA 60006 168
DFA 70001 168
DFA 70002 169
DFA 80002 169
DFA 80003 169
DFA 80004 169
DFA 80005 170
DFA 80006 170
DFA 80007 170
DMA0002 147
DMA0005 147
DMA0006 148
DMA0007 148
DMA0008 149
DPP0001 149
DPP0002 150
DPQ0001 150
DPQ0003 151
DPQ0005 151
DPQ0006 151
DPS0001 152
DPS0002 152
DX 00050 180
DX0001 172
DX0002 172
DX0003 172
DX0004 173
DX0005 173
DX0007 173
DX0009 174
DX0010 174
DX0011 175
DX0012 175
DX0014 176
DX0017 176
DX0018 176
DX0022 176
DX0024 177
DX0025 177

DX0026 178
DX0027 178
DX0037 178
DX0040 178
DX0041 179
DX0044 179
DX0045 179
DX0046 180
DX0047 180

E

EAS 10001 199
EAS 10002 199
EAS 10003 200
EAS 10004 200
EAS 10005 200
EAS 10006 200
EAS 10007 201
EAS 10008 201
EAS 10009 201
EAS 10010 201
EAS 30001 202

F

FBE 60002 211
FBE 60003 211
FBE 60004 211
FBE 60013 212
FBE 60016 212
FBE 60019 212
FBE 60022 212
FBE 60025 213
FBE 60026 213
FBE 60027 213
FBE 60029 213
FBE 60033 214
FBE 60034 214
FBE 60036 214
FBE 60037 214
FBE 60038 215
FBE 60039 215
FBE 60040 215
FBE 60041 216
FBE 60100 216
FBE 60101 216
FBE 60105 216
FBE 60106 217
FBE 60107 217
FBE 60208 217
FBE 60211 217
FBE 60212 218
FBE 60213 218
FBE 60216 218
FBE 60217 218

- FBE 60218 219
 FBE 60219 219
 FBE 60220 219
 FBE 60224 219
 FBE 60225 220
 FBE 60226 220
 FBE 60227 220
 FBE 60228 220
 FBE 60314 221
 FBE 60315 221
 FBE 60317 221
 FBE 60318 221
 FBE 60319 222
 FBE 60320 222
 FBE 60321 222
 FBE 60322 223
 FBE 60323 223
 FBE 60400 223
 FBE 60401 223
 FBE 60402 224
 FBE 60404 224
 FBE 60405 224
 FBE 60406 224
 FBE 60408 225
 FBE 60409 225
 FBE 60410 225
 FBE 60411 225
 FBE 60412 226
 FBE 60413 226
 FBE 60414 226
 FBE 60415 226
 FBE 60502 227
 FBE 60503 227
 FBE 60504 227
 FBE 60505 227
 FBE 60506 228
 FBE 60507 228
 FBE 60509 228
 FBE 60510 228
 FBE 60512 229
 FBE 60513 229
 FBE 60600 229
 FBE 60601 229
 FBE 60602 229
 FBE42001 203
 FBE42003 203
 FBE42008 204
 FBE42009 204
 FBE42014 204
 FBE42016 204
 FBE42017 205
 FBE42018 205
 FBE42033 205
 FBE42034 205
 FBE42042 206
 FBE42044 206
 FBE42045 206
 FBE42046 206
 FBE42048 207
 FBE42049 207
 FBE42050 207
 FBE42051 207
 FBE42052 208
 FBE42055 208
 FBE42056 208
 FBE42057 208
 FBE42058 209
 FBE42059 209
 FBE42060 209
 FBE42061 209
 FBE42062 210
 FBE42063 210
 FBE42064 210
 FBE42066 210
 FBE42067 211

G
 GUI0003 231
 GUI0005 231
 GUI0006 232

I
 IDT 00420 233
 IDT 00425 234
 IDT 00630 234
 IDT 00631 234
 IDT 02300 235
 IDT 02311 235
 IDT 06103 236
 IDT 06120 236
 IDT 06130 236
 IDT 06150 237
 IDT 06200 237
 IDT 06201 237
 IDT 06202 238
 IDT 06203 238
 IDT 06204 238
 IDT 06205 239
 IDT 06210 239
 IDT 09501 240
 IDT 095010 242
 IDT 095011 242
 IDT 09502 240
 IDT 09503 240
 IDT 09504 240
 IDT 09505 241
 IDT 09506 241
 IDT 09507 241
 IDT 09508 241
 IDT 09509 242
 IDT 15025 242
 IES 00001 243
 IES 00002 243
 IES 00003 244
 IES 00004 244
 IES 00005 244
 IES 00006 244
 IES 00007 245
 IES 00008 245
 IES 00009 245
 IES 00010 245
 IES 00011 246
 IES 00012 246
 IES 00013 246
 IES 00014 247
 IES 00015 247
 IES 00016 247
 IES 00017 247
 IES 00018 248
 IES 00019 248
 IES 00020 248
 IES 00021 248
 IES 00022 248
 IES 00023 249
 IES 00024 249
 IES 00025 249
 IES 00026 249
 IES 00027 250
 IES 00028 250
 IES 00029 250
 IES 10001 250
 IES 10002 250
 IES 10005 251
 IES 10006 251
 IES 10013 251
 IES 10014 251
 IES 10016 252
 IES 10032 252
 IES 10033 252
 IES 10034 252
 IES 10035 252
 IES 10036 253
 IES 10037 253
 IES 10038 253
 IES 10040 253
 IES 10041 254
 IES 10042 254
 IES 10061 254
 IES 10064 254
 IES 10069 254
 IES 10072 255
 IES 10077 255
 IES 10082 255
 IES 10083 255
 IES 10086 256
 IES 10100 256

IES 10701 256	LMS 00001 277	LO 02017 304
IES 10702 256	LMS 00002 277	LO 02018 304
IES 10703 257	LMS 00003 277	LO 02019 304
IES 10704 257	LMS 00004 278	LO 02020 304
IES 10705 257	LMS 00005 278	LO 02021 305
IES 10706 257	LMS 00006 278	LO 02022 305
IES 10707 257	LMS 00007 278	LO 02023 305
IES 10708 258	LMS 00008 279	LO 02024 305
IES 10801 258	LMS 00009 279	LO 02025 306
IES 10810 258	LMS 00010 279	LO 02026 306
IES 10811 258	LMS 00011 279	LO 02027 306
IES 10812 259	LMS 00012 279	LO 02028 306
IES 10820 259	LMS 00013 280	LO 02029 307
IES 10830 259	LMS 00014 280	LO 02030 307
IES 10831 259	LMS 00015 280	LO 02031 307
IES 10832 259	LMS 00016 280	LO 02032 308
IES 10833 260	LMS 00017 281	LO 02035 308
IES 10834 260	LMS 00018 281	LO 02038 308
IES 10840 260	LMS 00019 281	LO 02039 308
IES 10841 260	LMS 00020 281	LO 02040 309
IES 10850 261	LMS 00021 281	LO 02041 309
IES 10853 261	LMS 00022 282	LO 02042 309
IES 10870 261	LMS 00023 282	LO 02043 310
IES 10871 261	LMS 00024 282	LO 02044 310
IES 10872 262	LMS 00025 282	LO 02045 310
IES 10873 262	LMS 00026 283	LO 02046 310
IES 10874 262	LMS 00027 283	LO 02047 311
IES 10875 262	LMS 00101 283	LO 26000 311
IES 10876 263	LMS 00103 283	LO 26002 311
IES 10877 263	LMS 00104 283	LO 26003 311
IES 10878 263	LMS 00105 284	LO 26004 312
IES 10879 263	LMS 00106 284	LO 26005 312
IES 10880 264	LMS 00107 284	LO 26006 312
IES 10881 264	LMS 00108 284	LO 26007 312
IES 10882 264	LMS 00109 285	LO 26008 313
IES 10883 264	LMS 0022 285	LO 26009 313
IES 10884 265	LO 01001 297	LO 26010 313
IES 10885 265	LO 01003 297	LO 26300 313
IES 10886 265	LO 01004 298	LO 26301 314
IES 10887 265	LO 01005 298	LO 26302 314
IES 10888 266	LO 02001 299	LO 26303 314
IES 10889 266	LO 02002 299	LO 26304 314
IES 10901 266	LO 02003 299	LO 26307 315
IES 10902 266	LO 02004 299	LO 26310 315
IES 10903 266	LO 02005 300	LO 26312 315
	LO 02006 300	LO 26313 315
	LO 02007 300	LO 26314 316
	LO 02008 301	LO 26315 316
	LO 02009 301	LO 26318 316
LMC 00001 275	LO 02010 301	LO 26604 316
LMC 00002 275	LO 02011 302	LO 26605 317
LMC 00003 276	LO 02012 302	LO 26606 317
LMC 00004 276	LO 02013 302	LO 26607 317
LMC 00005 276	LO 02014 303	LO 26608 317
LMC 00006 276	LO 02015 303	LO 26610 318
LMC 00007 277	LO 02016 303	LO 26611 318
LMC 00008 277		

LO 26612 318
LO 26613 318
LO 26614 319
LO 26615 319
LO 26616 319
LO 26617 319
LO 26619 320
LO 26620 320
LO 26621 320
LO 26626 320
LO 26627 321
LO 26630 321
LO 26631 321
LOV0001 295
LOV0002 295

M

MDB 00001 323
MOB 00001 325
MOB 00002 325
MOB 00005 326
MOB 00006 326
MOB 00009 326
MOB 00010 326
MOB 00011 327
MOB 00012 327
MOB 00014 327
MOB 00015 327
MOB 00018 327
MOB 00019 328
MOB 00020 328
MOB 00021 328
MOB 00022 328
MOB 00023 329
MOB 00024 329
MOB 00026 329
MOB 00027 329
MOB 00028 329
MOB 00029 330
MOB 00030 330
MOB 00031 330
MOB 00050 330
MOB 00051 330
MOB 00060 331
MOB 00061 331
MOB 00080 331
MOB 00081 331
MOB 00082 331
MOB 00083 331
MOB 00110 331
MOB 00111 331
MOB 00130 331
MOB 00131 331
MOB 00132 331
MOB 02003 332

MOB 00300 331
MOB 00301 331
MOB 00302 331
MOB 00303 331
MOB 00304 331
MOB 00305 331
MOB 02017 332
MOB 02090 332
MOB 02091 332
MOB 02100 332
MOB 02101 332
MOB 02102 332
MOB 02120 333
MOB 02121 333
MOB 10004 333
MOB 10005 333
MOB 10006 333
MOB 10007 334
MOB 10008 334
MOB 10009 334
MOB 10010 334
MOB 10011 334
MOB 10012 335
MOB 10013 335
MOB 10030 335
MOB 10031 335
MOB 10032 336
MOB 10033 336
MOB 10034 336
MOB 10035 336
MOB 10037 336
MOB 10039 337
MOB 10040 337
MOB 10042 337
MOB 10043 337
MOB 10044 338
MOB 10045 338
MOB 10046 338
MOB 10047 338
MOB 10048 338
MOB 10049 338
MOB 10050 339
MOB 10051 339
MOB 10071 339
MOB 10072 339
MOB 10073 339
MOB 10081 339
MOB 10082 339
MOB 10083 339
MOB 10090 339
MOB 10091 339
MOB 10100 340
MOB 10101 340
MOB 10102 340
MOB 10110 340
MOB 10111 340

MOB 10120 340
MOB 10121 340
MOB 10122 340
MOB 10131 340
MOB 10132 340
MOB 10133 340
MOB 10140 340
MOB 10141 340
MOB 10142 340
MOB 10143 340
MOB 10150 341
MOB 10151 341
MOB 10160 341
MOB 10161 341
MOB 10162 341
MOB 10170 341
MOB 10171 341
MOB 10180 341
MOB 10181 341
MOB 10190 342
MOB 10191 342
MOB 10192 342
MOB 10193 342
MOB 10200 342
MOB 10201 342
MOB 10210 342
MOB 10211 342
MOB 10220 342
MOB 10221 342
MOB 10230 342
MOB 10231 342
MOB 10300 343
MOB 10301 343
MOB 10302 343
MOB 10303 343
MOB 10304 343
MOB 10305 343
MOB 10306 343
MOB 10307 343
MOB 10308 343
MOB 10309 343
MOB 10310 343
MOB 10311 343
MOB 10312 343
MOB 10400 343
MOB 10401 343
MOB 10402 343
MOB 10403 343
MOB 10404 343
MOB 10405 343
MOB 10406 343
MOB 10407 343
MOB 10408 343
MOB 10409 343
MOB 10410 343
MOB 10411 343

MOB 10412 343
MOB 10413 343
MOB 10414 343
MOB 10415 343
MOB 10416 343
MOB 10417 343
MOB 10418 343
MOB 10419 343
MOB 10420 343
MOB 10500 343
MOB 10501 343
MOB 10502 343
MOB 10503 343
MOB 10504 343
MOB 10505 343
MOB 10600 343
MOB 10601 343
MOB 10602 343
MOB 10603 343
MOB 10604 343
MOB 10700 344
MOB 10702 344
MOB 10703 344
MOB 10704 344
MOB 10705 344
MOB 10706 344
MOB 10707 344
MOB 10708 344
MOB 10709 344
MOB 10710 344
MOB 10711 344
MOB 10712 344
MOB 10713 344
MOB 10714 344
MOB 10715 344
MOB 10716 344
MOB 10800 344
MOB 10801 344
MOB 10802 344
MOB 10803 344
MOB 10804 344
MOB 10805 344
MOB 10806 344
MOB 10807 344
MOB 10808 344
MOB 10809 344
MOB 10810 344
MOB 10811 344
MOB 10812 344
MOB 10813 344
MOB 10900 344
MOB 10901 344
MOB 10902 344
MOB 10903 344
MOB 10904 344
MOB 10905 344

MOB 10906 344
MOB 10907 344
MOB 10908 344
MOB 10909 344
MOB 10130 340
MOB 10701 344
MON00001 491
MON00002 491
MON00003 491
MON00004 492
MON00006 492
MON00007 492
MON00008 492
MON00009 492
MON00010 493
MON00011 493
MON00012 493
MON00013 493
MON00014 494
MON00015 494
MON00016 494
MON00017 494
MON00018 495
MON00019 495
MON00020 495
MON00021 495
MON00022 496
MON00023 496
MON00024 496
MON00025 496
MON00026 497
MON00027 497
MON00028 497
MON00029 497
MON00030 497
MON00031 498
MON00032 498
MON00033 498
MON00034 498
MON00035 499
MON00036 499
MON00037 499
MON00039 499
MON00041 500
MON00042 500
MON00044 500
MON00045 500
MON00046 501
MON00047 501
MON00048 501
MON00049 501
MON00050 501
MON00051 502
MON00052 502
MON00053 502
MON00054 502

MON00055 503
MON00056 503
MON00057 503

P

PS 10001 351
PS 10002 351
PS 10003 352
PS 10004 352
PS 10005 352
PS 10006 352
PS 10007 353
PS 10008 353
PS 15002 353
PS 15003 353
PS 15004 353
PS 15005 354
PS 15006 354
PS 20001 354
PS 20002 354
PS 20003 355
PS 20004 355
PS 20005 355
PS 20006 355
PS 20007 355
PS 20008 356
PS 20009 356
PS 20010 356
PS 20011 356
PS 20012 357
PS 20013 357
PS 30001 357
PS 30002 357
PS 30003 358
PS 30004 358
PS 30005 358
PS 30006 358
PS 30007 358
PS 30008 359
PS 30009 359
PS 30010 359
PS 30011 359
PS 30012 360
PS 30013 360
PS 30015 360
PS 30016 360
PS 30017 360
PS 30019 361
PS 40001 361
PS 40002 361
PS 40003 361
PS 50001 362
PS 50002 362
PS 50003 362
PS 50004 362

PS 50005 363
 PS 50006 363
 PS 50007 363
 PS 50008 363
 PS 50009 364
 PS 50010 364
 PS 50011 364
 PS 50100 364
 PS 50101 364
 PS 50102 365
 PS 50103 365
 PS 50104 365
 PS 50105 365
 PS 50106 366
 PS 50107 366
 PS 50108 366
 PS 50109 366
 PS 50200 367
 PS 50201 367
 PS 50202 367
 PS 50203 367
 PS 50204 368
 PS 50205 368
 PS 50206 368
 PS 50300 368
 PS 50301 368
 PS 50302 369
 PS 50303 369
 PS 50304 369
 PS 50305 369
 PS 50306 370
 PS 50307 370
 PS 50308 370
 PS 60001 370
 PS 60002 371
 PS 60003 371
 PS 60004 371
 PS 60101 371
 PS 60102 372
 PS 60103 372
 PS 60201 372
 PS 60301 372
 PSS 00002 483
 PSS 00003 483
 PSS 00004 483
 PSS 01001 484
 PSS 01002 484
 PSS 01004 484
 PSS 02001 484
 PSS 02003 485
 PSS 02004 485
 PSS 02005 485
 PSS 03002 485
 PSS 03004 486
 PSS 03007 486
 PSS 03008 486

PSS 03009 487
 PSS 04001 487
 PSS 04003 487
 PSS 04005 487
 PSS 04006 488
 PSS 05001 488
 PSS 05002 488
 PSS 05003 488
 PSS 06002 489
 PSS 06004 489
 PSS 06005 489
 PSS 06006 489
 PSS 06007 490
 PSS 07001 490
 PSS 07002 490

Q

QP0001 154
 QP0002 154
 QP0003 154
 QP0004 154
 QP0005 155
 QP0006 155
 QP0007 155
 QP0008 155
 QP0009 156
 QP0010 156
 QP0011 156
 QP0013 156
 QP0014 157
 QP0015 157
 QP0016 157
 QP0017 158
 QP0018 158
 QP0019 159
 QP0020 159
 QP0021 160
 QP0022 160
 QP0023 160
 QP0025 160
 QP0027 161
 QPF0001 153
 QTJ 00501 345
 QTJ 00510 345
 QTJ 00511 345
 QTJ 00512 346
 QTJ 00513 346
 QTJ 00514 346
 QTJ 00515 346
 QWS 00001 347
 QWS 00002 347
 QWS 00003 347
 QWS 00004 348
 QWS 00005 348
 QWS 00006 348

QWS 00007 348
 QWS 00008 349
 QWS 00009 349
 QWS 00010 349
 QWS 00011 350
 QWS 02718 350

R

RCT 00001 373
 RCT 00011 373
 RCT 00013 373
 RCT 00014 374
 RCT 00016 374
 RCT 00017 374
 RCT 00018 374
 RCT 00019 375
 RCT 00020 375
 RCT 00021 375
 RCT 00022 375
 RCT 00023 375
 RCT 00024 376
 RCT 00025 376
 RCT 00026 376
 RCT 00027 376
 RCT 00028 377
 RCT 00029 377
 RCT 00030 377
 RCT 00031 377
 RCT 00032 377
 RWI 00000 449
 RWI 00001 449
 RWI 00010 449
 RWI 00011 449
 RWI 00012 450
 RWI 00013 450
 RWI 00014 450
 RWI 00015 450
 RWI 00016 451
 RWI 00017 451
 RWI 00200 451
 RWI 00223 451
 RWI 00226 452
 RWI 00235 452
 RWI 00236 452
 RWI 00237 453
 RWI 00239 453
 RWI 00240 453
 RWI 00301 453
 RWI 00309 454
 RWI 00314 454
 RWI 00316 454
 RWI 00317 454
 RWI 00321 455
 RWI 00322 455
 RWI 00323 455

RWI 00324 455
RWI 00501 456
RWI 00502 456
RWI 00503 456
RWI 00504 456
RWI 00506 456
RWI 00507 457
RWI 00508 457
RWI 00509 457
RWI 00511 457
RWI 00512 458
RWI 00602 458
RWI 00603 458
RWI 00604 458
RWI 00605 458
RWI 00606 459
RWI 00607 459
RWI 00608 459
RWI 00609 459
RWI 00610 460
RWI 00611 460
RWI 00612 460
RWI 00613 460
RWI 00614 461
RWI 00701 461
RWI 00702 461
RWI 00703 461
RWI 00706 461
RWI 00800 462
RWI 00801 462
RWI 00825 462
RWI 00826 462
RWI 00850 463
RWS 000011@ 381
RWS 000012@ 382
RWS 000013@ 382
RWS 000015@ 382
RWS 000016@ 382
RWS 000017@ 383
RWS 000018@ 383
RWS 000019@ 383
RWS 00002@ 379
RWS 000020@ 383
RWS 000021@ 384
RWS 000022@ 384
RWS 000023@ 384
RWS 000024@ 384
RWS 000025@ 385
RWS 000026@ 385
RWS 00003@ 379
RWS 000031@ 385
RWS 000032@ 385
RWS 000033@ 386
RWS 000034@ 386
RWS 000035@ 386
RWS 000036@ 386

RWS 000037@ 387
RWS 000038@ 387
RWS 000039@ 387
RWS 00004@ 380
RWS 000040@ 387
RWS 000041@ 388
RWS 000042@ 388
RWS 000043@ 388
RWS 000044@ 388
RWS 000045@ 389
RWS 000046@ 389
RWS 000047@ 389
RWS 000048@ 389
RWS 000049@ 390
RWS 00005@ 380
RWS 000050@ 390
RWS 000051@ 390
RWS 00006@ 380
RWS 00007@ 380
RWS 000076@ 397
RWS 000077@ 397
RWS 000078@ 397
RWS 000079@ 397
RWS 00008@ 381
RWS 00009@ 381
RWS 00010@ 381
RWS 00052@ 390
RWS 00053@ 391
RWS 00054@ 391
RWS 00055@ 391
RWS 00056@ 391
RWS 00057@ 392
RWS 00058@ 392
RWS 00059@ 392
RWS 00060@ 392
RWS 00061@ 393
RWS 00062@ 393
RWS 00063@ 393
RWS 00064@ 394
RWS 00065@ 394
RWS 00066@ 394
RWS 00067@ 394
RWS 00068@ 395
RWS 00069@ 395
RWS 00070@ 395
RWS 00071@ 395
RWS 00072@ 396
RWS 00073@ 396
RWS 00074@ 396
RWS 00075@ 396

T

TMT 20050 400
TMT 20070 401
TMT10000 399

TMT10010 399
TMT10020 400
TMT10030 400
TMT10040 400
TMT10050 400

U

UNM0001 405
UNM0002 406
UNM0003 406
UNM0004 406
UNM0005 406
UNM0006 406
UNM0007 407
UNM0008 407
UNM0009 407
UNM0010 407
UNM0011 408
UNM0012 408
UNM0013 408
UNM0014 408
UNM0015 408
UNM0016 409
UNV0017 409
UNV0035 410
UNV0049 411
USR0006 99
UTM 20001 401
UTM 20010 401
UTM 20020 402
UTM 20030 402
UTM 20040 402
UTM 20050 402
UTM 20060 403
UTM 20070 403
UX0001 181
UX0010 181
UX0011 181
UX0012 182
UX0013 182
UX0015 182
UX0016 183
UX0023 183
UX0028 183
UX0029 184
UX0032 184
UX0033 184
UX0034 184
UX0036 185
UX0037 185
UX0038 185
UX0039 186
UX0040 186
UX0041 187
UX0042 187

UX0043 188
 UX0044 188
 UX0045 188
 UX0046 188
 UX0047 189
 UX0048 189
 UX0049 190
 UX0050 190
 UX0051 190
 UX0052 191
 UX0053 191
 UX0054 192
 UX0055 192
 UX0057 192
 UX0058 193
 UX0059 193
 UX0060 194
 UX0061 194
 UX0062 194
 UX0063 195
 UX0064 195
 UX0065 195
 UX0066 196
 UX0067 196
 UX0068 196
 UX0069 197
 UX0071 197

V

VAR0001 296
 VDC 00001 291
 VDC 00002 292
 VDC 00003 292
 VDC 00004 292
 VDC 00005 292
 VDC 00007 293
 VDC 00008 293
 VDC 00009 293
 VDC 00010 293
 VDS 00001 285
 VDS 00002 285
 VDS 00003 286
 VDS 00004 286
 VDS 00005 286
 VDS 00006 286
 VDS 00007 286
 VDS 00008 287
 VDS 00009 287
 VDS 00010 287
 VDS 00012 287
 VDS 00013 288
 VDS 00014 288
 VDS 00015 288

VDS 00016 288
 VDS 00017 288
 VDS 00018 289
 VDS 00019 289
 VDS 00020 289
 VDS 00021 289
 VDS 00022 290
 VDS 00023 290
 VDS 00024 290
 VDS 00025 290
 VDS 00026 291
 VDS 00027 291
 VDS 00028 291
 VDS 00029 291
 VYC00018 104

W

WIH 00015 448
 WIH 00016 448
 WIJ 10000 429
 WIJ 10001 429
 WIJ 10500 430
 WIJ 11111 430
 WIJ 20000 430
 WIJ 20001 431
 WIJ 20002 431
 WIJ 20003 431
 WIJ 20004 432
 WIJ 20005 432
 WIJ 20010 432
 WIJ 30000 433
 WIJ 30001 433
 WIJ 30003 433
 WIJ 30004 432
 WIJ 40000 433
 WIJ 40001 434
 WIJ 50003 434
 WIJ 55555 434
 WIJ 60001 434
 WIJ 60002 435
 WIJ 77777 435
 WIJ 77778 436
 WIJ 77779 435
 WIO 00002 436
 WIO 0001 436
 WIO 30280 437
 WIO 30284 437
 WIS 30000 438
 WIS 30001 438
 WIS 30251 438
 WIS 30252 438
 WIS 30253 438
 WIS 30254 439

WIS 30255 439
 WIS 30256 439
 WIS 30257 439
 WIS 30258 440
 WIS 30259 440
 WIS 30270 440
 WIS 30271 440
 WIS 30272 441
 WIS 30280 442
 WIS 30284 442
 WIS 30285 442
 WIS 30351 441
 WIS 30371 441
 WIS 30381 442
 WIS 30551 443
 WIS 30553 443
 WIS 30554 443
 WIS 30555 443
 WIS 30556 444
 WIS 30557 444
 WIS 30650 444
 WIS 30751 445
 WIS 30752 445
 WIS 30753 445
 WIS 30761 446
 WIS 30762 446
 WIS 30763 446
 WIS 40000 447

X

XLS 000001 477
 XLS 000002 477
 XLS 000003 477
 XLS 000004 477
 XLS 000005 478
 XLS 000006 478
 XLS 000007 478
 XLS 000008 478
 XLS 000009 479
 XLS 000010 479
 XLS 000011 479
 XLS 000012 479
 XLS 000013 479
 XLS 000014 480
 XLS 000015 480
 XLS 000016 480
 XLS 000017 480
 XLS 000018 481
 XLS 000019 481
 XLW 000001 481
 XLW 000002 481

